

滋賀医科大学外科学講座
同門会誌

2006～2008年

滋賀医科大学外科学講座同門会

目 次

■ 巻 頭 言	1
■ 関連病院だより	7
■ 業 績 (教室)	15
■ 業 績 (関連病院)	81

卷 頭 言

- 滋賀医科大学外科学講座 同門会会長 小玉 正智
- 滋賀医科大学外科学講座 教授 谷 徹
- 滋賀医科大学外科学講座 教授 浅井 徹

同門会の活性化に向けて

滋賀医科大学 外科同門会
会長 小玉正智

外科学講座は、2003年から大講座制に移行して7年目を迎えています。第一講座と第二講座が合併し、同門会の会員は約270名の大きな組織となり、昨年からは初代岡田慶夫会長より重職を引き継いで大きな責任を感じています。

同門会は、教室や関連病院で勤務されている会員と開業された会員方々で構成され、それぞれの希望をいかに取り入れていくかが大きな課題であります。運営を学内と学外の幹事と事務局にお願いして、手数のかかる会員の住所録の作成(2年ごと)にはじまり、慶弔の連絡、年一回の総会・講演会・および懇親会などを行っています。数年前から同門会の先生の優秀な論文に会長賞、学術賞、および奨励賞が授与されて、これらの賞が教室の先生たちの論文の作成に良い刺激となっていると聞いております。ぜひこれらの活動を推進したいと思っています。また、旧第一外科と旧第二外科の関連病院は、あまり人的交流ができていませんので、将来大講座制を生かした関連病院の専門分野を考慮した人事が行われると関連病院の更なる発展に繋がると思っています。同門会と教室は、一心同体であり、同門会が外科教室の発展に役立つために、ぜひ会員の皆様から多くのご意見を頂きたいと思っております。

大学は独立法人化されましたが、本学の付属病院は優秀な業績を挙げて病院の増改築中であり、外科教室はその業績の向上に大きな貢献をされています。しかし、外科教室は、細分化に伴う職員の実質的減少、および臨床研修制度による若手医師減少により多忙を極めている現状であります。外科を専攻する医師の減少は、改善すべき点多いのが現実であります。長い研修生活と激務といった悪い面が強調されすぎ、外科医の生きがいや本当の姿が見えにくいことも影響しています。

教室は、教育・臨床・研究の3本柱を行いながら、有能な外科医の育成の重要な役割を担ってもらっていますが、同時に地域の高度先端医療の最終の受け皿として世界のトップレベルの医療を提供していただきたいと思っております。幸いにもわが同門会は、多くの会員で構成されており、有意義な教室への経済的な支援が可能と思えますので、教室が国内・外のシンポジウムや学会の開催や積極的な国際交流をしていただき、同門会がそれらへの支援を通じて教室の発展に貢献できることを念願しております。

教室と同門会のますますの発展を祈念し、また会員の皆様には、ぜひご支援とご協力をよろしく申し上げます。

同門会誌発行に向けて

滋賀医科大学外科学講座 教授
谷 徹

今回で2回目となる同門会誌発行、継続性が生まれてきて、古い伝統を持つ大学の同門会と、同じ事業が遂行できることとなりました。前回に続き3年に1回の発刊ですが、今後は年毎に発刊できる体制を計画中です。同門会といえば同門会誌ということになって、一般的には業績をまとめる事業であります。しかしながら、このような事業を継続的に行うことは、極めて大きな努力と体制を要するものであり、先に述べたように、同門会が成長した現れと考えられます。

会誌発刊に際して、前回は景気の問題、医療の問題等について、同門会誌は同門会員同士が多く情報を得ることを目的とし、実利になると書きました。幸か不幸か、昨年から今年にかけて更に私の指摘した要素が強くなりました。良く言えば、新しい政権による医療、経済への期待感がある一方、世界的に見た不況から、また、政治経済の不透明さから、更に窮屈な世界になるかもしれない時勢に対処する情報のやりとりになる可能性も出てきました。いずれにせよ、これらの情報を的確に同門会員が把握し、それぞれの考えにおいて対処できる状況を作り出すことができれば、同門会及び同門会活動の目的を達したことになります。

従来は、教育においては大学が中心でありましたが、今、若い先生方の臨床教育においては、大学だけで賄うことができず、関連病院の力をお借りする必要が出てきました。医療圏や医療ネットワークを通じて、若い先生を育てていく時代になりつつあります。教育において、同門会施設が協力し合う必要が出てきました。研究においても、私たちの経験では、論文を書くことが最終目的の感がありましたが、当教室では、外科本道に関わるような研究や、それを実用化する段階にまで達している事業が生まれてきました。このような事業の成果、または事業の完成を、関連病院の皆様方と協力して成し遂げる必要性がでてきました。

こうしてみると、同門会の繋がりには臨床から始まり、教育にも研究の成果にも及んでおり、益々同門会員同士、また施設間同士の情報の共有が重要となり、更にその連携が模索されるべき時代になってきていると考えます。

今回の2回目の同門会誌発行は、我々の同門会が、このような状況の中で継続的な情報発信を続け得る力を持ち、体制を構築できてきたことを示すものであり、大変喜ばしいことと考えます。今後とも、このような発展的な活動が続けられることを念願して、発刊の言葉と致します。

妥協なき最高水準を求めて

滋賀医科大学外科学講座 教授
浅井 徹

同門会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、国政で政権交代があり、世界的な金融危機と不景気が続き、医療不信に対する報道記事も後を絶たずますます不透明な時代に突入した感があります。外科治療自体も、変革期あるいは危機的な時代に突入しているものと私は最近感じております。近年の低侵襲手術のトレンドはよくよく考えてみると、手術につきものの切開、切除ということ自体に、ある種の拒否感、偏見が医師の中からも発せられているようです。従来当たり前であった手術治療法が、今日省みられなくなった例は枚挙にいとまがありません。胃潰瘍に対する胃切除、肺結核に対する肺手術は、いまだに記憶に残る例ではあります。今後どんな大きな変化が医療を変えてゆくのかは想像の域を超えるものです。

チャールズ・ダーウィンの有名な格言に

「生き残る種というのは、

最も強いものでもなければ、最も知的なものでもない。

最も変化に適応できる種が生き残るのだ。」

It is not the strongest of the species that survives,

nor the most intelligent that survives.

It is the one that is the most adaptable to change.

Charles Darwin

というものが 있습니다。私たちの外科学はもともと経験の学問、臨床であって、変化についてゆくことが一般に難しい性質を持ちますが、一方では斬新な治療手段をこれまで歴史的に創造してきたものほかならぬ先人の外科医たちであったことを我々は肝に銘じておく必要があります。したがって、若い研鑽中の外科医諸君には、視野を広め大いに勉強して現在の最高治療を越える何かを求める気概を持って日々過ごしていただきたいと思います。

変革の時代にこそまた、あまり変わらないことが浮き彫りになってくるものです。それは、本当の重症患者の数です。多くの低侵襲と名のつく非外科的治療は、治療できそうな病変にのみ選択的に試みられていますが、本当に状態が極まったすべての患者をどうして行くのかということに対しての回答は得られないことがよくあります。外科医こそが、病を患う人間を覚悟を持って受け止め、必要とされる臨床家になる資質を持てるはずだと考えております。

私たちは、7月28日に低侵襲のバイパス手術としてやってまいりました心拍動下冠動脈バイパスを中心とする手術手技を全国規模で滋賀医大手術室から Live Transmission を行う研究会を主催いたします。(第1回 Advanced Heart&Vascular Surgery/OPCAB 研究会) テーマは「妥協なき最高水準の追求」です。単に低侵襲であるだけではなく従来手術以上に高いクオリティがあって初めて治療法の進化といえるのではないかとの考えで現在、企画中です。

誇りを持てる、敬意を払うに値する真の医療人、外科医を輩出すべく今年も医局員とともに日々研鑽を積んでゆきたいと思います。同門会員皆様のご指導ご鞭撻を今後も賜りますようにお願い申し上げます。

関連病院だより

- 独立行政法人国立病院機構 滋賀病院 井上 修平
- 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 澤井 聡
- 医療法人天神会 古賀病院 池添 清彦
- 長浜赤十字病院 岡内 博
- 国民保健小松市民病院 太田 裕之
- 近江徳洲会病院 小池 雅人
- 金沢循環器病院 畔柳 智司

独立行政法人国立病院機構 滋賀病院

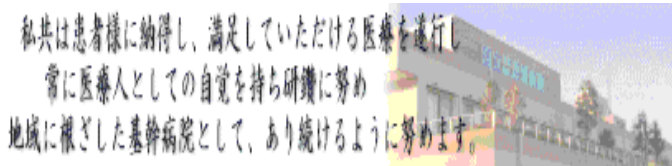
〒527-8505 滋賀県東近江市五智町 255

電話：0748-22-3030

井上 修平 (昭和 58 年卒)



独立行政法人 国立病院機構
滋賀病院



私共は患者様に納得し、満足していただける医療を遂行し
常に医療人としての自覚を持ち研鑽に努め
地域に根ざした基幹病院として、あり続けるように努めます。

当院は昭和 16 年 2 月に八日市陸軍飛行連隊病院として創立され、昭和 20 年 12 月に国立八日市病院として厚生省に移管されました。平成 12 年 12 月には国立療養所比良病院と統合し、250 床、18 診療科(呼吸器外科新設)と発展を遂げ国立滋賀病院と改称し地域の中核病院としての役割を果たしてきました。また平成 16 年 4 月からは独立行政法人国立病院機構滋賀病院として発足しています。しかし平成 16 年に新臨床研修制度が導入されたのを機に全国的に医師不足問題が勃発し、当院もその荒波を真正面から受け、京都府立医大の医師引き揚げにより 35 人(滋賀医大が 9 名)の常勤医が現在は半数以下の 15 人(滋賀医大からの派遣医師は 13 名に増加)となってしまいました。そのため診療機能の縮小を余儀なくされ、2 カ所の病棟の休棟となり運用病床数は 135 床となってしまいました。また消化器内科、呼吸器内科の常勤医が引き揚げたため、それぞれ外科(川口 晃、村上耕一郎)と呼吸器外科(井上修平、尾崎良智、藤田琢也、大内政嗣)で外来、検査、入院治療を担当するようになっていきます。

当院の位置する東近江市は人口 12 万人と滋賀県で 3 位の人口を占めていますが、公的 3 病院(当院、市立蒲生病院、市立能登川病院)は京都府立医大の医師引き揚げにより常勤医師が配置できず、非効率的な病院運営となっています。そのため東近江圏域を取り巻く医療環境は、急速に悪化の一途を辿り、救急医療を含めて地域医療が崩壊する危機的状況に達しています。そのため現在、地域医療体制検討会が立ち上がっており、この 10 月までには 3 病院の統合も含めての 350 床程度の中核病院設立への方向性が決定される予定です。そうなれば 2~3 年以内に救急医療、周産期医療、小児医療、災害医療、がん診療等の拠点病院として生まれ変わり、臨床研修病院としても期待され、地域住民・患者・医師・医療スタッフにとっても魅力ある病院になる予定です。そのためには滋賀医大が全面的に支援して頂き、指導医を含めた優秀な医師の派遣をして頂く必要があります。新臨床研修制度が医師の都市部への集中・偏在という弊害を生み出したことにより、全国の地方の公的病院でも深刻な医師不足問題が起こっている現状で、滋賀医大が全面的に支援して頂くのはなかなか困難だとは思いますが、最大の関連病院としての価値を考えて頂いて何卒宜しくお願い申し上げます。

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

〒612-8555 京都府京都市伏見区深草向畑町 1-1

電話：075-641-9161

澤 井 聡 （昭和 6 3 年卒）

独立行政法人国立病院機構・京都医療センターは、国立の高度総合医療施設として昭和 20 年から半世紀以上にわたって京都伏見の地で医療活動がなされてきた国立京都病院が独立行政法人化にともなって京都医療センターという名称に変更した高度先進医療を行う総合病院です。病床数 600 床で 26 の診療科を有し、国からは内分泌・代謝疾患の高度専門医療施設（準ナショナルセンター）、成育医療の基幹医療施設、がん・循環器・感覚器・腎疾患の専門医療施設に指定されており、エイズ診療、国際医療協力の機能も付与されています。また京都府の三次救急医療施設の指定を受け、救命救急センターにおいて高度の医療を提供できる体制も整えられています。臨床研修指定病院としての人気もあり、向上心をもった優秀な若い医師が多く活気に溢れた病院です。

平成 19 年 1 月に地域がん診療連携拠点病院に指定されるということもあり、数年間、非常勤医師しかいなかった呼吸器外科を正式に立ち上げるということで、滋賀医大にお話を頂き平成 18 年 12 月に私が診療科長（医長）として赴任させていただきました。平成 19 年 4 月に大塩麻友美先生、平成 21 年 4 月に五十嵐知之先生が加わり、現在 3 人体制で診療を行っています。まずは手術件数を増やすことを第一に考え、呼吸器内科を始めとする他科や地域の医療機関との関係を密にして信頼を得るようにと努めて参りました。その結果、手術件数は平成 19 年が 96 例（肺癌 38 例）、平成 20 年が 108 例（肺癌 51 例）で今年はさらに増加することが予想されます。まだまだ満足できる数字ではありませんが京都の南部地域で中核となるポテンシャルは十分ありますので、京都医療センターに呼吸器外科ありと言われるように頑張りたいと思っております。

医療法人天神会 古賀病院 21

〒839-0801 福岡県久留米市宮ノ陣 3-3-8

電話：0942-38-3333

池 添 清 彦（平成6年卒）

平成19年より福岡県久留米市の古賀病院21に赴任しております平成6年入局の池添と申します。まずは、私たち九州組が同門の皆様と直接会う機会が少ないなかこのような病院紹介をさせていただいた谷先生、浅井先生に深くお礼申し上げます。

古賀病院21は、筑後川近くに位置し、自然が豊かな環境の中に馴染んだ病院です。病院内に一步踏み入ると落ち着いた内装とスタッフの笑顔で患者さんを出迎え、医療機材はPET検査を始めとして全て最新のを揃えております。もちろん機械だけでなく診療放射線技師や臨床検査技師、看護師をはじめとしてスタッフの技量も抜きん出ております。昨年から放射線治療棟が機動しておりトモセラピーによる強度変調放射線治療を受けるために県内外から大勢の癌患者が紹介され癌治療の拠点となっております。

一方、関連病院の新古賀病院も200床規模の病院で年間の救急搬送件数は2337件と県内外の救急医療の一角を担う病院となっております。

また学術的な分野での活躍も目覚ましく平成19年には理事長である古賀伸彦先生が大会長を務める第28回日本アフレスシス学会学術大会が久留米にて開催されております。

昨年の古賀病院21における消化器手術症例は231例です。そのうち胃悪性腫瘍が27例、結腸悪性腫瘍が35例、直腸悪性腫瘍が13例、胆嚢良性疾患が32例でした。肝胆膵の悪性腫瘍は60例ですが主に新古賀病院で行われており、私は手術助手としてたびたび出張しております。鏡視下手術は胆嚢、兎径ヘルニア、急性虫垂炎はもちろんのこと早期の悪性疾患に対して適応さえあれば積極的に行っております。

外科スタッフは私を含めて3人と少人数です。非常に忙しいですが、たまに時間が空いた時には九州の旨いものを食べて近所の源泉掛け流しの温泉で疲れを癒して再び病院へとといった毎日です。

最近の某雑誌による民間病院ランキングでは古賀病院21が88位、新古賀病院が14位と九州だけでなく全国的にも認められる病院となってきております。現在、古賀病院21と新古賀病院には11名の研修医が最先端の医療を学んでいます。勉強するには十分な環境が整っていますので若い先生はもちろんですが、ベテランの先生も当院に興味のある方は院内外を隅々まで案内いたしますので是非見に来て下さい。では、皆様と会える日を楽しみにしております。

長 浜 赤 十 字 病 院

〒526-8555 滋賀県長浜市宮前町 14-7

電話：0749-63-2111

岡 内 博 （平成 8 年卒）

湖北地域の中核病院の外科として、スタッフは副院長含め 8 名で、この陣容では過分とも思われる多面的な医療を担っています。

一般外科、消化器外科が主軸となっていますが、血管外科、内分泌外科、小児外科、透析管理等幅広い領域に取り組んでいます。また救命救急センターの設置により外傷、汎発性腹膜炎等の緊急手術を要する患者さんが多いのも当科の特徴です。

消化器外科としては上は食道から下は直腸、肛門に至って外科的疾患を網羅しています。悪性腫瘍に対してはガイドラインにのっとり術式を決定し成果をあげています。人工肛門を造設した患者さんに対してはストマ外来にて十分なケアを行っております。また、内視鏡下手術も胆嚢結石以外にも意欲的におこなっており、7 つある手術室の 1 つを内視鏡手術室としてフル活用しています。

肝胆膵の実質臓器の悪性腫瘍にも病期に応じた術式を選択し、肝臓の悪性腫瘍で切除できない場合でも消化器内科との協力でマイクロ波凝固療法を、またリザーバーシステムを用いた動注化学療法を放射線科との協力で治療にあたっています。

また、乳腺外来においては超音波検査、乳腺レントゲン撮影、MR I などによる的確な診断をおこなった上で乳房温存手術など納得の得られる術式を検討して手術に臨んでおります。補助療法として化学療法、放射線治療はもちろんのこと、形成外科との協力で乳房再建手術にも取り組んでいます。

化学療法にたいし、腫瘍外科医 (Surgical Oncologist) として取り組んでおり、基本的には外来通院にておこない、患者さんの QOL を重視しています。

穿孔性腹膜炎などの重症感染症などに対しエンドトキシン吸着や多臓器不全、各種中毒に対する血漿交換などの血液浄化法を行うことができます。

複数の合併症を持つ高齢者が多く、麻酔科や他科との連携はもちろんのこと、NST としても中心的役割を担っており、内科医師、看護師、栄養士などと協力し入院患者さんの栄養状態を改善することにより病状を改善させ入院期間の短縮にも貢献しています。

国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ 60 番地

電話：0761-22-7111

太田 裕之 (平成10年卒)

小松市は石川県西南部に位置し、コマツ製作所を始め産業都市として発展してきました。東には霊峰白山がそびえ、すそ野には緑の丘陵地が広がり、それを縫うように梯川が流れ、安宅の海に注いでおり、豊かな自然や温泉、海の恵みを有しています。

国民健康保険 小松市民病院 は病床数 364 床の総合病院で、人口 20 万人の南加賀の中核病院としての役割を担っており、金沢大学医学部の臨床関連施設でもあります。当院は日本消化器外科学会専門医修練施設、呼吸器外科専門医制度修練施設をはじめ多数の学会の認定施設であり、石川県の南加賀地区の地域がん診療連携拠点病院でもあります。

外科スタッフは川浦院長をはじめ、村上部長、藤岡部長、塚山医長（以上、金沢大学心臓・総合外科医局出身）のほか、谷教授の御高配により平成 20 年 9 月より太田、平成 21 年 4 月より小島が勤務し、計 6 人の診療体制です。定例カンファレンスは毎週月曜日の術前検討・術後報告と金曜日の内科、放射線科合同の消化器カンファレンスがあります。手術はほぼ毎日行っており、平成 20 年度（平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月）の外科手術件数は 626 件で、年々増加傾向にあります。当科では心臓外科以外の手術に対応しており、悪性腫瘍に対する手術や腹膜炎、イレウスなどの緊急手術が多いことが特徴です。また学会活動も活発に行っており、小松空港より東京、北海道、沖縄などへの直行便でのアクセスは抜群です。

全国的に医師不足が叫ばれておりますが、石川県も例外ではありません。当院でも全科を挙げて日々の診療に取り組んでおりますが、その中で電子カルテの導入や改良、医師の煩雑な業務を軽減する目的でメディカルクラークが書類の記載を担当したりと、病院全体での改革意識が高まっています。

病院の基本理念である「信頼される病院、こころあたたまる病院、地域に開かれた病院、常に向上心をもって働く病院」をモットーに全職員が日夜、臨床に向き合っています。

また当院は臨床研修指定病院であり、初期研修の場として大学病院や都市部の大病院よりも敷居が低く、多数の症例を経験でき、全科の医師と仲良くなれるというメリットがあり、随時研修生を募集しています。

近江草津徳洲会病院

〒525-0054 滋賀県草津市東矢倉三丁目 34-52

電話：077-567-3610

小池 雅人 (平成11年卒)



近江草津徳洲会病院は、平成15年9月に同門会会長の小玉正智先生を初代院長に迎えて開院した若い病院です。開院時より小玉院長、青嶋副院長の心臓血管外科開設に対する御熱心な努力と滋賀医科大学浅井教授の御協力を得て、平成18年6月に心臓血管外科の本格的開設となる第一例の開心術(AVR)を浅井教授御執刀で行いました。平成19年4月から滋賀医科大学より白石先生(S60卒)が心臓血管外科部長として赴任、私小池(H11卒)も常勤医として赴任となり手術件数も徐々に増加してきております。

平成21年9月には心臓血管外科開設後の開心術数が100例(OPCA B 53例、弁膜症、胸部大血管 48例)を

病院でポスターを作っていただきました

超えました。滋賀医科大学同様に超高齢者の連合弁膜症や低左心機能等のハイリスクな症例も珍しくありませんでしたが、周術期死亡0と良好な成績を残せております。開心術以外の手術症例は、腹部大動脈瘤17例、末梢動脈血管手術18例、下肢静脈瘤手術51例です。心臓血管外科開設時、ICUはなく、心臓麻酔をかける常勤麻酔科医がいない、常勤の循環器内科医がいない、さらに開設時当初は看護師をふくめ大部分のスタッフが心臓疾患周術期を経験したことがないという非常に厳しい環境ではありましたが、病院執行部の多大な御配慮と、更に滋賀医科大学や他の徳洲会グループのご協力により、心臓麻酔は滋賀医科大学麻酔科(藤野先生、北川先生)や徳洲会グループの麻酔科(井上先生、三島先生、下野先生)にお世話になり、周術期管理も熱意をもって医療従事してくれる看護師や理学療法士のおかげで、当院に入院していただいた患者様には大学にひけを取らない医療提供をさせていただいております。

今後の目標は、現在安定した手術成績のままで全手術件数を増加させることで、その為には施設のハード面ソフト面の更なる充実もさることながら、院内外を問わず多くの同門諸先生の御指導、御協力をいただき、全症例を大切に診療させていただくことが重要と考えております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

金 沢 循 環 器 病 院

〒927-0007 石川県金沢市田中町は 16

電話：076-253-8000

畔 柳 智 司 （平成 1 4 年卒）

金沢循環器病院は石川県で唯一、北陸でも数少ない循環器の専門病院として平成 3 年 5 月に金沢に開院、以降十数年に渡って臨床第一線病院として地元の循環器治療に携わっております。

当院心臓血管外科には現外科学講座教授である浅井徹先生が 1994 年から 2002 年まで勤務しておられ、現在でも非常勤医師として年十数例の手術を執刀して頂いております。

現在、当院心臓血管外科医師は上山武史顧問以下、上山克史、畔柳智司の 3 人で、年間約 90 例の開心術、40 例の末梢動脈手術、50 例の下肢静脈瘤手術等を行っております。

また、循環器専門病院であるため、ペースメーカーなどの機器挿入患者も多く、年 60 例ほどのペースメーカー植え込み、電池交換等も行っており、小手術も合わせると年間 250 例前後の手術を行っております。通常手術は火曜、金曜の週 2 日となっておりますが、24 時間緊急患者受け入れ体制となっており、そのため緊急、準緊急手術も約 4 割を占めるため、手術日以外にも日常的に手術を行っている状況です。

病床数は急性期 86 床、療養型 144 床、合計 230 床、また、当院は医療財団浅ノ川グループに属しているため、他疾患に関しては同グループ内の浅ノ川総合病院等と連携し治療を行っております。浅ノ川総合病院は研修医初期研修指定病院でもあるため当院にも短期の研修医の研修を行っております。

当院の特徴として 24 時間緊急患者受け入れ体制をとっているため、緊急手術も行っておりますが、常勤麻酔科医師もいないため緊急手術は当院勤務の外科医で行っております。外科症例数としては浅井徹現滋賀医科大学教授が現職に就かれてからは一時減少しましたが、当院内の心臓カテーテル検査数の増加（年間 2300 例前後）に合わせて、また近隣病院からの紹介も増加し、ここ 5 年間は増加傾向にあり、引き続き一層の努力をしていきたいと思っております。

教室業績

消化器外科・乳腺一般外科

【論文】

<英文学術>

Andoh Akira, Endo Yoshihiro, Kushima Ryoji, Hata Kazunori, Tsujikawa Tomoyuki, Sasaki Masaya, Mekata Eiji, Tani Tohru, Fujiyama Yoshihide

A case of crohn's disease involving the gallbladder

World Journal of Gastroenterology • 12(6) : 977~978, 2006

Szalay Laszlo, Shimizu Tomoharu, Suzuki Takao, Yu Huang-Ping, Mashkoor A Choudhry, Martic G Schwacha, Loring W Rue, Kirby I Bland, Irshad H Chaudry

Estradiol improves cardiac and hepatic function after trauma-hemorrhage: role of enhanced heat shock protein expression

Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol • 290 : R812~R818, 2006

Yu Huang-Ping, Shimizu Tomoharu, Mashkoor A Choudhry, Hsieh Ya-Ching, Suzuki Takao, Kirby I Bland, Irshad H Chaudry

Mechanism of cardioprotection following trauma-hemorrhagic shock by a selective estrogen receptor- β agonist: up-regulation of cardiac heat shock factor-1 and heat shock proteins

Journal of Molecular and Cellular Cardiology • 40 : 185~194, 2006

Okumura Kenji, Shiomi Hisanori, Mekata Eiji, Kaizuka Machiko, Endo Yoshihiro, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru

Correlation between chemosensitivity and mRNA expression level of 5-fluorouracil-related metabolic enzymes during liver metastasis of colorectal cancer

Oncology Reports • 15 : 875~882, 2006

Sonoda Hiromichi, Yamamoto Kazuo, Kushima Ryoji, Yamamoto Hiroshi, Naitoh Hiroyuki, Okabe Hidetoshi, Tani Tohru

Detection of lymph node micrometastasis in pNO early gastric cancer: Efficacy of duplex RT-PCR with MUC2 and TFF1 in mucosal cancer

Oncology Reports • 16 : 411~416, 2006

Shimizu Tomoharu, Laszlo Szalay, Ya-Ching Hsieh, Suzuki Takao, Mashkoor A. Choudhry, Kirby I Bland, Irshad H. Chaudry

A role of PPAR- γ in androstenediol-mediated salutary effects on cardiac function following trauma-hemorrhage

Annals of Surgery • 244(1) : 131~138, 2006

Laszlo Szalay, Shimizu Tomoharu, Suzuki Takao, Ya-Ching Hsieh, Mashkoor A. Choudhry, Martic G. Schwacha, Kirby I. Bland, Irshad H. Chaudry

Androstenediol administration after trauma-hemorrhage attenuates inflammatory response, reduces organ damage, and improves survival following sepsis

Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol • 291 : G260~G266, 2006

Suzuki Takao, Shimizu Tomoharu, Huang-Ping Yu, Ya-Ching Hsieh, Mashkoor A. Choudhry, Kirby I. Bland, Irshad H. Chaudry

17 β -estradiol administration following trauma-hemorrhage prevents the increase in Kupffer cell cytokine production and MAPK activation predominately via estrogen receptor- α

SURGERY:141~148, 2006

Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Tani Tohru : Extracorporeal cytokine apheresis for sepsis CTR as a new therapeutic adsorbent

Critical Care Medicine • 34(3) : 926~927, 2006

Ya-Ching Hsieh, Mashkoor A. Choudhry, Huang-Ping Yu, Shimizu Tomoharu, Shaolong Yang, Suzuki Takao, Jianguo Chen, Kirby I. Bland, Irshad H. Chaudry

Inhibition of cardiac PGC-1 α expression abolishes Er β agonist-mediated cardioprotection following trauma-hemorrhage

The FASEB Journal • 20 : 1109~1117, 2006

Suzuki Takao, Shimizu Tomoharu, Laszlo Szalay, Mashkoor A. Choudhry, Loring W. Rue III,

Kirby I. Bland, Irshad H. Chaudry : Androstenediol ameliorates alterations in immune cells cytokine production capacity in a two-hit model of trauma-hemorrhage and sepsis
Cytokine • 34 : 76~84, 2006

Demura Koichi, Morikawa Shigehiro, Murakami Koichiro, Sato Koichiro, Shiomi Hisanori, Naka Shigeyuki, Kurumi Yoshimasa, Inubushi Toshiro, Tani Tohru
An easy-to-use microwave hyperthermia system combined with spatially resolved MR temperature maps: Phantom and animal studies
Journal of Surgical Research • 135 : 179~186, 2006

Ueda Yuji, Fujimura Takashi, Kinami Shinichi, Hirono Yasuo, Yamaguchi Akio, Naitoh Hiroyuki, Tani Tohru, Kaji Masahide, Yamagishi Hisakazu, Miwa Koichi
A randomized phase III trial of postoperative adjuvant therapy with S-1 alone versus S-1 plus PSK for stage II/IIa gastric cancer: Hokuriku-Kinki immunochemo-therapy study group-gastric cancer (HKIT-CG)
Japanese Journal of Clinical Oncology • 36(8) : 519~522, 2006

Uji Yoshitaka, Shimizu Tomoharu, Yoshioka Toyokazu, Yamamoto Hiroshi, Endo Yoshihiro, Tani Tohru
A case report of pulmonary-renal syndrome treated with continuous hemodiafiltration and hemodialysis
Therapeutic Apheresis and Dialysis • 10(5) : 467~471, 2006

Tsuchihashi Hiroshi, Yamamoto Hiroshi, Maeda K, Ugi S, Mori Tsuyoshi, Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Hanasawa Kazuyoshi, Tani Tohru
Circulating concentrations of adiponectin, an endogenous lipopolysaccharide neutralizing protein, decrease in rats with polymicrobial sepsis
J Surg Res • 134(2) : 348~353, 2006

Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Tsuchihashi Hiroshi, Akabori Hiroya, Yamamoto Hiroshi, Tani Tohru
Endotoxin apheresis for sepsis
Transfus Apher Sci • 35(3) : 271~282, 2006

Murata Satoshi, Scott L. Kominsky, Mustafa Vali, Dorian Korz, Sharyn Baker, James Barber, Elizabeth Jaffee, R. Todd Reilly, Saraswati Sukumar
Ductal access for prevention and therapy of mammary tumors
Cancer Research • 66(2) : 638~645, 2006

Murata Satoshi, Brian H. Ladle, Peter S Kim, Eric R. Lutz, Matthew E. Wolpoe, Susan E. Ivie, Holly M Smith, Todd D Armstrong, Leisha A. Emens, Elizabeth M. Jaffee, R. Todd Reilly
OX40 costimulation synergizes with GM-CSF whole-cell vaccination to overcome established CD8 T cell tolerance to an endogenous tumor antigen
J Immunol • 176(2) : 974~983, 2006

Yu HP, Shimizu Tomoharu, Hsieh YC, Suzuki T, Choudhry MA, Schwacha MG, Chaudry IH
Tissue-specific expression of estrogen receptors and their role in the regulation of neutrophil infiltration in various organs following trauma-hemorrhage
J Leukoc Biol • 79(5) : 963~970, 2006

Yu HP, Hsieh YC, Suzuki T, Shimizu Tomoharu, Choudhry MA, Schwacha MG, Chaudry IH
Salutary effects of estrogen receptor-beta agonist on lung injury after trauma-hemorrhage
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol • 290(5) : L1004~L1009, 2006

Song-Yuan Tang, Yen-wei Chen, Rui Xu, Yongtian Wang, Morikawa Shigehiro, Kurumi Yoshimasa
MR-CT image registration in liver cancer treatment with an open configuration MR scanner - WBIR2006, LNCS4057. 289~296 • 2006

Akabori Hiroya, Yamamoto Hiroshi, Tsuchihashi Hiroshi, Mori Tsuyoshi, Fujino Kazunori, Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Tani Tohru
Transient receptor potential vanilloid 1 receptor antagonist, capsazepine, improves survival in a rat hemorrhagic shock model
Annals of Surgery • 245(6) : 964~970, 2007

- Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru, Naka Shigeyuki, Shiomi Hisanori, Shimizu Tomoharu, Abe Hajime, Endo Yoshihiro, Morikawa Shigehiro
MR-guided microwave ablation for malignancies • Int J Clin Oncol • 12 : 85~93, 2007
- Shimizu Tomoharu, Huang-Ping Yu, Ya-Ching Hsieh, Mashkooor A. Choudhry, Suzuki Takao, Kirby I. Bland, Irshad H. Chaudry
Flutamide attenuates pro-inflammatory cytokine production and hepatic injury following trauma-hemorrhage via estrogen receptor-related pathway
Annals of Surgery • 245(2) : 297~304, 2007
- Zheng F. Ba, Ailing Lu, Shimizu Tomoharu, Laszlo Szalay, Martin G. Schwacha, Loring W. Rue III, Kirby I. Bland, Irshad H. Chaudry
17 β -estradiol modulates vasoconstriction induced by endothelin-1 following trauma-hemorrhage
Am J Physiol Heart Circ physiol • 292 : H245~H250, 2007
- Shiomi Hisanori, Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Murata Satoshi, Kurumi Yoshimasa, Uji Yoshitaka, Tani Tohru
Relations among circulating monocytes, dendritic cells, and bacterial translocation in patients with intestinal obstruction
World Journal of Surgery • 31(9) : 1806~1813, 2007
- An Byonggu, Kaida Sachiko, Miyake Tohru, Tani Tohru, Kashimoto Itsushi, Kominami Hiroshi :
Combustion of toluene over titanium(IV) oxide catalyst
Journal of the Japan Petroleum Institute • 50(5) : 283~286, 2007
- Suzuki Takao, Shimizu Tomoharu, Huang-Ping Yu, Ya-Ching Hsieh, Mashkooor A. Choudhry, Irshad H. Chaudry
Salutary effects of 17 β -estradiol on T-cell signaling and cytokine production after trauma-hemorrhage are mediated primarily via estrogen receptor- α
Am J Physiol Cell Physiol • 292 : C2103~C2111, 2007
- Shimizu Tomoharu, Huang-Ping Yu, Suzuki Takao, Laszlo Szalay, Ya-Ching Hsieh, Mashkooor A. Choudhry, Kirby I. Bland, Irshad H. Chaudry
The role of estrogen receptor subtypes in ameliorating hepatic injury following trauma-hemorrhage
Journal of Hepatology • 46 : 1047~1054, 2007
- Morii Hiroaki, Chiba Mikio, Konishi Hiroki, Endo Yoshihiro, Yamaji Akira
Failure of pain control using transdermal fentanyl during rifampicin treatment
Journal of Pain Symptom manage • 33(1) : 5~6, 2007
- Shimizu Tomoharu, Murata Satoshi, Mekata Eiji, Miyake Tohru, Abe Hajime, Kurumi Yoshimasa, Endo Yoshihiro, Kushima Ryoji, Tani Tohru: Clinical potential of an antitumor drug sensitivity test and diffusion weighted MRI in a patient with a recurrent solid pseudopapillary tumor of the pancreas • Journal of Gastroenterology • 42 : 918~922, 2007
- Oka Reachlaw, Kawamoto Masako : A space-filling three-dimensional serial polyaxis
Forma • 22:93~102, 2007
- Rui XU, Yen-Wei Chen, Song-Yuan Tang, Morikawa Shigehiro, Hasnine A Haque, Kurumi Yoshimasa
3D non-rigid image registration algorithm for MR-guided microwave thermocoagulation of liver tumors
Medical imaging Technology • 25(4) : 176~191, 2007
- Juliann G. Kiang, Russell M. Peckham, Leah E. Duke, Shimizu Tomoharu, Irshad H. Chaudry, George C. Tsokos : Androstenediol inhibits the trauma-hemorrhage-induced increase in caspase-3 by downregulating the inducible nitric oxide synthase pathway
J Appl Physiol • 102 : 933~941, 2007
- Suzuki Takao, Shimizu Tomoharu, Huang-Ping Yu, Ya-Ching Hsieh, Mashkooor A. Choudhry, Martin

G. Schwacha, Irshad H. Chaudry
Tissue compartment-specific role of estrogen receptor subtypes in immune cell cytokine production following trauma-hemorrhage
J Appl Physiol • 102 : 163~168, 2007

Suzuki Takao, Shimizu Tomoharu, Huang-Ping Yu, Ya-Ching Hsieh, Mashkooor A. Choudhry, Kirby I. Bland, Irshad H. Chaudry
Estrogen receptor- α predominantly mediates the salutary effects of 17 β -estradiol on splenic macrophages following trauma-hemorrhage
Am J Physiol Cell Physiol • 293(3) : C978~C984, 2007

Qiao Li, Takekazu Iuchi, Maria N. Jure-Kunkel, Alfred E. Chang: Adjuvant effect of anti-4-1BB mAb administration in adoptive T cell therapy of cancer
International Journal of Biological Sciences • 3 (7) • 455~462, 2007

Rui XU, Yen-Wei Chen, Song-Yuan Tang, Morikawa Shigehiro, Kurumi Yoshimasa
Parzen-window based normalized mutual information for medical image registration • IEICE Transactions on Information and Systems • E91-D(1) : 132~144, 2008

Okumura Kenji, Mekata Eiji, Shiomi Hisanori, Naitoh Hiroyuki, Abe Hajime, Endo Yoshihiro, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru
Expression level of thymidylate synthase mRNA reflects 5-fluorouracil sensitivity with low dose and long duration in primary colorectal cancer
Cancer Chemother Pharmacol • 61(4) : 587~595, 2008

Shiomi Hisanori, Naka Shigeyuki, Sato Koichiro, Demura Koichi, Murakami Koichiro, Shimizu Tomoharu, Morikawa Shigehiro, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru
Thoracoscopy-assisted magnetic resonance guided microwave coagulation therapy for hepatic tumors
The American Journal of Surgery • 195(6) : 854~860, 2008

Uji Yoshitaka, Yamamoto Hiroshi, Mori Tsuyoshi, Akabori Hiroya, Tsuchihashi Hiroshi, Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Tani Tohru
Edaravone improves the survival of rats subjected to hemorrhagic shock without resuscitation
Surgery Today • 38 : 476~477, 2008

Murakami Koichiro, Morikawa Shigehiro, Naka Shigeyuki, Demura Koichi, Sato Koichiro, Shiomi Hisanori, Kurumi Yoshimasa, Inubushi Toshiro, Tani Tohru
Correlation between High Field MR Images and Histopathological Findings of Rat Transplanted Cancer Immediately after Partial Microwave Coagulation
Magnetic Resonance in Medical Science • 7(3):105~112, 2008

Mekata Eiji, Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Tani Tohru
The rapid growth of intraluminal tumor metastases at the intestinal wall sites damaged by obstructive colitis due to sigmoid colon cancer : report of a case • Surgery Today • 38 : 862~865, 2008

Yamamoto Hiroshi, Tsuchihashi Hiroshi, Akabori Hiroya, Naitoh Hiroyuki, Maegawa Hiroshi, Tani Tohru
Postprandial Hyperglycemia After a Gastrectomy and Prediabetic State: A Comparison Between a Distal and Total Gastrectomy
Surgery Today • 38 : 685~690, 2008

Peter S. Kim, Todd D. Armstrong, Hong Song, Matthew E. Wolpoe, Vivian Weiss, Elizabeth A Manning, Lan Qing Huang, Murata Satoshi, George Sgouros, Leisha A. Emens, R. Todd Reilly, Elizabeth M. Jaffee
Antibody association with HER-2/new-targeted vaccine enhances CD8+ T cell responses in mice through Fc-mediated activation of DCs
The Journal of Clinical Investigation Vol. 118 • No. 5. • 1700~1711, 2008

Shimizu Tomoharu, Suzuki Takao, Huang Ping Yu, Yokoyama Yukihiro, Mashkooor A. Choudhry, Kirby I Bland, Irshad H. Chaudry :
The role of estrogen receptor subtypes on hepatic neutrophil accumulation following

trauma-hemorrhage :Direct modulation of CINC -1 production by Kupffer cells
Cytokine 43・88~92, 2008

Abe Hajime, Ogawa Hiroki, Okino Takashi, Kato Makoto, Sako Hirotaka, Sano Haruo, Shimomatsuya Takumi, Suwa Hirofumi, Higashide Shunichi
Bi-weekly docetaxel in the adjuvant treatment of node-positive or high-risk breast cancer patients : phase I study of the Shiga Breast Cancer Study Group
Breast Cancer・16:37~41, 2009

Simizu T, Hanasawa K, Sato K, Umeki M, Koga N, Naganuma T, Sato S, Shimonishi T, Ikeda T, Matsuno N, Ono S, Saitoh H, Satoh K, Otani Y, Endo Y, Eguchi Y, Tani T
The Clinical Significance of Serum Procalcitonin Levels following Direct Hemoperfusion with Polymyxin B-Immobilized Fiber Column in Septic Patients with Colorectal Perforation
European Surgical Research・42(2) : 109-117, 2009

Shimizu Tomoharu, Hanasawa Kazuyoshi, Sato Koichi, Umeki Masahiko, Koga Nobuhiko, Naganuma Tatsushi, Sato Seiji, Shimonishi Tomonori, Ikeda Toshiaki, Matsuno Naoto, Ono Satoshi, Saitoh Hitoshi, Satoh Koshi, Otani Yshimasa, Endo Yoshihiro, Eguchi Yutaka, Tani Tohru
PMX treatment study group:
Direct hemoperfusion with polymyxin-B-immobilized fiber columns improves septic hypotension and reduces inflammatory mediators in septic patients with colorectal perforation
Langenbecks Arch Surg 394:303~311, 2009

Kitamura Naomi, Murata Satoshi, Ueki Tomoyuki, Mekata Eiji, R. Todd Reilly, Elizabeth M Jaffee, Tani Tohru
OX40 costimulation can abrogate Foxp3+regulatory T cell-mediated suppression of antitumor immunity
Int. J. Cancer :125, 630~638, 2009

Ueki Tomoyuki, Murata Satoshi, Kitamura Nami, Mekata Eiji, Tani Tohru
Pre-treatment with cyclophosphamide or OX40(CD134) costimulation targeting regulatory T cell function enhances the anti-tumor immune effect of adoptively transferred CD8+T cells from wild-type mice
Molecular Medicine Reports・2 : 615~620・2009

Uji Yosataka, Yamamoto Hiroshi, Tsuchihashi Hiroshi, Maeda Kazuhisa, Funahashi Tohru, Shimomura Ichirou, Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Tani Tohru
Adiponectin deficiency is associated with severe polymicrobial sepsis, high inflammatory cytokine levels, and high mortality
Surgery 145(5) :550~557, 2009

Morikawa Shigehiro, Naka Shigeyuki, Murakami Koichiro, Kurumi Yoshimasa, Shiomi Hisanori, Tani Tohru,
Hasnine A. Haque, Tokuda Junichi, Hata Nobuhiko, Inubushi Toshiro: Preliminary clinical experiences of a motorized manipulator for magnetic resonance image-guided microwave coagulation therapy of liver tumors
The American Journal of Surgery(2009) 198, 340~347, 2009

Tatsuta Takeshi, Okumura Kenji, Shimizu Tomoharu, Mekata Eiji, Murata Satoshi, Yamamoto Hiroshi, Tani Tohru
Severe anorectal injury caused by a jet ski accident: report of a case
日本救急医学会雑誌 20(4) : 232-236, 2009

<和文著書>

目片英治, 清水智治, 谷 徹
大腸悪性リンパ腫—大腸悪性リンパ腫の治療法について—
消化器癌の外科治療(1)消化管 こんなときどうする Q&A ; 205~207, 2008・中外医学社

遠藤 善裕, 清水 智治, 谷 徹
血液浄化のトピックス -アフェレシスと希少疾患-
腎と透析 2008 臨時増刊号:718~721, 2008

内藤弘之, 目片英治, 山本寛, 谷 徹, 小林昶運
CD-DST 法の評価 胃癌 ー基礎臨床研究のアップデートー

日本臨牀・日本臨牀社 : 251~255, 2008

内藤弘之, 中川ひろみ, 谷 徹
早期離床とリハビリテーション ナースのための術前・術後管理マニュアル
照林社 : 109~112, 2008

来見良誠, 仲成幸
輸液治療の実際 よく出会う病態の輸液ー疾患・外傷 5. 肝疾患
レジデントノート, 11(増刊) : 158~164, 2009

奥村憲二, 龍田健, 村田聡, 山本寛, 内藤弘之, 谷徹
早期胃癌における PDE を用いた ICG 蛍光観察法によるセンチネルリンパ節生検/センチネルリンパ節同定と Navigation Surgery-胃癌
ICG 蛍光 Navigation Surgery のすべて : 144~149, 株式会社インターメディカ, 2009

阿部 元
化学療法による閉経とその臨床的意義 みんなに役立つ乳癌の基礎と臨床
医薬ジャーナル社 : 631~640, 2009

阿部 元
ガイドライン「乳癌レビュー2009」
メディカルレビュー社 : 173~179, 2009

<和文学術論文>

園田寛道, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹
過形成ポリポーシス、鋸歯状腺腫を伴った HNPCC (Hereditary Non-Polyposis Colorectal Cancer) の 1 例
日本外科系連合学会誌 31(1) : 71~75, 2006

遠藤善裕, 都築英之, 谷 徹
血液浄化器 (吸着) の種類と性能
救急・集中治療・18(1・2) : 25~30, 2006

谷 徹, 清水智治, 遠藤善裕
細菌性ショックの診断と治療
化学療法の領域・22(3) : 81~90, 2006

仲 成幸, 来見良誠, 清水智治, 塩見尚礼, 遠藤善裕, 谷 徹
人工肝臓
人工臓器・34(3) : 159~162, 2006

遠藤善裕, 谷 徹
エンドトキシン吸着療法の実際
周術期感染対策マニュアル ー抗菌薬使用法から周術期管理まで : 162~165, 2006

阿部 元, 五十嵐知之, 清水智治, 村田 聡, 三宅 亨, 貝田佐知子, 川崎誠康, 来見良誠, 谷 徹, 花澤一芳
葉状腫瘍術後に発症し、腹腔鏡下に摘出した副腎神経節神経腫の 1 例
Endocrine Surgery・23(2) : 119~122, 2006

奥村憲二, 李 哲柱, 遠藤善裕, 栗岡英明, 榎 泰之, 細川洋平, 谷 徹
虫垂炎として発症したアメーバ性大腸炎の 1 例
日本消化器外科学会雑誌・39(9) : 1547~1552, 2006

仲 成幸, 来見良誠, 川崎誠康, 塩見尚礼, 遠藤善裕, 谷 徹
肝切除における超音波吸引装置 (GUSATM) の使い方
臨床外科・61(4) : 443~447, 2006

清水智治, 谷 徹

血中エンドトキシン濃度測定の意義
日本集中治療医学会雑誌・13：168～169, 2006
清水智治, 遠藤善裕, 谷 徹
SLP(silk-worm larvae plasma)テスト

治療学・40(5)：50～52, 2006

谷 徹, 目片英治
抗癌剤感受性テストと低侵襲治療 ―新しいオーダーメイド治療―
W Waves・12(1)：18～20, 2006

Tsukada Hiroaki, Takada Tatsuyuki, Shiomi Hisanori, Torii Ryuzo, Tani Tohru
Acidic fibroblast growth factor promotes hepatic differentiation of monkey embryonic stem cells
In Vitro Cell. Dev. Biol.・41：83～88, 2006

遠藤善裕
第26回日本アフェレシス学会学術大会報告
25(3)：244～246, 2006

園田寛道, 遠藤善裕, 目片英治, 谷 徹
下行結腸、直腸多発癌治癒切除術後早期吻合部再発の1例
日本臨床外科学会雑誌・67(10)：2424～2426, 2006

来見良誠, 谷 徹, 仲 成幸, 塩見尚礼, 佐藤浩一郎, 出村公一, 園田寛道, 阿部 元, 遠藤善裕, 森川茂廣, Hasnine A Haque, 平尾佳彦, 岡田裕作
ナビゲーションサージャリーの現状と将来
Urology View・4(6)：101～109, 2006

遠藤善裕, 清水智治, 谷 徹
SOCS3によるエンドトキシンショック治療の可能性
BIO Clinica・22(1)：86～89, 2007

遠藤善裕
第43回日本人工臓器学会大会座長報告
代謝系人工臓器・人工臓器・35(1)：129～130, 2006

宇治祥隆, 草野敏臣, 飯田洋也, 湯澤浩之, 高尾貴史, 島袋誠守, 立花一幸
Granulocyte-colony stimulating factor産出胃癌の1例
日本消化器外科学会雑誌・39(6)：653～659, 2006

宇治祥隆, 秋山哲司, 田中仁人, 平山貴視, 浦山直樹, 良沢昭銘：腓仮性嚢胞に対して内視鏡下ドレナージ術を施行した4症例
肝胆膵・52(6)：975～980, 2006

山本 寛, 谷 徹
bacterial translocationとその臨床的意義
医学のあゆみ 別冊 消化器疾患 Ver.3・33～36, 2006

遠藤善裕, 都築英之, 清水智治, 山本 寛, 谷 徹
血液吸着療法が適応となる疾患とその実際(解説/特集)
Clinical Engineering・17(5)：481～487, 2006

山本 寛, 内藤弘之, 谷 徹
胃切除後食後高血糖と境界型・軽症2型糖尿病 ―幽門側胃切除後と胃全摘術の比較―
消化と吸収・29(1)：44～47, 2006

遠藤善裕, 清水智治, 谷 徹
SOCS3によるエンドトキシンショック治療の可能性
BIO Clinica・22(1)：86～89, 2007

山本 寛, 内藤弘之, 谷 徹
胃切除後食後高血糖と境界型・軽症2型糖尿病 ―幽門側胃切除後と胃全摘術の比較―

消化と吸収・The Japanese Society of Digestion and Absorption 29(1) :44~47, 2006

遠藤善裕, 田畑貴久, 清水智治, 五月女隆男, 江口 豊, 谷 徹
多臓器不全におけるサイトカイン除去 (1) 吸着カラム
臨床透析・23(4) : 425~431, 2007

遠藤善裕, 谷 徹
第26回日本アフエレス学会学術大会「座長のまとめ」
日本アフエレス学会雑誌・26(1) : 198~211, 2007

遠藤善裕
がん治療とアフエレス
日本アフエレス学会雑誌・26(2) : 219~221, 2007

川崎誠康, 仲 成幸, 塩見尚礼, 来見良誠, 亀山雅男, 谷 徹
外科的治療によって猪瀬型肝性脳症、食道静脈瘤、耐糖能障害が改善した肝硬変症の1例
臨床外科・62(7) : 983~986, 2007

清水智治, 遠藤善裕, 谷 徹
Bacterial translocationの今日的意義とその対策
侵襲と免疫・16(2) : 30~37, 2007

田中麻紀子, 小出一真 他
臍腸管遺残に起因した成人イレウスの1例
日本消化器外科学会雑誌・40(4), 2007

谷 徹, 清水智治, 遠藤善裕
PMXの開発経緯と臨床治験の結果
日本外科感染症学会雑誌・4(2) : 173~179, 2007

谷 徹
生体内透視下手術システム開発 -谷・滋賀医科大教授らの研究グループ- リアルタイムに3次元画像化
科学新聞・2007年3月2日(金), 2007

清水智治, 花澤一芳, 佐藤浩一, 梅木雅彦, 古賀伸彦, 長沼達史, 佐藤清治, 下西智徳, 池田寿昭, 松野直徒, 小野 聡, 斎藤人志, 佐藤光史, 大谷剛正, 遠藤善裕, 江口 豊, 谷 徹
下部消化管穿孔術後敗血症に対するPMX治療の有用性に関する検討
日本外科感染症学会雑誌・4(2) : 189~195, 2007

森川茂廣, 村上耕一郎, 出村公一, 脇海道孝一, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹, Hasnine A Haque, 大桃 裕, 上村英一, 森田将史, 犬伏俊郎
MRガイド下マイクロ波子宮内膜凝固治療のための電極とナビゲーションシステム
Journal of Microwave Surgery・25 : 147~152, 2007

谷 徹, 来見良誠, 仲 成幸, 森川茂廣, 出村公一
Microwave Surgeryの新たな飛翔 -マイクロ波を用いた手術デバイスの開発と実用化-
Journal of Microwave Surgery・25 : 31~36, 2007

貝田佐知子, 塩見尚礼, 仲 成幸, 遠藤善裕, 来見良誠, 石田光明, 谷 徹
大腸癌に併存した陳旧性肝内血腫の1切除例
日本臨床外科学会雑誌・68(11) : 2836~2841・2007

遠藤善裕, 清水智治, 谷 徹
サイトカイン・ストームに対するPMX治療の効果
化学療法の領域・23(10) : 1594~1602, 2007

谷 徹, 山本好男, 遠藤善裕, 重原 格, 樫本逸志, 西村雅宏, 清水宏益, 馬場敏勝
酸化チタン加熱による医療廃棄物処理法開発の基礎的検討
人工臓器・36(3) : 218~219, 2007

田畑貴久, 江口 豊, 遠藤善裕, 清水智治, 山本 寛, 森 毅, 赤堀浩也, 宇治祥隆, 谷 徹
重症病態でのSLP活性化物質のトランスロケーションの実験的検討

SHOCK・22(2) : 20~26, 2007

清水智治, 遠藤善裕, 目片英治, 村田 聡, 谷 徹
抗癌剤によるアナフィラキシーショックの現状 —アンケート調査の報告—
SHOCK・22(2) : 41~48, 2007

塩見尚礼, 清水智治, 遠藤善裕, 山本 寛, 村田 聡, 来見良誠, 谷 徹
腸閉塞患者での bacterial translocation の評価
SHOCK・22(2) : 34~37, 2007

遠藤善裕, 都築英之, 清水智治, 山本 寛, 谷 徹
血液吸着療法—新たな展開
Annual Review 腎臓:153~159・中外医学社, 2007

村田 聡, 谷 徹
消化器外科の術式別ドレーン管理—胃全摘術—: 消化器外科 NURSING2007
メディカ出版 春季増刊:127~133, 2007

山本 寛, 赤堀 浩也, 土橋 洋史, 宇治 祥隆, 清水 智治, 藤野 和典, 遠藤 善裕, 谷 徹
ラット出血性ショック (HS) モデルにおけるカプサイシン受容体 (TRV1) 拮抗剤カプサゼピン (CPZ)
の効果について
SHOCK・22(2) : 91~94, 2007

川崎誠康, 来見良誠, 内藤弘之, 山本寛, 遠藤善裕, 目片英治, 仲成幸, 塩見尚礼, 阿部元, 亀山雅男,
谷 徹
小腸イレウスの診断と手術適応基準の検討
日本臨床外科学会雑誌 68(6) : 1369~1376, 2007

来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼
胆嚢床からの遊離
動画でわかる腹腔鏡下胆嚢摘出術 基本から技術認定まで:183~186・中山書店, 2008

石橋昭治, 若林正人, 小川智道
回腸の断裂とS状結腸の壊死を来した鈍的腹部外傷の1例
滋賀医学・30 : 67~69, 2008

山本 寛, 前田 和久, 下村 伊一郎, 谷 徹
腹部外科手術の周術期における血中アディポネクチンの測定
意義について・肥満研究・14(2) :174~179, 2008

来見 良誠, 仲 成幸, 塩見 尚礼, 佐藤 浩一郎, 村上 耕一郎, 井内 武和, 山口 剛, 出
村 公一, 清水 智治, 目片 英治, 阿部 元, Hasnine A Haque, 森川 茂廣, 谷 徹
MRI 術中ナビゲーションによる肝癌治療
胆と膵 Vol. 29 臨時増刊特大号:1127~1138, 2008

村田 聡
胃のケア—問—答/新人ナースのための術前術後ケア—問—答
消化器外科 Nursing2008, Vol. 13. no4(345) :22~33, 2008

江口 豊, 中永 士師明, 谷 徹
肝不全における Plasma Dia-Filtration (PDF)-Plasma Filtration with Dialysis-療法
日本アフェレシス学会雑誌 27 (3) :211~215, 2008

清水 智治, 塩見 尚礼, 遠藤 善裕, 村田 聡, 山本 寛, 来見 良誠, 谷 徹
末梢血探求数変動による腸閉塞患者での bacterial translocation の予測
日本外科感染症学会雑誌 5 (1) : 19~24, 2008

古川 顕, 金崎 周造, 若宮 誠, 田中 豊彦, 河野 直明, 外山 哲也, 土屋 桂子, 村田 喜
代史, 谷 徹, 坂本 力
救急画像診断における私の教訓症例[最終回]
臨床画像 Vol. 24・No. 12:1492~1496, 2008

仲 成幸, 塩見 尚礼, 井内 武和, 来見 良誠, 河野 直明, 田中 豊彦, 新田 哲久, 古川 顕, 谷 徹

鈍的肝損傷および脾損傷に対する治療法の選択—手術・IVRの位地づけ—
日本腹部救急医学会雑誌 28(6):809~812, 2008

清水 智治, 谷 徹
新しい吸着剤の応用 サイトカイン除去

腎と透析 2008 臨時増刊号:705~709, 2008

山本 寛, 内藤 弘之, 村田 聡, 来見 良誠, 谷 徹
ポートサイト再発をきたした胃 GIST の 1 例
日本内視鏡外科学会雑誌・14(3):307~312, 2009

仲川 満弓, 岩川 裕美, 栗原 美香, 池田 麻美, 丈達 知子, 船越 紀子, 兼田 千尋, 中西 直子, 佐々木 雅也, 柏木 厚典, 塩見 尚礼, 仲 成幸, 来見 良誠, 谷 徹
間接熱量測定を用いた肝切除周術期の栄養管理
栄養—評価と治療 vol. 25 no. 6 33:33(493)~36(496), 2009

園田 寛道, 山本 寛, 村田 聡, 谷 徹
胃癌手術における ICG 蛍光法を用いたセンチネルリンパ節同定法
外科 Vol. 71 No. 9(2009-9):943~946, 2009

<記事>

谷 徹
滋賀医大と大阪の医療機器メーカー マイクロ波使うメス開発 手術用で世界初 費用なども軽減 2年以内に実用化へ
毎日新聞・2006年4月14日(金), 2006

村田 聡
乳がん切除回避の新治療法 乳頭から抗がん剤 滋賀医科大助手ら開発
2006年4月15日(土)夕刊, 2006

谷 徹
滋賀医科大教授ら マイクロ波の切断機開発 2年以内 販売目指す
京都新聞・2006年4月14日(金), 2006

谷 徹
大腸がん 増える治療の選択肢 肛門温存術後の QOL 保つ
京都新聞・2006年3月7日(火), 2006

谷 徹
三次元画像で手術可能に 滋賀医大システム開発
2007年3月4日(日)・えひめ新聞, 2007

谷 徹
3次元画像もとに”透視”手術 滋賀医大開発
2007年3月5日(月)・四国新聞, 2007

谷 徹
MRIで3次元画像 手術中、体内を”透視” 滋賀医大、システム開発
2007年3月5日(月)・岐阜新聞, 2007

谷 徹
手術中に体内”透視” 3次元画像システム 滋賀医大が開発
2007年3月5日(月)・東奥日報, 2007

谷 徹
手術中に体内「透視」 MRIの3次元画像と照合 滋賀医大開発 安全性の向上に寄与
2007年3月5日(月)・新潟日報, 2007

谷 徹
体内”透視”し手術 「3次元画像」を利用 3年後の実用化目指す 滋賀医大など開発
2007年3月5日(月)・秋田魁新報, 2007

谷 徹
手術中に体内”透視” 滋賀医大 3次元画像を開発
2007年3月5日(月)・北日本朝刊, 2007

谷 徹
手術中に体内「透視」 滋賀医大など3年後実用化 MRIで3次元画像
2007年3月5日(月)・高知新聞, 2007

谷 徹
”透視”しながら手術可能
2007年3月5日(月)・福井新聞, 2007

谷 徹
手術中に体内”透視” 滋賀医大開発 3次元画像を作成
2007年3月5日(月)・北國新聞, 2007

谷 徹
体内の3次元画像見て手術 滋賀医大がシステム・
2007年3月5日(月)・山形M新聞, 2007

谷 徹
3次元画像”透視”手術 滋賀医大
2007年3月5日(月)・山陰中央新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解、無害に 滋賀医大、酸化チタン利用
2007年6月11日(月)・神戸新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解処理 滋賀医大 装置を共同開発
2007年6月11日(月)・京都新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解、無害に 滋賀医大、酸化チタン利用
2007年6月11日(月)・東京新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解、無害に 滋賀医大、酸化チタン利用
2007年6月11日(月)・北海道新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解、無害に 滋賀医大、酸化チタン利用
2007年6月11日(月)・中国新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解、無害に 滋賀医大、酸化チタン利用
2007年6月11日(月)・河北新報, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解、無害に 滋賀医大、酸化チタン利用
2007年6月11日(月)・中日新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解、無害に 滋賀医大、酸化チタン利用
2007年6月11日(月)・京都新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解、無害に 滋賀医大、酸化チタン利用

2007年6月11日(月)・山陰中央新報, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解、無害に 滋賀医大、酸化チタン利用
2007年6月11日(月)・秋田魁新報, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解、無害に 滋賀医大、酸化チタン利用
2007年6月11日(月)・福井新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解、無害に
2007年6月11日(月)・徳島新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解、無害に
2007年6月11日(月)・山梨日日新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物を分解、無害に
2007年6月11日(月)・東奥新聞, 2007

谷 徹
滋賀医科大 ガーゼや手袋、触媒で分解 廃棄物処理装置公開 2次感染防止に一役
2007年6月12日(火)・京都新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物 無害に分解 滋賀医科大など装置開発
2007年6月12日(火)・中日新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物処理装置を共同開発 草津電機と滋賀医大
2007年6月12日(火)・毎日新聞, 2007

谷 徹
医療廃棄物燃やさず処理
2007年6月14日(木)・朝日新聞, 2007

森川茂廣
医療最前線 現場を支える新技術 病変早期発見し迅速治療
2007年10月31日(水)・日刊工業新聞, 2007

谷 徹, 花澤 一芳, 青木 裕彦
「トレミキシン」開発物語 敗血症に陥った人たちの命を救う世界初の血液浄化器
NPO 法人 日医文化総研, 2008

谷 徹
滋賀医科大学の挑戦・21世紀の科学技術イノベーション 日本の進むべき道
129~143・丸善プラネット株式会社, 2009

阿部元
乳がんの最新治療～最適な治療法を選択する乳がんの診断法～・滋賀医大病院ニュース
TOPICS・第22号, 2009

<座談会>

遠藤善裕, 目片英治
「大腸癌化学療法」関西地区座談会・大腸癌標準化学療法の普及と定着
Therapeutic Research・27(7):1251~1258・2006

来見 良誠
第7回肝切除術の周術期輸液管理 ・知っているようで知らない この疾患への輸液療法
レジデントノート 9(12) 3, 2008

【学会発表】

<国際学会>

Akabori Hiroya, Yamamoto Hiroshi, Tsuchihashi Hiroshi, Mori Tsuyoshi, Fujino Kazunori, Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Tani Tohru

The vanilloid receptor-1 antagonist, capsazepine, improves survival in a rat hemorrhagic shock model

29 th Annual Conference on Shock, June 2006, Colorado, USA

Tsuchihashi Hiroshi, Yamamoto Hiroshi, Maeda Kazuhisa, Ugi Satoshi, Mori Tsuyoshi, Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Hanasawa Kazuyoshi, Tani Tohru

Circulating concentrations of adiponectin, an endogenous lipopolysaccharide neutralizing protein, decrease in rats with polymicrobial sepsis

29th Annual Conference on Shock, June 2006, Colorado, USA

Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Hanasawa Kazuyoshi, Yamamoto Hiroshi, Murata Satoshi, Tsuchihashi Hiroshi, Akabori Hiroya, Uji Yoshitaka, Tani Tohru

Direct hemoperfusion with polymyxin B immobilized fiber reduces plasma levels of microphage migration inhibitory factor in patients with septic shock due to peritonitis

29th Annual Conference on Shock, June 2006, Colorado, USA

Endo Yoshihiro, Mekata Eiji, Shiomi Hisanori, Naka Shigeyuki, Kurumi Yoshimasa, Morikawa Shigehiro, Inubushi Toshiro, Tani Tohru

MR-guided surgery for advanced colorectal cancer - Association of Surgeons of Great Britain and Ireland, Annual Scientific Meeting ' The Compleat Surgeon'

May 2006, Edinburgh, Great Britain and Ireland

Naka Shigeyuki, Kurumi Yoshimasa, Morikawa Shigehiro, Shiomi Hisanori, Tani Tohru, Hasnine A Haque

MR guided microwave surgery for liver tumor with MR gradient-based tracking system

14th Scientific Meeting and Exhibition, May 2006, Washington, USA

Okumura Kenji, Mekata Eiji, Shiomi Hisanori, Endo Yoshihiro, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru

Targeted therapies and clinical translational research
The 1st AACR International Conference on Molecular Diagnostics in Cancer Therapeutic Development: Maximizing Opportunities for Individualized Treatment, September

2006, Chicago, USA

K Murakami, S. Naka, K. Demura, K. Sato, H. A. Haque, H. Shiomi, S. Morikawa, Y. Kurumi, T. Tani

Intra-abdominal image tracking system with MR gradient-based tracking device

6th Interventional MRI Symposium, Leipzig, September 2006, Germany

Suzuki Tadao, Shimizu Tomoharu, HP Yu, YC Hsieh, MA Choudhry, MG Schwacha, IH Chaudry

17 β -estradiol administration following trauma-hemorrhage prevents the suppression in T-cell cytokine production and mapk activation predominantly via estrogen receptor- α

29th Annual conference on SHOCK - 2006

Z.F. Ba, Shimizu Tomoharu, L. Szalay, M.G. Schwacha, L.W. Rue III, K.I. Bland, I.H. Chaudry

17 β -estradiol modulates vasoconstriction induced by endothelin-1 following trauma-hemorrhage

29th Annual conference on SHOCK - 2006

Tani Tohru, Endo Yoshihiro, Shimizu Tomoharu

Registration of Apheresis in Japan

6th World Congress of the International Society for Apheresis, World Apheresis Association
11th Congress, March 2007, Yokohama

Uji Yoshitaka, Endo Yoshihiro, Yoshioka Toyokazu, Akabori Hiroya, Tsuchihashi Hiroshi, Shimizu Tomoharu, Yamamoto Hiroshi, Tani Tohru

Three cases of pulmonary-renal syndrome in our hospital

6th World Congress of the International Society for Apheresis, World Apheresis Association
11th Congress, March 2007, Yokohama

Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Hanasawa Kazuyoshi, Abe Hajime, Uji Yoshitaka, Yoshioka Toyokazu, Tabata Takahisa, Eguchi Yutaka, Sato Koichi, Umeki Masahiko, Koga Nobuhiko, Naganuma Tatsushi, Sato Seiji, Matsuno Naoto, Ikeda Toshiaki, Otani Yoshimasa, Ono Satoshi, Mochizuki Hidetaka, Saitoh Hitoshi, Tani Tohru

Direct-hemoperfusion with polymyxinB immobilized fiber improves hemodynamic dysfunction and reduces plasma inflammatory mediators in septic patients subsequent to colorectal perforation

6th World Congress of the International Society for Apheresis, World Apheresis Association
11th Congress, March 2007, Yokohama

Shimizu Tomoharu, Tsuchihashi Hiroshi, Endo Yoshihiro, Yamamoto Hiroshi, Abe Hajime, Kurumi Yoshimasa, Murata Satoshi, Akabori Hiroya, Uji Yoshitaka, Tani Tohru

Alteration in plasma macrophage migration inhibitory factor in patients with septic shock due to peritonitis during direct-hemoperfusion with Toraymyxin

6th World Congress of the International Society for Apheresis, World Apheresis Association
11th Congress, March 2007, Yokohama

Tsuchihashi Hiroshi, Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Yamamoto Hiroshi, Abe Hajime, Kurumi Yoshimasa, Murata Satoshi, Akabori Hiroya, Uji Yoshitaka, Tani Tohru

Alteration in plasma macrophage migration inhibitory factor in patients with septic shock due to peritonitis during direct-hemoperfusion with Toraymyxin

6th World Congress of the International Society for Apheresis, March 2007, Yokohama

Abe Hajime, Shimizu Tomoharu, Demura Koichi, Tsuchihashi Hiroshi, Cho Hiroto, Murata Satoshi, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru

Fluorescence navigation with indocyanine green for sentinel lymph node biopsy in breast cancer

American Association for Cancer Research Annual Meeting 2007, April 2007, Los Angeles, USA

Abe Hajime, Shimizu Tomoharu, Naka Shigeyuki, Shiomi Hisanori, Demura Koichi, Murakami Koichiro, Kurumi Yoshimasa, Morikawa Shigehiro, Tani Tohru

Open-configuration magnetic resonance (MR) guided microwave thermocoagulation treatment for breast tumors: Preliminary report of hepatic metastases and resected breast tumors

43rd Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology, June 2007, Chicago, USA

Murata Satoshi, Mekata Eiji, Kitamura Naomi, Ueki Tomoyuki, Shiomi Hisanori, Okumura Kenji, Tatsuta Takeshi, Abe Hajime, Endo Yoshihiro, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru

OX40 costimulation with GM-CSF secreting vaccine overcomes CD8 T cell tolerance and enhances antitumor immune responses

66th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, October 2007, Yokohama

Abe Hajime, Shimizu Tomoharu, Cho Hiroto, Murata Satoshi, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru
Fluorescence navigation system with indocyanine green for sentinel lymph nodes biopsy in breast cancer patients

European Breast Cancer Conference (EBCC - 6), April 2008, Berlin Germany

Uji Yoshitaka, Yamamoto Hiroshi, Tsuchihashi Hiroshi, Akabori Hiroya, Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Tani Tohru

Adiponectin deficiency exacerbates the concentration of plasma endotoxin and the production of inflammatory mediators in mice with polymicrobial sepsis

The 10th Biennial Meeting of the International Endotoxin and Innate Immunity Society (IEIIS), July 2008, Edinburgh, Scotland

Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Hanasawa Kazuyoshi, Uji Yoshitaka, Tabata Takahisa, Eguchi Yutaka, Sato Koichi, Umeki Masahiko, Koga Nobuhiko, Naganuma Tatsushi, Sato Seiji, Matsuno Naoto, Ikeda Toshiaki, Otani Yoshimasa, Ono Satoshi, Mochizuki Hidetaka, Saitoh Hitoshi, Tani Tohru

Direct-hemoperfusion with polymyxin-B immobilized fiber column improves septic hypotension

and reduces inflammatory mediators in septic patients subsequent to colorectal perforation
The 10th Biennial Meeting of the International Endotoxin and Innate Immunity Society (IEIIS), July 2008, Edinburgh, Scotland

Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Hanasawa Kazuyoshi, Uji Yoshitaka, Tabata Takahisa, Eguchi Yutaka, Sato Koichi, Umeki Masahiko, Koga Nobuhiko, Naganuma Tatsushi, Sato Seiji, Matsuno Naoto, Ikeda Toshiaki, Otani Yoshimasa, Tani Tohru Direct-Hemoperfusion with Polymyxin-B immobilized fiber column improves septic hypotension and reduces inflammatory mediators in septic patients subsequent to colorectal perforation
6th Congress of the International Federation of Shock Societies (IFSS) · June 2008, Cologne, Germany

Endo Yoshihiro

Cytokine removal by apheresis techniques in the critically ill
12th World Apheresis Association and 7th International Society for Apheresis 『Indications and reimbursement for apheresis therapy in Japan』, March 2008, Buenos Aires, Argentina

Yoshihiro Kubota, Koichiro Sato, Hiroto Cho, Hajime Abe, Yoshimasa Kurumi, Toru Tani, Takahide Yanagi, Shigeki Koshida.

A case of fetal midgut volvulus and duodenal atresia.

The Second Kyoto-Seoul Joint Meeting of Pediatric Surgery. October, 2008. Kyoto, Japan.

Hiroshi Yamamoto, Naito Hiroyuki, Murata Satoshi, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru
The navel port site recurrence after laparoscopic partial GASTRECTOMY for Gastric GIST: A case report

11th World Congress of the Endoscopic Surgery, September 2008, Yokohama

Yamamoto Hiroshi, Maeda Kazuhisa, Uji Yoshitaka, Shimomura Ichiro, Tani Tohru
Reduction of plasma adiponectin levels and risk of bacterial infection after major abdominal surgery

2nd Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association (APHPBA 2009), March 2009, Thailand

Maeda Kazuhisa, Yamamoto Hiroshi, Uji Yoshitaka, Shimomura Ichiro, Tani Tohru
Reduction of plasma adiponectin levels and risk of bacterial infection after major abdominal surgery

2nd Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association (APHPBA 2009), March 2009, Thailand

【学会発表】

<全国学会>

目片英治, 遠藤善裕, 内藤弘之, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
大腸癌治療における感受性試験 (CD-DST 法) を用いた併用療法についての検討
第 106 回日本外科学会定期学術集会, 2006 年 3 月, 東京

清水智治, 鈴木崇生, Huang-ping Yu, 谷 徹, Irshad H. Chaudry
Flutamide reduces hepatic injury and proinflammatory cytokine production following trauma-hemorrhage via estrogen receptor related pathway
第 106 回日本外科学会定期学術集会, 2006 年 3 月, 東京

内藤弘之, 山本 寛, 目片英治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 清水智治, 村田 聡, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
進行胃癌症例における Docetaxel の血中、腹水中の薬物動態
第 106 回日本外科学会定期学術集会, 2006 年 3 月, 東京

園田寛道, 遠藤善裕, 目片英治, 貝田佐知子, 来見良誠, 河野直明, 古川 顕, 村田喜代史, 谷 徹
MRI 拡散強調画像を用いた大腸癌術前リンパ節転移診断の試み
第 106 回日本外科学会定期学術集会 · , 2006 年 3 月, 東京

仲 成幸, 来見良誠, 塩見尚礼, 村上耕一郎, 出村公一, 佐藤浩一郎, 遠藤善裕, 谷 徹, 森

川茂廣, Haque Hasnine
肝腫瘍治療における EndoScout System による術中リアルタイム MRI ナビゲーションの有用性
第 106 回日本外科学会定期学術集会, 2006 年 3 月, 東京

塩見尚礼, 仲 成幸, 清水智治, 山本 寛, 村田 聡, 目片英治, 内藤弘之, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
大腸癌同時性多発肝転移 (H3) 症例に対する集学的治療におけるマイクロ波凝固術の有用性
第 106 回日本外科学会定期学術集会, 2006 年 3 月, 東京

貝田佐知子, 阿部 元, 三宅 亨, 清水智治, 村田 聡, 来見良誠, 谷 徹
腺腫様甲状腺腫術後 16 年目に発症した自律性機能性甲状腺結節 (AFTN) の 1 例
第 18 回日本内分泌外科学会総会, 2006 年 5 月, 岐阜

来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼, 川崎誠康, 三宅 亨, 貝田佐知子, 清水智治, 村田 聡, 内藤弘之, 阿部 元, 遠藤善裕, 谷 徹
IT ナイフを用いた腹腔鏡下胆嚢摘出術
第 18 回日本肝胆膵外科関連会議, 2006 年 5 月, 東京

仲 成幸, 来見良誠, 塩見尚礼, 村上耕一郎, 出村公一, 佐藤浩一郎, 遠藤善裕, 森川茂廣, Hasnine Haque, 谷 徹
傾斜磁場位置検出センサによるリアルタイム MR ナビゲーションシステムの有用性
第 18 回日本肝胆膵外科関連会議, 2006 年 5 月, 東京

塩見尚礼, 仲 成幸, 川崎誠康, 目片英治, 来見良誠, 谷 徹
肝細胞癌に対する抗癌剤感受性テスト (CD-DST 法)
第 18 回日本肝胆膵外科関連会議, 2006 年 5 月, 東京

土橋 洋史, 山本 寛, 前田 和久, 卯木 智, 森 毅, 清水 智治, 遠藤 善裕, 花澤 一芳, 谷 徹
アディポサイトカイン adiponectin の LPS 中和作用とラット腹膜炎モデルにおける変動について
第 21 回日本 Shock 学会総会, 2006 年 5 月, 札幌

谷 徹, 来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼, 遠藤善裕, 内藤弘之, 目片英治, 森川茂廣
低侵襲外科治療と抗癌剤感受性テストによる再発後の新しい腫瘍治療ストラテジー
第 31 回日本外科系連合学会学術集会, 2006 年 6 月, 金沢

塩見尚礼, 仲 成幸, 川崎誠康, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 内藤弘之, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
転移性肝腫瘍 (特に大腸癌肝転移) に対するマイクロ波凝固療法の治療成績
第 31 回日本外科系連合学会学術集会, 2006 年 6 月, 金沢

来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼, 佐藤浩一郎, 出村公一, 遠藤善裕, Hasnine A Haque, 森川茂廣, 犬伏俊郎, 谷 徹
外科手術における術前シミュレーションと術中ナビゲーション
第 31 回日本外科系連合学会学術集会, 2006 年 6 月, 金沢

内藤弘之, 山本 寛, 村田 聡, 園田寛道, 来見良誠, 谷 徹
進行胃癌症例に対する術中温熱化学療法の有用性
第 31 回日本外科系連合学会学術集会, 2006 年 6 月, 金沢

塩見尚礼, 仲 成幸, 川崎誠康, 目片英治, 花澤一芳, 来見良誠, 谷 徹
膵癌に対する抗癌剤感受性テスト (CD-DST 法) の臨床への応用
第 37 回日本膵臓学会大会, 2006 年 6 月, 横浜

内藤弘之, 山本 寛, 村田 聡, 阿部 元, 谷 徹
リンパ節再発に MRI 拡散強調画像が有用であった m3 食道癌の 1 例
第 60 回日本食道学会学術集会, 2006 年 6 月, 東京

羽野嘉文, 阿部 元, 清水智治, 村田 聡, 河合由紀, 北村直美, 堀川尚子, 梅田朋子, 来見良誠, 沼 謙司, 谷 徹
術前に自然縮小を認めた乳腺粘液癌の 1 例
第 14 回日本乳癌学会学術総会, 2006 年 7 月, 金沢

貝田佐知子, 阿部 元, 清水智治, 村田 聡, 河合由紀, 北村直美, 堀川尚子, 来見良誠, 谷 徹
根治切除術が可能となった巨大局所進行乳癌の1例
第14回日本乳癌学会学術総会, 2006年7月, 金沢

清水智治, 村田 聡, 阿部 元, 仲 成幸, 塩見尚礼, 来見良誠, 村上耕一郎, 出村公一, 森川茂
廣, 谷 徹
乳癌治療に対するリアルタイムMRIガイド下マイクロ波凝固療法応用の試み
第14回日本乳癌学会学術総会, 2006年7月, 金沢

阿部 元, 清水智治, 村田 聡, 河合由紀, 北村直美, 堀川尚子, 梅田朋子, 来見良誠, 谷 徹
乳癌遊離がん細胞 (CTC) の検出と臨床応用の可能性
第14回日本乳癌学会学術総会, 2006年7月, 金沢

村田 聡, 清水智治, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
乳管ネットワークを利用した乳癌治療と予防の試み
第14回日本乳癌学会学術総会, 2006年7月, 金沢

村上耕一郎, 阿部 元, 清水智治, 村田 聡, 貝田佐知子, 来見良誠, 長谷川 均, 藤田益嗣, 田
中久富, 谷 徹
嚢胞内乳頭腫および乳癌との鑑別が困難であった乳腺 ductal adenoma の1例
第14回日本乳癌学会学術総会, 2006年7月, 金沢

村田 聡, 内藤弘之, 山本 寛, 園田寛道, 清水智治, 川崎誠康, 目片英治, 遠藤善裕, 来見良誠,
谷 徹
胃癌腹膜播種に対する治療戦略: T3、T4 胃癌症例に対する術中温熱化学療法の治療効果
第61回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006年7月, 横浜

目片英治, 遠藤善裕, 内藤弘之, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
FOLFIRI、FOLFOX を念頭においた併用療法についての検討 (CD-DST 法を用いて)
第61回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006年7月, 横浜

清水智治, 遠藤善裕, 山本 寛, 村田 聡, 阿部 元, 土橋洋史, 来見良誠, 谷 徹
消化管穿孔手術症例での SLP テストの変動
第61回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006年7月, 横浜

川崎誠康, 仲 成幸, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷 徹
急性胆嚢炎に対する治療法の検討 - 診療ガイドラインをふまえて -
第61回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006年7月, 横浜

仲 成幸, 来見良誠, 塩見尚礼, 村上耕一郎, 出村公一, 佐藤浩一郎, 遠藤善裕, Hasnine A Haque,
森川茂廣, 谷 徹
体腔内で使用可能なMRIナビゲーションシステムによる開腹下マイクロ波凝固療法
第61回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006年7月, 横浜

来見良誠, 森川茂廣, 仲 成幸, 塩見尚礼, 川崎誠康, 佐藤浩一郎, 出村公一, 村上耕一郎, 遠
藤善裕, 谷 徹
リアルタイムMR画像と高精度3次元同期複合画像を用いたコンピュータ支援手術の最先端
第61回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006年7月, 横浜

山本 寛, 内藤弘之, 園田寛道, 三宅 亨, 谷 徹
当院における胃癌術後のSSIの現状と予防策について
第61回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006年7月, 横浜

内藤弘之, 山本 寛, 園田寛道, 目片英治, 遠藤善裕, 塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 徹
胃癌切除例の治療成績
第61回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006年7月, 横浜

三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 塩見尚礼, 山本 寛, 内藤弘之, 阿部 元, 来見良
誠, 谷 徹
多発大腸癌の臨床像
第61回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006年7月, 横浜

園田寛道, 内藤弘之, 山本 寛, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
リンパ節微小転移の観点からみた胃粘膜癌に対する内視鏡治療の適応拡大の可能性
第 61 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006 年 7 月, 横浜

遠藤善裕, 目片英治, 来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼, 阿部 元, 清水智治, 谷 徹, 森川茂
廣, 犬伏俊郎
進行再発直腸癌に対する MRI navigation surgery
第 61 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006 年 7 月, 横浜

花澤一芳, 佐藤浩一, 梅木雅彦, 古賀伸彦, 長沼達史, 佐藤清治, 池田寿昭, 小野 聡, 斉藤人
志, 谷 徹
下部消化管穿孔性腹膜炎術後敗血症に対する PMX 治療の有用性に関する多施設臨床研究
第 61 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006 年 7 月, 横浜

塩見尚礼, 仲 成幸, 川崎誠康, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
大腸癌多発肝転移症例に対する治療戦略におけるマイクロ波凝固術の位置づけ
第 61 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006 年 7 月, 横浜

森川茂廣, 犬伏俊郎, 村上耕一郎, 出村公一, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹, ハック ハスナ
イン
先端の屈曲した MR 対応マイクロ波電極による MR 撮像面のコントロール
第 34 回日本磁気共鳴医学会大会, 2006 年 9 月, 筑波

森川茂廣, 村上耕一郎, 森田将史, 犬伏俊郎, 槇 純一, 増田千明, 遠山育夫
19F Fast Spin Echo による 5-FU 画像化に対する Fast Recovery の効果・
第 34 回日本磁気共鳴医学会大会, 2006 年 9 月, 筑波

森川茂廣, 犬伏俊郎, 森田将史, 村上耕一郎, 出村公一, 仲 成幸, 来見良誠, ハック ハスナ
イン, 波多伸彦
MR 画像ガイド下肝腫瘍治療のための標的自動追尾型穿刺支援ロボット
第 34 回日本磁気共鳴医学会大会, 2006 年 9 月, 筑波

谷 徹, 来見良誠, 遠藤善裕, 仲 成幸, 塩見尚礼, Hasnine A Haque, 犬伏俊郎, 森川茂廣
オープン MR 画像とマイクロ波応用機器の融合による次世代手術システム
第 34 回日本磁気共鳴医学会大会, 2006 年 9 月, 筑波

村田 聡, 目片英治, 北村直美, 植木智之, 塩見尚礼, 園田寛道, 内藤弘之, 奥村憲二, 来見良誠,
谷 徹
腫瘍抗原特異的免疫寛容状態からの抗腫瘍細胞性免疫・液性免疫の誘導
第 65 回日本癌学会学術総会, 2006 年 9 月, 横浜

園田寛道, 遠藤善裕, 目片英治, 谷 徹
MRI 拡散強調画像を用いた大腸癌術前リンパ節転移診断
第 61 回日本大腸肛門病学会総会, 2006 年 9 月, 弘前

目片英治, 遠藤善裕, 園田寛道, 奥村憲二, 谷 徹
FOLFOX、FOLFIRI を念頭においた感受性試験 (CD-DST 法)
第 61 回日本大腸肛門病学会総会, 2006 年 9 月, 弘前

遠藤善裕, 目片英治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村田 聡, 清水智治, 山本 寛, 阿部 元, 来見良誠,
谷 徹
大腸癌同時性多発肝転移 (H3) 症例に対するマイクロ波凝固療法を用いた集学的治療の有用性
第 61 回日本大腸肛門病学会総会, 2006 年 9 月, 弘前

村上耕一郎, 来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼, 出村公一, 佐藤浩一郎, 森川茂廣*, 谷 徹
MR-Compatible Endoscope 用マイクロ波凝固電極の検討
第 27 回 Microwave Surgery 研究会, 2006 年 9 月, 京都

奥村憲二, 目片英治, 塩見尚礼, 阿部元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
TS は原発性大腸癌において 2 つの異なる投与法における 5-FU 感受性の予測因子となり得る

第 44 回日本癌治療学会総会, 2006 年 10 月, 東京

谷 徹, 山本好男, 遠藤善裕, 重原 格, 櫻本逸志, 西村雅宏, 清水宏益, 馬場敏勝
酸化チタン加熱による医療廃棄物処理法開発の基礎的検討
第 44 回日本人工臓器学会大会, 2006 年 10 月, 横浜

谷 徹, 来見良誠, 遠藤善裕, 仲 成幸, 塩見尚礼, Hasnine A Haque, 犬伏俊郎, 森川茂廣
生体内透視画像下次世代手術 -オープン MR とマイクロ波デバイス-
第 44 回日本人工臓器学会大会, 2006 年 10 月, 横浜
宇治祥隆, 遠藤善裕, 植木智之, 赤堀浩也, 土橋洋史, 清水智治, 山本 寛, 谷 徹, 杉浦正和
新規合成生体接着剤の消化管創に対するシーリング効果
第 44 回日本人工臓器学会大会, 2006 年 10 月, 横浜

仲 成幸, 来見良誠, 塩見尚礼, 村上耕一郎, 佐藤浩一郎, 出村公一, 遠藤善裕, 谷 徹, 森川茂廣, Hasnine A Haque
リアルタイム MRI ナビゲーションシステムによる低侵襲手術の試み
第 44 回日本人工臓器学会大会, 2006 年 10 月, 横浜

岡利一郎
一筆書き 3D 多軸体-Peano-Hilbert 曲線/Euler-Hamilton 路
第 62 回形の科学シンポジウム, 2006 年 11 月, 大阪

Murata Satoshi, Mekata Eiji, Kitamura Naomi, Ueki Tomoyuki, Miyake Tohru, Kaida Sachiko, Tani Tohru
Breaking CD8 T cell tolerance and enhancing antitumor immunity by OX40 costimulation with GM-CSF secreting vaccine in the immune tolerance setting
第 36 回日本免疫学会総会・学術集会・2006 年 11 月, 大阪

塩見尚礼, 来見良誠, 仲 成幸, 佐藤浩一郎, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 内藤弘之, 遠藤善裕, 花澤一芳, 谷 徹
当科における胆道再建(胆管空腸吻合)の工夫
第 68 回日本臨床外科学会総会, 2006 年 11 月, 広島

奥本亜希子, 阿部 元, 清水智治, 出村公一, 奥村憲二, 佐藤浩一郎, 土橋洋史, 園田寛道, 張弘富, 村田 聡, 来見良誠, 谷 徹
乳癌脈絡膜転移の 1 例
第 68 回日本臨床外科学会総会, 2006 年 11 月, 広島

武田尚子, 阿部 元, 清水智治, 出村公一, 奥村憲二, 佐藤浩一郎, 土橋洋史, 園田寛道, 張弘富, 村田 聡, 来見良誠, 谷 徹
Diabetic mastopathy の 1 例
第 68 回日本臨床外科学会総会, 2006 年 11 月, 広島

竹林克士, 園田寛道, 山本 寛, 内藤弘之, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
根治度 C 進行胃癌に対して low dose FP 療法により CR を得た 6 年後に脾動脈周囲リンパ節単独再発を来たし、切除し得た一例
第 68 回日本臨床外科学会総会, 2006 年 11 月, 広島

間 真理子, 出村公一, 奥村憲二, 佐藤浩一郎, 土橋洋史, 張弘富, 清水智治, 村田 聡, 阿部元, 来見良誠, 谷 徹
赤外線蛍光測光法によるセンチネルリンパ節生検及び内視鏡補助下乳腺全摘術を施行した男性乳癌の 1 例
第 68 回日本臨床外科学会総会, 2006 年 11 月, 広島

村田 聡, 目片英治, 北村直美, 植木智之, 谷 徹
GM-CSF 分泌ワクチンと costimulation による CD8 T 細胞トレランスからの回避と抗腫瘍免疫の誘導
第 19 回日本バイオセラピー学会学術集会総会・2006 年 11 月, 福岡

清水智治, 遠藤善裕, 花澤一芳, 田畑貴久, 江口 豊, 佐藤浩一, 梅木雅彦, 古賀伸彦, 長沼達史, 佐藤清治, 松野直徒, 池田寿昭, 小野 聡, 望月英隆, 齊藤人志, 谷 徹

下部消化管穿孔術後敗血症に対する PMX 治療の有用性に関する検討
第 19 回日本外科感染症学会総会, 2006 年 11 月, 東京

清水智治, 塩見尚礼, 村田 聡, 目片英治, 来見良誠, 遠藤善裕, 阿部 元, 谷 徹
血中 monocyte 変動による腸閉塞患者での bacterial translocation の予測
第 19 回日本外科感染症学会総会, 2006 年 11 月, 東京

出村公一, 奥村憲二, 佐藤浩一郎, 土橋洋史, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
男性乳腺疾患に対し内視鏡補助下乳腺切除術を施行した 2 例
第 19 回日本内視鏡外科学会総会, 2006 年 12 月, 京都

清水智治
稀少症例に対するアフェレシスの現状
第 26 回日本アフェレシス学会学術大会, 2006 年 7 月, 大津

清水 智治, 遠藤 善裕, 花澤 一芳, 村田 聡, 土橋 洋史, 赤堀 浩也, 宇治 祥隆, 阿部 元, 来見 良誠, 谷 徹
トレミキシンによる直接血液吸着は腹膜炎による敗血症性ショックでの血漿中マクロファージ遊走阻止因子 (MIF) を減少させる
第 26 回日本アフェレシス学会学術大会, 2006 年 7 月, 大津

宇治祥隆, 吉岡豊一, 赤堀浩也, 土橋洋史, 清水智治, 山本 寛, 遠藤善裕, 谷 徹
当院における肺腎症候群の治療成績
第 26 回日本アフェレシス学会学術大会, 2006 年 7 月, 大津

山本 寛, 内藤弘之, 谷 徹
胃切除後食後高血糖と境界型
軽症 2 型糖尿病 - 幽門側胃切除後と胃全摘術の比較 -
第 48 回日本消化器病学会大会, 2006 年 10 月, 札幌

山本 寛, 内藤弘之, 谷 徹
経口ブドウ糖負荷による胃全摘後再建術の機能評価
第 78 回日本胃癌学会, 2006 年 3 月, 大阪

山本 寛, 内藤弘之, 園田寛道, 谷 徹
メタボリックシンドロームに対する外科治療の可能性について - 胃癌に対する胃切除術例の検討から -
第 19 回日本内視鏡外科学会総会, 2006 年 12 月, 京都

清水 智治, 塩見 尚礼, 村田 聡, 目片 英治, 来見 良誠, 遠藤 善裕, 阿部 元, 谷 徹
血中 monocyte 変動による腸閉塞患者での bacterial translocation の予測
第 19 回日本外科感染症学会総会, 2006 年 11 月, 東京

目片英治, 遠藤善裕, 清水智治, 園田寛道, 出村公一, 佐藤浩一郎, 谷 徹
当科における大腸 mp 癌の検討
第 66 回大腸癌研究会, 2007 年 1 月, 大宮

清水智治, 目片英治, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 村田 聡, 谷 徹
ジェットスキーからの後方転落により肛門直腸裂創を受傷し腹膜炎を来した一例
第 43 回日本腹部救急医学会総会, 2007 年 3 月, 東京

Irshad H. Chaudry, Kawasaki Takashi, Matsutani Takashi, Shimizu Tomoharu, Yokoyama Yukihiro, Suzuki Takao, Mizushima Yasuaki, Martin Angele, Michael Frink, Frank Hildebrandt, Bjoern Thobe, Marcus Knoferl, Joachim Kuebler, Derek Remmers, Christian Schneider, Huang-Ping Yu, Ya-Ching Hsieh, Shih-Ching Kang, Jun-Te Hsu, Wehong Kan, Matthias Wichmann, Rene Zellweger, Shaolong Yang, Mashkoor A. Choudhry, Martin G. Schwacha, Jeffrey D. Kirby, Loring W. Rue, Kirby I. Bland

Sex steroids and receptor antagonists: The good, the bad, and the ugly for cardiovascular and immunological functions following trauma-hemorrhage
第 34 回日本集中治療医学会学術集会・2007 年 3 月, 神戸

清水智治, 遠藤善裕, 山本 寛, 谷 徹
消化器手術でのプロカルシトニンの変動と術後感染の予測
第 81 回日本感染症学会総会, 2007 年 4 月, 京都

阿部 元, 清水智治, 出村公一, 土橋洋史, 張 弘富, 村田 聡, 来見良誠, 谷 徹
蛍光測光法を用いた乳癌センチネルリンパ節の診断
第 15 回日本乳癌学会学術総会, 2007 年 6 月, 横浜

梅田朋子, 阿部 元, 黒川正人, 花澤一芳, 村田 聡, 清水智治, 張 弘富, 河合由紀, 来見良誠, 谷 徹
陥没乳頭に合併した広範囲乳輪下膿瘍に一次的に乳頭形成術を施行した 1 例
第 15 回日本乳癌学会学術総会, 2007 年 6 月, 横浜

田中彰恵, 阿部 元, 小川博暉, 沖野 孝, 加藤 誠, 坂本 力, 佐久山陽, 沢井清司, 野田秀樹, 東出俊一・琵琶湖ピンクリボンフェスタ 2006
無料乳がん検診の結果とその啓発効果について
第 15 回日本乳癌学会学術総会, 2007 年 6 月, 横浜

園田寛道, 遠藤善裕, 清水智治, 目片英治, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
MRI 拡散強調画像を用いた大腸癌術前リンパ節転移診断
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

仲 成幸, 塩見尚礼, 村上耕一郎, 佐藤浩一郎, 出村公一, 遠藤善裕, 来見良誠, 森川茂廣, 谷 徹
拡散強調 MR 画像を用いた肝腫瘍マイクロ波凝固療法の治療効果判定
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

塩見尚礼, 仲 成幸, 土橋洋史, 目片英治, 来見良誠, 谷 徹
肝細胞癌に対する抗癌剤感受性テスト (CD-DST 法) の有用性
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

土橋洋史, 清水智治, 遠藤善裕, 山本 寛, 来見良誠, 谷 徹
消化器外科手術でのプロカルシトニンの変動と術後感染の予測
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

内藤弘之, 山本 寛, 目片英治, 村田 聡, 谷 徹
胃癌に対する抗癌剤感受性試験 (CD-DST 法) を用いたオーダーメイド化学療法の第 II 相試験
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

村田 聡, 内藤弘之, 山本 寛, 目片英治, 塩見尚礼, 清水智治, 仲 成幸, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
術中腹腔内温熱化学療法 (HIPEC) による胃癌腹膜播種制御と抗癌剤の温熱増感作用の検討
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

目片英治, 遠藤善裕, 清水智治, 園田寛道, 佐藤浩一郎, 奥村憲二, 谷 徹
大腸 MP 癌のリンパ節郭清に関する検討
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

清水智治, 梅木雅彦, 小野 聡, 古賀伸彦, 齊藤人志, 佐藤浩一, 佐藤清治, 長沼達史, 松野直徒, 谷 徹
大腸穿孔敗血症性ショックに対する PMX 治療での血中プロカルシトニン値の変動
第 61 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

龍田 健, 奥村憲二, 内藤弘之, 山本 寛, 村田 聡, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
早期胃癌における PDE を用いたセンチネルリンパ節生検の検討
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

遠藤善裕, 目片英治, 清水智治, 来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼, 谷 徹
切除不能・局所再発大腸癌に対する治療—抗癌剤感受性検査と MRI navigation surgery
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

塩見尚礼, 来見良誠, 仲 成幸, 土橋洋史, 谷 徹

胆管炎単独で発症した IgG4 関連硬化性胆管炎の 1 例
第 19 回日本肝胆膵外科学会, 2007 年 6 月, 横浜

目片英治, 村田 聡, 植木智之, 北村直美, 塩見尚礼, 谷 徹
免疫機能を考慮した抗癌剤感受性試験
第 20 回日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2007 年 10 月, 札幌

植木智之, 村田 聡, 北村直美, 目片英治, 谷 徹
腫瘍抗原特異的免疫寛容マウスに移入された腫瘍抗原特異的 CTL は抗腫瘍免疫作用を失う
第 20 回日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2007 年 10 月, 札幌

北村直美, 村田 聡, 植木智之, 目片英治, 谷 徹
制御性 T 細胞に対する CD134 (OX40) 刺激
第 20 回日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2007 年 10 月, 札幌

村田 聡, 北村直美, 植木智之, 目片英治, 谷 徹
CD8+T 細胞に対する CD134 (OX40) への補助刺激と CD8+T 細胞トレランスからの回避
第 20 回日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2007 年 10 月, 札幌

村田 聡, 内藤弘之, 山本 寛, 目片英治, 塩見尚礼, 清水智治, 仲 成幸, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
3 薬剤を併用した術中腹腔内温熱化学療法 (HIPEC) による腹膜播種性転移の制御効果
第 45 回日本癌治療学会総会, 2007 年 10 月, 京都

遠藤善裕, 田畑貴久, 五月女隆男, 清水智治, 宇治祥隆, 山本 寛, 阿部 元, 江口 豊, 谷 徹
高サイトカイン血症に対する CTR-001 の経験
第 18 回日本急性血液浄化学会学術集会総会, 2007 年 10 月, 大分

目片英治, 遠藤善裕, 清水智治, 中村一郎, 谷 徹, 松原亜希子, 九嶋亮治
遠隔転移を伴った大腸 sm 癌 3 例の検討
第 62 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2007 年 11 月, 東京

中村一郎, 遠藤善裕, 清水智治, 目片英治, 谷 徹
肛門周囲膿瘍に同時性転移を来した S 状結腸癌の 1 例
第 61 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2007 年 11 月, 東京

清水智治, 遠藤善裕, 目片英治, 中村一郎, 谷 徹
ICG 蛍光測光による大腸癌手術症例におけるリンパ流観察の経験
第 62 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2007 年 11 月, 東京

遠藤善裕, 目片英治, 清水智治, 中村一郎, 谷 徹
座位 MRI を用いた新しい排便機能検査
第 62 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2007 年 11 月, 東京

清水智治, 遠藤善裕, 目片英治, 中村一郎, 山本 寛, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹
大腸外科手術でのプロカルシトニンと術後感染性合併症の検討
第 20 回日本外科感染症学会総会, 2007 年 11 月, 東京

谷 徹
周術期侵襲と感染因子
第 20 回日本外科感染症学会総会, 2007 年 11 月, 東京

清水智治, 遠藤善裕, 花澤一芳, 宇治祥隆, 森 毅, 谷 徹
PMX 治療での各種マーカーの変動
第 28 回日本アフレスシス学会学術大会, 2007 年 11 月, 福岡

宇治祥隆, 清水智治, 梅木雅彦, 小野 聡, 古賀伸彦, 齊藤人志, 佐藤浩一, 佐藤清治, 長沼達史, 松野直徒, 池田寿昭, 佐藤光史, 大谷剛正, 遠藤善裕, 花澤一芳, 江口 豊, 谷 徹
PMX 治療での血中プロカルシトニン値の変動—大腸穿孔症例での検討—
第 28 回日本アフレスシス学会学術大会, 2007 年 11 月, 福岡

目片英治, 遠藤善裕, 村田 聡, 塩見尚礼, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
プロドラッグ(5' DFUR)の抗腫瘍効果に関する新しい評価方法
第45回日本癌治療学会総会, 2007年10月, 京都

園田寛道, 山本 寛, 内藤弘之, 村田 聡, 谷 徹
ICG 蛍光法により検出可能であった胃癌センチネルリンパ節微小転移の1例
第45回日本癌治療学会総会, 2007年11月, 京都

清水智治, 来見良誠, 阿部 元, 遠藤善裕, 村田 聡, 目片英治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 山本 寛,
森川茂廣, 谷 徹
乳房温存治療としてのリアルタイムMRI ガイド下マイクロ波凝固療法の可能性
第45回日本癌治療学会総会, 2007年10月, 京都

塩見尚礼, 仲 成幸, 目片英治, 来見良誠, 谷 徹
肝細胞癌に対する抗癌剤感受性試験(CD-DST法)の有用性と臨床応用
第45回日本癌治療学会総会, 2007年10月, 京都

阿部 元, 張 弘富, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 遠藤善裕,
来見良誠, 谷 徹
乳癌術後補助化学療法としてのFEC100 followed by DOC100の認容性試験
第45回日本癌治療学会総会, 2007年10月, 京都

清水智治, 梅木雅彦, 小野 聡, 古賀伸彦, 斉藤人志, 佐藤浩一, 佐藤清治, 長沼達史, 松野直徒,
池田寿昭, 佐藤光史, 大谷剛正, 遠藤善裕, 花澤一芳, 谷 徹
外科領域におけるPMX治療での血中プロカルシトニンの意義—大腸穿孔症例での検討—
第69回日本臨床外科学会総会, 2007年11月, 横浜

竹林克士, 目片英治, 遠藤善裕, 清水智治, 仲 成幸, 塩見尚礼, 村田 聡, 山本 寛, 阿部 元,
来見良誠, 谷 徹
当院における同時性肝転移症例(c Stage IV)に対する治療方針に関する検討
第69回日本臨床外科学会総会, 2007年11月, 横浜

遠藤善裕, 目片英治, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹
骨盤底臓器脱に対する新しい検査法: 座位MRI検査
第69回日本臨床外科学会総会, 2007年11月, 横浜

中村一郎, 仲 成幸, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷 徹
診療ガイドライン重症度判定基準に基づく、急性胆嚢炎治療成績の比較検討
第69回日本臨床外科学会総会, 2007年11月, 横浜

阿部 元, 清水智治, 張 弘富, 田中麻紀子, 小島正継, 村田 聡, 来見良誠, 谷 徹
赤外観察カメラシステム(PDE)を用いた乳癌センチネルリンパ節の診断
第69回日本臨床外科学会総会, 2007年11月, 横浜

塩見尚礼, 仲 成幸, 中村一郎, 来見良誠, 花澤一芳, 谷 徹
当科における臍頭十二指腸切除術の再建法に対する工夫
第69回日本臨床外科学会総会, 2007年11月, 横浜

小島正継, 清水智治, 田中麻紀子, 竹林克士, 張 弘富, 村田 聡, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
持続携行式腹膜透析(CAPD)施工中にみられた鼠径ヘルニアの1治験例
第69回日本臨床外科学会総会, 2007年11月, 横浜

北村直美, 村田 聡, 植木智之, 目片英治, 谷 徹
CD134(OX40)刺激による制御性T細胞の機能制御
第38回日本免疫学会総会・学術集会, 2007年11月, 東京

村田 聡, 目片英治, 北村直美, 植木智之, 谷 徹
GM-CSF 分泌ワクチンとOX40の補助刺激は、CD4+T細胞だけでなくCD8+T細胞にも直接作用し、
免疫寛容状態におけるCD8+T細胞トレランスを打ち破る
第38回日本免疫学会総会・学術集会, 2007年11月, 東京

谷 徹, 遠藤善裕, 山本好男, 榎本逸志

加熱酸化チタンによるディーゼル排気ガス（煤）の分解処理と稀少金属の回収
第 45 回日本人工臓器学会大会・2007 年 10 月, 大阪

柴 喜崇, 西村かおる, 中村純子, 遠藤善裕, 谷 徹
異なる体位での骨盤底筋群収縮が膀胱頸部可動量に与える影響 一形態学的側面からの検討一
第 20 回日本老年泌尿器科学会, 2007 年 5 月, 長崎

仲 成幸, 谷 徹, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 遠藤善裕, 来見良誠
内視鏡手術に応用可能なマイクロ波凝固切開装置
第 20 回日本内視鏡外科学会総会, 2007 年 11 月, 仙台

村上耕一郎, 森川茂廣, 出村公一, 佐藤浩一郎, 仲成幸, 塩見尚礼, 来見良誠, 犬伏俊郎, 谷 徹
ラット腫瘍に対するマイクロ波凝固療法後の MR 拡散強調画像による治療効果の判定
第 35 回日本磁気共鳴医学会大会, 2007 年 9 月, 神戸
仲 成幸, 来見良誠, 塩見尚礼, 遠藤善裕, 河野直明, 田中豊彦, 新田哲久, 山崎道夫,
古川顕, 谷 徹
鈍的肝損傷および脾損傷に対する治療法の選択、手術、IVR の位置づけ
第 43 回日本腹部救急医学会総会, 2007 年 3 月, 東京

山本 寛, 内藤 弘之, 谷 徹
当院における高齢者胃癌手術症例の予後および術後合併症に与える因子の検討
第 107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

来見良誠, 谷 徹, 仲 成幸, 村上 耕一郎, 園田 寛道, 出村 公一, 佐藤 浩一郎, 塩見 尚礼, 阿部 元,
遠藤 善裕, 森川 茂廣
肝癌症例に対するオープン MR を用いた Navigation Surgery
第 107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

塩見尚礼, 仲 成幸, 園田 寛道, 目片 英治, 来見良誠, 花澤 一芳, 谷 徹: 膵癌に対する抗癌剤感受
性テスト (CD-DST 法) の検討と臨床への応用
107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

村田 聡, 内藤 弘之, 山本 寛, 園田 寛道, 清水 智治, 目片 英治, 仲 成幸, 塩見 尚礼, 阿部 元, 遠藤
善裕, 来見良誠, 谷 徹
3 薬剤併用術中温熱化学療法による胃癌腹膜播種性転移制御の試み
107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

仲 成幸, 来見良誠, 塩見尚礼, 村上 耕一郎, 佐藤 浩一郎, 出村 公一, 遠藤 善裕, 森川 茂
廣, Hasnine Haque, 谷 徹
腹部手術における術中リアルタイム MRI ナビゲーションシステムの有用性
107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

清水 智治, 来見良誠, 遠藤 善裕, 村田 聡, 目片 英治, 阿部 元, 仲 成幸, 塩見 尚礼, 山本 寛, 内藤
弘之, 出村 公一, 森川 茂廣, 谷 徹
リアルタイム MRI ガイド下マイクロ波凝固療法による乳腺腫瘍治療の可能性
107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

目片 英治, 遠藤 善裕, 内藤 弘之, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
5' DFUR の抗腫瘍効果を予測する抗癌剤感受性試験の樹立にむけて
107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

阿部 元, 清水智治, 出村公一, 奥村憲二, 土橋洋史, 佐藤浩一郎, 村田 聡, 来見良誠, 谷 徹
乳癌患者における遊離がん細胞 (CTC) の検出と臨床応用の可能性
107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

土橋洋史, 山本寛, 前田和久, 舟橋徹, 下村伊一郎, 森毅, 清水智治, 遠藤善裕, 谷 徹
マウス敗血症モデルにおける血中アディポネクチンと炎症性サイトカインの変動について
107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

赤堀 浩也, 山本 寛, 土橋 洋史, 清水 智治, 遠藤 善裕, 谷 徹
ラット出血性ショックモデルにおけるパニロイド 1 受容体 (VRI) 拮抗剤カプサゼピン (CPZ) の効

果について

107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

宇治 祥隆, 山本 寛, 森 毅, 赤堀 浩也, 土橋 洋史, 清水 智治, 遠藤 善裕, 谷 徹
フリーラジカルスカベンジャーによる出血性ショックの病態制御とそのメカニズム
107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

山本 寛, 前田 和久, 下村 伊一郎

腹部外科手術の周術期における血中アディポネクチンの測定意義について
第 28 回日本肥満学会, 2007 年 10 月, 東京

山本 寛, 笠間 和典, 村田 聡, 龍田 健, 来見 良誠, 谷 徹

手術適応から減量手術の開始の条件を考える
第 20 回日本内視鏡外科学会総会, 2007 年 11 月, 仙台

田畑 貴久, 遠藤 善裕, 清水 智治, 山本 寛, 森 毅, 赤堀 浩也, 宇治 祥隆, 江口 豊, 谷 徹

重症病態での SLP 活性化物質のトランスロケーションの実験的検討
第 22 回日本 Shock 学会総会, 2007 年 5 月, 大津

塩見 尚礼, 清水 智治, 山本 寛, 目片 英治, 来見 良誠, 遠藤 善裕, 谷 徹

腸閉塞患者での bacterial translocation の検討～腸間膜リンパ節 dendritic cell 発現と血中 monocyte 変動～

第 22 回日本 Shock 学会総会, 2007 年 5 月, 大津

清水 智治, 遠藤 善裕, 目片 英治, 山本 寛, 村田 聡, 来見 良誠, 谷 徹

抗癌剤によるアナフィラキシーショックの現状－アンケート調査の報告－
第 22 回日本 Shock 学会総会, 2007 年 5 月, 大津

出村 公一, 遠藤 善裕, 清水 智治, 目片 英治, 山本 寛, 来見 良誠, 大崎 理英, 程原 桂子, 藤山 佳秀, 江口 豊, 谷 徹

Plasma Dia-Filtration が有効であった周期性好中球減少症に合併した敗血症性ショックの 1 例
第 22 回日本 Shock 学会総会, 2007 年 5 月, 大津

三宅 亨, 吉岡 豊一, 江口 豊, 谷 徹

急速に進行を認めた肺腎症候群に対し、PDF (Plasma Dia-filtration) が著効した 1 例
第 22 回日本 Shock 学会総会, 2007 年 5 月, 大津

宇治 祥隆, 山本 寛, 森 毅, 赤堀 浩也, 土橋 洋史, 清水 智治, 遠藤 善裕, 谷 徹

フリーラジカルスカベンジャーによる出血性ショックの病態制御
第 22 回日本 Shock 学会総会, 2007 年 5 月, 大津

遠藤 善裕, 清水 智治, 花澤 一芳, 山本 寛, 土橋 洋史, 赤堀 浩也, 宇治 祥隆, 谷 徹

敗血症性ショック患者での血中マクロファージ遊走阻止因子 (MIF) と PMX 治療による変動
第 22 回日本 Shock 学会総会, 2007 年 5 月, 大津

村田 聡, 北村直美, 植木智之, 谷 徹

体外循環材料による末梢血中への血管内皮前駆細胞 (EPC) の誘導
第 7 回日本再生医療学会総会, 2008 年, 3 月, 名古屋

中村一郎, 仲 成幸, 塩見尚礼, 来見良誠, 江口 豊, 谷 徹

幽門輪温存膵頭十二指腸切除術後に発症した血小板減少症の一例
第 44 回日本腹部救急医学会総会, 2008 年 3 月, 横浜

仲 成幸, 塩見尚礼, 中村一郎, 遠藤善裕, 来見良誠, 古川 顕, 江口 豊, 谷 徹

高齢者における鈍的肝損傷の検討
第 44 回日本腹部救急医学会総会, 2008 年 3 月, 横浜

小島正継, 仲成幸, 塩見尚礼, 中村一郎, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹

高齢者における鈍的肝損傷の検討
第 44 回日本腹部救急医学会総会, 2008 年 3 月, 横浜

谷 徹, 仲 成幸, 来見良誠, 塩見尚礼, 森川茂廣, Hasnine A Haque, 永澤 清

三次元リアルタイム MR 画像化の次世代手術とロボット
日本医工学治療学会 第 24 回学術大会, 2008 年 4 月, 千葉

清水智治, 遠藤善裕, 花澤一芳, 池田寿昭, 梅木雅彦, 小野 聡, 古賀伸彦, 齊藤人志, 佐藤浩一, 佐藤清治, 長沼達史, 松野直徒, 田畑貴久, 江口 豊, 谷 徹
下部消化管穿孔での血中プロカルシトニン値と PMX 治療による変動
第 23 回日本 Shock 学会総会, 2008 年 5 月, 東京

谷 徹, 来見良誠, 仲 成幸, 森川茂廣, 遠藤善裕, Hasnine A Haque, 佐藤浩一郎, 村上耕一郎
リアルタイム三次元生体透視画像下の次世代手術システム開発
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼, 村上耕一郎, 小島正継, 佐藤浩一郎, 遠藤善裕, 森川茂廣, Hasnine A Haque, 谷 徹
肝細胞癌に対するリアルタイム MRI ナビゲーションシステムを用いたマイクロ波凝固療法
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎
目片英治, 清水智治, 遠藤善裕, 村田 聡, 山本 寛, 仲 成幸, 塩見尚礼, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
進行再発大腸癌に対する化学療法剤の薬剤効果期間予測について
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

中村一郎, 清水智治, 遠藤善裕, 目片英治, 山本 寛, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 龍田 健, 来見良誠, 谷 徹
消化器外科周術期感染のプロカルシトニンをガイドとした治療経験
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

村田 聡, 内藤弘之, 山本 寛, 龍田 健, 中村一郎, 目片英治, 塩見尚礼, 清水智治, 仲 成幸, 阿部 元, 遠藤善裕, 張 弘富, 村山浩之, 小島正継, 東口貴之, 竹林克士, 来見良誠, 谷 徹
多剤を併用した術中腹腔内温熱化学療法 (HIPEC) による胃癌腹膜播種性転移の制御
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

清水智治, 遠藤善裕, 目片英治, 阿部 元, 山本 寛, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹
消化器・一般外科手術でのプロカルシトニンと術後感染性合併症の検討
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

塩見尚礼, 仲 成幸, 目片英治, 小島正継, 竹林克士, 東口貴之, 村山浩之, 中村一郎, 龍田 健, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 花澤一芳, 谷 徹
膵癌集学的治療における抗癌剤感受性試験の有用性
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

仲 成幸, 村上耕一郎, 宇治祥隆, 塩見尚礼, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
新規手術デバイス「マイクロ波凝固切開装置」の開発と機能評価
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

小島正継, 塩見尚礼, 仲 成幸, 岩川裕美, 佐々木雅也, 来見良誠, 柏木厚典, 谷 徹
幽門輪温存膵頭十二指腸切除術の術後経過における NST 介入の影響
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

谷 徹, 遠藤善裕, 山本好男, 西 克治, 樫本逸志, 西村雅宏, 北村辰雄
非焼却型感染性医療廃棄物処理装置の開発
第 83 回日本医療機器学会大会, 2008 年

山本 寛, 前田和久, 前川 聡, 下村伊一郎, 柏木厚典, 谷 徹
腹部外科手術の周術期における血中アディポネクチンの測定意義
第 1 回日本肥満症治療学会学術集会, 2008 年 6 月, 東京

山本 寛, 村田 聡, 谷 徹
多発筋炎に合併した食道癌および食道胃接合部癌の並存した多発食道癌の 1 切除例

第 62 回日本食道学会学術集会・2008 年 6 月, 東京

遠藤 善裕, 目片 英治, 清水 智治, 阿部 元, 来見 良誠, 谷 徹
座位 MRI を用いた骨盤画像検査
第 33 回日本外科系連合学会集会, 2008 年 6 月, 東京

遠藤善裕, 目片英治, 清水智治, 来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼, 谷 徹, 森川茂廣, 犬伏俊
郎
再発大腸癌に対する MRI navigation surgery と抗癌剤感受性検査に基づく癌化学療法の有理性
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

遠藤 善裕
アフエレシス
第 24 回日本人工臓器学会 教育セミナー 『人口臓器』, 2008 年 7 月, 大津

谷 徹, 遠藤善裕, 清水智治, 来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼, 山本 寛
機器開発における実験と臨床において経験したエビデンスの確保とその問題点
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

村田 聡, 内藤弘之, 山本 寛, 目片英治, 塩見尚礼, 清水智治, 仲 成幸, 遠藤善裕, 来見良
誠, 谷 徹
進行胃癌に対する術中腹腔内温熱化学療法 (HIPEC) による胃癌腹膜転移制御の試み
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

山本 寛, 土橋洋史, 赤堀浩也, 内藤弘之, 来見良誠, 谷 徹
胃切除術後の食後高血糖と糖尿病
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

小島正継, 目片英治, 遠藤善裕, 清水智治, 中村一郎, 田中麻紀子, 谷 徹
当院における大腸 sm 癌の臨床像
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

仲 成幸, 来見良誠, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 遠藤善裕, 谷 徹
バイポーラー型マイクロ波止血装置の開発
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

中村一郎, 籠 洋三, 山本 寛, 村田 聡, 内藤弘之, 長谷川均, 柴田純祐, 谷 徹
地方病院の勤務外科医として、緩和医療をめざした在宅訪問診療
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹
臍頭十二指腸切除術の再建法に対する工夫
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

東口貴之, 清水智治, 遠藤善裕, 目片英治, 山本 寛, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良
誠, 谷 徹
直腸内分泌細胞癌に対して抗癌剤感受性試験 (CD-DST 法) を施行した 2 例
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

龍田 健, 目片英治, 清水智治, 遠藤善裕, 谷 徹
大腸癌術後早期腸閉塞の検討
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

宇治祥隆, 吉岡豊一, 三宅 亨, 清水智治, 山本 寛, 遠藤善裕, 谷 徹
慢性腎不全維持透析患者の腹部手術症例の検討
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

清水智治, 遠藤善裕, 目片英治, 山本 寛, 宇治祥隆, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良
誠, 谷 徹
大腸癌肝転移症例での血中プロカルシトニン値の検討
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

目片英治, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 山本 寛, 清水智治, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
FU 剤と PSK の併用による抗腫瘍効果に関する検討
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

来見良誠, 仲 成幸, 塩見 尚礼, 村上 耕一郎, 佐藤 浩一郎, 谷 徹, 森川 茂廣, ハック ハスナイン
リアルタイム MRI ナビゲーションシステムによる肝癌治療
第 27 回 Microwave Surgery 研究会, 2008 年 9 月, 横浜

森川 茂廣, 犬伏 俊郎, 仲 成幸, 村上 耕一郎, 佐藤 浩一郎, 塩見 尚礼, 来見 良誠, 谷 徹, ハック ハスナイン
標的追尾ロボットを用いた肝右葉の腫瘍に対する MR ガイド下マイクロ波凝固治療
第 27 回 Microwave Surgery 研究会, 2008 年 9 月, 横浜

清水 智治, 阿部 元, 村田 聡, 仲 成幸, 佐藤 浩一郎, 村上 耕一郎, 田中 麻紀子, 来見 良誠, 谷 徹, 森川 茂廣
乳房温存治療として MR ガイド下マイクロ波凝固療法—前臨床検討—
第 27 回 Microwave Surgery 研究会, 2008 年 9 月, 横浜

村上 耕一郎, 仲 成幸, 出村 公一, 佐藤 浩一郎, 塩見 尚礼, 来見 良誠, 谷 徹, 森川 茂廣, 犬伏 俊郎
マイクロ波凝固直後のラット移植腫瘍における高磁場 MR 画像と病理所見の比較
第 27 回 Microwave Surgery 研究会, 2008 年 9 月, 横浜

仲 成幸, 村山 浩之, 村上 耕一郎, 塩見 尚礼, 来見 良誠, 谷 徹
マイクロ波凝固手術デバイスの開発と機能評価
第 27 回 Microwave Surgery 研究会, 2008 年 9 月, 横浜

山本 寛, 内藤 弘之, 村田 聡, 来見 良誠, 谷 徹
ポートサイト再発を来した胃 GIST の一例
第 21 回日本内視鏡外科学会総会, 2008 年 9 月, 横浜

山本寛, 村田聡, 来見良誠, 谷徹
Glasgow prognostic score (GPS) を用いた胃癌の予後予測の検討
Japan Digestive Disease Week 2008 (JDDW-2008), 2008 年 10 月, 東京

谷 徹, 遠藤 善裕, 山本 好男, 西 克治, 榎本 逸志
非焼却型感染性医療廃棄物処理装置の開発
第 46 回日本人工臓器学会, 2008 年 11 月, 東京

谷 徹, 来見良誠, 仲成幸, 佐藤浩一郎, Tran Dinh Quoc, Tran Vu Duc
マイクロ波を用いたエネルギー手術デバイスの開発
第 46 回日本人工臓器学会, 2008 年 11 月, 東京

谷 徹, 村田 聡, 北村 直美, 植木 智之
体外循環材料による血管内皮前駆細胞 (EPC) 誘導の検討
第 46 回日本人工臓器学会, 2008 年 11 月, 東京

北村 直美, 村田 聡, 植木 智之, 目片 英治, 谷 徹
抗 OX40 抗体の補助刺激による CD4+CD25+ 抑制性 T 細胞の機能制御
第 67 回日本癌学会学術総会, 2008 年 10 月, 名古屋

村田 聡, 北村 直美, 植木 智之, 目片 英治, 龍田 健, 塩見 尚礼, 阿部 元, 遠藤 善裕, 来見 良誠, 谷 徹
OX40 (CD134) の補助刺激は直接 CD8+T 細胞機能を高め、免疫寛容状態においても腫瘍特異的の CDL 機能を維持することができる。
第 67 回日本癌学会学術総会, 2008 年 10 月, 名古屋
目片 英治, 遠藤 善裕, 清水 智治, 龍田 健, 小島 正継, 谷 徹
大腸 pSM 癌および遠隔転移を有する pSM の検討
第 63 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2008 年 10 月, 東京

来見 良誠, 張 弘富, 梅田 朋子, 河合 由紀, 北村 直美, 植木 智之, 村上 耕一郎, 友田 進吾, 飯田香, 山内 寛紀, 東口 貴之, 竹林 克士, 小島 正継, 村山 浩之, 清水 智治, 阿部 元精
施設におけるマンモグラフィー自動診断の試み
第 16 回日本乳癌学会学術総会, 2008 年 9 月, 大阪

清水 智治, 遠藤 善裕, 目片 英治, 龍田 健, 茂籠 邦彦, 谷 徹
大腸癌手術におけるプロカルシトニンテストを指標とした術後予防的抗菌薬の投与の試み
第 63 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2008 年 10 月, 東京

河合 由紀, 阿部 元, 張 弘富, 村山 浩之, 梅田 朋子, 来見 良誠, 谷 徹
マンモトーム生検で術前診断し得た乳腺非浸潤性アポクリン癌の 1 例
第 16 回日本乳癌学会学術総会, 2008 年 9 月, 大阪

阿部 元, 張 弘富, 清水 智治, 河合 由紀, 梅田 朋子, 小島 正継, 村田 聡, 来見 良誠, 谷 徹
赤外観察カメラシステム (PDE) を用いた乳癌センチネルリンパ節蛍光測光法
第 16 回日本乳癌学会学術総会, 2008 年 9 月, 大阪

清水 智治, 阿部 元, 村田 聡, 張 弘富, 河合 由紀, 村上 耕一郎, 村山 浩之, 田中 麻紀子, 森川 茂廣, 来見 良誠, 谷 徹
乳癌に対する MR ガイド下マイクロ波凝固療法の検討
第 16 回日本乳癌学会学術総会, 2008 年 9 月, 大阪

梅田 朋子, 阿部 元, 張 弘富, 小島 正継, 河合 由紀, 清水 智治, 村田 聡, 来見 良誠, 谷 徹
カペシタビン/ドセタキセル併用療法が乳癌転移で有効であった 1 例
第 16 回日本乳癌学会学術総会, 2008 年 9 月, 大阪

小島 正継, 阿部 元, 張 弘富, 村山 浩之, 河合 由紀, 清水 智治, 村田 聡, 梅田 朋子, 来見 良誠, 谷 徹
妊娠期進行乳癌の 2 例
第 16 回日本乳癌学会学術総会, 2008 年 9 月, 大阪

阿部 元, 張 弘富, 清水 智治, 田中 麻紀子, 河合 由紀, 村田 聡, 梅田 朋子, 目片 英治, 来見 良誠, 谷 徹
乳癌術後補助化学療法としての FEC100 followed by DOC100 と DOC100 followed by FEC100 の投与順序による認容性及び安全性についての検討
第 46 回日本癌治療学会総会, 2008 年 10 月, 名古屋

村田 聡, 内藤 弘之, 山本 寛, 清水 智治, 目片 英治, 塩見 尚礼, 龍田 健, 仲 成幸, 井内 武和, 山口剛, 佐藤 浩一郎, 小島 正継, 阿部 元, 張 弘富, 遠藤 善裕, 来見 良誠, 谷 徹
腹腔内温熱化学療法 (HIPEC) による胃癌腹膜転移の制御
第 46 回日本癌治療学会総会, 2008 年 10 月, 名古屋

清水 智治, 遠藤 善裕, 花澤 一芳, 宇治 祥隆, 森 毅, 田畑 貴久, 江口 豊, 谷 徹
外科・集中治療領域での PMX 治療とサイトカインの変動
第 29 回日本アフェリシス学会学術大会, 2008 年 11 月, 広島

阿部 元, 張 弘富, 久保田 良浩, 河合 由紀, 清水 智治, 梅田 朋子, 来見 良誠, 谷 徹
蛍光測定法を用いた乳癌センチネルリンパ節生検術
第 70 回日本臨床外科学会総会, 2008 年 11 月, 東京

清水 智治, 遠藤 善裕, 目片 英治, 山本 寛, 龍田 健, 村田 聡, 塩見 尚礼, 山口 剛, 来見 良誠, 谷 徹
大腸癌肝転移症例では血中プロカルシトニン値が上昇する
第 70 回日本臨床外科学会総会, 2008 年 11 月, 東京

佐藤 浩一郎, 清水 智治, 阿部 元, 村田 聡, 張 弘富, 河合 由紀, 田中 麻紀子, 森川 茂廣, 来見 良誠, 谷 徹
乳房温存治療として MR ガイド下マイクロ波凝固療法—前臨床検討—
第 70 回日本臨床外科学会総会, 2008 年 11 月, 東京

辻子 祥子, 阿部 元, 佐藤 浩一郎, 張 弘富, 久保田 良浩, 梅田 朋子, 来見 良誠, 谷 徹
MR ガイド下マイクロ波凝固療法 (MR-MCT) にて摘出可能となった卵巣癌 Virchow リンパ節転移の 1

例

第 70 回日本臨床外科学会総会, 2008 年 11 月, 東京

村上 耕一郎, 塩見 尚礼, 水黒 知行

広範囲の白線ヘルニアに対し Kugel Mesh Patch で修復を行った 1 手術症例

第 70 回日本臨床外科学会総会, 2008 年 11 月, 東京

植木 智之, 村田 聡, 北村 直美, 目片 英治, 谷 徹

制御性 T 細胞の制御による抗腫瘍細胞療法の強化

第 21 回日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2008 年 11 月, 東京

澤野 聡, 斉藤 康晴, 来見 良誠, 藤山 佳秀, 谷 徹, 小西 聡

柔軟マイクロアクチュエータを用いた ESD レトラクタの開発

第 17 回日本コンピュータ外科学会大会, 2008 年 10 月, 東京

仲 成幸, 来見 良誠, 塩見 尚礼, 村上 耕一郎, Hasnine Haque, 森川 茂廣, 谷 徹

肝癌局所治療における標的自動追尾型穿刺支援ロボットを用いたリアルタイム MRI ナビゲーションシステム

第 20 回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2008 年 5 月, 山形

塩見 尚礼, 仲 成幸, 龍田 健, 岩川 裕美, 佐々木 雅也, 来見 良誠, 谷 徹

合併症ゼロを目指した膵頭十二指腸切除術周術期の栄養管理

第 20 回日本肝胆膵外科学会, 学術集会, 2008 年 5 月, 山形

来見 良誠, 仲 成幸, 塩見 尚礼, 佐藤 浩一郎, 村上 耕一郎, 出村 公一, 山口 剛, Hasnine A Haque, 森川 茂廣, 谷 徹

次世代 MR 環境下手術

第 46 回日本人工臓器学会, 2008 年 11 月, 東京

清水 智治, 遠藤 善裕, 目片 英治, 村田 聡, 山本 寛, 塩見 尚礼, 仲 成幸, 龍田 健, 来見 良誠, 谷 徹

腹部緊急手術症例でのプロカルシトニンの有用性

第 45 回日本腹部救急医学会総会, 2009 年 3 月, 東京

河合 由紀, 塩見 尚礼, 糸井 尚子, 阿部 元, 来見 良誠, 谷 徹

リンパ管内皮細胞を用いた後天性リンパ浮腫治療の検討

第 8 回日本再生医療学会, 2009 年 3 月, 東京

山本 寛, 村田 聡, 山口 剛, 谷 徹

Glasgow prognostic score (GPS) による胃癌の予後予想

第 81 回日本胃癌学会総会, 2009 年 3 月, 東京

<研究会・地方会>

内藤弘之, 目片英治, 山本 寛, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹

進行胃癌に対し CD-DST 法を用いた Docetaxel/TS-1 或いは CPT-11/TS-1 併用、又は TS-1 療法の第 II 相試験

第 39 回制癌剤適応研究会, 2006 年 6 月, 福岡

目片英治, 遠藤善裕, 内藤弘之, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹

感受性試験 (CD-DST 法) を用いた併用療法についての検討

第 39 回制癌剤適応研究会, 2006 年 6 月, 福岡

筒井英美, 阿部 元, 貝田佐知子, 三宅 亨, 清水智治, 村田 聡, 来見良誠, 谷 徹

乳癌脳転移長期生存例の 1 例

第 51 回京滋乳癌研究会, 2006 年 2 月, 京都

内藤弘之, 山本 寛, 村田 聡, 園田寛道, 目片英治, 遠藤善裕, 塩見尚礼, 仲 成幸, 川崎誠康, 清水智治, 三宅 亨, 貝田佐知子, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹

進行胃癌症例に対する術中温熱化学療法

第 16 回滋賀癌化学療法研究会, 2006 年 3 月, 草津

目片英治, 森井博朗, 田崎亜希子, 谷 徹

当院外来化学療法における、患者情報の共有化についての工夫
第 16 回滋賀癌化学療法研究会, 2006 年 3 月, 草津

仲 成幸, 塩見尚礼, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 内藤弘之, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
外傷性脾損傷に対する治療方針の検討
第 42 回日本腹部救急医学会総会, 2006 年 3 月, 東京

園田寛道, 山本 寛, 内藤弘之, 近藤基之, 大村 寧, 本田 亘, 来見良誠, 柏木厚典, 谷 徹
胃の GIST 摘出後血糖の改善を認めた 1 例
第 89 回滋賀県外科医会, 2006 年 6 月, 大津

目片英治, 遠藤善裕, 村田 聡, 園田寛道, 奥村憲二, 谷 徹
進行・再発大腸癌症例に対する FOLFOX 及び CPT11 ベースの治療と抗癌剤感受性試験 (CD-DST 法) 結果との関係に関する検討
第 65 回大腸癌研究会・2006 年 7 月, 弘前

出村公一, 清水智治, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
急性虫垂炎と診断された大網腫瘍の一例
第 90 回滋賀県外科医会, 2006 年 12 月, 大津

土橋洋史, 山本 寛, 前田和久, 船橋 徹, 下村伊一郎, 森 毅, 清水智治, 遠藤善裕, 谷 徹
マウス敗血症モデルにおける血中アディポネクチンと炎症性サイトカインの変動について
第 13 回外科侵襲とサイトカイン研究会, 2006 年 12 月, 宇部

川崎誠康, 仲 成幸, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷 徹
診療ガイドラインをふまえた急性胆嚢炎に対する治療法の検討
第 47 回滋賀肝疾患研究会, 2006 年

川崎誠康, 仲 成幸, 塩見尚礼, 貝田佐知子, 大村陽一, 来見良誠, 谷 徹, 辻川知之, 藤山佳秀, 程原佳子
門脈短絡路結紮により高アンモニア血症・耐糖能障害が改善した反復性肝性脳症の 1 例
第 56 回滋賀消化器研究会, 2006 年 3 月, 大津

園田寛道, 仲 成幸, 塩見尚礼, 清水智治, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
胆嚢摘出術における視野確保の工夫
第 14 回滋賀内視鏡手術研究会, 2006 年 9 月, 草津

木下武, 土橋洋史, 福山恵, 張弘富, 清水智治, 村田聡, 阿部 元
乳腺内視鏡手術における視野確保の工夫
滋賀内視鏡手術研究会, 2006 年, 草津

山本寛
進行胃癌症例に対する腹膜播種性転移の予防
抗癌剤感受性試験結果に基づく進行胃癌症例への補助化学療法剤の選択
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 1 回病診連携フォーラム, 2006 年 6 月, 大津

内藤弘之
術中温熱化学療法による胃癌の腹膜播種予防戦略
抗癌剤感受性試験結果に基づくオーダーメイド胃癌化学療法
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 1 回病診連携フォーラム, 2006 年 6 月, 大津

清水智治
巨大な乳腺腫瘍に対する乳腺内視鏡手術症例
乳癌のセンチネルリンパ節生検の実際
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 1 回病診連携フォーラム, 2006 年 6 月, 大津

阿部元
当科における乳癌の先端治療と臨床治験の現状
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 1 回病診連携フォーラム, 2006 年 6 月, 大津

目片英治
下部直腸癌に対する超低位前方切除・肛門吻合を施行した症例

腹腔鏡補助下腹仙骨式直腸切除術で肛門を温存した下部直腸癌症例
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第1回病診連携フォーラム, 2006年6月, 大津

遠藤善裕

超低位吻合や肛門吻合による肛門機能温存手術
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第1回病診連携フォーラム, 2006年6月, 大津

塩見尚礼

肝細胞癌に対する垂直型オープン MR ガイド下の腫瘍凝固両方
肝細胞癌に対する肝右葉切除術
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第1回病診連携フォーラム, 2006年6月, 大津

仲成幸

当科における肝腫瘍に対する治療戦略
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第1回病診連携フォーラム, 2006年6月, 大津

阿部元, 村田聡, 清水智治, 張弘富, 土橋洋史

乳癌の新しいマーカー: 循環がん細胞 (circulating tumor cells (CTC))
CTC が効果判定に有効であった乳癌術前化学療法の一例
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第2回病診連携フォーラム, 2006年12月, 大津

遠藤善裕, 目片英治, 清水智治, 出村公一, 佐藤浩一郎

進行・再発大腸癌の治療
盲腸癌の腹膜再発に対して施行した、病診連携科学療法の実例
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第2回病診連携フォーラム, 2006年12月, 大津

塩見尚礼, 仲成幸, 園田寛道

当院における膵癌に対する集学的治療: 糖尿病の悪化により見つかった膵腫瘍の1例
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第2回病診連携フォーラム, 2006年12月, 大津

内藤弘之, 山本寛, 村田聡, 奥村憲二

当科における腹腔鏡補助下脾臓摘出術の治療成績
ITP に対して腹腔鏡補助下脾臓摘出術を施工後、病理判断にて marginal zone lymphoma と診断された1例
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第2回病診連携フォーラム, 2006年12月, 大津

内藤弘之, 目片英治, 山本 寛, 村田 聡, 谷 徹

進行胃癌に対し Collagen Gel Droplet Culture Drug Sensitivity Test (CD-DST 法) を用いた Docetaxel/TS-1 或いは CPT-11/TS-1 併用、又は TS-1 療法の第II相試験
第2報・第40回制癌剤適応研究会, 2007年2月, 横浜

目片英治, 内藤弘之, 遠藤善裕, 谷 徹

FOLFOX 及び CPT11 ベースの治療と抗癌剤感受性試験 (CD-DST 法) の関係
第40回制癌剤適応研究会, 2007年2月, 横浜

谷 徹, 来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼, 森川茂廣

生体の立体透視画像モニター下手術システムの開発
第15回クリニカル・ビデオフォーラム (CVF), 2007年2月, 東京

谷 徹, 来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼

リアルタイムのナビゲーション (治療域、領域温度監視下) の肝癌治療 - オープン MR を用いた肝癌マイクロ波固定療法 -
クリニカル・ビデオフォーラム (CVF), 2007年2月, 東京

糸井尚子, 北村直美, 河合由紀, 清水智治, 張 弘富, 村田 聡, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹

乳癌脈絡膜転移の1例
第53回京滋乳癌研究会, 2007年3月, 京都

田中麻紀子, 目片英治, 遠藤善裕, 清水智治, 中村一郎, 小島正継, 谷 徹

当科における大腸 sm 癌
第67回大腸癌研究会, 2007年7月, 神戸

北村直美, 村田 聡, 目片英治, 植木智之, 谷 徹

HER2/neu 特異的免疫トレランスマウスにおける HER2/neu 特異的抗腫瘍免疫誘導の試み
第 28 回癌免疫外科研究会, 2007 年 5 月, 東京

塩見尚礼, 仲 成幸, 東口貴之, 竹林克士, 小島正継, 村山浩之, 中村一郎, 龍田 健, 張 弘
富, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 花澤一芳, 谷
徹

当科における膵頭十二指腸切除術に対する工夫
第 91 回滋賀県外科医会, 2007 年

塩見尚礼, 仲 成幸, 東口貴之, 竹林克士, 小島正継, 村山浩之, 中村一郎, 龍田 健, 張 弘
富, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹, 花
澤一芳

膵癌に対する抗癌剤感受性試験の有用性
滋賀消化器研究会 第 59 回学術講演会, 2007 年 7 月, 大津

中村一郎, 塩見尚礼, 仲 成幸, 江口 豊, 来見良誠, 谷 徹
膵頭十二指腸切除術後に発症した血小板減少症の 1 例
第 10 回近畿外科病態研究会, 2007 年 9 月, 大阪

谷 徹

マイクロ波を利用した手術機器の開発

H19 年度滋賀県産学官ニーズ・シーズプラザ, 2007 年 9 月, 大津

山本好男, 谷 徹, 榎本逸志, 西村雅宏, 馬場敏勝, 西 克治

加熱酸化チタンの超高速触媒反応を利用した有機物の分解処理—飼育管理および動物実験に関連
する廃棄物の処理—

第 39 回日本実験動物環境研究会総会・2007 年 9 月

山本好男, 榎本逸志, 西村雅宏, 馬場敏勝, 谷 徹, 西 克治

酸化チタンの超高速触媒反応を利用した実験動物関連廃棄物の低温省エネ分解

第 96 回関西実験動物研究会, 2007 年 12 月, 京都

山本好男, 榎本逸志, 西村雅宏, 馬場敏勝, 谷 徹, 西 克治

酸化チタンの超高速触媒反応を利用した実験動物関連廃棄物の低温省エネ分解処理—実証機およ
び実証試験—

第 96 回関西実験動物研究会, 2007 年 12 月, 京都

山本好男, 榎本逸志, 西村雅宏, 馬場敏勝, 西 克治, 谷 徹

酸化チタンの超高速触媒反応を利用した感染性廃棄物処理 (1) 基礎的検討

日本実験動物技術者協会関西支部岡山大会・2007 年 10 月

山本好男, 榎本逸志, 西村雅宏, 馬場敏勝, 西 克治, 谷 徹

酸化チタンの超高速触媒反応を利用した感染性廃棄物処理 (2) 実証機の製作および実証試験

日本実験動物技術者協会関西支部岡山大会, 2007 年 10 月, 岡山

山本好男, 榎本逸志, 西村雅宏, 馬場敏勝, 谷 徹, 西 克治

酸化チタンの超高速触媒反応を利用した実験動物関連廃棄物の分解処理について

第 96 回関西実験動物研究会, 2007 年 10 月, 岡山

塩見尚礼, 仲 成幸, 竹林克士, 岩川裕美, 畑 和憲, 五月女隆男, 佐々木雅也, 江口 豊, 来
見良誠, 谷 徹, 藤山佳秀

重症急性膵炎患者の栄養管理 —NST の関与について

第 56 回近畿膵疾患談話会, 2007 年 10 月, 大阪

龍田 健, 目片英治, 村山浩之, 清水智治, 遠藤善裕, 谷 徹

術後早期に発症した腸閉塞に関する検討

癒着制御研究会, 2007 年 10 月, 大津

田中麻紀子, 目片英治, 遠藤善裕, 清水智治, 中村一郎, 小島正継, 谷 徹

当科における大腸 sm 癌の検討

第 67 回大腸癌研究会・2007 年 7 月, 神戸

宇治祥隆, 山本 寛, 赤堀浩也, 土橋洋史, 清水智治, 遠藤善裕, 谷 徹
マウス腹膜炎誘発性敗血症モデルにおけるアディポネクチンのサイトカイン、ケモカインに及ぼす影響

第 14 回外科侵襲とサイトカイン研究会, 2007 年 12 月, 大分

出村公一, 塩見尚礼, 仲 成幸, 竹林克士, 来見良誠, 谷 徹

興味ある再発形式を示した肝門部胆管癌の 1 例

第 17 回滋賀癌化学療法研究会, 2007 年 3 月, 草津

田崎亜希子, 目片英治, 森井博朗, 岩田聖子, 谷 徹

外来がん化学療法におけるチーム医療の実際

第 17 回滋賀癌化学療法研究会, 2007 年 3 月, 草津

目片英治, 遠藤善裕, 清水智治, 中村一郎, 小島正継

大腸癌の化学療法：結腸癌同時性巨大肝転移に対して、科学療法施行後に肝右葉切除術を施行できた症例

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 3 回病診連携フォーラム, 2007 年 6 月, 大津

仲 成幸, 塩見尚礼, 東口貴之

胆石症の治療について：総胆管結石を EST で治療後に腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した症例

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 3 回病診連携フォーラム, 2007 年 6 月, 大津

山本寛, 村田聡, 龍田健, 竹林克士

胃癌に対する腹腔鏡補助下胃切除術：早期胃癌に対して、腹腔鏡補助下幽門側胃切除術とリンパ節郭清を施行した症例

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 3 回病診連携フォーラム, 2007 年 6 月, 大津

張 弘富, 阿部 元, 村山弘之

皮膚の再建術について：腋窩悪性軟部腫瘍（悪性繊維症組織球腫瘍に対し、拡大切除と植皮術を施行した例

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 3 回病診連携フォーラム, 2007 年 6 月, 大津

仲 成幸, 塩見尚礼, 竹林克士

当科における肝癌治療の現状

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 4 回病診連携フォーラム, 2007 年 11 月, 大津

村田聡, 山本 寛, 村田 聡, 中村一郎, 小島正継

進行胃癌に対する腹膜播種性転移制御の試み—基礎研究から臨床応用へ

腹膜播種性転移のハイリスク胃癌患者に対して施行した、多剤併用術中温熱化学療法

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 4 回病診連携フォーラム, 2007 年 11 月, 大津

阿部元, 張 弘富, 東口貴之

最新の早期乳癌治療：早期乳癌治療の実際

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 4 回病診連携フォーラム, 2007 年 11 月, 大津

清水智治, 遠藤善裕, 目片英治, 龍田 健, 村山弘之

腹腔鏡補助下大腸手術：腹腔鏡補助下結腸切除術を施行した 1 例

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 4 回病診連携フォーラム, 2007 年 11 月, 大津

目片英治, 遠藤善裕, 清水智治, 龍田 健, 中村一郎, 谷 徹：当科における多発癌の臨床像・

第 68 回大腸癌研究会・2008 年 1 月, 福岡

塩見尚礼, 仲 成幸, 竹林克士, 来見良誠, 谷 徹：当科における切除不能再発胆道癌に対す

る化学療法・滋賀消化器研究会第 60 回学術講演会・2008 年 1 月, 大津

目片英治, 遠藤善裕, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 仲 成幸, 塩見尚礼, 阿部 元, 来見良

誠, 谷 徹：CDDST 法を用いた進行再発大腸癌に対する化学療法剤の薬剤効果期間予測について・第 41 回制癌剤適応研究会, 2008 年 3 月, 東京

森井博朗, 目片英治, 田崎亜希子, 岩田聖子, 谷 徹

がんのチーム医療における化学療法部のかかわり

第 18 回滋賀癌化学療法研究会, 2008 年 2 月, 大津

塩見尚礼, 仲 成幸, 東口貴之, 竹林克士, 小島正継, 村山浩之, 中村一郎, 龍田 健, 張 弘富, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 花澤一芳, 畑和憲, 藤山佳秀, 谷 徹
当科における膵癌に対する化学療法
第 18 回滋賀癌化学療法研究会, 2008 年 2 月, 大津

植木智之, 村田 聡, 北村直美, 目片英治, 谷 徹
制御性 T 細胞除去による抗腫瘍細胞療法の強化
第 29 回癌免疫外科研究会, 2008 年 6 月, 東京

山本 寛, 村田 聡, 山口 剛, 小島正継
当科での食道癌治療戦略: 手術治療症例と化学放射線治療症例
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 5 回病診連携フォーラム, 2008 年 6 月, 大津

張 弘富, 阿部 元, 久保田良浩, 井内武和
乳房再建法の実際: 乳房切除述語に乳房再建術を施行した症例
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 5 回病診連携フォーラム, 2008 年 6 月, 大津

清水智治, 遠藤善裕, 目片英治, 龍田 健
直腸超低位前方切除術について: 下部直腸癌に対する肛門括約筋温存術施行症例
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 5 回病診連携フォーラム, 2008 年 6 月, 大津

塩見尚礼, 仲 成幸, 佐藤浩一郎
膵癌に対する集学的治療
切除不能膵癌に対する癌ペプチド療法: 再発膵癌に対して施行したペプチドワクチン療法
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 5 回病診連携フォーラム, 2008 年 6 月, 大津

仲 成幸, 来見良誠, 塩見尚礼, 佐藤浩一郎, 井内武和, 山口 剛, 龍田 健, 清水智治, 山本寛, 村田 聡, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹, 畑 和憲, 仲原民夫, 早藤清行, 辻川知之, 安藤 朗, 藤山佳秀
当科における肝腫瘍治療の現況
滋賀消化器研究会第 61 回学術講演会, 2008 年 7 月, 大津

目片英治, 清水智治, 龍田 健, 小島正継, 遠藤善裕, 谷 徹, 松原亜希子, 九嶋亮治
大腸 pSM 癌の特徴および遠隔転移を有する pSM の病理学的検討
第 69 回大腸癌研究会, 2008 年 7 月, 横浜

小島正継, 山本 寛, 山口 剛, 村田 聡, 谷 徹
多発筋炎に合併した多発食道癌の一切除例
第 35 回京滋食道疾患懇話会, 2008 年 7 月, 京都

久保田 良浩, 張 弘富, 目片 英治, 阿部 元, 来見 良誠, 谷 徹, 多賀 崇, 太田 茂
再発をきたした巨大明細胞肉腫 (CCSK) の一例
第 44 回日本小児外科学会近畿地方会, 2008 年 8 月, 奈良

辻子 祥子, 久保田 良浩, 張 弘富, 阿部 元, 来見 良誠, 谷 徹, 伊藤 英介, 多賀 崇
絞扼性イレウスを認めた滑脳症の 1 例
第 44 回日本小児外科学会近畿地方会, 2008 年 8 月, 奈良

河合 由紀, 阿部 元, 張 弘富, 梅田 朋子, 清水 智治, 久保田 良浩, 来見 良誠
術前診断し得た乳腺非浸潤性アポクリン癌の 1 例
第 56 回京滋乳癌研究会, 2008 年 9 月, 京都

山本 寛, 笠間 和典, 村田 聡, 目片 英治, 前川 聡, 卯木 智, 楠 知里, 来見 良誠, 谷 徹, 柏木 厚典

病的肥満症に対する腹腔鏡下減量手術の経験
第16回滋賀内視鏡手術研究会, 2008年11月, 草津

久保田良浩, 阿部 元, 張 弘富, 森 毅
小児外科疾患の診断と治療
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第6回病診連携フォーラム, 2008年11月, 大津

清水智治, 遠藤善裕, 目片英治, 龍田 健, 佐藤浩一郎
潰瘍性大腸炎の外科治療成績
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第6回病診連携フォーラム, 2008年11月, 大津

塩見尚礼, 仲 成幸, 山口 剛, 小島正継
膣頭部領域癌の治療成績と、栄養サポートチームの取り組み
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第6回病診連携フォーラム, 2008年11月, 大津

村田 聡, 山本 寛, 糸島崇博, 井内武和
腹腔内温熱化学療法による進行胃癌治療成績の向上
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第6回病診連携フォーラム, 2008年11月, 大津

市川 麻里, 梅田 朋子, 森 毅, 佐藤 浩一郎, 張 弘富, 久保田 良浩, 阿部 元, 来見 良誠, 谷 徹
SLE患者に発生した乳癌の2例
第94回滋賀県外科医会, 2008年12月, 大津

梅田 朋子, 小島 正継, 阿部 元, 張 弘富, 久保田 良浩, 清水 智治, 河合 由紀, 来見 良誠
妊娠期進行乳癌の2例
第10回乳腺・甲状腺外科フォーラム・2008

清水 智治, 山本 寛, 遠藤 善裕, 谷 徹
腹部外科手術の周術期における血中アディポネクチンの測定意義について
第15回外科侵襲とサイトカイン研究会, 2008年12月, 岩手
梅田 朋子, 阿部 元, 張 弘富, 小島 正継, 清水 智治, 佐藤 浩一郎, 久保田 良浩, 来見 良誠
カペシタビン/ドセタキセル併用療法が乳癌肝転移に対して有効であった1例
滋賀 BCSG MBC 化学療法学術講演会, 2008年10月, 草津

岩田 聖子, 今堀 智恵子, 作田 裕美, 来見 良誠, 阿部 元
リンパ浮腫外来開設1年目の現状と課題
第6回日本乳癌学会近畿地方会, 2008年12月, 京都

梅田 朋子, 阿部 元, 張 弘富, 久保田 良浩, 佐藤 浩一郎, 清水 智治, 森 毅, 河合 由紀, 田中 麻紀子, 来見 良誠
エホバの証人患者における乳癌切除の1例
第6回日本乳癌学会近畿地方会, 2008年12月, 京都

田中 麻紀子, 阿部 元, 張 弘富, 久保田 良浩, 佐藤 浩一郎, 梅田 朋子, 河合 由紀, 清水 智治, 来見 良誠
乳癌脳転移長期CR例の1例
第6回日本乳癌学会近畿地方会, 2008年12月, 京都

久保田良浩, 張 弘富, 梅田朋子, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹, 加藤博文, 多賀 崇, 森 麻美
両側乳房肥大にて発見された卵巣腫瘍の1例
第7回京滋小児外科フォーラム, 2008年11月, 京都

高木 典子, 河合由紀, 梅田朋子
アルギニン・亜鉛・銅の補給により仙骨部褥瘡が著名に改善した1例
第24回日本静脈経腸栄養学会, 2009年1月, 鹿児島

森 毅, 塩見 尚礼, 伊藤 文, 小島 正継, 仲 成幸, 来見 良誠, 谷 徹, 畑 和憲
GEM+TS-1 投与により切除可能となった膵頭部癌の1例
第19回滋賀癌化学療法研究会, 2009年2月, 草津

龍田 健, 目片 英治, 仲 成幸, 塩見 尚礼, 清水 智治, 遠藤 善裕, 来見 良誠, 谷 徹
大腸癌肝転移に対して化学療法後に肝切除を行った症例の検討
第19回滋賀癌化学療法研究会, 2009年2月, 草津

森 毅, 清水 智治, 小島 正継, 土橋 博史, 龍田 健, 目片 英治, 遠藤 善裕, 谷 徹
回盲部腫瘍の一例
第20回大腸肛門疾患懇話会, 2009年3月, 京都

久保田 良浩, 張 弘富, 梅田 朋子, 阿部 元, 来見 良誠, 谷 徹, 澤井 俊宏, 多賀 崇
腎リンパ管拡張症と考えられる男児例
第61回小児外科わからん会, 2009年3月, 大阪

梅田 朋子, 阿部 元, 張 弘富, 久保田 良浩, 清水 智治, 佐藤 浩一郎, 森 毅, 河合 由紀, 田
中 麻紀子, 来見 良誠
赤外線蛍光側光法によるセンチネルリンパ節生検における肥満の影響について
第57回京滋乳癌研究会, 2009年3月, 京都

阿部 元
パネルディスカッション「乳癌診断に関して」
京都マンモトームセミナー, 2009年3月, 京都

小島正継, 清水智治, 来見良誠, 阿部 元, 久保田良浩, 張 富弘, 谷 徹
当院における腹壁癒痕ヘルニア手術の現状
第8回滋賀ヘルニア研究会, 2009年3月

植木智之
OX40 シグナルによるエフェクターT細胞機能増強と抑制性T細胞機能抑制を利用した癌免疫細胞
療法の開発
第25回滋賀医科大学シンポジウム, 2009年2月

【対外活動】

<講演>

谷 徹: アフェレシスによって得た成果と教訓—教訓は成果を得る途上に—・第26回日本アフェ
レシス学会学術大会(大会長講演), 2006年7月, 大津

谷 徹
リアルタイム三次元画像によるナビゲーション医療開発
医用画像情報学会(特別講演), 2006年2月, 京都

谷 徹, 来見良誠, 仲 成幸, 森川茂廣
オープンMR(縦型)とマイクロ波技術の融合による夢の外科手術実現—生体を透視化した手術
システム開発と過程—
日本医工学治療学会第22回学術大会(教育講演), 2006年4月, 福岡

阿部 元
ホームドクターとして知っておくべき乳がん治療の現況
滋賀県医師会・滋賀県放射線技師会合同研修会, 2006年3月

谷 徹
PMXの現況と課題
第15回長崎急性血液浄化研究会(特別講演), 2006年10月, 長崎

遠藤善裕
がんの痛みと薬物療法の実際~こわくないオピオイド~
八幡薬剤師会勉強会, 2006年10月, 近江八幡

阿部 元

乳癌化学療法の治療戦略と副作用管理
第8回富山乳癌化学療法フォーラム, 2006年11月, 富山

目片英治
動注・静脈リザーバーを用いたがん化学療法の理解と症状マネジメントの実際
動注・静脈リザーバーを用いたがん化学療法の理解と症状マネジメントの実際, 2006年, 大阪

阿部 元
がんを早くみつけて治すために 乳がんを治す
第20回滋賀医科大学公開講座(公開講座), 2006年10月, 草津

遠藤善裕
がんを早くみつけて治すために 胃がん、大腸がんを治す
第20回滋賀医科大学公開講座(公開講座), 2006年10月, 草津

遠藤善裕
人工肛門を作らない大腸がんの手術
第25回Microwave Surgery研究会 市民公開講座, 2006年9月, 京都

遠藤善裕
術後重症感染症とその対策
平成18年度第14回日本外科学会生涯教育セミナー(九州地区), 2006年5月, 福岡

遠藤善裕
がん病態生理学・疫学
平成18年度がん専門分野における質の高い看護師の育成研修会(於 滋賀県立大学人間看護学部
地域交流実践研究センター), 2006年

谷 徹
次世代外科系手術システムの開発
奈良県立医科大学 泌尿器科 生涯教育セミナー, 2007年1月, 大阪

村田 聡
応急処置の総論 各傷病者の鑑別と判断及び観察用機器
平成18年度消防職員専科教育救急科講習(講義), 2007年2月, 大津

谷 徹
微生物による生体侵襲 -感染を超えて-
第4回神奈川外科感染症研究会学術講演会(特別講演), 2007年2月

谷 徹
自在カンシと、レトラクターを有するMR対応内視鏡の可能性
2006年度第6回滋賀医科大学-立命館大学健康創造科学研究会, 2007年3月, 草津

阿部 元
転移性乳癌の化学療法 -1st Lineの治療戦略-
乳癌学術講演会, 2007年1月, 草津

遠藤善裕
若い人にもある、頻尿・尿もれ、便もれの治療について
滋賀医科大学市民公開講座, 2007年6月, 大津

来見良誠
肝疾患周術期の輸液
第37回レジデントノート座談会, 2007年

阿部 元
2007 ASCO 報告による最新の話題—43rd ASCO Annual Meeting (Translating Research into Practice)
乳癌懇話会, 2007年6月, 京都

阿部 元
ASCO2007 Review

滋賀県乳癌学術講演会、2007年7月、草津

阿部 元

当院におけるチーム医療の実践—乳癌化学療法を安全に実施するために
第3回乳癌チーム医療フォーラム（特別講演）、2007年9月、金沢

目片英治

がんの先進医療（自分にあった治療をめざして）
平成19年度がんプロフェッショナル養成プラン 滋賀医科大学 市民公開講座、2008年3月、大津

谷 徹

本学の悪性腫瘍に対する取組—教育・組織・地域連携・先進医療
がんプロフェッショナル養成プラン 「高度がん医療を先導する人材養成拠点の形成」医療フォーラム —がん医療専門職教育の現状と課題—、2008年3月、京都

遠藤善裕

研修医のためのWHO方式がん疼痛治療法・麻薬の使い方
第13回卒後臨床研修イブニングセミナー、2008年3月、大津

谷 徹

PMX血液浄化療法の適応病態と臨床効果
PMX血液浄化療法セミナー ～臨床効果と最近の話題について～（特別講演）、2008年3月、埼玉

谷 徹

Navigation Surgeryの確立を目指して
第22回日本Endourology・ESWL学会総会（特別講演）、2008年11月、大阪

谷 徹

スペシャリストに聞く匠の技 泌尿器科と消化器外科手術の接点
第58回日本泌尿器科学会中部総会（教育シンポジウム）、2008年11月、大津

谷 徹

都市エリア産学官連携促進事業の取り組みについて
地域クラスターセミナー in 福島～医療機器関連の新産業創出と地域経済の活性化—医療機器クラスターの新潮流—、2008年11月、福島

遠藤 善裕

研修医のためのがん性疼痛管理-麻薬の使い方の基本-
第 14 回卒後臨床研修イブニングセミナー, 2008 年 11 月, 大津

阿部 元

乳癌術後化学療法の今後の展望—SABCS2007 報告を踏まえて—
福井乳癌化学療法カンファレンス (特別講演), 2008 年 2 月, 福井

阿部 元

乳癌術前・術後化学療法の意義と当院における現状について
第 4 回 Breast Cancer 化学療法カンファレンス, 2008 年 5 月, 大阪

遠藤善裕

外来診療での麻薬の使用方法
滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第 5 回病診連携フォーラム, 2008 年 6 月, 大津

阿部 元

乳癌のリンパ浮腫とは
乳がんリンパ浮腫外来勉強会 (TV 講演), 2008 年 10 月

久保田良浩

日常遭遇する小児外科疾患-診断と治療-
第 15 回東近江-彦根小児領域談話会, 2008 年 6 月, 滋賀

久保田良浩

日常遭遇する小児外科疾患の診断と治療
第 61 回小児科医イブニングカンファレンス, 2008 年 9 月, 滋賀

目片英治

進行・再発大腸癌に対する当院における化学療法の現状
滋賀消化器癌化学療法講演会, 2009 年 1 月, 大津

来見良誠

思わぬところにヒントがある—医療の現状と将来—
医工連携ものづくりプロジェクト創出支援事業・都市エリア産学官連携促進事 (発展型) 第 2 回
ユーザー会議, 2009 年 2 月, 大津

梅田 朋子

4 大学の 1 年の活動報告～滋賀医科大学の活動～
第 2 回 医療フォーラム—がん医療専門職教育の実践—, 2009 年 3 月, 京都

阿部 元

「乳がん検診の従事者がしておきたい知識」「乳がん検診の知っておきたい知識 Q&A」
平成 20 年度乳がん検診従事者講習会, 2009 年 3 月, 大津

<インストラクター>

阿部 元

第 3 回滋賀県マンモグラフィ講習会 講師, 2008 年 2 月, 大津

梅田 朋子

第 3 回滋賀県マンモグラフィ講習会 講師, 2008 年 2 月, 大津

河合 由紀

第 3 回滋賀県マンモグラフィ講習会 講師, 2008 年 2 月, 大津

<放送>

谷 徹

滋賀経済 now, 2007 年 6 月 16 日 (土), びわこ放送, 2007

谷 徹

走るとお腹が痛くなるのはなぜ? 大泣きすると涙が止まらなくなるのはどうして?
解体新ショー, 2008 年 7 月 11 日, NHK 放送, 2008

<主催学会・研究会>

大会長 谷 徹

第26回日本アフェレシス学会学術大会

2006年7月28日29日，琵琶湖ホテル

会長 谷 徹

第25回Mirrowave Surgery 研究会

2006年9月1日，リーガロイヤルホテル京都

会長 谷 徹

第22回日本Shock学会総会

2007年5月10日，ロイヤルオークホテル スパ&ガーデンズ

顧問 谷 徹

第3回滋賀県マンモグラフィ講習会

2008年2月2日・3日，滋賀医科大学看護学科棟

当番世話人 阿部 元

第6回日本乳癌学会近畿地方会

2008年12月6日，メルパルク京都

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第1回病診連携フォーラム

2006年6月13日，瀬田アーバンホテル

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第2回病診連携フォーラム

2006年12月2日，瀬田アーバンホテル

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第3回病診連携フォーラム

2007年6月16日，瀬田アーバンホテル

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第4回病診連携フォーラム

2007年11月10日，瀬田アーバンホテル

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第5回病診連携フォーラム

2008年6月14日，瀬田アーバンホテル

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第6回病診連携フォーラム

2008年11月15日，瀬田アーバンホテル

心臓血管外科

【論文】

<英文著書>

Asai T

Technique and Results for Skeletonized GEA Using the Harmonic Scalpel in Combination with Other Arterial Grafts in Off-Pump Coronary Bypass Surgery
Arterial Grafting for Coronary Artery Bypass Surgery, Second Edition, Springer-Verlag Berlin, 196-200, 2006

<和文著書>

東田隆治, 浅井 徹

b. 診断と手術適応 (§ 4. 虚血性疾患 1. 冠血行再建術)
心臓血管外科テキスト, 中外医学社, 221-227, 2007

浅井 徹

急性心筋梗塞後の乳頭筋断裂に対する僧帽弁形成術
心臓弁膜症の外科 第3版, 医学書院, 469-476, 2007

浅井 徹

DES時代のCABGの現状と将来

DES時代のPCI (理論編) 2章 DES時代のPCIとCABG, 中山書店, 35-40, 2007

浅井 徹

2) 乳頭筋断裂 (第1章 冠動脈・心筋疾患の病態と治療戦略 4. 心筋梗塞後の合併症)

Circulation Visual Best 心臓血管外科デクニック III冠動脈・心筋疾患編, メディカ出版, 77-81, 2009

<英文学術論文>

Suzuki T, Asai T, Matsubayashi K, Kambara A, Ikegami H, Kinoshita T, Nishimura O
Off-pump coronary artery bypass grafting using in situ bilateral skeletonized internal thoracic arteries
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 56(3):109-113, 2008

Shinro Matsuo, Yuichi Sato, Ryuji Higashida, Shoichiro Shiraishi, Tohru Asai, Ichiro Nakae, Minoru Horie

A giant main pulmonary artery aneurysm associated with infundibular pulmonary stenosis
Cardiovascular Revascularization Medicine 9:188-189, 2008

Suzuki T, Asai T, Matsubayashi K, Kambara A, Ikegami H, Kinoshita T, Nishimura O
Early and midterm outcome after off-pump coronary artery bypass grafting in patients with poor left ventricular function compared with patients with normal function
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 56(7):324-329, 2008

Matsubayashi K, Asai T, Nishimura O, Kinoshita T, Ikegami H, Kambara A, Suzuki T
Giant Coronary Artery Aneurysm in the Left Main Coronary Artery: A Novel Surgical Procedure
Ann Thorac Surg 85(6):2130-2, 2008

Suzuki T, Asai T

Early and Midterm Results of Off-Pump Coronary Artery Bypass Grafting without Patient Selection
Heart Surg Forum 11(4):E213-7, 2008

Tomoyuki Takayama, Masanori Teramura, Hiroshi Sakai, Shinji Tamaki, Tabito Okabayashi, Takeshi Kawashima, Takashi Yamamoto, Minoru Horie, Tomoaki Suzuki, Tohru Asai
Perforated Mitral Valve Aneurysm Associated with Libman-Sacks Endocarditis
Internal Medicine 47:1605-1608, 2008

<和文学術論文>

池上博久, 瀧北彰一, 太田依子, 加藤博文, 高野知行, 竹内義博
脈絡裂嚢胞を認めた局在関連性てんかんの1例
小児科 47(8):1269-1272, 2006

浅井 徹
まい・てくにつく OPCAB における sequential 吻合のコツ
胸部外科 60(5):362, 2007

東田隆治, 浅井 徹, 白石昭一郎, 松林景二, 西 崇男, 黒川正人
心臓大血管手術後の創感染に対する vacuum-assisted closure による新しい治療法
日本心臓血管外科学会雑誌 35(3):127-31, 2006

池上博久, 鈴木友彰, 西村 修, 木下 武, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
特発性血小板減少性紫斑病合併症例に対する開心術の 1 例 術前 γ グロブリン大量静注療法
日本心臓血管外科学会雑誌 37(2):108-111, 2008

鈴木友彰, 浅井 徹
洗練された心臓外科医による冠動脈バイパス
日本冠疾患雑誌 14:57-61, 2008

鈴木友彰, 浅井 徹
胸部外科の指針 討論 2
胸部外科 6(10):834-835, 2008

【学会発表】

<国際学会 シンポジウム>

Tohru Asai
Valve Sparing Operation and Valve Repair
The 19th annual meeting of the Japan Chapter of World Society of Cardiothoracic Surgeons
(WSCTS) , July 2006, Kanazawa

<国際学会>

Ryuji Higashita, Tohru Asai, Shoichiro Shiraishi, Keiji Matsubayashi, Takao Nishi,
Tomoaki Suzuki, Masato Koike
Off-pump pulmonary vein isolation by bipolar radiofrequency ablation system
The 14th Annual Meeting of the Asian Society for Cardiovascular Surgery, June 2006, Osaka

Hirohisa Ikegami
Japanese Education in Cardiac Surgery
2007 Annual Scientific Meeting of International Society for Minimally Invasive
Cardiothoracic Surgery, June 2007, Rome

Tohru Asai
A Novel New Design for Posterior Mitral Leaflet Resection Butterfly Resection and Rotation
Plasty
The 18th WSCTS World Congress, May 2008, Kos Island, Greece

Tohru Asai
A Novel Method of Distal Arch Exposure by using Estech Stabilizer
Aortic Symposium 2008, May 2008, New York

Tohru Asai, Keiji Matsubayashi, Tomoaki Suzuki, Atsushi Kambara, Takeshi Kinoshita,
Hirohisa Ikegami, Osamu Nishimura
Initial Outcome of a Newly Designed Posterior Leaflet Resection for Mitral Valve Repair
“Butterfly Resection”
2008 Annual Scientific Meeting of International Society for Minimally Invasive
Cardiothoracic Surgery, June 2008, Boston

Takeshi Kinoshita, Tomoaki Suzuki, Osamu Nishimura, Hirohisa Ikegami, Atsushi Kambara,
Keiji Matsubayashi, Tohru Asai
Impact of Prior Percutaneous Coronary Intervention in Patients with Diabetes Mellitus and
Multivessel Disease Undergoing Off Pump Coronary Artery Bypass Grafting
2008 Annual Scientific Meeting of International Society for Minimally Invasive
Cardiothoracic Surgery, June 2008, Boston

<全国学会 シンポジウム>

浅井 徹

CABGの方法論、効果と今後のあり方 ―最重要目標である生命予後改善のために―
第54回日本心臓病学会学術集会, 2006年9月, 鹿児島

浅井 徹

Maximal and Optimal Use of Skeletonized in-situ Bilateral ITA and GEA in OPCAB (Skeletonized in-situ LITA, RITA, GEAの最大適正使用によるOPCAB)
第12回日本冠動脈外科学会学術大会, 2007年7月, 東京

Tohru Asai, Keiji Matsubayashi, Tomoaki Suzuki, Atsushi Kambara, Takeshi Kinoshita, Hirohisa Ikegami, Osamu Nishimura, Shoichiro Shiraishi, Masato Koike
The Skeletonized GEA Graft in Artery OPCAB
第13回日本冠動脈外科学会学術大会, 2008年7月, 東京

浅井 徹

Professional Cardiac Surgeonへの道
第22回日本冠疾患学会学術集会, 2008年12月, 東京

<全国学会 ビデオシンポジウム>

浅井 徹, 松林景二, 鈴木友彰, 神原篤志, 池上博久, 木下 武, 西村 修
僧帽弁位感染症心内膜炎に対する弁形成術の可能性、信頼性とその限界
第108回日本外科学会定期学術集会, 2008年5月, 長崎

<全国学会 ビデオフォーラム>

浅井 徹

僧帽弁形成術を執刀する際に知っておくべき Tips and Pitfalls ―左室流出路狭窄の science―
第22回心臓血管外科ウインターセミナー, 2008年1月, 福島

<全国学会 一般発表>

白石昭一郎, 浅井 徹, 東田隆治, 松林景二, 西 崇男, 鈴木友彰, 小池雅人
僧帽弁閉鎖不全症に対する弁尖切除を第一選択とする僧帽弁形成術
第36回日本心臓血管外科学会, 2006年4月, 岩手

鈴木友彰, 浅井 徹, 白石昭一郎, 東田隆治, 松林景二, 西 崇男
超高齢者弁膜症の患者背景と手術成績
第36回日本心臓血管外科学会, 2006年4月, 岩手

東田隆治, 白石昭一郎, 松林景二, 西 崇男, 鈴木友彰, 小池雅人, 浅井 徹
糖尿病はCABGの予後に如何に関与するか
第11回日本冠動脈外科学会, 2006年7月, 福岡

鈴木友彰, 浅井 徹, 白石昭一郎, 東田隆治, 松林景二, 西 崇男, 小池雅人
透析患者に対するCABGの問題点, 危険因子の検討
第11回日本冠動脈外科学会, 2006年7月, 福岡

浅井 徹

Mitral Valve Repair for Papillary Muscle Rupture Following Acute Myocardial Infarction
(乳頭筋断裂に対する僧帽弁形成術)
第12回日本冠動脈外科学会学術大会 (Meet the Experts), 2007年7月, 東京

池上博久, 浅井 徹, 鈴木友彰, 白石 昭一郎, 松林景二, 小池雅人, 木下 武, 平松範彦
Operative and Perioperative Outcome of OPCAB Surgeries for Renal Dysfunction Patients
(腎機能低下症例におけるOPCAB手術及び周術期成績の検討)
第12回日本冠動脈外科学会学術大会, 2007年7月, 東京

木下 武, 浅井 徹, 白石昭一郎, 松林景二, 鈴木友彰, 小池雅人, 平松範彦, 池上博久
Analysis of Risk Factor Associated with Atrial Fibrillation Following OPCAB
(OPCAB後の心房細動発症の危険因子の検討)
第12回日本冠動脈外科学会学術大会, 2007年7月, 東京

浅井 徹

後尖逸脱の標準術式としての新しい後尖切除法—Butterfly Resection and Rotation Plasty—

第 60 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2007 年 10 月, 仙台

鈴木友彰, 池上博久, 木下武, 西村 修, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
低左心機能症例に対する OPCAB の成績
第 21 回日本冠疾患学会学術集会, 2007 年 12 月, 京都

松林景二, 西村 修, 木下 武, 池上博久, 神原篤志, 鈴木友彰, 浅井 徹
超高齢者心拍動下冠動脈バイパスの手術成績
第 21 回日本冠疾患学会学術集会, 2007 年 12 月, 京都

木下 武, 鈴木友彰, 西村 修, 池上博久, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
PCI の既往が糖尿病合併三枝病変の CABG に与える影響
第 21 回日本冠疾患学会学術集会, 2007 年 12 月, 京都

鈴木友彰, 浅井 徹, 松林景二, 神原篤志, 池上博久, 木下 武, 西村 修
心拍動下冠動脈バイパスの中期成績
第 38 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2008 年 2 月, 福岡

木下 武, 鈴木友彰, 西村 修, 池上博久, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
腎機能障害患者における心拍動下冠動脈バイパス術
第 38 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2008 年 2 月, 福岡

西村 修, 鈴木友彰, 池上博久, 木下 武, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
高齢者女性 AS の生体弁置換症例に対し現在の PPM 概念を適応すべきか否か
第 38 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2008 年 2 月, 福岡

小池雅人, 小島秀人, 西村 修, 木下 武, 池上博久, 神原篤志, 鈴木友彰, 松林景二, 白石昭一郎,
浅井 徹
マウス double heart model における EPC 細胞治療による冠血流改善作用
第 38 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2008 年 2 月, 福岡

浅井 徹
Arterial OPCAB during in the Era of DES
第 72 回日本循環器学会総会・学術集会, 2008 年 3 月, 福岡

鈴木友彰, 浅井 徹, 松林景二, 神原篤志, 池上博久, 木下 武, 西村 修
早期—中期成績からみた心拍動下冠動脈バイパスの功罪
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

小池雅人, 小島秀人, 西村 修, 木下 武, 池上博久, 神原篤志, 鈴木友彰, 松林景二, 白石昭一郎,
浅井 徹
EPC 治療の冠血流改善作用—Chronic unloading heart model を用いて
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

浅井 徹
Are we getting the better treatment for IHD compared to 10 years ago? Progresses and Problems,
a word of caution by cardiac surgeon
第 56 回日本心臓病学会学術集会 (Asian Session) , 2008 年 9 月, 東京

木下 武, 平松範彦, 神原篤志, 松林景二, 村上義孝, 浅井 徹
透析患者に対する両側内胸動脈グラフトを用いた冠動脈バイパス術の長期生存
第 61 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2008 年 10 月, 福岡

松林景二, 西村 修, 平松範彦, 池上博久, 木下 武, 神原篤志, 鈴木友彰, 浅井 徹
Total Arch Replacement 術式の検討～至適低体温と臓器保護～
第 61 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2008 年 10 月, 福岡

木下 武, 細羽創宇, 西村 修, 平松範彦, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
DES 導入後の CABG の患者背景、手術の変化
第 22 回日本冠疾患学会学術集会, 2008 年 12 月, 東京

松林景二, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 神原篤志, 浅井 徹
心拍動下冠動脈バイパス手術と bilateral pulmonary vein isolation 合併手術の有用性
第 22 回日本冠疾患学会学術集会, 2008 年 12 月, 東京
吉田 均, 竹内 斉, 吉田久美, 浅井 徹
低体温体外循環中に人工心肺回路圧上昇を認め送血困難をきたした 2 症例
第 23 回心臓血管外科ウィンターセミナー, 2009 年 1 月, 軽井沢

細羽創宇, 松林景二, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 神原篤志, 浅井 徹
術中操作により左室内血栓を消失した 1 例
第 23 回心臓血管外科ウィンターセミナー, 2009 年 1 月, 軽井沢

平松範彦, 松林景二, 細羽創宇, 西村 修, 木下 武, 神原篤志, 浅井 徹
複数回の PCI で多数のステントが留置された患者 “Full metal jacket” に対する冠動脈バイパス
術
第 23 回心臓血管外科ウィンターセミナー, 2009 年 1 月, 軽井沢

西村 修, 松林景二, 細羽創宇, 平松範彦, 木下 武, 神原篤志, 浅井 徹
冠動脈肺動脈瘻に発生した多発冠動脈瘤破裂の一例
第 23 回心臓血管外科ウィンターセミナー, 2009 年 1 月, 軽井沢

<地方会・研究会>

浅井 徹
心臓血管外科の立場から
23rd Live Demonstration in Kokura, 2006 年 4 月, 北九州

鈴木友彰, 小池雅人, 西 崇男, 松林景二, 東田隆治, 白石昭一郎, 浅井 徹
糖尿病症例に対する冠動脈バイパス ー特にびまん性病変に対する血行再建ー
第 4 回京滋臨床心血管フォーラム, 2006 年 5 月, 京都

浅井 徹
胸部大動脈瘤の臨床
第 104 回草津栗東医師会循環器研究会, 2006 年 6 月, 草津

木下 武, 小池雅人, 鈴木友彰, 西 崇男, 松林景二, 東田隆治, 白石昭一郎, 浅井 徹
腸管虚血・下肢虚血をきたした慢性Ⅲ型大動脈解離の 1 例
第 61 回滋賀県循環器疾患研究会, 2006 年 6 月, 草津

松林景二, 浅井 徹, 白石昭一郎, 東田隆治, 西 崇男, 鈴木友彰
Idiopathic mediastinal fibrosis に併発した弓部大動脈瘤の一例
第 49 回関西胸部外科学会, 2006 年 6 月, 浜松

浅井 徹, 白石昭一郎, 東田隆治, 松林景二, 西 崇男, 鈴木友彰, 小池雅人, 木下 武
正中切開から遠位大動脈吻合のための視野展開の私達の工夫 -ESTECH Stabilizer による視野展
開-
第 17 回関西心臓手術手技研究会, 2006 年 7 月, 大阪

池上博久, 鈴木友彰, 白石昭一郎, 松林景二, 西 崇男, 小池雅人, 木下 武, 平松範彦, 浅井 徹
糖尿病を合併する冠動脈多岐病変にたいするアプローチ
第 22 回滋賀狭心症研究会, 2006 年 9 月, 大津

浅井 徹
虚血性心疾患の今日の治療法選択と問題点
第 106 回草津栗東医師会循環器研究会, 2006 年 10 月, 草津

浅井 徹
外科医から見た “できる手術室看護師とは”
手術室看護師研究会 (基調講演), 2006 年 10 月, 金沢

浅井 徹
心臓血管領域の救急医療
第 32 回滋賀救急医療研究会 (特別講演), 2006 年 10 月, 大津

浅井 徹

21 世紀の冠動脈疾患治療～外科の立場から
日本循環器学会近畿地方会（教育セッション）, 2006 年 12 月, 大津

浅井 徹
感染症心内膜炎
第 108 回草津栗東医師会循環器研究会, 2007 年 2 月, 草津

鈴木友彰, 白石昭一郎, 松林景二, 小池雅人, 池上博久, 木下 武, 平松範彦, 浅井 徹
V T 発作をくり返す心室瘤 - 術中クライオと左室縫縮形成 -
第 23 回循環器内科・外科フォーラム, 2007 年 3 月, 大阪

平松範彦, 鈴木友彰, 松林景二, 池上博久, 木下 武, 浅井 徹
心不全を契機に発見された成人右冠動脈肺動脈起始症
第 50 回関西胸部外科学会学術集会, 2007 年 6 月, 大阪

池上博久, 浅井 徹, 鈴木友彰, 白石昭一郎, 松林景二, 小池雅人, 木下 武, 平松範彦
腎機能低下症例における心臓手術の周術期成績の検討
第 50 回関西胸部外科学会学術集会, 2007 年 6 月, 大阪

浅井 徹
心臓弁膜症患者の管理と治療の適応
第 110 回草津栗東医師会循環器研究会, 2007 年 6 月, 草津

木下 武, 鈴木友彰, 松林景二, 神原篤志, 池上博久, 西村 修, 浅井 徹
連合弁膜症、3 枝病変、心房細動、弓部大動脈瘤、腹部大動脈瘤に対する手術の経験
第 63 回滋賀県循環器疾患研究会, 2007 年 6 月, 長浜

浅井 徹
弓部大動脈全置換における遠位側吻合法 - Exposure and Complete Hemostasis -
第 18 回関西心臓手術手技研究会, 2007 年 7 月, 大阪

浅井 徹
乳頭筋断裂の弁形成術
平成 19 年度阪神心臓弁膜症シンポジウム, 2007 年 10 月, 倉敷

浅井 徹
病歴と初期検査で診る心臓血管疾患
第 112 回草津栗東医師会循環器研究会, 2007 年 10 月, 草津

浅井 徹
冠動脈バイパス手術最前線
第 44 回日本糖尿病学会近畿地方会（教育講演）, 2007 年 11 月, 大阪

岩城隆馬, 鈴木友彰, 西村 修, 池上博久, 木下 武, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
右大動脈弓に合併した慢性解離性大動脈瘤の一例
第 64 回滋賀県循環器疾患研究会, 2007 年 11 月, 草津

藤野 晋, 松林景二, 西村 修, 池上博久, 木下 武, 神原篤志, 鈴木友彰, 浅井 徹
乳頭筋断裂と診断された活動期感染症心内膜炎の一例
第 64 回滋賀県循環器疾患研究会, 2007 年 11 月, 草津

木下 武, 西村 修, 池上博久, 神原篤志, 鈴木友彰, 松林景二, 浅井 徹
弓部大動脈瘤食道穿破の 1 例
第 92 回滋賀県外科医会, 2007 年 12 月, 野洲

浅井 徹
心臓弁膜症と聴診所見
第 114 回草津栗東医師会循環器研究会, 2008 年 2 月, 草津

浅井 徹
僧帽弁形成術を断念した症例（心エコーとビデオを通じて）
第 8 回葉山ハートセミナー（シンポジウム）, 2008 年 3 月, 葉山町

池上博久, 鈴木友彰, 西村 修, 木下 武, 平松範彦, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
虚血性 MR はリング弁輪縫縮でどうなるか : 治療戦略は妥当か
第 6 回京滋臨床心血管フォーラム, 2008 年 4 月, 京都

浅井 徹
PCI vs CABG in MVD and LMTD
25th Live Demonstration in Kokura, 2008 年 5 月, 小倉

池上博久, 浅井 徹, 松林景二, 神原篤志, 鈴木友彰, 木下 武, 西村 修
寒冷凝集素症様の病態で人工心肺が回らなくなった亜急性大動脈解離の 1 例
第 51 回関西胸部外科学会学術集会, 2008 年 6 月, 富山

平松 範彦, 東上震一, 関井浩義, 頓田 央, 乃田浩光, 東 修平, 薦岡成年
弁輪部への人工弁装着が困難な症例に対しての trans location 法を用いた AVR
第 51 回関西胸部外科学会学術集会, 2008 年 6 月, 富山

神原篤志, 池上博久, 西村 修, 木下 武, 鈴木友彰, 松林景二, 浅井 徹
僧帽弁形成術の際に大動脈弁尖を損傷し、パッチ修復を要した 1 例
第 51 回関西胸部外科学会学術集会, 2008 年 6 月, 富山

西村 修, 池上博久, 木下 武, 鈴木友彰, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
外傷性上行大動脈解離・大動脈閉鎖不全の 1 症例
第 51 回関西胸部外科学会学術集会, 2008 年 6 月, 富山

松林景二, 木下 武, 西村 修, 池上博久, 神原篤志, 鈴木友彰, 手塚則明, 浅井 徹
肺内穿破を来たした縦隔奇形種を合併した僧帽弁閉鎖不全症の 1 例
第 51 回関西胸部外科学会学術集会, 2008 年 6 月, 富山

池上博久, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 鈴木友彰, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
感染ペースメーカーリード摘出の為に体外循環を要した 2 例
第 65 回滋賀県循環器疾患研究会, 2008 年 6 月, 草津

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 浅井 徹
高齢者の後心室中隔穿孔に対する開心術の 1 例
第 65 回滋賀県循環器疾患研究会, 2008 年 6 月, 草津

浅井 徹
急性心筋梗塞後乳頭筋断裂による MR に対して、僧帽弁形成術はスタンダードとなりうるか?
第 19 回関西心臓手術手技研究会, 2008 年 7 月, 大阪

浅井 徹
ケーススタディ (僧帽弁手術)
平成 20 年度阪神弁膜症シンポジウム, 2008 年 10 月, 吹田

浅井 徹
糖尿病冠動脈多枝病変に対する CABG の役割
第 8 回京都糖尿病エキスパートミーティング (特別講演), 2008 年 10 月, 京都

浅井 徹
虚血性心疾患の治療戦略 2008
第 118 回草津栗東医師会循環器研究会, 2008 年 10 月, 草津

浅井 徹
急性心筋梗塞合併症 (MR, VSP) の外科治療~私達の新たな試み~
第 8 回広島心臓血管外科フォーラム (特別講演), 2008 年 11 月, 広島

浅井 徹
心拍動下冠動脈バイパス術への道
第 58 回日本泌尿器科学会中部総会 (教育シンポジウム), 2008 年 11 月, 大津

西村 修, 松林景二, 細羽創宇, 平松範彦, 木下 武, 神原篤志, 浅井 徹
冠動脈瘤、PA 動静脈瘻破裂の 1 例

第 66 回滋賀県循環器疾患研究会, 2008 年 12 月, 草津

藤野 晋, 木下 武, 松林景二, 神原篤志, 平松範彦, 西村 修, 細羽創宇, 浅井 徹
aberrant subclavi an artery (ASCA) を有する弓部大動脈全置換手術の工夫
第 23 回日本血管外科学会近畿地方会, 2009 年 3 月, 奈良

【対外活動】

<ライブ手術>

浅井 徹

KCJL2008 近畿心血管治療ジョイントライブ 2008 (KCJL Surgical), 2008 年 4 月, 京都 (大津・滋賀医科大学)

<インストラクター>

浅井 徹

ハンズオンセッション: 冠動脈コース

第 59 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2006 年 10 月, 東京

浅井 徹

ハンズオン・セミナー: 冠動脈バイパス術

第 37 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2007 年 2 月, 東京

浅井 徹

ハンズオンセミナー: 冠動脈コース

第 50 回関西胸部外科学会学術集会, 2007 年 6 月, 大阪

浅井 徹

ハンズオンセミナー: 冠動脈バイパス術

第 60 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2007 年 10 月, 仙台

浅井 徹

ハンズオンセミナー: 心臓血管外科コース (心血管 CABG)

第 61 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2008 年 10 月, 福岡

<講演>

浅井 徹

『PCI 治療困難例に対する血行再建治療』外科的アプローチの立場より

第 7 回京都心臓血管治療談話会, 2006 年 4 月, 京都

浅井 徹

僧帽弁形成における問題点と新しい手術コンセプト

静岡県心臓血管外科医会 第 18 回集談会 (特別講演), 2007 年 4 月, 静岡

浅井 徹

臨床内科医にとって知っておきたい腎障害と心臓血管外科治療

脂質と血管イベント 2007 (特別講演), 2007 年 10 月, 大津

浅井 徹

腎不全と心臓血管外科治療

第 26 回明石・西神戸透析懇話会 (特別講演), 2008 年 2 月, 明石

浅井 徹

海外臨床留学 OFF-Site Meeting, 2008 年 7 月, 東京

浅井 徹

冠動脈血行再建は進歩したか?

PCI か CABG か ~心血管治療の最前線~ (特別講演), 2009 年 1 月 15 日, 富山

浅井 徹

不都合な真実、虚血性心疾患進化の危機

第 5 回和歌山循環器 Debate Conference (特別講演), 2009 年 2 月, 和歌山

浅井 徹

心臓血管外科治療の最前線

呼吸器外科

【論文】

<英文学術論文>

Teramoto K, Kontani K, Fujita T, Ozaki Y, Sawai S, Tezuka N, Fujino S, Itoh Y, Taguchi O, Kannagi R, Ogasawara K

Successful tumor eradication was achieved by collaboration of augmented cytotoxic activity and anti-angiogenic effects following therapeutic vaccines containing helper-activating analog-loaded dendritic cells and tumor antigen DNA
Cancer Immunol Immunother 56(3):331-342, 2007

Takazakura R, Takahashi M, Nitta N, Sawai S, Tezuka N, Fujino S, Murata K

Assessment of diaphragmatic motion after lung resection using magnetic resonance imaging
Radiat Med 25(4):155-63, 2007

Takahashi M, Murakami Y, Nitta N, Murata K, Tezuka N, Fujino S, Okabe H

Pulmonary infarction associated with bronchogenic carcinoma
Radiat Med 26:76-80, 2008

Minako Fujita, Mitsuaki Ishida, Noriaki Tezuka, Shozo Fujino, Tohru Asai, Hidetoshi Okabe

HER1-4 expression status correlates with the efficacy of gefitinib treatment and tumor cell proliferative activity in non-small cell lung cancer
MOLECULAR MEDICINE REPORTS 1:225-230, 2008

<和文原著>

福岡順也, 北野晴久

高集積アレイを用いた蛋白発現データベースの作成と臨床応用
肺癌 47(7):915-919, 2007

<和文学術論文>

花岡 淳, 井上修平, 大内政嗣, 五十嵐知之, 藤野昇三, 手塚則明, 澤井 聡

喀血で発症した肺底動脈体動脈起始症の1切除例
日本呼吸器外科学会雑誌 20(2):198-204, 2006

藤田琢也, 寺本晃治, 尾崎良智, 手塚則明, 澤井 聡, 藤田美奈子, 藤野昇三

ゲフィチニブ隔日投与症例の検討
肺癌 47(1):9-12, 2007

大塩恭彦, 藤野昇三, 澤井 聡, 大塩麻友美, 朝倉庄志, 一瀬増太郎

4回の手術, 放射線治療, 化学療法により長期生存を得ている胸腺癌の1例
肺癌 47(1):41-46, 2007

大塩麻友美, 藤野昇三, 手塚則明, 澤井 聡, 尾崎良智

原発性肺癌術後に骨格筋転移, 心筋転移を認めた1例
肺癌 47(3):257-261, 2007

鹿島祥隆, 藤野昇三, 大塩麻友美, 北野晴久, 藤田琢也, 藤田美奈子, 澤井 聡, 尾崎良智, 手塚則明

左肺上葉管状切除後に施行した左残存肺全摘術の2例
日本呼吸器外科学会雑誌 21(6):788-792, 2007

寺本晃治, 藤田琢也, 尾崎良智, 花岡 淳, 澤井 聡, 手塚則明, 紺谷桂一

進行再発肺がん・乳がんに対する腫瘍抗原 MUC-1 を標的とした樹状細胞ワクチン療法
日本アフェシス学会雑誌 28(2):163-166, 2009

尾崎良智, 寺本晃治, 藤野昇三
無症状で経過した菌球型肺ムコール症の1切除例
日本臨床外科学会雑誌 70(3):686-690, 2009

【学会発表】

<国際学会>

S. Fujino, Y. Asada, Y. Suzumura, S. Inoue, T. Nagao, T. Hajiro, N. Tezuka, S. Sawai
A phase II study of nedaplatin (CDGP) and docetaxel (TXT) in patients with advanced non-small cell lung cancer (NSCLC)
ASCO2007(第43回米国臨床腫瘍学会年次学術集会), 2007年6月, シカゴ

H Kitano, N Kumagai, Y Sakai, H Kubo, J Fukuoka
Podoplanin expression in cancerous stroma is a poor prognostic marker -Tissue Microarray Analysis
12th World Conference on Lung Cancer, September 2007, Seoul

H Kitano, N Kumagai, Y Sakai, Y Ozaki, S Fujino, J Fukuoka
Galectin-9 in stroma is a better prognostic indicator in lung cancer -Tissue Microarray Analysis
12th World Conference on Lung Cancer, September 2007, Seoul

Koji Teramoto, Shoji Kitamura, Takuya Fujita, Yoshitomo Ozaki, Jun Hanaoka, Noriaki Tezuka, Keiichi Kontani, Shozo Fujino
Inhibition of hypoxia-inducible factor-1 (HIF-1) in tumor tissue can suppress transforming growth factor-beta (TGF-beta) and augment anti-tumor immune responses in tumor-bearing mice
99th Annual Meeting of American Association for Cancer Research, 2008, San Diego

Takuya Fujita, Koji Teramoto, Yoshitomo Ozaki, Jun Hanaoka, Noriaki Tezuka, Shozo Fujino, Keiichi Kontani
Inhibition of TGF-beta-mediated immunosuppression in tumor-draining lymph nodes through administration of DNA encoding soluble TGF-beta type II receptor can augment anti-tumor immune responses
99th Annual Meeting of American Association for Cancer Research, 2008, San Diego

<全国学会 シンポジウム>

寺本晃治, 五十嵐知之, 北村将司, 藤田美奈子, 藤田琢也, 花岡 淳, 手塚則明
進行再発肺癌・乳癌に対する癌抗原 MUC-1 を標的とした樹状細胞ワクチン療法
第29回日本アフェリシス学会学術大会, 2008年11月, 広島

<全国学会 サージカルフォーラム>

手塚則明, 大塩麻友美, 尾崎良智, 澤井 聡, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 藤田美奈子, 藤野昇三
原発性肺癌に対する区域切除症例の検討
第107回日本外科学会総会, 2007年

<全国学会 ワークショップ>

尾崎良智, 澤井 聡, 大塩麻友美, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 藤田美奈子, 手塚則明, 藤野昇三
進行再発肺癌・乳癌に対する樹状細胞ワクチン療法
第47回日本肺癌学会総会, 2006年12月, 京都

北野晴久, 熊谷直子, 坂井祐太, 堀 隆, 尾崎良智, 藤野昇三, 福岡順也
Galectin 9 in stroma is a better prognostic indicator in lung cancer -Tissue Microarray Analysis-
第16回日本がん転移学会総会, 2007年7月, 富山

坂井祐太, 北野晴久, 熊谷直子, 堀 隆, 福岡順也
CD57 is a useful diagnostic marker for prostatic and thyroid cancer
第16回日本がん転移学会総会, 2007年7月, 富山

北野晴久, 熊谷直子, 坂井祐太, 堀 隆, 久保 肇, 福岡順也
Podoplanin expression in cancerous stroma is an indicator for lymph node metastasis and prognosis
第16回日本がん転移学会総会, 2007年7月, 富山

<全国学会 一般発表>

藤野昇三, 大塩麻友美, 高萩亮宏, 藤田美奈子, 藤田琢也, 尾崎良智, 手塚則明, 澤井 聡
Sleeve lobectomy 後 Completion pneumonectomy の 2 例
第 29 回日本呼吸器内視鏡学会総会, 2006 年, つくば

尾崎良智, 高萩亮宏, 大塩麻友美, 藤田琢也, 藤田美奈子, 手塚則明, 澤井 聡, 藤野昇三
PET-CT と縦隔鏡により診断が確定した縦隔病変の検討

第 29 回日本呼吸器内視鏡学会総会, 2006 年, つくば

藤野昇三, 大塩麻友美, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田美奈子, 藤田琢也, 尾崎良智, 手塚則明, 澤井 聡
剣状突起下から挿入した片手の補助を利用した胸腔鏡下手術 (Hand Assisted Thoracoscopic Surgery HATS)

第 68 回日本臨床外科学会総会, 2006 年

手塚則明, 澤井 聡, 尾崎良智, 北村将司, 明田麻友美, 高萩亮宏, 藤田琢也, 藤田美奈子, 藤野昇三
若年者肺癌切除症例の検討

第 106 回日本外科学会総会, 2006 年, 大阪

澤井 聡, 明田麻友美, 高萩亮宏, 北村将司, 藤田琢也, 藤田美奈子, 尾崎良智, 手塚則明, 藤野昇三
上葉, 上中葉切除例に対する胸腔形成術 (胸腔内隔壁作成) の有用性 (会議録)

第 106 回日本外科学会総会, 2006 年, 大阪

尾崎良智, 紺谷桂一, 明田麻友美, 高萩亮宏, 藤田琢也, 藤田美奈子, 寺本晃治, 澤井 聡, 手塚則明, 藤野昇三

肺癌細胞株における腫瘍関連抗原 Mac-2 binding protein (M2BP) の機能解析

第 106 回日本外科学会総会, 2006 年, 大阪

尾崎良智, 高萩亮宏, 明田麻友美, 藤田琢也, 藤田美奈子, 寺本晃治, 澤井 聡, 手塚則明, 藤野昇三
無症状で経過した菌球型肺ムコール症の 1 切除例

第 23 回日本呼吸器外科学会総会, 2006 年, 東京

大塩麻友美, 藤野昇三, 手塚則明, 澤井 聡, 尾崎良智

若年男性に発症した細気管支肺胞上皮癌の一例

第 23 回日本呼吸器外科学会総会, 2006 年 5 月, 横浜

高萩亮宏, 尾崎良智, 澤井 聡, 手塚則明, 北村将司, 大塩麻友美, 藤田美奈子, 藤田琢也, 藤野昇三
肺原発と考えられた平滑筋肉腫の一切除例

第 23 回日本呼吸器外科学会総会, 2006 年 5 月, 横浜

澤井 聡, 大塩麻友美, 高萩亮宏, 北村将司, 藤田琢也, 藤田美奈子, 尾崎良智, 手塚則明, 藤野昇三
多発肺癌に対する外科治療

第 23 回日本呼吸器外科学会総会, 2006 年 5 月, 横浜

尾崎良智, 紺谷桂一, 藤田琢也, 澤井 聡, 手塚則明, 藤野昇三

肺癌における galectin-9 発現と臨床病理学的意義

第 65 回日本癌学会学術総会, 2006 年 9 月, 横浜

手塚則明, 澤井 聡, 尾崎良智, 大塩麻友美, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田美奈子, 藤田琢也, 藤野昇三
原発性肺癌に対する胸腔鏡下区域切除症例の検討

第 19 回日本内視鏡外科学会総会, 2006 年 12 月, 京都

大塩麻友美, 藤野昇三, 手塚則明, 澤井 聡, 尾崎良智

局麻下胸腔鏡検査が治療方針の決定に有用であった縦隔血腫、血胸の一例

第 19 回日本内視鏡外科学会総会, 2006 年 12 月, 京都

大塩麻友美, 藤野昇三, 手塚則明, 澤井 聡, 尾崎良智

胸部下行大動脈周囲原発悪性リンパ腫の一例

第 47 回日本肺癌学会総会, 2006 年 12 月, 京都

大塩麻友美, 藤野昇三, 手塚則明, 澤井 聡, 尾崎良智

I 期胸腺腫に対する HATS (hand-assisted theracosopic surgery)

第 16 回日本呼吸器外科医会, 2007 年 3 月, 長野

藤野昇三, 大塩麻友美, 高萩亮宏, 鹿島祥隆, 北野晴久, 藤田美奈子, 藤田琢也, 尾崎良智, 手塚則明, 澤井 聡

スリガラス陰影を主体とする病巣 (占有率 50%以上) の性状と治療方針
第 107 回日本外科学会総会, 2007 年, 大阪

尾崎良智, 紺谷桂一, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 澤井 聡, 手塚則明, 藤野昇三
肺癌における Galectin-9 発現と臨床病理学的意義

第 107 回日本外科学会総会, 2007 年, 大阪

伊藤まさみ, 西尾智尋, 長尾大志, 羽白 高, 中野恭幸, 尾崎良智, 澤井 聡, 手塚則明, 藤野昇三, 永谷幸裕, 高櫻竜太郎, 新田哲久, 高橋雅士, 村田喜代史

末梢型小細胞肺癌における画像所見の検討
第 47 回日本呼吸器学会総会, 2007 年

新田哲久, 高橋雅士, 村田喜代史, 羽白 高, 長尾大志, 中野恭幸, 澤井 聡, 藤野昇三

座位型フラットパネルディテクター CT 装置を用いた肺野血流の検討
第 47 回日本呼吸器学会総会, 2007 年

手塚則明, 大塩麻友美, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田美奈子, 藤田琢也, 尾崎良智, 澤井 聡, 藤野昇三
原発性肺癌に対する積極的縮小手術の評価

第 24 回日本呼吸器外科学会総会, 2007 年 5 月, 東京

尾崎良智, 大塩麻友美, 鹿島祥隆, 北野晴久, 藤田琢也, 藤田美奈子, 澤井 聡, 手塚則明, 藤野昇三
大網被覆後二期的に閉創し治癒せしめた右肺全摘後有癭性膿胸の一例

第 24 回日本呼吸器外科学会総会, 2007 年 5 月, 東京

大塩麻友美, 藤野昇三, 手塚則明, 澤井 聡, 尾崎良智

心臓血管外科周術期に合併した肺癌症例の検討

第 24 回日本呼吸器外科学会総会, 2007 年 5 月, 東京

手塚則明, 大塩麻友美, 鹿島祥隆, 北野晴久, 藤田美奈子, 藤田琢也, 尾崎良智, 花岡 淳, 藤野昇三
小児気道異物症例の検討

第 30 回日本呼吸器内視鏡学会総会, 2007 年

北村将司, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田美奈子, 藤田琢也, 寺本晃治, 尾崎良智, 花岡 淳, 手塚則明, 藤野昇三

子宮摘出後に発症した月経随伴性気胸の 1 例

第 11 回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2007 年

藤田琢也, 寺本晃治, 紺谷桂一, 尾崎良智, 花岡 淳, 手塚則明, 藤野昇三, 小笠原一誠

DNA encoding soluble TGF-beta receptor can suppress regulatory T cell function and elicit anti-tumor immune responses

第 66 回日本癌学会学術集会, 2007 年

尾崎良智, 北村将司, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 藤田美奈子, 寺本晃治, 花岡 淳, 手塚則明, 藤野昇三

原発性肺癌患者における血清 Galectin-3 値の検討

第 48 回日本肺癌学会総会, 2007 年 10 月, 名古屋

北村将司, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田美奈子, 藤田琢也, 寺本晃治, 尾崎良智, 花岡 淳, 手塚則明, 藤野昇三

前縦隔リンパ芽球性リンパ腫を合併した右肺癌の 1 例

第 48 回日本肺癌学会総会, 2007 年 10 月, 名古屋

手塚則明, 北村将司, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田美奈子, 藤田琢也, 寺本晃治, 尾崎良智, 花岡 淳, 藤野昇三

当科における気管支カルチノイド切除症例の検討

第 48 回日本肺癌学会総会, 2007 年 10 月, 名古屋

北野晴久, 野本一博, 堀 隆, 福岡順也

Cancerous stroma: a place to look for new biomarkers -Tissue Microarray analysis-
第 48 回日本肺癌学会総会, 2007 年 10 月, 名古屋

尾崎良智, 北村将司, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 藤田美奈子, 寺本晃治, 花岡 淳, 手塚則明
肺癌切除後予後因子としての Galectin-3 の有用性
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

寺本晃治, 北村将司, 藤田琢也, 尾崎良智, 手塚則明, 紺谷桂一, 藤野昇三
腫瘍抗原由来 MHC class 1 抗原ペプチドと Pan MHC class 2 ペプチドでパルスした樹状細胞による
癌免疫療法の基礎研究

第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

藤田琢也, 寺本晃治, 紺谷桂一, 尾崎良智, 花岡 淳, 手塚則明, 藤野昇三, 小笠原一誠
担癌個体に対する可溶性 TGFβ 受容体 DNA 投与による制御性 T 細胞の抑制を介した抗腫
瘍効果の増強

第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

手塚則明, 北村将司, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田美奈子, 藤田琢也, 寺本晃治, 尾崎良智, 花岡 淳,
藤野昇三

降下性壊死性縦隔洞炎の検討

第 25 回日本呼吸器外科学会総会, 2008 年 5 月, 宇都宮

尾崎良智, 北村将司, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 藤田美奈子, 寺本晃治, 花岡 淳, 手塚則明
当科における PET-CT の肺癌リンパ節転移診断能の評価

第 25 回日本呼吸器外科学会総会, 2008 年 5 月, 宇都宮

北村将司, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 藤田美奈子, 寺本晃治, 尾崎良智, 花岡 淳, 手塚則明,
藤野昇三

初回手術後 24 年経過して再発した alveolar soft-part sarcoma 肺転移の 1 例

第 25 回日本呼吸器外科学会総会, 2008 年 5 月, 宇都宮

手塚則明, 五十嵐知之, 北村将司, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田美奈子, 藤田琢也, 寺本晃治, 花岡 淳,
藤野昇三

肺癌周術期に心臓血管外科手術を施行した症例の検討

第 49 回日本肺癌学会総会, 2008 年

北村将司, 五十嵐知之, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 藤田美奈子, 寺本晃治, 花岡 淳, 手塚則明,
藤野昇三

縦隔から発生した巨大脂肪肉腫の 1 例

第 49 回日本肺癌学会総会, 2008 年

寺本晃治, 藤田琢也, 花岡 淳, 手塚則明, 紺谷桂一, 藤野昇三
HIF-1 阻害による TGFβ 発現抑制を介した抗腫瘍免疫応答の増強
第 67 回日本癌学会学術総会, 2008 年 10 月, 名古屋

藤田琢也, 寺本晃治, 花岡 淳, 手塚則明, 紺谷桂一, 藤野昇三, 小笠原一誠
腫瘍所属リンパ節内の TGFβ 抑制による多様な抗腫瘍免疫応答の増強
第 67 回日本癌学会学術総会, 2008 年 10 月, 名古屋

<地方会・研究会>

大塩麻友美, 尾崎良智, 高萩亮宏, 北村将司, 手塚則明, 澤井 聡, 藤野昇三

原発性肺癌術後に骨格筋転移、心筋転移を認めた 1 例

第 83 回日本肺癌学会関西支部会, 2006 年

高萩亮宏, 藤野昇三, 大塩麻友美, 北村将司, 尾崎良智, 手塚則明, 澤井 聡, 岡部英俊, 九嶋亮治
Mucinous bronchioalveolar carcinoma と同時に指摘された Mucinous cystadenocarcinoma の一例
第 83 回日本肺癌学会関西支部会, 2006 年

手塚則明, 澤井 聡, 尾崎良智, 大塩麻友美, 高萩亮宏, 藤田琢也, 藤田美奈子, 藤野昇三

FDG-PET 陽性で胸膜生検を施行し診断した Castleman 病の 1 例

第 49 回関西胸部外科学会学術集会, 2006 年 6 月, 浜松

大塩麻友美, 藤野昇三, 手塚則明, 澤井 聡, 尾崎良智
当科における Completion pneumonectomy 施行症例の検討
第 49 回関西胸部外科学会学術集会, 2006 年 6 月, 浜松

永谷幸裕, 新田哲久, 高櫻竜太郎, 高橋雅士, 村田喜代史, 牧 大介, 藤野昇三, 井上修平
肺嚢胞合併肺癌の CT 所見の検討
第 84 回日本肺癌学会関西支部会, 2006 年 7 月, 京都

鹿島祥隆, 手塚則明, 尾崎良智, 大塩麻友美, 北野晴久, 藤田琢也, 藤田美奈子, 澤井 聡, 藤野昇三
TS-1 単剤投与が奏功した進行肺癌の 1 例
第 84 回日本肺癌学会関西支部会, 2006 年 7 月, 京都

大塩麻友美, 藤野昇三, 手塚則明, 澤井 聡, 尾崎良智
I 期胸腺腫に対する HATS-1 剣状突起下アプローチ
第 15 回京都滋賀胸腔鏡研究会, 2006 年 10 月, 京都

尾崎良智, 澤井 聡, 大塩麻友美, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田美奈子, 藤田琢也, 手塚則明, 藤野昇三
大量肺出血を伴った胸部外傷の 1 手術例
第 90 回滋賀県外科医会, 2006 年, 大津

手塚則明, 大塩麻友美, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田美奈子, 藤田琢也, 尾崎良智, 澤井 聡, 藤野昇三,
中野恭幸, 羽白 高, 石田光明
肺原発と考えられた alveolar soft part sarcoma の 1 例
第 85 回日本肺癌学会関西支部会, 2007 年

手塚則明, 大塩麻友美, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田美奈子, 藤田琢也, 尾崎良智, 花岡 淳, 藤野昇三,
鈴木友彰, 松林景二, 白石昭一郎, 浅井 徹
心臓手術周術期に発見された肺癌症例
第 50 回関西胸部外科学会, 2007 年

尾崎良智, 澤井 聡, 大塩麻友美, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 花岡 淳, 手塚則明, 藤野昇三
大量肺出血を伴った胸部外傷の 1 手術例
第 50 回関西胸部外科学会, 2007 年

尾崎良智, 北村将司, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 藤田美奈子, 寺本晃治, 花岡 淳, 手塚則明
限局性悪性胸膜中皮腫の 1 手術例
第 51 回関西胸部外科学会, 2008 年, 富山

<その他>

藤野昇三, 手塚則明, 澤井 聡, 尾崎良智, 寺本晃治, 北村将司
胸腔鏡ガイド下に肋軟骨切開を加え Nuss 手術を施行した成人漏斗胸の 1 例
第 15 回冬季呼吸器外科医会, 2006 年

手塚則明, 藤野昇三, 尾崎良智, 澤井 聡, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
中等量ドセタキセル隔週投与方法施行症例の長期成績
第 51 回京滋乳癌研究会, 2006 年

高萩亮宏, 澤井 聡, 大塩麻友美, 藤田琢也, 藤田美奈子, 尾崎良智, 手塚則明, 藤野昇三
下行大動脈周囲に発生した悪性リンパ腫の 1 例
第 14 回京都滋賀胸腔鏡研究会, 2006 年

高萩亮宏, 澤井 聡, 大塩麻友美, 藤田琢也, 藤田美奈子, 尾崎良智, 手塚則明, 藤野昇三
下行大動脈周囲に発生した悪性リンパ腫の 1 例
第 32 回近江呼吸器疾患研究会, 2006 年

大塩麻友美, 尾崎良智, 高萩亮宏, 藤田琢也, 藤田美奈子, 手塚則明, 澤井 聡, 藤野昇三
原発性肺癌術後に骨格筋転移、心筋転移を認めた 1 例
第 32 回近江呼吸器疾患研究会, 2006 年

大塩麻友美, 尾崎良智, 高萩亮宏, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 藤田美奈子, 手塚則明, 澤井 聡,
藤野昇三
局麻下胸腔鏡検査を施行した刺創による縦隔血腫・血胸の 1 例
第 89 回滋賀県外科医会, 2006 年

大塩麻友美, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 藤田美奈子, 尾崎良智, 手塚則明, 澤井 聡, 藤野昇三
1 期胸腺腫に対する HATS-剣状突起下アプローチ-
第 15 回京都滋賀胸腔鏡研究会, 2006 年

尾崎良智, 澤井 聡, 大塩麻友美, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 藤田美奈子, 手塚則明, 藤野昇三
大量肺出血を伴った胸部外傷の 1 手術例
第 90 回滋賀県外科医会, 2006 年

藤野昇三, 手塚則明, 花岡 淳, 尾崎良智, 中野恭幸, 羽白 高, 長尾大志, 伊藤まさみ, 浅田佳邦,
寺本晃治, 井上修平, 鈴木雄治, 元石 充, 澤井 聡
切除不能非小細胞肺癌に対する Nedaplatin+Docetaxel 併用化学療法の臨床第 II 相試験

WJTOG 次期高齢者進行 NSCLC に対する化学療法を考えるワークショップ, 2007 年

大塩麻友美, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 藤田美奈子, 尾崎良智, 手塚則明, 澤井 聡, 藤野昇三
1 期胸腺腫に対する HATS-剣状突起下アプローチ-
第 16 回冬季呼吸器外科医会, 2007 年

鹿島祥隆, 大塩麻友美, 北野晴久, 藤田美奈子, 藤田琢也, 尾崎良智, 花岡 淳, 手塚則明, 藤野昇三
ゲフィチニブ長期 (3 年以上) 投与の 5 例
第 17 回滋賀癌化学療法研究会, 2007 年

花岡 淳, 大塩麻友美, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田美奈子, 藤田琢也, 尾崎良智, 手塚則明, 藤野昇三
胸腔鏡下に摘出した異所性副甲状腺腫の 1 例
第 34 回近江呼吸器疾患研究会, 2007 年

【対外活動】

<講演>

藤野昇三
気管支鏡検査を安全に行うために
第 7 回気管支鏡実技セミナー, 2006 年 7 月, 名古屋

藤野昇三
処置具使用による思わぬトラブル対策
第 7 回気管支鏡実技セミナー, 2006 年 7 月, 名古屋

藤野昇三
肺癌治療のトピックス
第 32 回症例検討会, 2006 年 9 月, 京都

藤野昇三
癌を早く見つけて治すために-肺癌を治す-
滋賀医科大学公開講座, 2006 年 10 月, 草津

藤野昇三
胸腔鏡下手術-基本的手術手技とその応用-
第 91 回滋賀外科医会, 2007 年 6 月, 大津

藤野昇三
第 34 回米国臨床腫瘍学会の報告
CDGP/TXT biweekly kick off meeting, 2007 年 6 月, 横浜

寺本晃治
苦しまないがん治療 ~先進医療: 樹状細胞ワクチン療法~
樹状細胞ワクチン療法 (先進医療) セミナー, 2008 年 7 月, 大阪

救急集中治療部

【論文】

<和文著書>

江口豊

敗血症

抗菌薬臨床ハンドブック-ガイドラインを実地で応用するために-, 株式会社ヴァンメディカル:
140~144, 2006

江口豊

急性期DIC基準への治療戦略

Therapeutic Reserch, LIFE SCIENCE PUBLISING:27(7):1241~1244, 2006

江口豊

急性期DICの治療

侵襲と免疫, メジカルビュー社. 15(2):25(85)~29(89), 2006

江口 豊

体外循環回路-抗凝固剤メシル酸ナファモスタット(フサン)の全身への効果

Surgery Frontier, メディカルレビー社:13(3):97~100, 2006

江口 豊

プロスタグランジンD (PGD) 2とリウマチ病

リウマチ病セミナーXVII, 永井書店:163~167, 2006

岩川裕美, 佐々木禎治, 中西直子, 栗原美香, 丈達知子, 佐々木雅也, 柏木厚典, 五月女隆男, 江口 豊

脳低温療法施行例における間接熱量測定の有用性について

栄養 評価と治療別冊, メディカルレビー社:23(6):36(532)~39(535), 2007

江口豊, 五月女隆男, 吉岡豊一, 中永士師明, 八木克史, 井上静香, 來住優輝, 谷 徹,

急性腎不全の基礎と新たな治療法への期待

ICUとCCU 別冊, 31(別冊):14~16, 2007

遠藤善裕, 田畑貴久, 清水智治, 五月女隆男, 江口豊, 谷徹

多臓器不全におけるサイトカイン除去(1)吸着カラム

臨床透析, 日本メディカルセンター, 23(4):21(425)~27(431), 2007

五月女 隆男、江口豊

重症急性膵炎に対するPlasma dia-filtration (PDF)

医薬の門, 医学の門社, 47(5):40(492)~44(496), 2007

江口 豊

急性肝不全

腎と透析増刊号 血液浄化法2009,

東京医学社, 65:405~408, 2008

江口 豊

Antithrombin IIIによる凝固-炎症サイクルの遮断作用-

医薬の門, 医薬の門社:49(2):66~69, 2009

江口 豊

劇症肝不全におけるPlasma Dia-filtration(PDF)-Plasma Filtration with Dialysis -の臨床評価

ICUとCCU 別冊, 医学図書出版株式会社:33:64~66, 2009

江口 豊

エンドトキシン吸着療法とは?いつ始めるか?

救急・集中治療, 総合医学社:21(7,8):915~919, 2009

<英文学術論文>

Satoshi Gando, Toshiaki Iba, Yutaka Eguchi, Yasuhiro Ohtomo, Kohji Okamoto, Kazuhid Koseki, Toshihiko Mayumi, Astuo Murata, Toshiaki Ikeda, Hiroyasu Ishikura, Masashi Ueyama, Hiroshi

Ogura, Shigeki Kushimoto, Daizoh Saitoh, Shigeatsu Endo, Shuji Shimazaki ; Japanese Association for Acute Medicine Disseminated Intravascular Coagulation (JAAM DIC) Study Group
A multicenter, prospective validation of disseminated intravascular coagulation diagnostic criteria for critically ill patients: Comparing current criteria
Crit Care Med, 34 (3) :625~631, 2006

Hidesaku Asakura, Hideo Wada, Kohji Okamoto, Toshiaki Iba, Toshimasa Uchiyama, Yutaka Eguchi, Kazuo Kawasugi, Shin Koga, Toshihiko Mayumi, Kaoru Koike, Satoshi Gando
Evaluation of haemostatic molecular markers for diagnosis of disseminated intravascular coagulation in patients with infections
Tromb Haemost, 95:282~7, 2006

Toshiro Sugimoto, Yoshikata Morita, Yukiyo Yokomaku, Keizo Kanasaki, Yutaka Eguchi, Daisuke Koya, Atsunori Kashiwagi
Systemic Cholesterol Embolization Syndrome Associated with Myeloperoxidase-anti-neutrophil Cytoplasmic Antibody
INTERNAL MEDICINE, 45:557~561, 2006

Akihiro Asakawa, Masaharu Umemoto, Naohiko Ueno, Miwako Katagi, Mineko Fujimiya, Kazunori Fujino, Noriko Kodama, Hiroaki Nanba, Ruka Sakamaki, Naotaka Shinfuku, Michael M Meguid, and Akio Inui
Peptide YY3-36 and pancreatic polypeptide suppress food intake
J Gastroenterol Hepatol 21 (9) :1501-2, 2006

Fujimiya M, Asakawa A, Fujino K, Chen CY, Inui A
Acylated ghrelin and des-acyl ghrelin exert different effects on the gastrointestinal motility in conscious rats
International Congress Series 1287:361-367, 2006

Ataka K, Kuge T, Fujino K, Takahashi T, Fujimiya M
Wood creosote prevents CRF-induced motility via 5-HT (3) receptors in proximal and 5-HT (4) receptors in distal colon in rats
Auton Neurosci 30:133 (2) :136-45, 2007

Akabori H, Yamamoto H, Tsuchihashi H, Mori T, Fujino K, Shimizu T, Endo Y, Tani T
Transient receptor potential vanilloid 1 antagonist, capsazepine, improves survival in a rat hemorrhagic shock model
Ann Surg 245 (6) :964-70, 2007

Hiroshi Ogura, Satoshi Gando, Toshiaki Iba, Yutaka Eguchi, Yasuhiro Ohtomo, Kohji Okamoto, Kazuhide Koseki, Toshihiko Mayumi, Atsuo Murata, Toshiaki Ikamoto, Kazuhide Koseki, Toshihiko Mayumi, Atsuo Murata, Toshiaki Ikeda, Hiroyasu Ishikura, Masashi Ueyama, Shigeki Kushimoto, Daizoh Saitoh, Shigeatsu Endo, and Shuji Shimazaki, Japanese Association for Acute Medicine Disseminated Intravascular Coagulation Study Group
SIRS-ASSOCIATED COAGULOPATHY AND ORGAN DYSFUNCTION IN CRITICALLY ILL PATIENTS WITH THROMBOCYTOPENIA
SHOCK, 28 (4) :411~417, 2007

Satoshi Gando, Daizoh Saitoh, Toshihiko Mayumi, Kazuhide Koseki, Toshiaki Ikeda, Hiroyasu Ishikura, Toshiaki Iba, Masashi Ueyama, Yutaka Eguchi, Yasuhiro Ohtomo, Kohji Okamoto, Shigeki Kushimoto, Shigeatsu Endo, Shuji Shimazaki, ; Japanese Association for Acute Medicine Disseminated Intravascular Coagulation (JAAM DIC) Study Group
Natural history of disseminated intravascular coagulation diagnosed based on the newly established diagnostic criteria for critically ill patients: Results of a multicenter, prospective survey
Crit Care Med, 36 (1) :145~150, 2008

Tsujita Y, Kunitomo T, Fujii M, Furukawa S, Otsuki H, Fujino K, Hamamoto T, Tabata T, Matsumura K, Sasaki T, Saotome T, Kawai H, Matsumoto T, Maeda K, Horie M, Eguchi Y
A surviving case of mitochondrial cardiomyopathy diagnosed from the symptoms of multiple organ dysfunction syndrome
Int J Cardiol 128 (1) :e43-e45, 2008

Satoshi Gando, Daizoh Saitoh, Toshihiko Mayumi, Kazuhide Koseki, Toshiaki Ikeda, Hiroyasu Ishikura, Toshiaki Iba, Masashi Ueyama, Yutaka Eguchik, Yasuhiro Ohtomo, Kohji, Okamoto, Shigeki, Kushimoto, Shigeatsu, Endo, Shuji Shimazaki:
Japanese Association for Acute Medicine Disseminated Intravascular Coagulation (JAAM DIC) Study Group
Disseminated intravascular coagulation (DIC) diagnosed based on the Japanese Association for Acute Medicine criteria is a dependent continuum to overt DIC in patients with sepsis
Thrombosis Research, 123: 715-718, 2009

<和文学術論文>

五月女 隆男、江口豊
サイトカイン吸着カラム
救急・集中治療, 18(1・2):209~214, 2006

五月女 隆男、江口豊
重症急性膵炎に対する新しい血液浄化法 Plasma dia-filtrationの有用性
胆と膵, 27(1):45~50, 2006

岩川裕美, 五月女隆男, 佐々木雅也, 丈達知子, 栗原美香, 中西直子, 辻井靖子, 三上貴子, 碓井理香, 徳永道子, 星野伸夫, 赤羽理也, 平岩康之, 荒木信一, 江口豊, 柏木厚典, 西野幸典
ICUにおける人工呼吸器患者に対する間接熱量測定の有用性について
静脈結腸栄養, 21(1):91~97, 2006

江口 豊
膜型血漿分離器によるPlasma Dia-filtration (PDF)-Plasma Filtration with Dialysis-療法
日本アフレス学会雑誌, 26(2):272~275, 2007

大槻秀樹, 佐々木禎治, 五月女隆男, 田畑貴久, 松村一弘, 藤野和典, 浜本徹, 古川智之, 辻田靖之, 江口豊, 大川匡子,
滋賀医科大学医学部附属病院救急・集中治療部救急・集中治療部搬送患者における精神科疾患,
滋賀医学:XXIX:38~44, 2007

丸藤哲, 池田寿昭, 石倉宏恭, 射場敏明, 上山昌史, 江口 豊, 大友康裕, 岡本好司, 小倉裕司, 久志本成樹, 小関一英, 齋藤大蔵, 真弓俊彦, 遠藤重厚, 島崎修次(日本救急医学会DIC特別委員会)
急性期DIC診断基準-第二次多施設共同前向き試験結果報告
日本救急医学会雑誌, 急性期DIC診断基準-第二次多施設共同前向き試験結果報告, 2007

江口 豊
「急性DIC診断基準」の今後の課題
Surgery Frontier, メジカルビュー社 9月号: 14(3):(259)21~24(262), 2007

江口 豊
敗血症性ショックとPMX-DHP
Emergency Care, メディカ出版: 20(9):(889)29~(893)33, 2007

江口 豊
重症肝障害におけるPlasma Dia-filtration (PDF)-Plasma Filtration with Dialysis-療法
日本アフレス学会雑誌: 26(3):310~314, 2007

江口 豊
敗血症性DIC・多臓器不全の治療-抗炎症療法
侵襲と免疫(第8回侵襲と生体反応研究会講演記録)
メジカルビュー社: 16(3):19(115)~24(120), 2007

大槻 秀樹, 五月女 隆男, 佐々木 禎治, 田畑 貴久, 辻田 靖之, 浜本 徹, 藤野 和典, 古川 智之, 松村 一弘, 山根 秀夫, 江口 豊
脳低温療法により改善した低酸素脳症で神経心理学的検討を行った1例
救急医学, へるす出版: 31(12):1664~1667, 2007

大槻 秀樹, 佐々木 禎治, 五月女 隆男, 田畑 貴久, 松村 一弘, 藤野 和典, 浜本 徹, 古川 智之, 辻田 靖之, 山田 尚登, 江口 豊

総合病院救急・集中治療部受診患者における精神科疾患の統計学的検討（滋賀医科大学医学部附属病院救急・集中治療部）
救急医学，へるす出版：31(13)：1798～1801，2007

田畑 貴久，江口 豊，遠藤善裕，清水智治，山本寛，森 毅，赤堀浩也，宇治祥隆，谷 徹
重症病態でのSLP活性化物質のトランスロケーションの実験的検討
SHOCK・33(2)：20～26，2007

清水智治，花澤一芳，佐藤浩一，梅木雅彦，古賀伸彦，長沼達史，佐藤清治，下西智徳，池田寿昭，松野直徒，小野聡，斎藤人志，佐藤光史，大谷剛正，遠藤善裕，江口豊，谷徹，
下部消化管穿孔術後敗血症に対するPMX治療の有用性に関する検討
日本外科感染症学会雑誌，4(2)：189～195，2007

江口 豊
劇症肝不全と人工肝臓
人工臓器 特集「人工臓器と救急・集中治療」，日本人工臓器学会 37(1)：52～55，2008

江口 豊
最近注目を集めている新しい血液浄化法
へるす出版：32：1713～1718，2008

江口 豊
急性期DIC診断基準の功罪
体液・代謝管理，体液・代謝管理研究会：24：79～84，2008

江口 豊
Toxicokinetics of Digoxin that was Ingested with Suicidal Intent:Report of a Nonfatal Case
TDM研究会：25(2)104～109，2008

丸山征郎，坂田洋一，和田英夫，朝倉英策，岡嶋研二，丸藤哲，射場敏明，内場光浩，内山俊正，江口 豊，
岡本好司，小倉真治，川杉和夫，久志本成樹，小池薫，古賀震，関義信，窓岩清治，真弓俊彦，
科学的根拠に基づいた感染症に伴うDIC治療のエキスパートコンセンサス
血栓止血誌：20(1)：77～113，2009

<症例報告>

Tsujita Y, Kunitomo T, Fujii M, Furukawa S, Otsuki H, Fujino K, Hamamoto T, Tabata T, Matsumura K, Sasaki T, Saotome T, Kawai H, Matsumoto T, Maeda K, Horie M, Eguchi Y,
A surviving case of mitochondrial cardiomyopathy diagnosed from the symptoms of multiple organ dysfunction syndrome
Int J Cardiol, 2007

【学会発表】 <全国学会>

江口 豊
急性期DICの診断基準と治療の実際
第9回日本臨床救急医学会総会ランチョンセミナー，平成18年5月，福岡

江口 豊
周術期管理における血液凝固線溶系の把握と解釈—特に遷延するSIRSにいかに対処すべきか？—
第53回日本麻酔科学会学術集会ランチョンセミナー，平成18年6月，神戸

辻田 靖之，國友建生，古川 智之，大槻 秀樹，藤野 和典，浜本 徹，田畑 貴久，藤井応理，松村一弘，佐々木 禎治，五月女 隆男，川合寛道，松本鉄也，前田憲吾，堀江稔，江口 豊，
多臓器不全を契機に診断されたミトコンドリアDNA以上を原因とする心筋症の一例
第51回日本集中治療医学近畿地方会 一般演題発表，平成18年6月，大阪

佐々木 禎治，岩川裕美，五月女 隆男，辻田 靖之，浜本 徹，江口 豊，
頸部局所冷却による脳低温療法におけるエネルギー代謝の検討
第9回日本脳低温療法学会一般演題発表，平成18年7月，東京

江口 豊
肝疾患とアフエレス

第26回日本アフェレシス学会シンポジウム座長平成18年7月, 大津

五月女 隆男, 江口 豊, 吉岡豊一, 谷徹
敗血症に対するPlasma dia-filtration(PDF)
第26回日本アフェレシス学会シンポジウム, 18年7月, 大津

大槻 秀樹, 佐々木 禎治, 五月女 隆男, 田畑 貴久, 松村 一弘, 藤野 和典, 浜本 徹, 古川 智之,
辻田 靖之, 江口 豊,
急性喉頭蓋炎による低酸素脳症にたいして脳低温療法が有効であった一例
第94回近畿救急医学会研究会(日本救急医学会近畿地方会, 18年7月, 高槻

江口 豊
Pilot Study of a Novel Plasmapheresis, Plasma Dia-Filtration, in Severe Septic Patients
第24回国際血液浄化学会, 18年9月, 奈良

江口 豊
急性期DIC診断基準による抗炎症・抗凝固療法の実際
第21回日本救命医療学会総会シンポジウム, 18年9月, 盛岡

江口 豊, 五月女 隆男, 吉岡豊一, 中永士師明, 八木克史, 井上静香, 來住優輝, 谷徹
Plasma Dia-filtration(PDF)の多施設により有用性の検討
第17回日本急性血液浄化学会学術集会シンポジウム発表, 平成18年10月, 広島

江口 豊
急性期DIC診断基準とその治療について
第34回日本救急医学会総会・学術集会ランチョンセミナー, 平成18年11月, 福岡

江口 豊
Critical Careにおける急性血液浄化法の現状と今後の展開
第34回日本救急医学会総会・学術集会ランチョンセミナー, 平成18年11月, 福岡
大槻 秀樹, 佐々木 禎治, 五月女 隆男, 田畑 貴久, 藤野 和典, 松村 一弘, 浜本 徹, 古川 智之,
辻田 靖之, 江口 豊
滋賀医科大学医学部附属病院, 救急集中治療部 救急搬送患者における精神科疾患の統計的検討
第34回日本救急医学会総会・学術集会一般演題, 平成18年11月, 福岡

江口 豊
敗血症性DICの病態と抗炎症・抗凝固療法の実際
第29回日本血栓止血学会学術集会ランチョンセミナー演者, 平成18年11月, 栃木

浜本 徹, 辻田 靖之, 江口 豊, 寺村真範, 芦原貴司, 伊藤誠, 堀江稔, 松本裕一, 川嶋剛史,
救急隊による心肺蘇生と病病連携にて社会復帰しえたマラソン競技中の心肺停止の一例
第102回日本循環器学会近畿地方会, 平成18年12月, 大津

江口 豊
EBMIに基づいた敗血症性DIC・多臓器不全の早期診断と治療の実際
第34回日本集中治療医学会学術集会シンポジウム発表, 平成19年3月, 神戸

浜本 徹, 五月女 隆男, 佐々木 禎治, 松村 一弘, 田畑 貴久, 辻田 靖之, 藤野 和典, 大槻 秀樹,
古川 智之, 江口 豊
DICが合併したと考えられるチクロビジンによるTTPの一例
第34回日本集中治療医学会学術集会ポスター発表, 平成19年3月, 神戸

江口 豊
The Low mortality rate of severe sepsis and septic shock patients using sequential Plasma
Dia-Filtration
第6回国際アフェレシス学会, Free Communication発表, 平成19年3月, 横浜

江口 豊
集中治療の手技を究める
日本集中治療医学会東海北陸地方会ランチョンセミナー, 平成19年6月, 名古屋

大槻 秀樹, 大槻 秀樹, 佐々木 禎治, 田畑 貴久, 辻田 靖之, 浜本 徹, 藤野 和典, 古川 智之, 松村 一弘,
江口 豊

急性咽頭蓋炎による低酸素脳症に脳低温療法が有効であった一例
第10回日本脳低温療法学会 一般演題, 平成19年7月, 下関

江口 豊
サイトカインアフェレシス
第28回日本アフェレシス学会学術大会ランチョンセミナー, 平成19年11月, 久留米

江口 豊
敗血症性ショックの治療戦略-DIC早期診断・治療と急性血液浄化療法の有用性
第44回日本腹部救急医学会総会パネルディスカッション, 平成20年3月, 横浜

江口 豊
敗血症性ショック治療の現状と実際-DIC診断治療と急性血液浄化療法の重要性-
第44回日本腹部救急医学会総会モーニングセミナー, 平成20年3月, 横浜

五月女 隆男, 江口 豊, 來住優輝, 藤山佳秀, 谷 徹
重症急性膵炎のサイトカインアフェレシスの試み-Plasma Dia-filtration with dialysis 療法
の有用性-
第44回日本腹部救急医学会総会ワークショップ, 平成20年3月, 横浜

江口 豊
敗血症性ショックにおける急性血液浄化療法の有用性
日本医工学治療学会 第24回学術大会シンポジウム, 平成20年4月, 千葉

江口 豊
集中治療管理における急性血液浄化法の有用性
日本医工学治療学会 第24回学術大会ランチョンセミナー, 平成20年4月, 千葉

五月女 隆男, 辻田 靖之, 浜本 徹, 古川 智之, 藤野 和典, 松村 一弘, 江口 豊
敗血症性ショックに対する急性血液浄化療法の成績ALL/ARDSを中心に-
第30回日本呼吸療法医学会学術総会, 平成20年7月, 長野

藤野和典⁽¹⁾, 松村一弘⁽¹⁾, 藤宮峯子⁽²⁾, 小島秀人⁽³⁾, 江口 豊⁽¹⁾
過大侵襲患者に対する intensive insulin therapy による予後改善のメカニズムについて
第 62 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

江口 豊, 中永士師明, 谷 徹
劇症肝不全におけるPlasma Dia-filtration法の臨床評価
第19回日本急性血液浄化学会学術集会パネルディスカッション, 平成20年9月, 東京

江口 豊
劇症肝不全・敗血症性多臓器不全におけるPlasma Dia-filtration法の有用性
第36回日本救急医学会総会・学術集会シンポジウム, 平成20年10月, 札幌

江口 豊
敗血症DICの診断と治療-現状と今後の展開-
第36回日本救急医学会総会・学術集会ランチョンセミナー, 平成20年10月, 札幌

五月女 隆男, 江口 豊
敗血症性ショックの治療戦略-DIC早期診断・治療と急性血液浄化療法の有用性
第36回日本救急医学会総会・学術集会シンポジウム, 平成20年10月, 札幌

浜本 徹, 辻田 靖之, 城日 加里, 木村 匡男, 古川 智之, 大槻 秀樹, 藤野 和典, 松村 一弘,
佐々木 禎治, 五月女 隆男, 江口 豊
CPA状態からAEDによる除細動と脳低温療法により社会復帰した23歳女性・QT延長症候群の一例
第36回日本救急医学会総会・学術集会一般演題, 平成20年10月, 札幌

大槻 秀樹, 佐々木 禎治, 五月女 隆男, 松村 一弘, 藤野 和典, 浜本 徹, 古川 智之, 田畑 貴久,
辻田 靖之, 山田尚登, 江口 豊
滋賀医科大学救急搬送患者における精神科疾患の季節性
第36回日本救急医学会総会・学術集会一般演題, 平成20年10月, 札幌

江口 豊

DICの抗凝固抗炎症の実際-リコモジュリンの使用経験-

第31回日本血栓止血学会・日本救急医学会ジョイントシンポジウム, 平成20年11月, 大阪

久志本成樹(日本医科大学救急医学), 丸藤哲, 齋藤大蔵, 小倉祐司, 池田寿昭, 石倉宏恭, 射場敏明, 真弓俊彦, 江口 豊, 大友康裕

急性期DIC診断基準による感染症と外傷を基礎疾患とするDIC症例の比較

第36回日本集中治療医学会学術集会一般演題, 平成21年2月, 大阪

五月女 隆男, 中永士師明, 江口 豊

急性血液浄化法におけるPlasma dia-filtration(PDF)の役割

第36回日本集中治療医学会学術集会シンポジウム, 平成21年2月, 大阪

福岡敏雄, 今泉均, 江口 豊, 遠藤重厚, 織田成人, 片山浩, 竹田晋, 鶴田良介, 中敏夫, 野口隆之, 篠崎正博, 森田潔

CTG委員会からの報告「集中治療医学会としての共同臨床研究の支援-海外の現況を踏まえて-」

第36回日本集中治療医学会学術集会ワークショップ, 平成21年2月, 大阪

辻田 靖之, 浜本 徹, 古川 智之, 早藤 清行, 布施郁子, 藤野 和典, 松村 一弘, 五月女 隆男, 江口 豊

SIRSによる頻脈性心房粗動・細動に対する塩酸リゾゾール[®]の有効性

第36回日本集中治療医学会学術集会一般演題発表, 平成21年2月, 大阪

松村 一弘, 早藤清行, 布施郁子, 古川 智之, 浜本 徹, 藤野 和典, 辻田 靖之, 五月女 隆男, 江口 豊

当院における脳低温療法の温度設定による効果の検討

第99回近畿救急医学研究会, 平成21年3月, 西宮

藤野和典, 早藤清行, 布施郁子, 古川智之, 浜本 徹, 辻田靖之, 松村一弘, 五月女隆男, 江口 豊

当院における救急腹痛患者の検討

第45回日本腹部救急医学会, 2009年3月, 東京

<研究会・地方会>

江口 豊

アンチトロンビンの最新の治療戦略,

アストロンビンP学術講演会 講演, 平成18年4月, 福岡

江口 豊

救急集中治療領域における血液浄化法の現状と今後の展開

第22回徳島急性血液浄化研究会 特別講演, 平成18年6月, 徳島

江口 豊

敗血症性DICの血管内皮細胞保護戦略

第1回岐阜救急集中治療セミナー 特別講演, 平成18年6月, 岐阜

江口 豊

救急医療システムからみた救急患者への対応

第49回滋賀県内科医会総会第100回滋賀県内科医会学術講演会, 平成18年6月, 彦根

江口 豊

救急医療の現状と課題-本学での取り組み

滋賀ハートクラブ, 平成18年6月, 京都

江口 豊

「敗血症治療における血管内皮細胞保護戦略」-ALI/ARDSを中心に-

第49回関西胸部外科学会学術集会ランチオンセミナー, 平成18年6月, 浜松

江口 豊

脳低温療法の現状と今後の展開について

第9回京滋ERセミナー, 平成18年7月, 京都

江口 豊

敗血症性多臓器不全の病態と治療－血管内皮細胞保護戦略－
第4回岩手SIRS/sepsis研究会講演, 平成18年7月, 盛岡

江口 豊

ICUにおけるシベレスタットナトリウムの使用経験
滋賀周術期フォーラム, 平成18年10月, 大津

浜本 徹, 五月女 隆男, 佐々木 禎治, 松村 一弘, 田畑 貴久, 辻田 靖之, 藤野 和典, 大槻 秀樹,
古川 智之, 江口 豊

救急隊による心肺蘇生と病病連携にて社会復帰しえたマラソン競技中の心肺停止の一例
第32回滋賀救急医療研究会, 平成18年10月, 大津

江口 豊

救急集中治療領域における急性血液浄化療法の現状と展望
第10回北陸急性血液浄化療法談話会特別講演, 平成18年11月, 金沢

江口 豊

敗血症DICの血管内皮保護戦略
第15回兵庫県救急・集中治療研究会 特別講演, 平成18年11月, 神戸

江口 豊

CHDFの標準化をめざして～現状と今後の展望
第10回滋賀急性血液浄化セミナー 特別講演, 平成18年12月, 草津

江口 豊

救急処置の実際と新しい救急蘇生のガイドライン
平成18年度滋賀県眼科医会学術講演会特別講演, 平成18年12月, 近江八幡

江口 豊

急性血液浄化療法における抗凝固剤の話題と実際
第25回日本アフェレシス学会関西地方会技術講習会, 平成18年12月, 奈良

江口 豊

敗血症性多臓器不全の病態と治療－ARDSとDICを中心に－
第7回静岡県急性呼吸不全研究会 特別講演, 平成19年1月, 浜松

江口 豊

急性期DIC診断基準と臓器不全
よくわかるDICセミナー 特別講演, 平成19年2月, 名古屋

江口 豊

敗血症性DIC・多臓器不全の治療
第8回侵襲と生体反応研究会講演, 平成19年2月, 東京

江口 豊

急性期DIC診断基準とその治療
第2回Mochida Net Forum 講演, 平成19年5月, 京都

江口 豊

ICUにおけるALI/ARDSの早期治療の重要性
湖南救急集中治療セミナー 講演, 平成19年5月, 草津

江口 豊

急性期DIC診断基準とATⅢ
DIC治療学術講習会 講演, 平成19年6月, 神戸

江口 豊

敗血症性多臓器不全の病態と治療
九州MOF(多臓器不全)研究会 講演, 平成19年6月, 盛岡

江口 豊
急性期DIC診断基準と治療について
第22回神奈川救急医学懇話会 特別講演, 平成19年6月, 横浜

江口 豊
急性血液浄化療法におけるヘモフィルタ－選択の理論と実際
第11回滋賀急性血液浄化セミナー 特別講演, 平成19年7月, 草津

江口 豊
Surviving Spesis Campaign guidelinesと急性血液浄化法
第12回西播急性血液浄化研究会特別講演, 平成19年11月, 姫路

江口 豊
周期性好中球減少症から壊死性腸炎を併発した症例
第3回症例から学ぶ感染症研究会講演, 平成19年10月, 京都

江口 豊
急性期DIC診断基準の功罪
第23回体液・代謝管理研究会パネルディスカッション, 平成20年1月, 大阪

江口 豊
急性期DIC診断基準と治療戦略
DIC治療に関する講演会, 平成20年4月, 三田

江口 豊
救急の血栓症・凝固異常症
第18回日本臨床検査専門医会春季大会, 平成20年5月, 神戸

江口 豊
急性肺障害治療の開始タイミング
社保・国保審査委員学術講演会, 平成20年6月, 大阪

天野 泰孝, 五月女 隆男, 藤野 和典, 早藤 清行, 布施 郁子, 古川 智之, 浜本 徹, 辻田 靖之, 松村 一弘, 江口 豊
NPPV+シベスタットNa治療から気管内挿管となった外傷性肺挫傷の一症例
第13回京滋救命救急セミナー, 平成20年6月, 京都

太田 宗樹, 藤井応理, 藤野 和典, 浜本 徹, 五月女 隆男, 江口 豊, 堀江 稔
早期血栓閉塞型大動脈解離により心肺停止に至ったと考えられた一症例
第65回滋賀県循環器疾患研究会, 平成20年6月, 草津

江口 豊
DIC治療のガイドライン－その理論と実際
第4回学術講演会, 平成20年7月, 京都

江口 豊
CHDFの現状とエビデンスに基づいた実践
第12回滋賀急性血液浄化セミナー, 平成20年7月, 草津

堀 哲雄, 五月女 隆男, 布施郁子, 古川 智之, 早藤清行, 藤野 和典, 浜本 徹, 辻田 靖之, 松村 一弘, 江口 豊
軟部組織感染症による敗血症性ショックに対し急性血液浄化法が奏功した一例
第27回日本アフエレシス学会関西地方会, 平成21年1月, 香川

解剖学講座

【論文】

<英文学術論文>

Yasuhara O, Matsuo A, Bellier JP, Aimi Y
Demonstration of Choline Acetyltransferase of a Peripheral Type in the Rat Heart
J Histochem Cytochem 55:287-299, 2006

Yasuhara O, Aimi Y, Shibano A, Kimura H
Primary sensory neurons containing choline acetyltransferase of the peripheral type in the rat trigeminal ganglion and their relation to neuropeptides-, calbindin- and nitric oxide synthase-containing cells
Brain Res 1141:92-98, 2007

Yamada H, Aimi Y, Nagatsu I, Taki K, Kudo M, Arai R
Immunohistochemical detection of L-DOPA-derived dopamine within serotonergic fibers in the striatum and the substantia nigra pars reticulata in Parkinsonian model rats
Neurosci Res 59:1-7, 2007

Yasuhara O, Aimi Y, Matsuo A, Kimura H
Distribution of a splice variant of choline acetyltransferase in the trigeminal ganglion and brainstem of the rat: Comparison with calcitonin gene-related peptide and substance P
J Comp Neurol 509:436-448, 2008

【学会発表】

<国際学会>

Bellier JP, Aimi Y, Matsuo A, Yasuhara O, Fujimiya M, Kimura S, Tooyama I, Kimura H
Acetylcholine synthesis by choline acetyltransferase of a peripheral type in adult rat dorsal root ganglion
5th Forum of European Neuroscience, July 2006, Vienna

<全国学会>

相見良成, 相浦玲子, Richard Hodge, 堀池喜八郎
100 余名の学生がそれぞれ異なる医学英語論文を読み互いに報告する -医学英語論文精読演習の試み-
第 10 回日本医学英語教育学会, 2007 年 7 月, 東京

關連病院業績

愛知県がんセンター中央病院 消化器外科

【論文】

<和文学術論文>

中村一郎, 山村義孝, 伊藤誠二, 三澤一成, 清水泰博, 佐野力, 千田嘉毅, 安藤公隆, 平井孝, 金光幸秀, 小森康司, 榊原巧, 八幡和憲, 舎人誠
膵体部腫瘍を合併した胃癌に、脾および脾動静脈を温存して、幽門側胃切除術+D2郭清+膵体尾部切除術を施行した1例
日本癌治療学会誌(0021-4671)43(2): 916, 2008

中村一郎, 伊藤誠二, 山村義孝, 三澤一成, 八幡和憲, 平井孝, 金光幸秀, 小森康司, 清水泰博, 佐野力
胃癌の術式別の術後QOL評価
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)42(6): 726, 2009

安 炳九、平井 孝、金光幸秀、小森康司、加藤知行、谷田部恭
膀胱浸潤を伴う原発性虫垂癌の1切除例
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)39(4): 503-508, 2006

安 炳九、望月能成、清水泰博、伊藤誠二、谷田部恭、山村義孝、加藤知行
手術既往無く腸間膜および大網に発生した多発性腹腔内デスマイド腫瘍の1切除例
日本臨床外科学会雑誌 69(2): 461-465, 2008

【学会発表】

<全国学会発表>

中村一郎, 山村義孝, 伊藤誠二, 三澤一成
ステージ3胃癌の予後因子の解析
第81回胃癌学会, 2009年3月, 東京

安 炳九, 望月能成, 清水泰博, 伊藤誠二, 山村義孝
腹膜播種が疑われた多発性腹腔内デスマイド腫瘍の一例
第68回日本臨床外科学会総会, 2006年11月, 広島

<研究会・地方会>

中村一郎, 伊藤誠二, 三澤一成, 山村義孝, 八幡和憲, 平井孝, 金光幸秀, 小森康司, 清水泰博, 佐野力, 千田嘉毅, 榊原巧, 安藤公隆, 舎人
腹腔鏡補助下幽門側胃切除術(LADG)後に発症したリンパ液漏の1例
第31回愛知臨床外科学会, 2009年2月

安 炳九, 清水泰博, 安井健三, 山村義孝, 平井 孝, 金光幸秀, 伊藤誠二, 望月能成, 小森康司, 宮前 拓, 武藤俊博, 安藤公隆, 加藤知行
術前診断が困難であった膵 Lymphoepithelial cyst の1例
第271回東海外科学会, 2006年, 名古屋

愛知県がんセンター研究所 分子腫瘍学部

【論文】

<和文著書>

安 炳九, 近藤 豊
DNAメチル化を利用した癌診断
分子消化器病 5(4): 376~383, 2008

【学会発表】

<国際学会>

安 炳九, 近藤 豊, 新城恵子, 伊藤元一, 後藤康洋, 藤井万紀子, 村上秀樹, 長田啓隆, 平井 孝, 金光幸秀, 小森康司, 山雄健次, 澤木 明, 関戸好孝
Distinct DNA Methylation Status in Proximal and Distal Colon Mucosa Derived from Colon Cancer Patients. The 2nd Shanghai Symposium on epigenetics indevelopment and diseases/
The 3rd Annual Meeting of Asian Epigenome Alliance. 2008, Shanghai, China

<全国学会>

安 炳九, 近藤 豊, 後藤康洋, 村上秀樹, 長田啓隆, 佐野 力, 関戸好孝
肝細胞がん症例のがん部・背景肝部における DNA メチル化標的遺伝子の網羅的解析
第 66 回日本癌学会学術総会, 2007 年, 横浜

安 炳九, 近藤 豊, 新城恵子, 岡本泰幸, 藤井万紀子, 村上秀樹, 長田啓隆, 平井 孝, 金光幸秀, 小森康
司, 山雄健次, 中村常哉, 澤木明, 谷 徹, 関戸好孝
大腸がんにおける DNA メチル化の発がん過程への関与とその臨床応用
第 63 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2008 年, 東京

安 炳九, 近藤 豊, 新城恵子, 後藤康洋, 藤井万紀子, 村上秀樹, 長田啓隆, 小森康司, 山雄健次, 中村
常哉, 澤木明, 関戸好孝
大腸がん症例の正常粘膜における DNA メチル化の解析
第 67 回日本癌学会学術総会, 2008 年, 名古屋

<研究会・地方会>

安 炳九, 近藤 豊, 新城恵子, 伊藤元一, 後藤康洋, 藤井万紀子, 村上秀樹, 長田啓隆, 小森康司, 澤木
明, 中村常哉, 山雄健次, 関戸好孝
大腸がん症例の正常粘膜における DNA メチル化様相の解析
第 2 回エピジェネティクス研究会, 2008, 静岡

赤穂市民病院 外科

【論文】

<和文論文>

原田陽介, 村上哲平, 松下貴和, 高原秀典, 實光 章, 邊見公雄
特発性直腸破裂の一例
赤穂市民病院誌 7 号 P32-34, 2006

高井規子, 村上哲平, 松下貴和, 高原秀典, 三井康裕, 末次弘実, 勝谷 誠, 高尾雄二郎, 横山 正,
小野成樹
門脈内ガスを認めた非閉塞性腸間膜虚血症の一例
赤穂市民病院誌 8 号 P55-58, 2007

若江亨祥, 横山 正, 高原秀典, 末次弘実, 松下貴和, 小野成樹
胆嚢癌との鑑別に苦慮した黄色肉芽腫性胆嚢炎の一例
赤穂市民病院誌 8 号 P59-63, 2007

常盤真理子, 村上哲平, 松下貴和, 高原秀典, 實光 章, 邊見公雄
爪楊枝誤飲による肛門周囲膿瘍の一例
赤穂市民病院誌 9 号 P31-34, 2008

高井規子, 中河達史, 山本芳央, 高原秀典
抜去困難になった I A B P をガイドワイヤーによる工夫で低侵襲に抜去しえた一症例
Cardiovascular Anesthesia 12 巻 P106, 2008

中野温子, 中村公治郎, 上 和広, 末次弘実, 高原秀典, 横山 正, 實光 章
異物による消化管穿孔の一例
赤穂市民病院誌 10 号 P45-48, 2009

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

村上哲平, 松下貴和, 末次弘実, 高原秀典, 横山 正, 實光 章, 邊見公雄
穿孔性腹膜炎を発症した肺癌小腸転移の一例
第 69 回日本臨床外科学会総会, 2007 年 11 月, 東京

松下貴和, 村上哲平, 末次弘実, 高原秀典, 横山 正, 實光 章, 邊見公雄
脾臓に浸潤し腫瘤を形成しヘパリン投与中に出血、破裂をきたした膵尾部癌の一例
第 69 回日本臨床外科学会総会, 2007 年 11 月, 東京

中村公治郎, 上 和広, 末次弘実, 高原秀典, 横山 正, 實光 章, 邊見公雄

Press Through Package (PTP) 誤飲による回腸穿孔の一例

第 70 回日本臨床外科学会総会, 2008 年 10 月, 東京

松浦敬憲, 高原秀典, 中村公治郎, 上 和広, 實光 章, 邊見公雄
難治性皮膚癢を呈した膿腎症の一例

第 70 回日本臨床外科学会総会, 2008 年 10 月, 東京

小西弘樹, 高原秀典, 中村公治郎, 上 和広, 横山 正, 實光 章, 邊見公雄
上行結腸に発生した内分泌細胞癌の一症例

第 70 回日本臨床外科学会総会, 2008 年 10 月, 東京

高原秀典, 邊見慎一郎

早期に後腹膜気腫を伴った重症急性膵炎、所謂気腫性膵炎の一例

第 45 回日本腹部救急医学会総会, 2009 年 3 月, 東京

中野温子, 中村公治郎, 上 和広, 末次弘実, 高原秀典, 横山 正, 實光 章, 邊見公雄
魚骨による消化管穿孔をきたした一例

第 45 回日本腹部救急医学会総会, 2009 年 3 月, 東京

中村公治郎, 上 和広, 末次弘実, 高原秀典, 横山 正, 實光 章,
餅による食餌性イレウスの一例

第 45 回日本腹部救急医学会総会, 2009 年 3 月, 東京

常盤真理子, 中村公治郎, 上 和広, 末次弘実, 高原秀典, 横山 正, 實光 章, 邊見公雄
爪楊枝誤飲による肛門周囲膿瘍の一例

第 45 回日本腹部救急医学会総会, 2009 年 3 月, 東京

神崎 亮, 中村公治郎, 上 和広, 末次弘実, 高原秀典, 横山 正, 實光 章, 邊見公雄
ガラス片の刺創により腸管脱出をきたした一例

第 45 回日本腹部救急医学会総会, 2009 年 3 月, 東京

常盤真理子, 中村公治郎, 上 和広, 末次弘実, 高原秀典, 横山 正, 實光 章, 邊見公雄
原因不明の腹腔内出血後急性上腸間膜動脈閉塞症を併発し短腸症候群となった一例

第 45 回日本腹部救急医学会総会, 2009 年 3 月, 東京

【対外活動】

<講演>

高原秀典

当院で行っている消化器癌化学療法

赤相薬剤師会講演会, 2007 年 7 月, 赤穂

赤穂市民病院 呼吸器科

【論文】

<和文論文>

上田康祐, 佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広, 勝谷 誠, 金岡徳芳
3D-CT により確定診断が得られた肺静脈瘤の 1 例

THE LUNG 16 (2) : 1, 2008

塩田哲広, 北野佐知

外国文献紹介

日本呼吸器内視鏡学会雑誌 30 (4) : 237, 2008

【学会発表】

<全国学会 ミニシンポジウム>

塩田哲広, 丸太直樹, 山下和人, 齊藤好久, 金岡正樹

COPD 患者における短時間作用型抗コリン薬→スピリバーへの切り替え効果

第 46 回日本呼吸器学会学術講演会, 2006 年 6 月, 東京

<全国学会 一般発表>

室井延之, 塩田哲広, 藤本匡志, 中田日早枝, 三木育子, 千崎昭輝, 金戸伸裕, 寺田晋一郎, 細井さち子
赤穂市内における喘息治療の現状と課題—地域医療連携による喘息治療薬の実態調査より—

第 16 回日本医療薬学会, 2006 年 9 月, 金沢
藤本匡志, 室井延之, 塩田哲広, 中田日早枝, 三木育子, 千崎昭輝, 金戸伸裕, 寺田晋一郎, 細井さち子
赤穂市内における喘息治療の現状と課題—地域医療連携による喘息治療薬の実態調査より—
第 39 回日本薬剤師会学術大会, 2006 年 10 月, 福井

塩田哲広, 齊藤好久, 金岡正樹
COPD 早期発見に IPAG による COPD 診断ガイドは有効か?
第 47 回日本呼吸器学会学術講演会, 2007 年 5 月, 東京

塩田哲広, 佐藤篤靖, 齊藤好久
診断に難渋したが細胞診にて肺放線菌症が疑われた 1 例
第 46 回日本臨床細胞学会秋季大会, 2007 年 11 月, 仙台

塩田哲広, 佐藤篤靖, 齊藤好久, 村井裕紀, 山本美智子
気管支結石に合併した気管支放線菌症の一例
第 49 回日本臨床細胞学会総会, 2008 年 6 月, 東京

佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広
6 秒量を用いた閉塞性換気障害の検討
第 48 回日本呼吸器学会学術講演会, 2008 年 6 月, 神戸

< 地方会・研究会 >

塩田哲広, 齊藤好久, 金岡正樹
COPD 患者におけるスピリーバの意義
第 67 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2006 年 6 月, 奈良

塩田哲広, 齊藤好久, 金岡正樹
Thoracic vent を用いた気胸の外来治療
第 67 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2006 年 6 月, 奈良

塩田哲広, 齊藤好久, 金岡正樹
末梢気道閉塞に対する DPI-FP→HFA-BDP への切り替え効果
第 23 回薬物吸入療法研究会, 2006 年 7 月, 東京

宮井善三, 西井達矢, 塩田哲広, 齊藤好久, 金岡正樹
プライマリーケアにおける IPAG の意義
NPO 法人西日本呼吸器内科医療推進機構 第 1 回総会, 2006 年 7 月, 京都

塩田哲広, 西井達矢, 齊藤好久, 金岡正樹
最大吸気量 (IC) からみた COPD 患者における長時間作用型抗コリン薬 (チオトロピウム) の有効性の検討
第 73 回閉塞性肺疾患研究会, 2006 年 7 月, 東京

若江亨祥, 塩田哲広, 齊藤好久, 金岡正樹
プライマリーケアにおける IPAG の意義
第 30 回千種川カンファンス, 2006 年 8 月, 赤穂

齊藤好久, 塩田哲広
緩和ケアの課題
第 15 回赤穂呼吸器カンファレンス, 2006 年 9 月, 赤穂

塩田哲広
どうしてタバコはやめられないんだろう? !
第 20 回赤穂呼吸器疾患研究会, 2006 年 9 月, 赤穂

高井規子, 齊藤好久, 塩田哲広, 金岡正樹
喘息様症状で発症した子宮頸癌の縦隔リンパ節転移の一例
第 95 回兵庫県肺癌懇話会, 2006 年 11 月, 神戸

塩田哲広, 黄 豊羽, 齊藤好久, 金岡正樹
食道癌気管分岐部浸潤により切迫窒息をきたした 1 例
第 15 回兵庫県救急・集中治療研究会, 2006 年 1 月, 神戸

齊藤好久, 塩田哲広, 金岡正樹
非結核性抗酸菌が原因と考えられた感染性嚢胞の一例
第 68 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2006 年 12 月, 神戸

若江亨祥, 齊藤好久, 塩田哲広, 金岡正樹
プライマリーケアにおける IPAG の意義
第 68 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2006 年 12 月, 神戸

黄 豊羽, 齊藤好久, 塩田哲広, 金岡正樹
喘息様症状で発症した子宮頸癌の縦隔リンパ節転移の一例
第 68 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2006 年 12 月, 神戸

黄 豊羽, 塩田哲広, 齊藤好久, 金岡正樹
当院における HQT 患者死亡例の検討—COPD を中心に—
第 5 回播磨呼吸ケア研究会, 2007 年 1 月, 姫路

鈴木雅雄, 小杉眞司, 佐藤 晋, 室 繁郎, 三嶋理晃, 大森堯氏, 塩田哲広, 曲淵達雄, 福井基成
慢性閉塞性肺疾患に対する鍼治療の臨床的効果の検討
COPD 臨床医研究会名古屋カンファレンス, 第 6 回学術研究会, 2007 年 2 月, 名古屋

塩田哲広
39 才、男性、多発結節影を呈した 1 例
第 11 回姫路胸部画像カンファレンス, 2007 年 2 月, 姫路

塩田哲広, 金岡正樹, 齊藤好久
イレッサ治療における EGFR 遺伝子解析の意義
第 13 回種川カンファレンス, 2007 年 3 月, 赤穂

塩田哲広
ジェネリック医薬品で何? !
第 21 回赤穂呼吸器疾患研究会, 2007 年 3 月, 赤穂

伊藤初夏, 佐藤篤靖, 齊藤好久
頸部気管に留置した Dumon tube の両端に発生した肉芽腫により切迫窒息をきたした 1 例
NPO 法人西日本呼吸器内科医療推進機構 第 3 回総会, 2007 年 7 月, 静岡

塩田哲広
投与設計医支援ソフトを用いたピアペネムの至適投与法の検討
第 10 回西兵庫感染症研究会学術講演会, 2007 年 9 月, 姫路

齊藤好久, 佐藤篤靖, 塩田哲広
当院で経験した急性および慢性好酸球性肺炎の比較検討
第 32 回千種川カンファレンス, 2007 年 9 月, 赤穂

塩田哲広, 佐藤篤靖, 齊藤好久
経過中破裂をきたした気管支原性嚢胞の一切除例
第 37 回兵庫呼吸器外科研究会, 2007 年 9 月, 明石

塩田哲広
アドエアが気管支喘息治療にもたらしたものの
GSK 社内勉強会, 2007 年 9 月, 姫路

塩田哲広
Once daily!! え?! 1 日 1 回でいいの!! 「オルベスコ」ってどんな薬?!
第 22 回赤穂呼吸器疾患研究会, 2007 年 9 月, 赤穂

佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広
当院におけるゲフィチニブの使用経験
第 8 回兵庫肺癌フォーラム, 2007 年 9 月, 神戸

常盤麻里子, 上田康祐, 佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広

化学療法施行中に穿孔性腹膜炎をきたした非小細胞肺癌小腸転移の1例
第98回兵庫県肺癌懇話会, 2007年11月, 神戸

佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広
ゲフィチニブが著効し再燃時にT790遺伝子異変を認めた非小細胞肺癌の2例
第70回日本呼吸器学会近畿地方会, 2007年12月, 京都

田中慶尚, 佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広
胸腔内に破裂をきたした気管支性原性嚢胞の一切除例
第70回日本呼吸器学会近畿地方会, 2007年12月, 京都

常盤麻里子, 佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広
気胸外来治療におけるThoracic eggの使用経験
第70回日本呼吸器学会近畿地方会, 2007年12月, 京都

伊藤初夏, 佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広
Dumon tubeに生じた肉芽に対して全身麻酔科で硬性気管支鏡を用いてtube抜去・laser焼灼を
施行した1例
第70回日本呼吸器学会近畿地方会, 2007年12月, 京都

中坪径子, 佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広
肺炎後に発症した難治性胸水の1例
第70回日本呼吸器学会近畿地方会, 2007年12月, 京都

塩田哲広, 佐藤篤靖, 齊藤好久
閉塞性睡眠時無呼吸症候群におけるMedical Patakaraの意義
第70回日本呼吸器学会近畿地方会, 2007年12月, 京都

上田康祐, 佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広, 鈴木雅雄
鍼治療により呼吸困難が著明に改善したCOPDに1例
第70回日本呼吸器学会近畿地方会, 2007年12月, 京都

齊藤好久, 佐藤篤靖, 塩田哲広
外科的切除にて診断しえた肺犬糸状虫症の1例
第70回日本呼吸器学会近畿地方会, 2007年12月, 京都

常盤麻里子, 上田康祐, 佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広
化学療法施行中に穿孔性腹膜炎を生じた肺多発癌の1例
第87回日本肺癌学会関西支部会, 2008年2月, 神戸

塩田哲広, 佐藤篤靖, 齊藤好久
ゲフィチニブが著効したが耐性化時にT790Mを認めた非小細胞肺癌の2例
第36回京都大学呼吸器外科同門会冬季研究会, 2008年2月, 京都

塩田哲広, 佐藤篤靖, 齊藤好久
お口ボカンの閉塞性睡眠時無呼吸症候群はMedical Patakaraで治る?!
NPO法人西日本呼吸器内科医療推進機構 平成20年第3期総会, 2008年2月, 京都

塩田哲広, 佐藤篤靖, 齊藤好久
無治療で自然消退を来したびまん性肺疾患の1例
第13回姫路胸部画像カンファレンス, 2008年2月, 姫路

佐藤篤靖, 塩田哲広, 齊藤好久
6秒量を用いた閉塞性肺疾患の評価の検討
COPD臨床研究会名古屋カンファレンス, 第7回学術研究会, 2008年3月, 名古屋

塩田哲広, 佐藤篤靖, 齊藤好久
両肺にびまん性濃度上昇をきたしたlymphomatoid granulomatosis-like T-cell lymphomaの1例
第99回兵庫県肺癌懇話会, 2008年3月, 神戸

塩田哲広, 佐藤篤靖, 齊藤好久
イレッサ、タルセバその使用方法—GBM (genotype based medicine)の将来は?

第 33 回千種川カンファレンス, 2008 年 3 月, 赤穂

塩田哲広

え?! 今年のインフルエンザはもう終わり!

第 23 回赤穂呼吸器疾患研究会, 2008 年 3 月, 赤穂

佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広

ITCZ により呼吸機能が改善した慢性壊死性肺アスペルギルス症 (CNPA) の一例

第 71 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2008 年 7 月, 神戸

塩田哲広, 佐藤篤靖, 齊藤好久

アスペルギルスと放線菌の混合感染を来した気管支結石症の一例

第 71 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2008 年 7 月, 神戸

佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広

日和見感染症より診断された“いきなりエイズ”の三例 lymphomatoid granulomatosis-like T-cell lymphoma の一例

第 71 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2008 年 7 月, 神戸

上田康祐, 佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広

3D-CT により確定診断が得られた肺静脈瘤の一例

第 71 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2008 年 7 月, 神戸

塩田哲広, 佐藤篤靖, 齊藤好久

両肺にびまん性濃度上昇をきたした lymphomatoid granulomatosis-like T-cell lymphoma の一例

第 71 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2008 年 7 月, 神戸

田中慶尚, 佐藤篤靖, 齊藤好久, 塩田哲広

気管原発腺様嚢胞癌術後再発に対して Dumon tube を留置した 1 例

第 71 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2008 年 7 月, 神戸

塩田哲広

診断に難渋した lymphomatoid granulomatosis-like T-cell lymphoma の一例

京都大学医学部呼吸器外科同門会 2008 年夏季研究会, 2008 年 7 月, 姫路

塩田哲広, 佐藤篤靖, 森田成彦

気管支放線菌症の 2 例

第 83 回呼吸器内視鏡学会近畿支部会, 2008 年 7 月, 大阪

塩田哲広, 佐藤篤靖, 齊藤好久, 田中慶尚, 片桐幸大, 曲淵達雄

気管原発腺様嚢胞癌術後再発に対して Dumon tube を留置した 1 例

第 39 回兵庫呼吸器外科研究会, 2008 年 9 月, 神戸

塩田哲広

肺年齢って知ってますか?

第 24 回赤穂呼吸器疾患研究会, 2008 年 9 月, 赤穂

塩田哲広

57 歳男性、発熱、咳を訴え右上葉の塊状陰影が急速に増大してきた 1 例

第 14 回姫路胸部画像カンファレンス, 2008 年 9 月, 姫路

片桐幸大, 清川寛文, 塩田哲広, 中嶋安彬

Unicentric Castleman リンパ腫の一切除例

第 72 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2008 年 12 月, 大阪

清川寛文, 塩田哲広, 真鍋敏明, 中嶋安彬, 近藤響子, 高野文彦

無治療で自然緩解したびまん性肺疾患の一例

第 122 回びまん性肺疾患研究会, 2009 年 1 月, 大阪

塩田哲広, 清川寛文

長期経過からみた COPD 患者におけるチオトロピウムの意義
第 7 回播磨呼吸ケア研究会, 2009 年 1 月, 姫路

塩田哲広, 清川寛文
肺癌に対する右下葉切除後に判明した肺動脈血栓症の 1 例
第 40 回兵庫呼吸器外科研究会, 2009 年 3 月, 神戸

神崎 亮, 清川寛文, 塩田哲広
当院におけるタルセバの使用経験
第 34 回千種川カンファレンス, 2009 年 3 月, 赤穂

塩田哲広
新型インフルエンザのパンデミック!! その時 医院は? 病院は? 薬局は? 患者は?
第 25 回赤穂呼吸器疾患研究会, 2009 年 3 月, 赤穂

【対外活動】

<講演>

塩田哲広
咳嗽・気管支喘息の最前線
時習会講演会, 2006 年 10 月, 赤穂

塩田哲広
肺炎治療は入院から外来へ
赤相薬剤師会勉強会 (特別講演), 2006 年 10 月, 赤穂

塩田哲広
外来呼吸器感染症の治療戦略
赤穂医師会学術講演会 (特別講演), 2006 年 11 月, 赤穂

塩田哲広
これで明日からの感染治療が変わる!!
時習会, 2007 年 1 月, 赤穂

塩田哲広
気管支喘息と COPD
平成 19 年度第 2 回高砂市医師会生涯教育研修会 (特別講演), 2007 年 5 月, 高砂

塩田哲広
咳嗽を考える
赤相薬剤師会勉強会, 2007 年 5 月, 赤穂

塩田哲広
吸入療法、新たな時代へ…!!
時習会学術講演会, 2007 年 8 月, 赤穂

塩田哲広
呼吸器疾患について
市民健康大学講座, 2007 年 9 月, 赤穂

塩田哲広
トータルコントロールを目指した気管支喘息治療戦略
赤穂市呼吸器疾患講演会 (特別講演), 2007 年 9 月, 赤穂

塩田哲広
慢性咳嗽の診断と治療
美方郡医師会学術講演会 (特別講演), 2008 年 7 月, 浜坂

塩田哲広
病態から考えた気管支喘息治療
赤穂市呼吸器疾患講演会 (特別講演), 2008 年 8 月, 赤穂

塩田哲広
RA と肺病変
第 1 回西播磨間接リウマチ学術講演会（特別講演）, 2008 年 10 月, 赤穂

塩田哲広
肺がん治療の現状
赤穂市医師会講演会（特別講演）, 2008 年 11 月, 赤穂

塩田哲広
50 分でわかる呼吸器外来診療のコツ
赤穂市学術講演会（特別講演）, 2009 年 1 月, 赤穂

塩田哲広
肺癌化学療法に関する学術知見
協和発酵キリン社内学術講演会, 2009 年 2 月, 姫路

尼崎中央病院 外科

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

大恵匡俊, 段 俊行, 堀 庸一, 和田譲二
腹部大動脈瘤の十二指腸穿通による消化管大量出血に対し手術治療にて救命し得た 1 例
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

医仁会武田総合病院 呼吸器外科

【論文】

<英文論文>

Koji Teramoto, Yuji Suzumura
Multiple Pulmonary Hamartomas Penetrating the Visceral pleura: Report of a Case
Surg Today 37(12):1087-1089, 2007

Koji Teramoto, Yuji Suzumura
Mediastinal cavernous lymphangioma in an adult
Gen Thorac Cardiovasc Surg 56(2):88-90, 2008

<和文論文>

寺本晃治, 鈴木雄治
同一肋間神経に多発した胸腔内神経鞘腫の一例
日本呼吸器外科学会雑誌 21(7):946-949, 2007

<その他>

鈴木雄治
手掌多汗症について
市民版プラスーくらしすこやか・こころからだ元気, 2007 年 11 月, 京都新聞

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

鈴木雄治, 寺本晃治
両側腕頭静脈上大静脈合併切除・再建および右肺上中葉心膜合併切除にて切除した巨大浸潤型胸腺腫の 1 切除例
第 24 回日本呼吸器外科学会総会, 2007 年 5 月, 横浜

寺本晃治, 鈴木雄治

縦隔海綿状リンパ管腫の一例
第24回日本呼吸器外科学会総会, 2007年5月, 横浜

鈴木雄治, 寺本晃治
腫瘍の進展によりUltraflex stentからDumon Y stentへの入れ替え術を施行した1例
第30回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2007年6月, 東京

鈴木雄治, 寺本晃治, 一瀬増太郎
両側多発性肺動静脈瘻に対し左胸腔鏡下肺部分切除術および右胸腔鏡補助下中葉切除術を施行した1例
第25回日本呼吸器外科学会総会, 2008年5月, 宇都宮

鈴木雄治, 寺本晃治, 一瀬増太郎
気胸で発症した高齢者特発性食道破裂の一例
第25回日本呼吸器外科学会総会, 2008年5月, 宇都宮

一瀬増太郎, 鈴木雄治
乳腺炎発症後に出現した急性膿胸の一例
第25回日本呼吸器外科学会総会, 2008年5月, 宇都宮

鈴木雄治, 元石 充, 一瀬増太郎
導入化学療法後に気管支肺動脈形成を伴う左肺上葉切除術を施行し良好に経過している肺癌の一例
第49回日本肺癌学会総会, 2008年11月, 小倉

<地方会・研究会>

鈴木雄治
対麻痺で発症した胸椎浸潤肺癌の一例
京滋肺癌研究会, 2009年2月, 京都

【対外活動】

<講演>

鈴木雄治
胸膜中皮腫について
伏見医師会ランチョンセミナー, 2006年8月, 京都

鈴木雄治
気管支鏡を使用した手術例
第28回京都外科医会症例検討会, 2006年9月, 京都

鈴木雄治
肺癌について
アスニー山科市民講座, 2007年3月, 京都

鈴木雄治
気管支鏡を使用した手術について
伏見医師会ランチョンセミナー, 2007年10月, 京都

鈴木雄治
肺癌の手術療法
伏見医師会癌医療病診連携の会, 2008年3月, 京都

鈴木雄治
胸膜中皮腫について
アスニー山科市民講座, 2008年6月, 京都

医療法人啓生会(やすだ医院、ベッセルン)

【論文】

<和文著書>

安田雄司
慢性閉塞性肺疾患 (COPD) と喫煙
新版卒煙ハンドブック、京都新聞センター:56, 2007

安田雄司
スポーツと喫煙
新版卒煙ハンドブック、京都新聞センター:63, 2007

<和文論文>

金城博子, 西尾佐和子, 宇野景子, 安田雄司, 高橋正行
疾病予防施設ベッセルン設立に至る経過
臨床運動療法研究会誌 17 巻・14-19, 2007

安田雄司, 三嶋理晃, 室 繁郎, 入佐 薫, 村田喜代史
日常の呼吸器診療での CT を使いこなす
medicina 44 巻・352-367, 2007

安田雄司
成功率が上がる禁煙指導-禁煙指導を始めるに当たって医師としての取り組み-
medicina 44 巻・1407-1411, 2007

安田雄司
成功率が上がる禁煙指導-禁煙指導を始めるに当たって院内の取り組み-
medicina 44 巻・1611-1615, 2007

安田雄司
成功率が上がる禁煙指導 (3) -保険診療での禁煙治療テクニック 1-
medicina 44 巻・1778-1783, 2007

安田雄司
成功率が上がる禁煙指導 (4) -保険診療での禁煙治療テクニック 2-
medicina 44 巻・1968-1973, 2007

安田雄司
成功率が上がる禁煙指導 (5) -保険診療での禁煙治療テクニック 3-実践編
medicina 44 巻・2165-2170, 2007

安田雄司
成功率が上がる禁煙指導 (6) 最終回-保険診療での禁煙治療テクニック 4-実践編
medicina 44 巻・2358-2363, 2007

福西恵一, 新谷泰久, 小原章央, 廣間文彦, 安田雄司, 新林成介
葉間胸膜陥凹像を伴った原発性肺クリプトコッカス症の 1 例
日胸 55:509-515, 2007

廣間文彦, 安田雄司
肋骨骨軟骨腫による自然気胸の 1 例
日呼外会誌 22:818-822, 2008

【学会発表】

<地方会・研究会>

宇野景子, 金城博子, 西尾佐和子, 樋上サク子, 安田雄司, 高橋正行
生活習慣病および呼吸不全患者に対する運動療法-疾病予防施設における検討-
第 24 回臨床運動療法研究会, 2006 年 4 月, 大阪

安田雄司
胸部疾患に対するレントゲン写真斜位に撮影の有用性
第 19 回下西談会, 2007 年 3 月, 京都

村田智子, 井上里美, 水上博美, 新宮民子, 安田雄司
当院における吸入指導の実際
第 19 回下西談会, 2007 年 3 月, 京都

上野朱加, 金城博子, 宇野景子, 樋上サク子, 安田雄司, 高橋正行
当院における吸入指導の実際
第 20 回下西談会, 2008 年 3 月, 京都

【対外活動】

<講演>

安田雄司

COPD の病態と治療について

京都 COPD 臨床勉強会 COPD ミニレクチャー, 2006 年 8 月, 京都

安田雄司, 室 繁郎

簡易診断チャート作成への道のり

第 1 回京都 COPD 臨床勉強会, 2007 年 1 月, 京都

安田雄司

臨床医におけるアドエア使用経験

学術講演会(喘息治療の新しい展開), 2007 年 9 月, 京都

安田雄司

小児気管支喘息の寛解と成人への移行-成人診療の立場から-

京都小児科医学会学術講演会(小児喘息治療の新たな展望), 2007 年 10 月, 京都

安田雄司

糖尿病治療の進め方-運動療法について-

第 12 回京都糖尿病医学会地域学習会, 2008 年 2 月, 京都

安田雄司

COPD と禁煙(誰でも出来る禁煙指導)

山科医師会講演会, 2008 年 6 月, 京都

安田雄司

地域における癌診療-それぞれの役割を考える-在宅医療について

第 8 回京都市立病院地域医療フォーラム, 2008 年 2 月, 京都

安田雄司

タバコの害と禁煙対策

4 府県合同保健指導担当者研修会(京都栄養士会), 2008 年 7 月, 京都

安田雄司

COPD と気管支喘息の診断と治療

第 1 回南区総合医療研究会, 2008 年 9 月, 京都

安田雄司

アドエア 1 年間の使用経験

学術講演会(喘息治療の近未来), 2008 年 10 月, 京都

安田雄司

シンポジウム-UPLIFT 試験についての評価

COPD フォーラム, 2008 年 11 月, 京都

医療法人真実誠会 辻クリニック

【発表】

辻 一弥

早期胃がんの病診連携クリテイカルパス-診療所の立場から-

第 10 回(社)伏見医師会 癌医療病診連携の会, 2009 年 2 月, 京都

医療法人天神会 新古賀病院 古賀病院 2 1

【論文】

Honma K, Tango Y et al
Perioperative management of severe interstitial pneumonia for rectalsurgery:
a case report Kurume Med J. 2007;54(3-4):85-8, 2007

飯田洋也、丹後泰久、鳶本慶裕 他
胆嚢結腸瘻から発生した瘻孔癌の1例
臨床と研究 第83巻6号 101-104、2006-6

宇治祥隆、飯田洋也他
Granulocyte-colony stimulating factor 産生胃癌の1例
日本消化器外科学会雑誌 39(6):653-659, 2006

宇治祥隆 他
膝仮性嚢胞に対し、内視鏡的ドレナージを施行した4症例
肝胆膵 52(6):975-980, 2006

飯田洋也、丹後泰久、鳶本慶裕 他
術前診断が困難であった膵内分泌腫瘍の1切除例
日本消化器外科学科雑誌 40(1):69-73, 2007

【学会発表】

丹後泰久
術前分子標的治療により切除し得た胃 GIST の二例～PET の有用性と病理組織学的変化～
第61回日本消化器外科学会, 2006年7月, 横浜

丹後泰久
消化器癌検診としての PET の有用性の検討
第69回日本臨床外科学会総会, 2007年11月, 横浜

池添清彦, 丹後泰久, 本間憲一, 磯本浩晴
後腹膜原発無症候性傍神経節腫の1例
第69回日本臨床外科学会総会, 2007年11月, 横浜

近江草津徳洲会病院 外科

【学会発表】

<全国学会>

貝田佐智子, 阿部元, 三宅亨, 清水智治, 村田聡, 来見良誠, 谷 徹
腺腫様甲状腺腫術後16年目に発症した自律性機能性甲状腺結節 (AFTN) の1例
第18回日本内分泌外科学会総会, 2006年5月, 美濃

貝田佐知子, 阿部 元, 清水智治, 村田 聡, 河合由紀, 北村直美, 堀川尚子, 来見良誠, 谷 徹
根治切除術が可能となった巨大局所進行乳癌の1例
第14回日本乳癌学会学術総会, 2006年7月, 金沢

西村彰一, 目片英治, 糸井尚子, 横田徹, 小玉正智, 清水智治, 塩見尚礼, 仲成幸, 遠藤善裕, 谷 徹
切除不能・再発大腸癌に対する FOLFOX による化学療法の有効性に関する検討
第45回日本癌治療学会総会, 2007年10月, 京都

<研究会・地方会>

横田徹, 植木智之, 西村彰一, 貝田佐知子, 十倉隆史, 村澤正甫, 小玉正智
早期十二指腸乳頭部癌に対し膵温存十二指腸分節切除を施行した一例,
第89回滋賀県外科医会 (日本臨床外科学会滋賀県支部), 2006年6月, 大津

西村彰一, 横田徹, 村山浩之
メッシュによる腹壁癒痕ヘルニア修復術後に大腸穿孔をきたした一症例,
滋賀ヘルニア研究会, 2009年3月, 大津

近江草津徳洲会病院 心臓血管外科

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

小池雅人, 小島秀人, 西村 修, 池上博久, 木下 武, 神原篤志, 鈴木友彰, 松林景二, 白石昭一郎, 浅井 徹

マウス double heart model における EPC 細胞治療による冠血流改善作用
第 38 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2008 年 2 月, 福岡

小池雅人, 小島秀人, 西村 修, 池上博久, 木下 武, 神原篤志, 鈴木友彰, 松林景二, 白石昭一郎, 浅井 徹

EPC 治療の冠血流改善作用—Chronic unloading heart model を用いて—
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

小池雅人, 小島秀人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 木村 博, 浅井 徹
L V A D モデルである異所性心移植における K S L 細胞治療の検討
第 8 回日本再生医療学会総会, 2009 年 3 月, 東京

<地方会・研究会>

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 浅井 徹
高齢者の後心室中隔穿孔に対する開心術の 1 例
第 65 回滋賀県循環器疾患研究会, 2008 年 6 月, 草津

大阪赤十字病院 呼吸器外科

【論文】

<和文論文>

川邊正和, 中出雅治, 渡辺裕介, 田中宏和
横隔神経を温存し得た上縦隔横隔神経鞘腫の 1 切除例
呼吸器外科学会雑誌 20(5):88-91, 2006

田中宏和, 川邊正和, 渡辺裕介, 中出雅治
腓癌を合併した malignant peripheral nerve sheath tumor (MPNST) の一例
呼吸器外科学会雑誌 21(1):29-33, 2007

田中宏和, 川邊正和, 渡辺裕介, 中出雅治
術後観察中にサルコイド様反応による縦隔リンパ節腫大を認めた定型的肺カルチノイドの 1 例
呼吸器外科学会雑誌 21(7):899-903, 2007

川邊正和, 田中宏和, 渡辺裕介, 中出雅治
前立腺癌孤立性胸骨転移の 1 切除例
呼吸器外科学会雑誌 21(7):904-907, 2007

田中宏和, 川邊正和, 渡辺裕介, 中出雅治
無症候性縦隔気腫の後に両側性気胸を発症した多発筋炎の 1 例
呼吸器外科学会雑誌 22(2):236-240, 2008

渡辺裕介, 中出雅治, 田中宏和, 川邊正和, 山崎順久
レース針による肺内異物
小児外科 40(11):1225-1229, 2008

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

渡辺裕介, 中出雅治, 田中宏和, 川邊正和
肺癌術後の鎖骨上窩・縦隔リンパ節再発に対する外科療法の意義
第 23 回日本呼吸器外科学会総会, 2006 年 5 月, 東京

田中宏和, 川邊正和, 渡辺裕介, 中出雅治
気管支拡張症に対する肺葉切除後に大量喀血を来した一例
第 23 回日本呼吸器外科学会総会, 2006 年 5 月, 東京

川邊正和, 田中宏和, 渡辺裕介, 中出雅治
横隔神経を温存し得た上縦隔横隔神経鞘腫の 1 切除例
第 23 回日本呼吸器外科学会総会, 2006 年 5 月, 東京

渡辺裕介, 川邊正和, 田中宏和, 中出雅治
レース針による小児肺内異物の一例
第 24 回日本呼吸器外科学会総会, 2007 年 5 月, 横浜

川邊正和, 田中宏和, 渡辺裕介, 中出雅治
診断に苦慮した前縦隔に発生した原因不明の炎症性肉芽腫の 1 手術例
第 24 回日本呼吸器外科学会総会, 2007 年 5 月, 横浜

田中宏和, 山崎順久, 川邊正和, 渡辺裕介, 中出雅治
肺癌術後早期再発症例の検討
第 48 回日本肺癌学会総会, 2007 年 11 月, 名古屋

田中宏和, 山崎順久, 川邊正和, 渡辺裕介, 中出雅治
第一肋間神経、腕神経叢下幹に連なる ganglioneuroma の一切除例
第 25 回日本呼吸器外科学会総会, 2008 年 5 月, 宇都宮

田中宏和, 山崎順久, 川邊正和, 渡辺裕介, 中出雅治
c-stage IA で pN2(+) であった肺癌手術例の検討
第 49 回日本肺癌学会総会, 2008 年 11 月, 北九州

川邊正和, 山崎順久, 田中宏和, 渡辺裕介, 中出雅治, 吉村千恵
乳癌術後肺転移との鑑別が困難であった原発性肺癌の 2 例
第 49 回日本肺癌学会総会, 2008 年 11 月, 北九州

山崎順久, 渡辺裕介, 川邊正和, 田中宏和, 中出雅治
若年者に発生した胸腺癌と胸腺腫が共存した 1 例
第 49 回日本肺癌学会総会, 2008 年 11 月, 北九州

大阪大学

微生物研究所 自然免疫学分野

大阪大学免疫学フロンティアセンター 自然免疫学研究室

【論文】

<英文学術論文>

Miyake T, Kumagai Y, Kato H, Guo Z, Matsushita K, Satoh T, Kawagoe T, Kumar H, Jang MH, Kawai T, Tani T, Takeuchi O, Akira S.
Poly I:C-Induced Activation of NK Cells by CD8⁺ Dendritic Cells via the IPS-1 and TRIF-Dependent Pathways. J Immunol 183(4): 2522-8, 2009

Matsushita K, Takeuchi O, Standley DM, Kumagai Y, Kawagoe T, Miyake T, Satoh T, Kato H, Tsujimura T, Nakamura H, Akira S.
Zc3h12a is an RNase essential for controlling immune responses by regulating mRNA decay. Nature 458(7242):1185-90, 2009

【学会発表】

<全国学会>

Tohru Miyake, Hiroki Kato, Kazufumi Matsushita, Taro Kawai, Takeuchi Osamu, Akira Shizuo
Double-Stranded RNA-induced activation of NK cells via IPS-1 and TRIF-dependent pathways
第 38 回日本免疫学会総会・学術集会, 2008 年 12 月, 京都

大津赤十字病院 呼吸器外科

【論文】

<英文学術論文>

Ohtsuki Y, Yamanaka A, Ohyama H, Yamada E, Terada N, Fujita J, Lee GH, Furihata M
Histochemical demonstration of aluminum and iron deposition in pulmonary bony tissues in
three cases of diffuse pulmonary ossification
Histol Histopathol 23:137-141, 2008

<和文学術論文>

倉橋康典, 平井 隆, 岡本 卓, 山中 晃
高 CEA 血症を伴い原発巣同定に 7 年、術後再発巣同定に 7 年を要した肺癌の 1 例
日本呼吸器外科学会雑誌 20(7):951-954, 2006

倉橋康典, 平井 隆, 岡本 卓, 山中 晃
多発性 GGO 病変を示した 3 例
日本呼吸器外科学会雑誌 21(2):123-128, 2007

山中 晃, 細田光蔵
3 年後に塊状影を呈した肺野型扁平上皮癌の 1 例
大津市医師会誌 30(5):195-197, 2007

倉橋康典, 平井 隆, 岡本 卓, 山中 晃
肺尖部胸壁に発生した炎症性筋線維芽細胞性腫瘍の一切除例
日本呼吸器外科学会雑誌 21(6):814-819, 2007

和田 広, 酒井直樹, 松井佑亮, 小島真由美, 片倉浩理, 山中 晃
早期の ST 合剤治療が奏効した重症肺ノカルジア症の 1 例
日本呼吸器学会誌 45(8):643-647, 2007

和田 広, 玉里滋幸, 松井佑亮, 小島真由美, 片倉浩理, 酒井直樹, 山中 晃, 河本知栄, 雑賀興慶
眼窩内転移を初発症状として発症した肺腺癌の 1 例
日本胸部臨床 66(9):783-788, 2007

山中 晃
1 枚のシェーマ - 胸部下行大動脈合併切除を行った左下葉原発肺癌手術
胸部外科 61(12):1048, 2008

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

山中 晃, 片倉浩理, 倉橋康典, 平井 隆
隣接胸膜浸潤例の検討
第 23 回日本呼吸器外科学会総会, 2006 年 5 月, 東京

山中 晃, 玉里滋幸, 松井佑亮, 和田 広, 小島真由美, 片倉浩理, 酒井直樹
肺癌胸膜浸潤 (p2, p3) 例の検討
第 47 回日本肺癌学会総会, 2006 年 12 月, 京都

山中 晃, 玉里滋幸, 片倉浩理
肺膿瘍に対する空洞切開術
第 24 回日本呼吸器外科学会総会, 2007 年 5 月, 横浜

山中 晃, 樋上雄一, 中川和彦, 玉里滋幸, 和田 広, 小島真由美, 片倉浩理, 酒井直樹
肺癌切除例の胸膜浸潤に関する臨床的検討

第 48 回日本肺癌学会総会, 2007 年 11 月, 名古屋

山中 晃, 玉里滋幸, 片倉浩理
複数回転移巣切除を行った転移性肺腫瘍手術例の検討
第 25 回日本呼吸器外科学会総会, 2008 年 5 月, 宇都宮

山中 晃, 玉里滋幸, 片倉浩理, 樋上雄一, 中川和彦, 森山あかり, 酒井直樹
結腸直腸癌肺転移手術例の検討
第 49 回日本肺癌学会総会, 2008 年 11 月, 北九州

< 地方会・研究会 >

山中 晃
血管型エーラスダンロス症候群について一症例検討
第 8 回東京びまん性肺疾患研究会, 2007 年 10 月, 東京

【対外活動】

< 講演（講演会） >

山中 晃
肺がんについて
赤十字県民大学, 2006 年 10 月, 大津

山中 晃
喫煙と呼吸器疾患
赤十字県民大学, 2007 年 10 月, 大津

山中 晃
喫煙と呼吸器疾患
赤十字県民大学, 2008 年 9 月, 大津

< 講演（セミナー） >

山中 晃
肺癌の胸部 X 線読影 I
琵琶湖呼吸器セミナーⅣ, 2006 年 5 月, 大津

山中 晃
肺癌の胸部 X 線読影 II
比良山呼吸器セミナーⅤ, 2006 年 7 月, 大津

山中 晃
肺癌の胸部 X 線読影 II
琵琶湖呼吸器セミナーⅤ, 2006 年 9 月, 大津

山中 晃
肺門・心陰影に重なった異常影
比良山呼吸器セミナーⅦ, 2007 年 3 月, 大津

山中 晃
肺門・心陰影に重なった異常影
琵琶湖呼吸器セミナーⅦ, 2007 年 5 月, 大津

山中 晃
空洞を伴った肺癌、嚢胞壁発生肺癌
比良山呼吸器セミナーⅧ, 2007 年 7 月, 大津

山中 晃
空洞を伴った肺癌、嚢胞壁発生肺癌
琵琶湖呼吸器セミナーⅧ, 2007 年 9 月, 大津

山中 晃
小型肺癌
比良山呼吸器セミナーⅩ, 2008 年 3 月, 大津

山中 晃

小型肺癌
琵琶湖呼吸器セミナーX, 2008年5月, 大津

山中 晃
肺癌以外の結節影
比良山呼吸器セミナーXI, 2008年7月, 大津

山中 晃
肺癌以外の結節影
琵琶湖呼吸器セミナーXI, 2008年9月, 大津

音羽病院 呼吸器科

【論文】

<英文論文>

Makoto Motoishi, Toru Enokibori, Yuko Katsuki, Michiko Tsuchiya, Rikuro Hatakenaka
Mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma involving lung and conjunctiva
Gen Thorac Cardiovasc Surg 56:246-248, 2008

<和文論文>

元石 充, 榎堀 徹, 畠中陸郎
嚢胞状陰影を呈し急性炎症所見を伴った縦隔悪性リンパ腫の1例
日本呼吸器外科学会雑誌, 23巻2号, 2009

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

元石 充, 榎堀 徹, 畠中陸郎
嚢胞状陰影を呈し急性炎症所見を伴った縦隔悪性リンパ腫の1例
日本呼吸器外科学会総会, 2008年5月, 栃木

香川大学医学部 呼吸器・乳腺内分泌外科

【論文】

<英文論文>

Kontani, K., Kajino, K., Yamamoto, Y., Fujino, S., Taguchi, O., Yamauchi, A., Yokomise, H., Ogasawara, K.

Spontaneous elicitation of potent anti-tumor immunity and eradication of established tumors by administration of DNA encoding soluble transforming growth factor-beta II receptor without active antigen-sensitization
Cancer Immunol. Immunother. 55(5):579-87, 2006

Yamauchi A., Kontani K., Kihara M., Nishi N., Yokomise H., Hirashima M.
Glectin-9, a novel prognostic factor with antimetastatic potential in breast cancer
Breast J. 12 Suppl 2:S196-200, 2006

Kontani K., Teramoto K., Ozaki Y., Sawai S., Tezuka N., Ishida H., Kajino K., Fujino S., Yamauchi A., Taguchi O., Kannagi R., Yokomise H., Ogasawara K.
Preparation of fully activated dendritic cells capable of priming tumor-specific cytotoxic T lymphocytes in patients with metastatic cancer using penicillin-killed streptococcus pyogenes (OK432) and anti-CD40 antibody
Oncol Rep. 17(4):895-902, 2007

Nagahara K., Arikawa T., Oomizu S., Kontani K., Nobumoto A., Tateno H., Watanabe K., Niki T., Katoh S., Miyake M., Nagahara S., Hirabayashi J., Kuchroo V., Yamauchi A., Hirashima M.

Galectin-9 increases Tim-3+ dendritic cells and CD8+ T cells and enhances antitumor immunity via galectin-9-Tim-3 interactions
J Immunol. 181(11):7660-7669, 2008

<和文論文>

山内清明, 紺谷桂一, 曹 雪源, 山下啓子, 河野範男, 岩瀬弘敬
タモキシフェン効果予測因子としてのメニンの有用性
乳癌の臨床 22(5):442-443, 2007

山内清明, 永原慶子, 大水総一, 延本篤也, 有川智博, 加藤茂樹, 法村尚子, 紺谷桂一, 平島光臣
樹状細胞の成熟とガレクチン9
臨床免疫・アレルギー科 49(2):210-216, 2008

山内清明, 大水総一, 有川智博, 加藤茂樹, 法村尚子, 村澤千紗, 紺谷桂一, 平島光臣
ガレクチン9によるIL-17の制御とその意義
臨床免疫・アレルギー科 49(6):690-697, 2008

三好信寛, 澤口和宏, 増田 彰, 山内清明, 横見瀬裕保, 紺谷桂一
温度応答性培養皿を用いたOK-432誘導成熟樹状細胞培養法の確立
Biotherapy 22(5):339-343, 2008

黒田紀行, 紺谷桂一, 田港朝彦
CLIAによる血清中HER2/neu蛋白質の測定法
検査と技術 37:446-450, 2009

【学会発表】

<国際学会>

Keiichi Kontani, Shoko Norimura, Kanako Yamashita, Naomi Fujiwara-Honjo, Manabu Date, Yoshio Kushida, Gan Muneuchi, Reiji Haba, Akira Yamauchi, Hiroyasu Yokomise
Indication of skin-sparing mastectomy for primary breast cancer
6th Biennial Meeting of the Asia Breast Cancer Society, September 2007, Hong Kong

Keiichi Kontani, Chisa Murazawa, Shoko Norimura, Takuya Fujita, Koji Teramoto, Shozo Fujino, Hiroyasu Yokomise, Akira Yamauchi, Kazumasa Ogasawara
Neutralization of TGF-beta led to spontaneous elicitation of antitumor immune responses and elimination of tumors in mice administered of DNA encoding soluble TGF-beta receptor
20th Meeting of European Association of Cancer Research, July 2008, Lyon

<全国学会 一般発表>

紺谷桂一, 山内清明, 横見瀬裕保
乳癌関連抗原分子MUC1のホスト細胞性免疫抑制機構
第14回日本乳癌学会学術総会, 2006年7月, 金沢

山内清明, 紺谷桂一, 坪井有加, 延本篤也, 平島光臣
ガレクチン9による新規乳癌治療に向けての基礎的検討
第14回日本乳癌学会学術総会, 2006年7月, 金沢

木原 実, 紺谷桂一, 山内清明, 横見瀬裕保
乳癌術前化学療法前後における各種画像診断の評価: 病理学的効果判定との比較
第14回日本乳癌学会学術総会, 2006年7月, 金沢

永原慶子, 紺谷桂一, 長畑駿一郎, 山内清明, 平島光臣
安定化ガレクチン9の抗腫瘍細胞免疫誘導能と腫瘍抑制効果に関する検討
第19回日本バイオセラピューター学術集会総会, 2006年11月, 福岡

紺谷桂一, 垂水晋太郎, 澤口和宏, 山内清明, 横見瀬裕保
乳癌における癌抑制遺伝子RB1CC1発現と細胞増殖マーカー、ホルモン反応性との関連
第15回日本乳癌学会学術総会, 2007年6月, 横浜

山内清明, 紺谷桂一, 篠永梨佳, 曹 雪源
タモキシフェン効果予測因子としてのメニンの可能性

第 15 回日本乳癌学会学術総会, 2007 年 6 月, 横浜

三好信寛, 澤口和宏, 増田 彰, 横見瀬裕保, 紺谷桂一
温度応答性培養皿を用いた OK-432 誘導樹状細胞の無傷かつ効率的な回収法の確立
第 20 回日本バイオセラピー学会学術総会, 2007 年 10 月, 札幌

山内清明, 紺谷桂一, 法村尚子, 山下啓子, 岩瀬弘敬
タモキシフェン効果予測因子としてのメニンの可能性
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 2008 年 5 月, 長崎

大谷昌裕, 岩元繁幸, 濱上千夏, 伊達 学, 村澤千紗, 本城尚美, 法村尚子, 山内清明, 紺谷桂一
当センターにおける乳がん検診の現状と問題点
第 49 回日本人間ドック学会学術大会, 2008 年 9 月, 徳島

紺谷桂一, 村澤千紗, 山下加奈子, 法村尚子, 本城尚美, 大谷昌裕, 伊達 学, 田中嘉雄, 横見瀬裕保, 山内清明
皮膚温存乳房切除術の手術適応に関する検討
第 16 回日本乳癌学会学術総会, 2008 年 9 月, 大阪

法村尚子, 紺谷桂一, 村澤千紗, 山下加奈子, 大谷昌裕, 伊達 学, 横見瀬裕保, 山内清明
乳癌に対するゼロータ使用経験とその適応に関する検討
第 16 回日本乳癌学会学術総会, 2008 年 9 月, 大阪

山内清明, 紺谷桂一, 法村尚子, 村澤千紗, 平島光臣
EMT からみたガレクチン 9 による乳癌転移抑制機構の解析
第 16 回日本乳癌学会学術総会, 2008 年 9 月, 大阪

伊達 学, 村澤千紗, 山下加奈子, 法村尚子, 本城尚美, 大谷昌裕, 紺谷桂一, 横見瀬裕保, 山内清明
乳癌に対する拡散強調 MRI 診断および ADC 値測定の意味
第 16 回日本乳癌学会学術総会, 2008 年 9 月, 大阪

< 地方会・研究会 >

紺谷桂一, 法村尚子, 串田吉生, 本城尚美, 伊達 学, 羽場礼次, 宗内 巖, 山内清明, 横見瀬裕保
乳癌に対する皮膚温存乳房切除術 2 2 例の経験
第 4 回日本乳癌学会中国四国地方会, 2007 年 9 月, 広島

法村尚子, 紺谷桂一, 村澤千紗, 本城尚美, 大谷昌裕, 伊達 学, 横見瀬裕保, 山内清明
両側乳腺同時ダイナミック MRI が有用であった 4 例の報告
第 5 回日本乳癌学会中国四国地方会, 2008 年 8 月, 米子

村澤千紗, 紺谷桂一, 法村尚子, 本城尚美, 大谷昌裕, 伊達 学, 横見瀬裕保, 山内清明
乳腺部分切除後の欠損部に対する遊離真皮脂肪片移植の試み
第 5 回日本乳癌学会中国四国地方会, 2008 年 8 月, 米子

【 対外活動 】

< 講演 >

紺谷桂一
乳癌の最新医療：手術から薬物療法まで
香川県薬剤師会定例研修会（特別講演）, 2008 年 1 月, 高松

紺谷桂一
乳癌における HER2 分子の臨床応用の現状と将来の展望
岡山県臨床検査技師会生物学分析部門学術集会（特別講演）, 2008 年 9 月, 岡山

紺谷桂一
乳癌の最新薬物療法
第 6 回香川がん化学療法看護研究会（特別講演）, 2009 年 1 月, 高松

< 公開講座 >

紺谷桂一
乳がんの最新医療
第 3 回高松市民公開講座「受けていますか？マンモグラフィ」, 2007 年 2 月, 香川県木田郡

紺谷桂一
知ってほしい、乳がんの最新治療
香川県民フォーラム, 2007年7月, 高松

紺谷桂一
乳がんなんてこわくない
香川県民講座, 2007年10月, 高松

神崎中央病院

【対外活動】

<講演>

橋本敏和
閉鎖孔ヘルニアの2治験例
東近江市医師会定例会, 平成20年2月, 東近江市

岐阜市民病院 麻酔科

【論文】

<和文著書>

山田忠則
特殊麻酔のテクニック 気管支喘息
イラストでわかる麻酔科必須テクニック 136-137, 羊土社, 2006

<和文学術論文>

河村三千香, 山田忠則, 土肥修司 他
強直性脊椎炎に対する脊椎椎体骨切り術の麻酔経験
日本臨床麻酔学会誌 27(2):165-170, 2006

大島博人, 山田忠則, 土肥修司
もやもや病患者の浅側頭動脈一中大脳動脈吻合術中に急性硬膜外血腫を生じた1症例
麻酔 57(6):756-760, 2008

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

鬼頭和裕, 山田忠則, 太田宗一郎 他
挿管後数ヶ月を経て発生した気管狭窄の症例
第54回日本麻酔科学会総会, 2007年5月, 札幌

鬼頭和裕, 山田忠則, 太田宗一郎 他
PCPSを使用し行った巨大ブラ切除術の麻酔経験
第27回日本臨床麻酔学会総会, 2007年10月, 東京

<地方会・研究会>

宮本真紀, 山田忠則, 太田宗一郎 他
筋萎縮性側索硬化症患者に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の麻酔経験
第4回日本麻酔科学会 東海北陸支部学術集会, 2007年2月, 名古屋

山田忠則, 太田宗一郎 他
抜管直後に発症した肺水腫の一例
第6回日本麻酔科学会 東海北陸支部学術集会, 2008年9月, 岐阜

喜馬病院 内視鏡外科センター

【論文】

<和文論文>

熊野公束, 佐藤 功, 水谷 真, 松田高幸, 高尾信行, 藤村昌樹
魚骨穿通による腹壁膿瘍に対して腹腔鏡補助下異物除去術を施行した 1 例
臨床外科 医学書院 737-740, 2008

京都桂病院 呼吸器センター

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

大塩恭彦, 埴 健 他
自然気胸に対する胸腔鏡下手術における臓側胸膜被覆法の検討
第 23 回日本呼吸器外科学会総会, 2006 年 5 月, 東京

橋本雅之
胸部外傷後遅発性に発症した横隔膜損傷による血胸の 2 例
第 23 回日本呼吸器外科学会総会, 2006 年 5 月, 東京

橋本雅之
肺大細胞神経内分泌癌の検討
第 47 回日本肺癌学会総会, 2006 年 12 月

<地方会・研究会>

橋本雅之
肺大細胞神経内分泌癌 17 例の検討
第 49 回関西胸部外科学会学術集会, 2006 年 6 月

橋本雅之
日帰りで気管支鏡下に気道異物を摘出した一例
第 79 回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会, 2006 年 6 月

京都第一赤十字病院

【学会発表】

<全国学会>

望月慶子, 谷口史洋, 門谷弥生, 池田 純, 山下哲郎, 小出一真, 上島康生, 塩飽保博, 李 哲柱, 栗岡英明
大腸癌術後多発肺転移に対し FOLFOX4 が著効した 1 例
第 61 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006 年 7 月, 横浜

田中麻紀子, 李 哲柱
当院における進行再発乳癌に対する capecitabine の使用経験
第 14 回日本乳癌学会, 2006 年 7 月, 金沢

望月慶子, 小出一真, 門谷弥生, 池田 純, 山下哲郎, 小野 滋, 谷口史洋, 上島康生, 塩飽保博, 李 哲柱, 濱島高志, 池田栄人, 栗岡英明
当科におけるインスリノーマの 3 症例について
第 68 回日本臨床外科学会総会, 2006 年 11 月, 広島

田中麻紀子, 上島康生, 濱島高志, 望月慶子, 門谷弥生, 池田 純, 山下哲郎, 小出一真, 小野 滋, 谷口史洋, 塩飽保博, 李 哲柱, 池田栄人, 栗岡英明
PCPS 併用下にて救命し得た外傷性気管損傷の 1 例
第 68 回日本臨床外科学会総会, 2006 年 11 月, 広島

田中麻紀子, 李 哲柱

第3選択薬以降に capecitabine を使用した進行再発乳癌の検討

第15回日本乳癌学会, 2007年6月, 横浜

園田寛道, 谷口史洋, 糸井尚子, 池田 純, 山下哲郎, 小出一真, 上島康生, 塩飽保博, 李 哲柱, 栗岡英明

肝硬変に伴う脾機能亢進症に対する Surgrx Enseal System を用いた HALS 脾臓摘出術

第63回日本消化器外科学会総会, 2008年7月, 札幌

園田 寛道, 上島 康生, 岩田 譲司, 塩飽 保博

経過中に増大傾向を示した大腸癌肺転移と鑑別困難であった肺軟骨腫瘍の1例

第63回日本大腸肛門病学会学術集会・2008年10月

糸井尚子, 李哲柱, 越野勝博, 猪飼 篤, 酒井健司, 門谷弥生, 谷口史洋

インドシアニングリーン (ICG) 蛍光法を用いた乳癌センチネルリンパ節生検の検討

第16回日本乳癌学会総会, 2008年9月, 大阪

糸井尚子, 李哲柱, 門谷弥生, 園田寛道, 池田 純, 山下哲郎, 小出一真, 岩田譲司, 谷口史洋, 上島康生, 塩飽保博

当院における乳癌肝転移症例の予後

第70回日本臨床外科学会総会, 2008年11月, 東京

<研究会・地方会>

望月慶子, 上島康生, 酒井健司, 猪飼 篤, 田村大宗, 坂井宏平, 常塚啓影, 田中麻紀子, 加藤雅也, 門谷弥生, 池田 純, 山下哲郎, 小野 滋, 小出一真, 谷口史洋, 塩飽保博, 濱島高志, 李 哲柱, 池田栄人, 栗岡英明, 榎 泰之, 加藤元一

9年の経過を経て切除し得た巨大縦隔腫瘍の一例

第454回京都(京滋)外科集談会, 2006年7月, 京都

糸井尚子, 李哲柱, 越野勝博, 門谷弥生, 園田寛道, 池田 純, 山下哲郎, 小出一真, 谷口史洋, 上島康生, 塩飽保博, 栗岡英明

当院における ICG(インドシアニンググリーン)蛍光法を用いた乳癌センチネルリンパ節生検の試み

第20回関西乳癌放射線治療研究会, 2008年2月, 京都

糸井尚子, 李哲柱, 越野勝博, 園田寛道, 池田 純, 山下哲郎, 小出一真, 谷口史洋, 上島康生, 塩飽保博, 栗岡英明, 小島史好, 榎泰之, 加藤元一

腋窩腫瘍を主訴に来院された乳癌の一例

第3回乳癌ミーティング, 2008年3月, 京都

糸井尚子, 門谷弥生, 李哲柱

非触知乳癌の一例

第63回 伏見医師学術集談会, 2008年5月, 京都

糸井尚子, 東口貴之, 清水浩紀, 越野勝博, 猪飼篤, 酒井健司, 門谷弥生, 谷口史洋, 李哲柱

腋窩腫瘍を主訴に来院した、固有乳腺分泌癌と副乳癌を合併した1例

第6回日本乳癌学会近畿地方会, 2008年12月, 京都

東口 貴之, 糸井 尚子, 清水 浩紀, 越野 勝博, 猪飼 篤, 酒井 健司, 門谷 弥生, 谷口 史洋, 李 哲柱

パクリタキセル導入時に Stevens-Johnson syndrome を発症した乳癌肺転移の1例

第6回日本乳癌学会近畿地方会, 2008年12月, 京都

京都第二赤十字病院

【論文】

<欧文著書>

N. Kakihara, K. Takeshita, S. Naka, H. Ishibashi

Gastric submucosa as the safer and repeatable site for hepatocyte transplantation

Transplantation Proceeding 41:425-428, 2009

【学会発表】

<全国学会>

柿原 直樹, 下間 正隆, 戸田 孝祐, 石井 亘, 下村 克己, 松村 博臣, 大垣 雅晴, 宮田 圭悟, 飯塚 亮二, 井川 理, 藤井 宏二, 泉 浩, 竹中 温

S-1/Paclitaxel 併用療法の使用経験

第 80 回日本胃癌学会総会, 2008 年 2 月, 横浜

石井 亘, 柿原 直樹, 下間 正隆, 戸田 孝祐, 下村 克己, 松村 博臣, 大垣 雅晴, 宮田 圭悟, 飯塚 亮二, 井川 理, 藤井 宏二, 泉 浩, 竹中 温

腹腔洗浄細胞診陽性症例に対する術後補助療法

第 80 回日本胃癌学会総会, 2008 年 2 月, 横浜

柿原 直樹, 下間 正隆, 戸田 孝祐, 石井 亘, 下村 克己, 松村 博臣, 大垣 雅晴, 宮田 圭悟, 飯塚 亮二, 井川 理, 藤井 宏二, 泉 浩, 竹中 温

胃切除をおこなった腹腔洗浄細胞診陽性胃がんに対する術後補助療法

第 38 回胃外科・術後障害研究会, 2008 年 11 月, 東京

柿原 直樹, 下間 正隆, 庚 賢, 戸田 孝祐, 山田 圭吾, 石井 亘, 下村 克己, 松村 博臣, 大垣 雅晴, 宮田 圭悟, 飯塚 亮二, 井川 理, 藤井 宏二, 泉 浩, 竹中 温

腹膜播種に対する S-1/Paclitaxel 併用療法

第 63 回日本消化器外科学会, 2008 年 7 月, 札幌

山田 圭吾, 柿原 直樹, 下間 正隆, 庚 賢, 戸田 孝祐, 石井 亘, 下村 克己, 松村 博臣, 大垣 雅晴, 宮田 圭悟, 飯塚 亮二, 井川 理, 藤井 宏二, 泉 浩, 竹中 温

残胃に発生した小細胞癌の 1 例

第 81 回日本胃癌学会, 2009 年 3 月, 東京

松村 博臣, 柿原直樹, 下間 正隆, 竹中 温

胃癌術後輸入脚閉塞症に対して透明キャップ装着内視鏡下バルーン拡張術が奏功した 1 例

第 81 回日本胃癌学会, 2009 年 3 月, 東京

<研究会・地方会>

柿原 直樹, 藤田 和子, 河端 秀明, 多賀 千明, 西谷 葉子, 佐久間 美和, 神田 英一郎, 吉村 恵美子, 京都第二赤十字病院 緩和ケアチーム

当院に於ける緩和ケアチームの活動の現状と問題点

第二関西チーム医療研究会, 2008 年 3 月, 大阪

近畿大学医学部付属病院 心臓血管外科

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

阿知和郁也, 原田順和, 打田俊司, 内藤祐次, 加藤香, 里見元義, 安河内聰, 金子幸栄, 梶村いちげ
体重 2.5kg 以下の低体重児に対する肺動脈絞扼術症例の検討

第 43 回日本小児循環器学会総会, 2007 年 7 月, 東京

阿知和郁也, 原田順和, 打田俊司, 内藤祐次, 加藤香, 里見元義, 安河内聰, 金子幸栄, 梶村いちげ
TCPC 術後の横隔神経麻痺症例の検討

第 43 回日本小児循環器学会総会, 2007 年 7 月, 東京

<地方会・研究会>

阿知和郁也, 佐賀俊彦, 北山仁士, 井上剛裕, 川崎 寛, 金田敏夫, 井村正人, 中本 進, 岡本順子
心尖同側下大静脈を伴う right isomerism heart に対する心室後方径路自己心膜導管を用いた
extracardiac total cavo-pulmonary connection 術後遠隔期の導管形態の推移の報告

第 22 回日本小児循環器学会 近畿・中四国地方会, 2008 年 2 月, 大阪

神戸徳洲会病院 心臓血管外科

【論文】

<和文論文>

野島武久, 林 叔隆, 曾根田純一

重複下大静脈での急性肺動脈血栓塞栓症の治療中にヘパリン起因性血小板減少症を併発した1例
呼吸と循環 56(10):1077-1080, 2008

野島武久

医療最前線 46 透析医療におけるバスキュラーアクセス関連治療
The Palm 27:30-35, 2008

林 叔隆, 野島武久, 曾根田純一

血行再建術非候補の慢性重症足趾虚血症例に対するアルプロスタジルとアルガトロバンの急性期
併用療法は長期予後を改善するか?
Pharma Medica 26(11):137-143, 2008

【学会発表】

<地方会・研究会>

野島武久, 曾根田純一

当科におけるバスキュラーアクセス関連手術
第24回明石・西神戸透析懇話会, 2007年1月, 明石

野島武久, 曾根田純一

同一術者による内シャント関連手術ならびにPTA施行症例の検討
第11回アクセス研究会, 2007年10月, 浦安

野島武久, 曾根田純一

Long-Tapered PTA balloonである”Resolution SD”の使用経験
第11回アクセス研究会, 2007年10月, 浦安

野島武久, 曾根田純一

当科におけるアクセス関連治療初期成績
第26回明石・西神戸透析懇話会, 2008年1月, 明石

野島武久, 林 叔隆, 曾根田純一

重複下大静脈での急性肺動脈血栓塞栓症の治療中にヘパリン起因性血小板減少症を併発した1例
第51回関西胸部外科学会学術総会, 2008年6月, 富山

野島武久, 曾根田純一

静脈高血圧症に対する治療症例の検討
第12回アクセス研究会, 2008年10月, 山形県

野島武久

静脈高血圧症の病態と治療
第28回明石・西神戸透析懇話会(招請講演), 2009年2月, 明石

国立がんセンター中央病院

【論文】

<和文著書>

山口智弘, 監修 野村和弘, 編集 森谷宜皓

がん看護 実践シリーズ6 大腸がん, メヂカルフレンド社: 27~64, 2007

<英文学術論文>

Yamaguchi T, Fujita S

A Case of Lateral Pelvic Lymph Node Recurrence of Rectal Carcinoid.
Japanese Journal of Clinical Oncology 38(5): 390, 2008

【学会発表】

<国際学会>

Tomohiro Yamaguchi, Seiichiro Yamamoto, Shin Fujita, Takayuki Akasu, Yutaka Kobayashi,
Yoshihiro Moriya

Incidence of Metachronous Rectal Cancer Following Ileorectal Anastomosis for Familial Adenomatous Polyposis – Report on 89 Patients
The 2nd InSiGHT (The 2nd Biennial Scientific Meeting of International Society of Gastrointestinal Hereditary Tumours), March 2007, Japan

Tomohiro Yamaguchi, Takayuki Akasu, Mototaka Miyake, Seiichiro Yamamoto, Shin Fujita, Yoshihiro Moriya, Yasuaki Arai, Gen Iinuma
Morphologic Predictors of Regional Lymph Node Metastasis in Early Colorectal Carcinoma: Comparison of Multi – Detector Row CT Colonography versus Histopathologic Findings
18th World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (IASGO) , October 2008, Istanbul

【学会発表】

<全国学会>

山口智弘, 山本聖一郎, 藤田 伸, 赤須孝之, 小林 豊, 森谷宜皓
家族性大腸腺腫症に対する結腸全摘・回腸直腸吻合術後の残存直腸内癌発生に関する検討
第 107 回 日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 横浜

山口智弘, 赤須孝之, 小林 豊, 山本聖一郎, 藤田 伸, 森谷宜皓
家族性大腸腺腫症術後に発生したデスモイドに対し sulindac と tamoxifen 併用療法が有効であった 1 例
第 62 回 日本大腸肛門病学会, 2007 年 11 月, 東京

山口智弘, 山本聖一郎, 藤田 伸, 赤須孝之, 鷹羽 智之, 森谷宜皓
家族性大腸腺腫症に対する結腸全摘・回腸直腸吻合術後の残存直腸内癌発生に関する検討
第 14 回 家族性腫瘍学会, 2008 年 6 月, 東京

山口智弘, 山本聖一郎, 藤田 伸, 赤須孝之, 小林 豊, 森谷宜皓
同時性の側方リンパ節転移陽性下部直腸 SM 癌の 1 切除例
第 63 回 日本消化器外科学会, 2008 年 7 月, 札幌

<研究会・地方会>

山口智弘, 赤須孝之, 山本聖一郎, 藤田伸, 森谷宜皓
超低位直腸癌に対する Intersphincteric resection (ISR) 術後の再発についての検討
第 67 回大腸癌研究会, 2007 年 7 月, 神戸

山口智弘, 藤田 伸, 小林 豊, 山本聖一郎, 赤須孝之, 森谷宜皓
異時性多発大腸癌の頻度と発生までの期間
第 68 回大腸癌研究会, 2008 年 1 月, 福岡

【対外活動】

山口智弘, 赤須孝之, 山本聖一郎, 藤田伸, 森谷宜皓
低位直腸がん手術における肛門温存療法の開発に関する研究－肛門括約筋温存術の適応拡大と術後肛門機能評価法に関する研究－
平成 19 年度 厚生労働省がん研究助成金 森谷班第 1 回班会議, 2007 年 6 月, 東京

山口智弘, 赤須孝之, 山本聖一郎, 藤田 伸, 森谷宜皓
低位直腸がん手術における肛門温存療法の開発に関する研究－肛門括約筋温存術の適応拡大と術後肛門機能評価法に関する研究－
平成 20 年度 厚生労働省がん研究助成金 森谷班第 2 回班会議, 2008 年 12 月, 東京

山口智弘, 谷口浩和, 深澤由里, 関根茂樹, 藤田 伸, 下田忠和
大腸がん肝転移の予知ならびに予防的治療”に関する研究－大腸粘液癌における予後規定因子-とくに組織型、浸潤形式および形質発現について－
厚生労働省 がん研究助成金による第 2 回 藤田班会議, 2008 年 12 月, 東京

<講演>

山口智弘
大腸がん
国がん発第 771 号、平成 20 年度 第 4 回相談支援センター相談員基礎研修 (2) 2009 年 2 月, 東京

国立成育医療センター 心臓血管外科

【学会発表】

＜地方会・研究会＞

阿知和郁也, 金子幸裕, 木村光利

多発心室中隔欠損を伴う完全大血管転位に対して一期的根治術をした1例

第149回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2009年3月, 東京

国立病院機構 京都医療センター 呼吸器外科

【学会発表】

＜全国学会 一般発表＞

大塩麻友美, 澤井 聡, 藤野昇三

降下性壊死性縦隔洞炎に対し、胸腔鏡補助下縦隔ドレナージ術を施行した2症例

第17回日本呼吸器外科医会, 2008年3月, 長野

大塩麻友美, 澤井 聡

原発不明縦隔リンパ節癌の1例

第25回日本呼吸器外科学会総会, 2008年5月, 栃木

＜地方会・研究会＞

大塩麻友美, 澤井 聡

原発不明縦隔リンパ節癌の1例

第36回近江呼吸器疾患研究会, 2008年3月, 京都

独立行政法人国立病院機構滋賀病院 外科

【論文】

＜和文著書＞

池添 清彦, 小林 知恵, 川口 晃, 佐野 晴夫, 長谷川正人

鼠径ヘルニアに伴う続発性大網捻転症の1例

臨床外科 第62巻(13) : 1765-1768, 2007

国立病院機構 滋賀病院 呼吸器外科

【論文】

＜英文論文＞

Daisuke Maki, Masashi Takahashi, Kiyoshi Murata, Satoru Sawai, Syozo Fujino, Syuhei Inoue
Computed tomography appearances of bronchogenic carcinoma associated with bullous lung disease

J Comput Assist Tomogr 30:447-452, 2006

Masatsugu Ohuchi, Shuhei Inoue, Jun Hanaoka, Tomoyuki Igarashi, Noriaki Tezuka, Yoshitomo Ozaki, Koji Teramoto

Good Syndrome Coexisting With Leukopenia

Ann Thorac Surg 84:2095-2097, 2007

<和文論文>

花岡 淳, 井上修平, 大内政嗣, 五十嵐知之, 藤野昇三, 手塚則明, 澤井 聡
咯血で発症した肺底動脈体動脈起始症の1切除例
日本呼吸器外科学会雑誌 20:198-204, 2006

原 喜与一, 桂 榮孝, 九嶋亮治, 井上修平, 陣内研二
気管支擦過標本による肺アスペルギルス症の診断
日本臨床細胞学会雑誌 45:219-226, 2006

大内政嗣, 井上修平, 花岡 淳, 五十嵐知之, 藤野昇三, 澤井 聡, 手塚則明, 尾崎良智
胸腔鏡下生検で診断した肺 MALT リンパ腫の1例
日本呼吸器外科学会雑誌 21:149-154, 2007

大内政嗣, 井上修平, 花岡 淳, 五十嵐知之, 藤野昇三
胸腺腫との鑑別が困難であったT細胞型リンパ芽球性リンパ腫の1例
肺癌 47(3):277-283, 2007

大内政嗣, 井上修平, 花岡 淳, 五十嵐知之, 藤野昇三, 澤井 聡, 手塚則明, 尾崎良智
79歳で発見された気管支原性嚢胞を合併した肺葉内肺分画症の1切除例
日本呼吸器外科学会雑誌 21:677-684, 2007

大内政嗣, 井上修平, 花岡 淳, 五十嵐知之, 藤野昇三, 澤井 聡, 手塚則明, 尾崎良智
気管支鏡下に高周波スネアを使用し摘出した亜区域支発生気管支内過誤腫の1例
気管支学 29(5):288-292, 2007

新田哲久, 高橋雅士, 高櫻竜太郎, 永谷幸裕, 大谷秀司, 村上陽子, 村田喜代史, 竹村しづき, 西本優子,
井上修平
非感染性炎症性疾患および外傷などによる結節陰影の画像所見
画像診断 28:72-86, 2008

大内政嗣, 井上修平, 花岡 淳, 五十嵐知之, 藤野昇三, 澤井 聡, 手塚則明, 尾崎良智
胸腔鏡下に切除した肺子宮内膜症の1例
日本呼吸器外科学会雑誌 22:86-91, 2008

大内政嗣, 井上修平, 花岡 淳, 五十嵐知之, 手塚則明, 尾崎良智, 寺本晃治
極細径気管支鏡を使用し菌塊を証明した肺放線菌症の1切除例
気管支学 30:41-45, 2008

大内政嗣, 井上修平, 花岡 淳, 五十嵐知之, 手塚則明, 尾崎良智, 寺本晃治
気管切開後気道狭窄に対して直達喉頭鏡下高周波焼灼、デュモンステントを留置した1例
気管支学(日本呼吸器内視鏡学会雑誌) 30:74-79, 2008

<その他>

井上修平
「身近な病気」肺がん——企画特集 地域医療を考える
毎日新聞滋賀版 2007年10月12日

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

花岡 淳, 井上修平, 大内政嗣, 五十嵐知之
肺癌術後の遺残死腔に発生したアスペルギルス膿胸の1例
第23回日本呼吸器外科学会総会, 2006年5月, 東京

五十嵐知之, 井上修平, 花岡 淳, 大内政嗣
肺内穿破をきたし、気管支鏡で奇形腫成分(白髪)を認めた縦隔奇形腫の1切除例
第23回日本呼吸器外科学会総会, 2006年5月, 東京

井上修平, 花岡 淳, 大内政嗣, 五十嵐知之
右第7肋骨膨隆・疼痛で発症した多発性線維性骨異形成症の1切除例
第23回日本呼吸器外科学会総会, 2006年5月, 東京

大内政嗣, 井上修平, 花岡 淳, 五十嵐知之
79歳で発見された肺葉内肺分画症と気管支性嚢胞の1切除例

第 23 回日本呼吸器外科学会総会, 2006 年 5 月, 東京

大内政嗣, 井上修平, 花岡 淳, 五十嵐知之, 上田幹雄, 河野能士, 皆川友子, 平沼 修
細径気管支鏡を施行し鏡視下に菌塊を証明しえた肺放線菌症の 1 例
第 29 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2006 年 6 月, つくば

花岡 淳, 井上修平, 大内政嗣, 五十嵐知之, 上田幹雄, 河野能士, 皆川友子, 平沼 修
気管原発グロームス腫瘍の 1 例
第 29 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2006 年 6 月, つくば

大内政嗣, 井上修平, 花岡 淳, 五十嵐知之, 上田幹雄, 河野能士, 皆川友子, 平沼 修
胸腺腫術後 1 年目に診断された Good 症候群の 1 例
第 47 回日本肺癌学会総会, 2006 年 12 月, 京都

五十嵐知之, 井上修平, 花岡 淳, 大内政嗣, 上田幹雄, 河野能士, 皆川友子, 平沼 修
上縦隔原発粘液線維肉腫 (myxofibrosarcoma) の 1 例
第 47 回日本肺癌学会総会, 2006 年 12 月, 京都
井上修平, 花岡 淳, 大内政嗣, 五十嵐知之, 上田幹雄, 河野能士, 皆川友子, 平沼 修
縦隔リンパ節腫大の気管支鏡検査で発見されたサルコイド様反応を伴った肺癌の 1 切除例
第 47 回日本肺癌学会総会, 2006 年 12 月, 京都

五十嵐知之, 井上修平, 花岡 淳, 大内政嗣
肺癌との鑑別が困難であった肺クリプトコッカス症の 1 切除例
第 24 回日本呼吸器外科学会総会, 2007 年 5 月, 横浜

大内政嗣, 井上修平, 花岡 淳, 五十嵐知之
細径気管支鏡で診断した肺放線菌症の 1 切除例
第 24 回日本呼吸器外科学会総会, 2007 年 5 月, 横浜

花岡 淳, 井上修平, 大内政嗣, 五十嵐知之
当科で経験した胸囲結核の 2 例
第 24 回日本呼吸器外科学会総会, 2007 年 5 月, 横浜

五十嵐知之, 井上修平, 花岡 淳, 大内政嗣, 上田幹雄, 河野能士, 皆川友子, 平沼 修
気管切開後気道狭窄に対して気管支鏡下高周波焼灼、デュモンステントを留置した 1 例
第 30 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2007 年 6 月, 東京

井上修平, 大内政嗣, 五十嵐知之, 河野能士, 大杉修二
気管支拡張症の気管支壁に発生した定型的カルチノイドの 1 切除例
第 48 回日本肺癌学会総会, 2007 年 11 月, 名古屋

大内政嗣, 井上修平, 五十嵐知之, 河野能士, 大杉修二
特発性器質化肺炎が併存した細気管支肺胞上皮癌の 1 切除例
第 48 回日本肺癌学会総会, 2007 年 11 月, 名古屋

五十嵐知之, 井上修平, 大内政嗣, 河野能士, 大杉修二
多発肺嚢胞の画像所見を示した粘液産生性細気管支肺胞上皮癌の 1 例
第 48 回日本肺癌学会総会, 2007 年 11 月, 名古屋

五十嵐知之, 井上修平, 大内政嗣
画像上肺癌が疑われた MALT リンパ腫の 1 切除例
第 25 回日本呼吸器外科学会総会, 2008 年 5 月, 宇都宮

井上修平, 大内政嗣, 五十嵐知之
胸腔鏡補助下に切除した胸腔内胸壁型脂肪腫の 2 例
第 25 回日本呼吸器外科学会総会, 2008 年 5 月, 宇都宮

大内政嗣, 井上修平, 五十嵐知之
肺・横隔膜・大腸粘膜下に異所性子宮内膜組織を認めた月経随伴性気胸の 1 切除例
第 25 回日本呼吸器外科学会総会, 2008 年 5 月, 宇都宮

大内政嗣, 井上修平, 五十嵐知之, 河野能士, 山田忠明
肺癌手術後の気管支断端縫合糸に膿瘍を生じた放線菌症の 1 例

第 31 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2008 年 6 月, 大阪

井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣, 高萩亮宏, 藤野昇三, 手塚則明, 朝倉庄志, 浅田佳邦, 鈴木雄治
非小細胞肺癌完全切除例に対する GEM, CBDCA bi-weekly 投与法による術後補助化学療法の検討
第 49 回日本肺癌学会総会, 2008 年 11 月, 北九州

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 高萩亮宏
両肺転移を認めた胸壁原発類上皮血管内皮腫の 1 例
第 49 回日本肺癌学会総会, 2008 年 11 月, 北九州

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 高萩亮宏
部分肺静脈環流異常を伴った左上葉肺癌の一手術例
第 49 回日本肺癌学会総会, 2008 年 11 月, 北九州

<地方会・研究会>

井上修平, 花岡 淳, 大内政嗣, 五十嵐知之
非小細胞癌完全切除症例に対する GEM, CBDCA bi-weekly 投与法による術後補助化学療法の認容性
試験一経過報告—
滋賀肺癌術後補助化学療法セミナー, 2006 年 4 月, 草津

五十嵐知之, 井上修平, 花岡 淳, 大内政嗣
原発性結節性肺アミロイドーシスの 1 切除例
第 49 回関西胸部外科学会学術集会, 2006 年 6 月, 浜松

大内政嗣, 井上修平, 花岡 淳, 五十嵐知之, 上田幹雄, 河野能士, 皆川友子, 平沼 修
胸壁転移を伴った中縦隔発生異所性胸腺癌の 1 例
第 84 回日本肺癌学会関西支部会, 2006 年 7 月, 京都

五十嵐知之, 大内政嗣, 花岡 淳, 井上修平
治療に難渋した粘液線維肉腫の 1 例
第 33 回近江呼吸器疾患研究会, 2006 年 9 月, 京都

河野能士, 平沼 修, 皆川友子, 上田幹雄, 五十嵐知之, 大内政嗣, 花岡 淳, 井上修平
亜急性に経過した両側下肺野を中心とするスリガラス陰影の 1 例
第 31 回 Shiga Chest Disease Conference, 2006 年 11 月, 大津

大内政嗣, 井上修平, 花岡 淳, 五十嵐知之
当科で経験した興味ある症例
第 15 回国立滋賀病院臨床談話会, 2006 年 11 月, 東近江

大内政嗣, 井上修平, 五十嵐知之
胸腔鏡下に横隔膜を部分切除した月経随伴性気胸の 1 例
平成 18 年度滋賀病院研究報告会, 2007 年 3 月, 東近江

大内政嗣, 井上修平, 五十嵐知之
79 歳で発見された肺葉内肺分画症と気管支性嚢胞の 1 切除例
平成 18 年度滋賀病院研究報告会, 2007 年 3 月, 東近江

五十嵐知之, 井上修平, 大内政嗣
肺癌との鑑別が困難であった肺クリプトコッカス症の 1 切除例
第 34 回近江呼吸器疾患研究会, 2007 年 3 月, 京都

井上修平, 大内政嗣, 五十嵐知之, 河野能士, 大杉修二
気管支拡張症に合併した肺病変
第 32 回 Shiga Chest Disease Conference, 2007 年 6 月, 大津

大内政嗣, 井上修平, 五十嵐知之, 河野能士, 大杉修二
緩徐な経過をたどり特異的な画像所見を呈した一例
第 32 回 Shiga Chest Disease Conference, 2007 年 6 月, 大津

井上修平, 大内政嗣, 五十嵐知之
胸壁腫瘍の 2 切除例

第 35 回近江呼吸器疾患研究会, 2007 年 9 月, 京都

井上修平, 月野光博, 桑原正喜, 寺田泰二
呼吸器疾患と真菌—「呼吸器真菌症に対する治療戦略」
第 68 回滋賀呼吸器疾患談話会, 2007 年 11 月, 草津

五十嵐知之, 井上修平, 大内政嗣, 河野能士, 山田忠明
多発肺病変の 1 例
第 33 回 Shiga Chest Disease Conference, 2007 年 11 月, 大津

大内政嗣, 井上修平, 五十嵐知之
胸腔鏡下に切除した胸腔内胸壁型脂肪腫の 2 例
第 17 回国立滋賀病院臨床談話会, 2007 年 11 月, 東近江

大内政嗣, 井上修平, 五十嵐知之
当施設で経験した月経随伴性気胸症例
第 18 回近畿胸腔鏡研究会, 2008 年 2 月, 京都

大内政嗣, 井上修平, 五十嵐知之
特発性器質化肺炎が併存した細気管支肺胞上皮癌の 1 切除例
独立行政法人国立病院機構滋賀病院研究発表会, 2008 年 3 月, 東近江

井上修平, 大内政嗣, 五十嵐知之
気管支拡張症の気管支壁に発生した定型的カルチノイドの 1 切除例
独立行政法人国立病院機構滋賀病院研究発表会, 2008 年 3 月, 東近江

五十嵐知之, 井上修平, 大内政嗣
多発肺嚢胞の画像所見を示した粘液産生性細気管支肺胞上皮癌の 1 例
独立行政法人国立病院機構滋賀病院研究発表会, 2008 年 3 月, 東近江

大内政嗣, 井上修平, 五十嵐知之
間質性肺炎を合併する肺癌手術症例に対するシベレスタットナトリウム投与例の検討
滋賀周術期フォーラム 2008, 2008 年 3 月, 大津

五十嵐知之, 井上修平, 大内政嗣
画像上、肺癌が疑われた MALT リンパ腫の 1 切除例
第 36 回近江呼吸器疾患研究会, 2008 年 3 月, 京都

大内政嗣, 井上修平, 五十嵐知之
間質性肺炎を合併する肺癌手術症例に対するシベレスタットナトリウム投与例の検討
第 36 回近江呼吸器疾患研究会, 2008 年 3 月, 京都

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智
26 歳女性に発症した胸壁腫瘍の 1 例
第 34 回 Shiga Chest Disease Conference, 2008 年 6 月, 大津

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 高萩亮宏
進行肺癌に対する免疫治療
第 18 回滋賀病院臨床談話会, 2008 年 8 月, 東近江

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 高萩亮宏
成人で発症した先天性嚢胞状腺腫様奇形の 2 切除例
第 37 回近江呼吸器疾患研究会, 2008 年 9 月, 京都

高萩亮宏, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
当科における局所麻酔下細径胸腔鏡施行症例の検討
第 19 回近畿胸腔鏡研究会, 2008 年 9 月, 大阪

永井聡子, 北村良雄, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣, 高萩亮宏
Erlotinib 皮膚障害に対する外用剤の使用経験
Tarceva Excellence Meeting in Shiga, 2008 年 10 月, 草津

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 高萩亮宏
肺コクシジオイデス症の1切除例
第19回国立滋賀病院臨床談話会, 2008年11月, 東近江

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 高萩亮宏
76歳男性の両側下葉多発肺嚢胞症の1例
第35回 Shiga Chest Disease Conference, 2008年12月, 大津

尾崎良智
進行肺癌に対する免疫治療
東近江医師会臨床談話会, 2008年, 東近江

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 高萩亮宏
肺コクシジオイデス症の1切除例
東近江医師会臨床談話会, 2008年, 東近江

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 高萩亮宏
肺・横隔膜・大腸粘膜下に異所性子宮内膜組織を認めた月経随伴性気胸の1例
平成20年度滋賀病院院内研究発表会, 2009年3月, 東近江

高萩亮宏, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
当科における局所麻酔下胸腔鏡検査の経験
平成20年度滋賀病院院内研究発表会, 2009年3月, 東近江

古澤典代, 植村優子, 五十嵐知之, 大内政嗣, 井上修平
術後乳糜胸における早期低脂肪食の試み
平成20年度滋賀病院院内研究発表会, 2009年3月, 東近江

高萩亮宏, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
当科における局所麻酔下細径胸腔鏡検査の経験
第38回近江呼吸器疾患研究会, 2009年3月, 京都

高萩亮宏, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
胸腔鏡下肺容量減量手術を契機に発見された肺葉外肺分画症の1例
第20回近畿胸腔鏡研究会, 2009年3月, 京都

【対外活動】

<講演>

井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
非小細胞肺癌完全切除症例に対するGEM、CBDCA bi-weekly投与法による術後補助化学療法
滋賀肺癌治療学術講演会, 2008年4月, 草津

<公開講座>

井上修平
肺がん～診断から治療～
第8回市民公開講座, 2007年2月, 東近江

国立病院機構 南京都病院 呼吸器外科

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

朝倉庄志, 一瀬増太郎, 鹿島祥隆
横隔膜上膿瘍の1切除例
第23回日本呼吸器外科学会総会, 2006年5月, 東京

朝倉庄志, 一瀬増太郎, 大塩恭彦
胸壁ヘルニアの1例
第24回日本呼吸器外科学会総会, 2007年5月, 横浜

一瀬増太郎, 朝倉庄志, 大塩恭彦
肺アスペルギルス症を合併した成人の先天性嚢胞性腺腫様奇形の1手術例
第24回日本呼吸器外科学会総会, 2007年5月, 横浜

一瀬増太郎, 大塩恭彦, 朝倉庄志, 游逸明, 小栗晋, 佐藤敦夫, 倉澤卓也
大量喀血に対し手術を施行した3症例と当院における気管支動脈塞栓術30例の検討
第30回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2007年6月, 東京

大塩恭彦, 朝倉庄志
局所麻酔胸腔鏡下膿胸腔搔爬術をしようした全身状態不良な膿胸の1例
第20回内視鏡外科学会総会, 2007年11月, 仙台

大塩恭彦, 朝倉庄志
空洞性病変を呈した月経随伴性喀血の1切除例
第17回日本呼吸器外科医会, 2008年2月, 長野

大塩恭彦, 朝倉庄志
空洞性病変を呈した月経随伴性喀血の1例
第25回日本呼吸器外科学会総会, 2008年5月, 宇都宮

<地方会・研究会>

大塩恭彦, 朝倉庄志
空洞性病変を呈した月経随伴性喀血の1切除例
第17回近畿胸腔鏡研究会, 2007年10月, 京都

【対外活動】

<講演>

大塩恭彦, 朝倉庄志
症例検討会 平成18年度検診発見肺癌症例について
平成19年度 宇治久世医師会 肺癌症例検討会・講演会, 2008年1月, 宇治

小松市民病院 外科

【論文】

<英文学術論文>

Hiroyuki Ohta, Kazuhiko Aoyagi, Masahide Fukaya, Inaho Danjoh, Ayuko Ohta, Noriyuki Isohata, Norihisa Saeki, Hirokazu Taniguchi, Hiromi Sakamoto, Tadakazu Shimoda, Tohru Tani, Teruhiko Yoshida and Hiroki Sasaki
Cross talk between hedgehog and epithelial-mesenchymal transition pathways in gastric pit cells and in diffuse-type gastric cancers
British Journal of Cancer 100:389~398, 2009

Noriyuki Isohata, Kazuhiko Aoyagi, Tomoko Mabuchi, Hiroyuki Daiko, Masahide Fukaya, Hiroyuki Ohta, Kenji Ogawa, Teruhiko Yoshida, Hiroki Sasaki
Hedgehog and epithelial-mesenchymal transition signaling in normal and malignant epithelial cells of the esophagus
International Journal of Cancer 125 (5): 1212~1221, 2009

<研究会・地方会>

太田 裕之, 塚山 正市, 烏川 信雄, 藤岡 重一, 村上 眞也, 川浦 幸光, 辻端 亜紀彦
原発性虫垂癌の4例,
北陸大腸癌研究会, 2009年2月, 金沢

社会保険滋賀病院 外科

【論文】

<和文論文>

八木俊和, 大江正士郎, 山元康義, 青山英久, 奥村嘉章, 山下敬司, 長尾昌壽
術前診断が可能であった成人腸回転異常症にともなう右傍十二指腸ヘルニアの1例
滋賀医学 30:70-73, 2008

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

大江正士郎 (社会保険滋賀病院 外科), 八木俊和, 山元康義, 青山英久, Conner Elizabeth A., Thorgeirsson Snorri S.

肝傷害後の再生における TGF-beta の役割

第 107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

八木俊和, 大江正士郎, 山元康義, 青山英久

術前診断が可能であった成人腸回転異常を伴う右傍十二指腸ヘルニアの 1 例

第 62 回日本消化器外科学会総会, 2007 年 7 月, 東京

大江正士郎 (社会保険滋賀病院 外科), 八木俊和, 山元康義, 青山英久

腹膜再発の早期診断に FDG-PET が有用であった大腸粘液癌の 1 例

第 62 回日本消化器外科学会総会, 2007 年 7 月, 東京

八木俊和, 大江正士郎, 山元康義, 青山英久

肺癌術後補助化学療法中に発症し、早期胆嚢癌を合併していた急性無石胆嚢炎の 1 例

第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

<地方会・研究会>

佐藤 仁, 嶋田光恵, 井上徹也, 奥村嘉章, 中島滋美, 大江正士郎, 八木俊和, 山元康義, 青山英久

保存的に治療し得た穿通性出血性胃潰瘍の 1 例

第 59 回滋賀消化器研究会, 2007 年 7 月, 大津

八木俊和, 大江正士郎, 山元康義, 安東勝宏, 青山英久

イレウス解除術後早期に腸重積を発症した 1 例

第 94 回滋賀県外科医会, 2008 年 6 月, 大津

市立奈良病院

【論文】

<和文著書>

徳川奉樹, 小林文, 松山友彦, 今井俊介, 小山拓史

Trastuzumab/Capecitabine 併用療法が奏効した高齢者乳癌の 1 例

癌と化学療法 (0385-0684) 36 巻 3 号 : 467-469, 2009

【学会発表】

<全国学会>

徳川奉樹, 稲葉征四郎, 北井祥三, 小山拓史, 荻野敦弘, 井村健一郎, 市田美保, 上田泰章

乳腺原発印環細胞癌 3 例の検討

第 15 回日本乳癌学会, 2007 年 6 月, 横浜

徳川奉樹, 小山拓史, 小林文, 稲葉征四郎

化学療法が奏効した肺転移を伴った乳癌混合型扁平上皮癌の 1 例

第 16 回日本乳癌学会, 2008 年 09 月, 大阪

徳川奉樹, 小林文, 小山拓史

Third line 以降の TS-1 投与にて奏効した再発乳癌の 3 例

第 46 回日本癌治療学, 2008. 年 10 月, 名古屋

徳川 奉樹, 日野 仁嗣, 小林 文, 井村 健一郎, 荻野 敦弘, 藤野 光廣, 小山 拓史, 北井 祥三, 稲葉 征四郎

胃癌術後化学療法施行中に急激な経過をとった癌性髄膜炎の 1 例

第 70 回日本臨床外科学会総会, 2008 年 11 月, 東京

【対外活動】

<インストラクター>

藤野 光廣

平成 20 年度第 1 回滋賀県 ALS 研修インストラクター, 2008 年 7 月, 大津

藤野 光廣
平成 21 年度第 1 回滋賀県 ALS 研修インストラクター, 2008 年 7 月, 草津

新河端病院 外科

【論文】

<和文論文>

馬場慎司

骨髄細胞由来細胞の肝星細胞への分化

医学のあゆみ 216(8):598-602, 2006

上原正弘, 馬場慎司, 平田義弘, 清水正樹, 王子裕東, 間中 大, 野口雅滋, 水田直美

穿刺吸引細胞診にて診断可能であった乳腺原発腺様嚢胞癌の 1 例

乳癌の臨床 22(5):422-426, 2007

上原正弘, 間中 大, 馬場慎司, 王子裕東, 平田義弘, 清水正樹, 野口雅滋

大腸癌における術前血清 CEA および CA19-9 測定の意義についての検討

癌と化学療法 34(9):1413-1417, 2007

馬場慎司, 中山 昇, 高橋 亮, 片岡佳樹, 鷺田昌信, 梶原建熙

長い経過を呈したガストリノーマ肝転移の 1 切除例

日本臨床外科学会雑誌 68(11):2842-2845, 2007

王子裕東, 間中 大, 馬場慎司, 上原正弘, 清水正樹, 平田義弘

2 群リンパ節転移を伴った中心陥凹を有する直腸カルチノイドの 1 例 -直腸カルチノイドの手術適応についての検討-

外科 70(9):1034-1038, 2008

王子裕東, 間中 大, 馬場慎司, 上原正弘, 清水正樹, 平田義弘

胃上部早期癌に対する迷走神経温存噴門部胃切除における食道残胃吻合法の工夫

手術 62(12):1725-1729, 2008

馬場慎司, 間中 大, 玉木一路, 坂元克考, 上原正弘, 王子裕東

ダイレクターゲルパッチを用いて鼠径アプローチにて修復した閉鎖孔ヘルニアの 1 例

手術 62(13):1885-1887, 2008

馬場慎司, 間中 大, 玉木一路, 坂元克考, 上原正弘, 王子裕東

GIST 肝転移のイマチニブ 2 次耐性例に術中 RFA および肝切除術を施行した 1 例

日本臨床外科学会雑誌 69(11):2952-2955, 2008

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

馬場慎司, 間中 大, 玉木一路, 岡本篤之, 坂元克考, 平田義弘, 清水正樹, 上原正弘, 王子裕東,

野口雅滋

GIST 肝転移のイマチニブ二次耐性例に術中 RFA および肝部分切除を施行した 1 例

日本臨床外科学会, 2007 年 11 月, 横浜

玉木一路, 間中 大, 馬場慎司, 王子裕東, 上原正弘, 清水正樹, 平田義弘

当科における白線ヘルニア 7 症例の検討

日本臨床外科学会, 2007 年 11 月, 横浜

岡本篤之, 王子裕東, 間中 大, 玉木一路, 坂元克考, 平田義弘, 清水正樹, 上原正弘, 馬場慎司,

野口雅滋

術前に診断し得た盲腸後窩ヘルニアの一例

日本臨床外科学会, 2007 年 11 月, 横浜

平田義弘, 間中 大, 野口雅滋, 馬場慎司, 王子裕東, 上原正弘, 清水正樹, 坂元克考, 岡本篤之, 玉木一路
大臀筋二分症に併発した臀部皮下膿瘍の一例
日本臨床外科学会, 2007年11月, 横浜

清水正樹, 間中 大, 王子裕東, 馬場慎司, 上原正弘, 平田義弘
シアノアクリレート系接着剤を用いた新しいアンビル固定法 (単結紮法)
日本臨床外科学会, 2007年11月, 横浜

上原正弘, 間中 大, 王子裕東, 馬場慎司, 清水正樹, 平田義弘, 坂元克考, 玉木一路, 岡本篤之
胃原発神経鞘腫の1例
日本臨床外科学会, 2007年11月, 横浜

王子裕東, 間中 大, 馬場慎司, 上原正弘, 清水正樹, 平田義弘, 岡本 篤之, 坂元克考, 玉木一路, 野口雅滋, 坂井義治
Pagetoid spread を伴った再発肛門管癌に対して腹腔鏡下 Miles 手術を施行した1例
日本臨床外科学会, 2007年11月, 横浜

王子裕東, 間中 大, 馬場慎司, 上原正弘, 清水正樹, 平田義弘, 岡本 篤之, 坂元克考, 玉木一路, 野口雅滋
当院における腹腔鏡補助下噴門側胃切除術の検討
日本内視鏡外科学会, 2007年11月, 仙台

間中 大, 清水正樹, 王子裕東, 平田義弘, 上原正弘, 馬場慎司
ツイストノット-新しい鏡視下体腔内 slip-knot の作製法-
日本内視鏡外科学会, 2007年11月, 仙台

平田義弘, 間中 大, 野口雅滋, 馬場慎司, 王子裕東, 上原正弘, 清水正樹
腹腔鏡下に解除しえた腹腔鏡補助下 S 状結腸切除後の癒着性イレウスの一例
日本内視鏡外科学会, 2007年11月, 仙台

玉木一路, 王子裕東, 間中 大, 馬場慎司, 上原正弘, 清水正樹, 岡本篤之, 坂元克考
腹腔鏡補助下低位前方切除術を施行した直腸カルチノイドの一例
日本内視鏡外科学会, 2007年11月, 仙台

上原正弘, 間中 大, 馬場慎司, 王子裕東, 清水正樹, 平田義弘, 坂元克考, 岡本 篤之, 玉木一路
Stage I および Stage II 大腸癌における予後因子の検討
日本外科学会, 2008年5月, 長崎

馬場慎司, 間中 大, 玉木一路, 坂元克考, 平田義弘, 清水正樹, 上原正弘, 王子裕東
TS-1 単独療法抵抗性の胃癌術後肝転移に対し TS-1 + Irinotecan 併用療法が有効であった1例
日本消化器外科学会, 2008年7月, 札幌

上原正弘, 間中 大, 馬場慎司, 王子裕東, 坂元克考, 玉木一路, 野口雅滋
当院大腸癌手術症例における Stage I および Stage II の予後因子の検討
日本消化器外科学会, 2008年7月, 札幌

王子裕東, 間中 大, 馬場慎司, 上原正弘, 清水正樹, 平田義弘, 野口雅滋
当院における腹腔鏡補助下噴門側胃切除術の検討
日本消化器外科学会, 2008年7月, 札幌

坂元克考, 間中 大, 玉木一路, 平田義弘, 清水正樹, 上原正弘, 王子裕東, 馬場慎司, 野口雅滋
当院における4型大腸癌の検討
日本消化器外科学会, 2008年7月, 札幌

清水正樹, 間中 大, 平田義弘, 上原正弘, 王子裕東, 馬場慎司
シアノアクリレート系接着剤を用いた消化管吻合における新しいアンビルヘッド固定法
日本消化器外科学会, 2008年7月, 札幌

間中 大, 王子裕東, 上原正弘, 馬場慎司, 清水正樹, 平田義弘, 坂元克考, 玉木一路, 野口雅滋
極細ステンレスワイヤーをガイドとしたゴム輪を用いた Seton 法について
日本消化器外科学会, 2008年7月, 札幌

馬場慎司, 王子裕東, 上原正弘, 清水正樹, 平田義弘, 坂元克考, 玉木一路, 間中 大
肝・骨転移を伴う異時性両側乳癌に対する TS-1 の使用経験
日本乳癌学会, 2008 年 9 月, 大阪

上原正弘, 馬場慎司, 間中 大, 王子裕東, 清水正樹, 平田義弘, 坂元克考, 玉木一路, 野口雅滋
当院における乳癌術後肺再発における外科切除症例の検討
日本乳癌学会, 2008 年 9 月, 大阪

日置三紀, 上原正弘, 馬場慎司
抗癌剤曝露への安全対策-当院における意識調査とファシールシステムの導入について
日本乳癌学会, 2008 年 9 月, 大阪

馬場慎司, 間中 大, 王子裕東, 上原正弘, 坂元克考, 玉木一路
強皮症に合併した小腸偽性腸閉塞に対し外科的治療が奏効した 1 例
日本臨床外科学会, 2008 年 11 月, 東京

王子裕東, 間中 大, 馬場慎司, 上原正弘, 坂元克考, 玉木一路
後腹膜脂肪肉腫の 1 例
日本臨床外科学会, 2008 年 11 月, 東京

<地方会・研究会>

馬場慎司, 高橋 亮, 伊藤達雄, 金子 猛, 鷲田昌信, 中山 昇
長い経過を呈したガストリノーマの一例
静岡県外科医会, 2006 年 6 月, 静岡

馬場慎司, 間中 大, 玉木一路, 岡本 篤之, 坂元克考, 平田義弘, 清水正樹, 上原正弘, 王子裕東,
野口雅滋
直腸カルチノイドに対する治療方針と手術適応
京都外科医会, 2007 年 9 月, 京都

馬場慎司, 間中大, 玉木一路, 坂元克考, 平田義弘, 清水正樹, 上原正弘, 王子裕東
Vertical Rectus Abdominis Myocutaneous Flap を用いて乳房同時再建を施行した乳癌の 1 例
京滋乳癌懇話会, 2008 年 3 月, 京都

馬場慎司, 王子裕東, 寺本 睦, 河端一也, 齋藤惇生
当院における腹腔鏡手術のとりくみ
乙訓医学会, 2008 年 11 月, 京都

心臓血管センター金沢循環器病院 心臓血管外科

【学会発表】

<地方会・研究会>

神原篤志, 上山克史, 津田祐子, 上山武史, 浅井 徹
5歳と46歳時に手術を受けた先天性大動脈弁狭窄と discrete subvalvular stenosis 合併症例
第50回関西胸部外科学会学術集会, 2007年6月, 大阪

総心会 長岡京病院

【学会発表】

<全国学会>

神谷純広, 藤野光廣, 葛本慶裕, 花澤一芳, 向井智和, 薬師寺千明, 大谷 卓, 遠藤善裕, 谷 徹
抗菌活性を持つ新規開発癒着防止剤の抗癒着効果と抗菌効果の検討
第44回日本人工臓器学会大会, 2006年10月, 横浜

村上耕一郎, 仲成幸, 佐藤浩一郎, 塩見尚礼, 来見良誠, 森川茂廣, Hasnine A Haque, 谷 徹
傾斜磁場位置検出センサを用いたリアルタイム MRI ナビゲーションシステムによる腹部手術への
試み

第 36 回日本磁気共鳴医学会大会 , 2008 年 9 月, 旭川

村上耕一郎、森川茂廣、仲成幸、佐藤浩一郎、塩見尚礼、来見良誠、犬伏俊郎、谷 徹
マイクロ波凝固直後のラット移植腫瘍における高磁場 MR 画像と病理所見の比較
第 27 回 Microwave Surgery 研究会 , 2008 年 9 月, 横浜

村上耕一郎, 塩見尚礼, 水黒知行
広範囲の白線ヘルニアに対し Kugel Mesh Patch で修復を行った 1 手術症例
70 回日本臨床外科学会総会, 2008 年 11 月, 東京

第一東和会病院 消化器外科

【論文】

<和文著書>

佐藤 功

第 2 章 術前の準備 (イ) 腹腔鏡手術器具の選択
動画でわかる腹腔鏡下胆嚢摘出術基本から技術認定まで, 中山書店, 2008

<和文学術論文>

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 舛田誠二, 弓場孝郁, 田畑智丈, 沖田充司, 木原直貴
腹腔鏡下胆嚢摘出術
消化器外科 NURSING 2008

【学会発表】

<国際学会>

Sato I, Fujimura M, Chino Y, Masuda S, Yuba T
LAPAROSCOPIC CHOLECYSTECTOMY FOR CHOLELITHIASIS IN A PATIENT WITH SITUS INVERSUS TOTALIS
11th World Congress OF Endoscopic Surgery, Sept. 2008, Yokohama

Seiji Masuda, Fujimura M, Sato I, Chino Y, Yuba T
A CASE OF TRANSEPIPLOIC HERNIA TREATED BY LAPAROSCOPIC SURGERY
11th World Congress OF Endoscopic Surgery, Sept. 2008, Yokohama

Yoshihide Chino, Fujimura M, Sato I, Masuda S, Yuba T
LAPAROSCOPIC SPLEEN-PRESERVING DISTAL PANCREATECTOMY FOR NON-FUNCTIONAL PANCREATIC
ENDOCRINE TUMOR
11th World Congress OF Endoscopic Surgery, Sept. 2008, Yokohama

<全国学会 シンポジウム>

佐藤 功, 藤村昌樹, 千野佳秀, 舛田誠二, 弓場孝郁, 田畑智丈, 沖田充司
胆石症に対する内視鏡手術
第 21 回日本内視鏡外科学会総会 (スポンサードシンポジウム), 2008 年, 横浜

<全国学会 一般発表>

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 熊野公東, 飯田 稔
腹腔鏡下手術にて診断治療し得た子宮広間膜裂孔ヘルニアの一例
第 19 回日本内視鏡外科学会総会, 2006 年, 京都

佐藤 功, 藤村昌樹, 熊野公東, 千野佳秀, 飯田 稔
術前疑診され腹腔鏡下に確認、修復術が可能であった横行結腸間膜裂孔ヘルニアの 1 治験例
第 20 回日本内視鏡外科学会総会, 2007 年, 仙台

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 熊野公東, 飯田 稔
腹腔鏡下手術にて診断し得た若年者結核性腹膜炎の 2 例
第 20 回日本内視鏡外科学会総会, 2007 年, 仙台

佐藤 功, 藤村昌樹, 千野佳秀, 舛田誠二
全内臓逆位を伴った胆嚢結石症に対し腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した 1 例
第 21 回日本内視鏡外科学会総会, 2008 年, 横浜

舛田誠二, 藤村昌樹, 佐藤 功, 千野佳秀, 弓場孝郁

腹腔鏡下にて整復した大網裂孔ヘルニアの1例
第21回日本内視鏡外科学会総会, 2008年, 横浜

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 舛田誠二, 弓場孝郁
非機能性脾内部腫瘍に対する腹腔鏡下脾温存脾尾部切除術
第21回日本内視鏡外科学会総会, 2008年, 横浜

<地方会・研究会>

佐藤 功, 千野佳秀, 熊野公東, 藤村昌樹, 飯田 稔
胆管結石に対する内視鏡外科手術—腹腔鏡下胆管切開術におけるCチューブの有用性—
北摂四医師会医学会総会, 2006年

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 舛田誠二, 弓場孝郁
内視鏡外科手術におけるチーム医療—婦人科医との連携による消化器外科医の知識向上—
第21回近畿内視鏡外科研究会, 2008年, 大阪

帝京大学医学部附属溝口病院 外科（呼吸器外科）

【論文】

<英文論文>

Niwa H, Tanahashi M, Kondo T, Ohsaki Y, Okada Y, Sato S, Suzuki E, Senba H, Fujino S, Miyazawa T, Kobayashi K
Bronchoscopy in Japan: a survey by the Japan Society for Respiratory Endoscopy in 2006
Respirology 14(2):282-9, 2009

Niwa H, Tanahashi M, Kondo T, Ohsaki Y, Okada Y, Sato S, Suzuki E, Senba H, Fujino S, Miyazawa T, Kobayashi K
Bronchoscopy in Japan: a survey by the Japan Society for Respiratory Endoscopy in 2006
International proceedings of 15th World Congress for Bronchology (WCB) and Bronchoesophagology (WCBE), 2009

<和文論文>

千田雅之, 藤野昇三
まい・てくにつく 胸骨正中切開下での#7 郭清
胸部外科 60(6):466-467, 2007

藤野昇三, 杉尾賢二
まい・てくにつく 胸腔鏡を用いた縦隔腫瘍手術のコツ
胸部外科 61(9):758-759, 2008

藤野昇三
呼吸器疾患の臨床検査 up to date
V. 外科肺生検 1. 外科からみた肺生検の適応と手術法
日本胸部臨床 67(増刊):S190-S194, 2008

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント
誌上ナースセミナー 29(9):21-28, 2008

【学会発表】

<国際学会>

Hiroshi Niwa, Masayuki Tanahashi, Takashi Kondo, Yoshinobu Ohsaki, Yoshinori Okada, Hiroshi Senba, Shozo Fujino, Teruomi Miyazawa, Koichi Kobayashi
Bronchoscopy in Japan: Survey by the Japan Society for Respiratory Endoscopy in 2006
15th World Congress for Bronchology, 2008, Tokyo

<全国学会 一般発表>

杉山保幸, 山野陽土, 虫明寛行, 緑川 泰, 福田直人, 藤野昇三
切除不能進行直腸癌に対する免疫療法や化学療法を併用した凍結治療の有用性
第45回日本癌治療学会総会, 2007年

藤野昇三, 寺本晃治, 花岡 淳, 手塚則明, 山野陽土, 山野武寿, 虫明寛行, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 杉山保幸
Hand Assisted Thoracoscopic Surgery (HATS)
第21回日本内視鏡外科学会総会, 2008年

藤野昇三, 山野陽土, 虫明寛行, 杉山保幸, 寺本晃治, 尾崎良智, 花岡 淳, 手塚則明
成人漏斗胸に対する胸腔鏡下肋軟骨切開を加えた Nuss 手術
第25回日本呼吸器外科学会総会, 2008年

山野陽土, 山口裕介, 渋谷健太郎, 山野武寿, 虫明寛行, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 藤野昇三, 杉山保幸
肋軟骨腫瘍の2例
第25回日本呼吸器外科学会総会, 2008年

山野陽土, 藤野昇三, 山野武寿, 虫明寛行, 杉山保幸, 大林王司, 滝澤 始, 江口正信, 水口國雄
縦隔腫瘍と鑑別が困難であった肺多形癌の1例
第49回日本肺癌学会総会, 2008年

福田直人, 杉山保幸, 藤野昇三, 緑川 泰, 虫明寛行
80歳以上高齢者急性腹症緊急手術例の臨床的検討
第70回日本臨床外科学会総会, 2008年

杉山保幸, 藤野昇三, 丸野 要, 福田直人, 緑川 泰, 虫明寛行, 山野陽土
大腸癌治療ガイドラインにおける腹腔鏡手術の適応に関する問題点
第70回日本臨床外科学会総会, 2008年

杉山保幸, 藤野昇三, 福田直人, 緑川 泰, 虫明寛行, 山野武寿, 山野陽土
術後合併症および局所再発の観点からみた直腸S状部癌および直腸癌に対する腹腔鏡手術の適応
拡大における課題
第46回日本癌治療学会総会, 2008年

小山ひかり, 大林王司, 山内康弘, 幸山 正, 藤野昇三, 大田 健, 平田暁識, 松井克之, 滝澤 始
当院におけるANCA関連血管炎の肺病変に関する検討
日本アレルギー学会総会, 2008年

虫明寛行, 山野陽土, 福田直人, 渋谷健太郎, 山野武寿, 緑川 泰, 丸野 要, 藤野昇三, 杉山保幸
腹腔鏡下胃内手術で切除した噴門部広基性胃GISTの1例
第21回日本内視鏡外科学会総会, 2008年

虫明寛行, 山野陽土, 福田直人, 渋谷健太郎, 緑川 泰, 丸野 要, 藤野昇三, 杉山保幸
発症から約3週間後に手術を施行した上腸間膜動脈閉塞症の1例
第45回日本腹部救急医学会総会, 2009年

<地方会・研究会>

藤野昇三, 渋谷健太郎, 山野武寿, 山野陽土, 虫明寛行, 緑川 泰, 福田直人, 杉山保幸
両側Hand Assisted Thoracoscopic Surgery HATSと大腸を一次的に施行した一症例
第150回日本肺癌学会関東部会

藤野昇三, 虫明寛行, 渋谷健太郎, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 杉山保幸, 渋谷 勲
カフェイン併用化学療法が奏功した胸壁明細胞肉腫の1例
第153回日本肺癌学会関東部会, 2008年

渡部真人, 小山ひかり, 大林王司, 松井克之, 吉田 稔, 村川裕二, 滝澤 始, 藤野昇三, 水口國雄
抗菌薬(レクテゾールR)による薬剤性肺炎
第125回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2008年

金 俊之, 小山ひかり, 大林王司, 江口正信, 水口國雄, 藤野昇三, 滝澤 始
鑑別診断に苦慮した偽中皮腫様腺癌と悪性胸膜中皮腫の2例
第125回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2008年

藤野昇三, 山口裕介, 山野陽土, 虫明寛行, 清 佳浩
紅皮症を伴い悪性転化した軟骨腫瘍の1例
第36回近江呼吸器疾患研究会, 2008年

藤野昇三
溝口病院呼吸器外科のご紹介
第13回神奈川帝京医学会学術集会, 2008年

渋谷健太郎, 山野陽土, 山野武寿, 虫明寛行, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 藤野昇三, 杉山保幸
鼠径ヘルニア内容の還納直後に小腸穿孔をきたした1例
第10回Shin-yokohama Digestive Disease Meeting, 2008年

山野陽土, 渋谷健太郎, 山野武寿, 虫明寛行, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 藤野昇三, 杉山保幸
脾のinflammatory pseudotumorの1手術例
第9回川崎市中部・消化器カンファレンス, 2008年

山野陽土, 山口裕介, 渋谷健太郎, 山野武寿, 虫明寛行, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 藤野昇三, 杉山保幸
肋軟骨腫瘍の2例
第17回呼吸器外科医学会冬季学術集会, 2008年

藤野昇三, 虫明寛行, 渋谷健太郎, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 杉山保幸, 澁谷 勲, 杉山保幸
カフェイン併用化学療法が奏功した胸壁明細胞肉腫の1例
第38回近江呼吸器疾患研究会, 2009年

梅沢謙一, 三好由里子, 虫明寛行, 渋谷健太郎, 緑川 泰, 張 杰, 渡部真人, 福田直人, 丸野 要,
藤野昇三, 杉山保幸, 兵地信彦, 大矢和宏, 関根英明
尿路感染症を反復したS状結腸膀胱瘻の2例
第42回溝口病院症例研究検討会, 2009年

古賀荘一, 小山ひかり, 大林王司, 筒井健太, 土屋喜照, 江口正信, 水口國雄, 藤野昇三, 滝澤 始
初診後急速に心タンポナーデからショックに陥った若年性肺癌の一例
第183回日本呼吸器学会関東地方会, 2009年

<その他>

渋谷健太郎, 緑川 泰, 藤野昇三, 石塚洋一, 伊達和範, 峯田穰治
縦隔ドレナージにて救命できた縦隔膿瘍の1例
第39回溝口病院症例研究検討会, 2007年

渋谷健太郎, 藤野昇三, 山野陽土, 虫明寛行, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 杉山保幸
降下性壊死性縦隔洞炎の1例
第119回神奈川県臨床外科医学会集団会, 2007年

山野陽土, 虫明寛行, 福田直人, 佐藤晴香, 対本宗訓, 山口裕介, 渋谷健太郎, 山野武寿, 緑川 泰,
丸野 要, 藤野昇三, 杉山保幸
腹腔鏡下胃内手術で切除した噴門部胃GISTの2例
第120回神奈川県臨床外科医学会集団会, 2007年

渋谷健太郎, 山野陽土, 山野武寿, 虫明寛行, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 藤野昇三, 杉山保幸
鼠径ヘルニア内容の還納直後に小腸穿孔をきたした1例
第10回Shin-yokohama Digestive Disease Meeting, 2008年

山野陽土, 渋谷健太郎, 山野武寿, 虫明寛行, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 藤野昇三, 杉山保幸
脾のinflammatory pseudotumorの1手術例
第9回川崎市中部・消化器カンファレンス, 2008年

山野陽土, 山口裕介, 渋谷健太郎, 山野武寿, 虫明寛行, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 藤野昇三,
杉山保幸
肋軟骨腫瘍の2例
第17回呼吸器外科医会冬季学術集会, 2008年

【対外活動】

<講演>

藤野昇三
胸腔鏡下手術—基本的手術手技とその応用—
第39回溝口病院症例検討研究会, 2007年7月, 川崎

藤野昇三
当院外科で対応可能な胸部疾患について
第7回高津区医師会・帝京大学病診連携総会, 2007年9月, 川崎

藤野昇三
肺がんの外科治療
第134回溝口腫瘍カンファレンス, 2007年12月, 川崎

藤野昇三
第34回米国臨床腫瘍学会の報告
協和発酵社内勉強会, 2007年12月, 横浜

藤野昇三
胸腔鏡を用いた非定型的手術

神奈川三大学教授・医師会懇談会, 2008年1月, 横浜

藤野昇三
呼吸器外科手術—術前・術中・術後—
溝口地区呼吸カンファレンス, 2008年2月, 川崎

藤野昇三
気管支鏡検査を安全に行うために
第5回岐阜呼吸器内視鏡研究会・セミナー, 2008年3月, 岐阜

藤野昇三
進行・再発非小細胞肺癌に対する CDGP+TXT 療法
第19回 STOG 懇話会, 2008年3月, 大宮

藤野昇三
転移性肺腫瘍に対する治療について
川崎市外科医会学術講演会, 2008年4月, 川崎

藤野昇三
高齢者肺がんに対する外科治療
川崎肺がん治療セミナー, 2008年4月, 川崎

藤野昇三
肺がん
平成20年度日本女性薬剤師会研修講座, 2008年8月, 横浜

藤野昇三
消化器癌の肺転移に対する治療戦略
第11回川崎市中部・消化器カンファランス, 2009年2月, 川崎

<セミナー>

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント (日総研), 2007年11月,
札幌

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント (日総研), 2008年1月,
東京

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント (日総研), 2008年2月,
福岡

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント (日総研), 2008年6月,
大阪

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント (日総研), 2008年7月,
仙台

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント (日総研), 2008年9月,
名古屋

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント (日総研), 2008年10月,
広島

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント (日総研), 2008年11月,
東京

豊郷病院

【学会発表】

<全国学会>

蔦本 慶裕, 望月 慶子, 龍田 隼, 花沢 一芳
EC 接合部直下の胃 GIST に対して腹腔鏡下手術を行った一例
第 20 回日本内視鏡外科学会, 2007 年 11 月

望月 慶子, 蔦本 慶裕, 花沢 一芳
腹腔内出血で発症した大腸穿孔の一例
第 69 回日本臨床外科学会, 2007 年 11 月

望月 慶子, 若林 正人, 蔦本 慶裕
リンパ節転移、腹膜播種を伴った虫垂胚細胞カルチノイドの一例
第 70 回日本臨床外科学会, 2008 年 11 月

<研究会・地方会>

蔦本 慶裕
豊郷病院外科の病診連携に対する現状と今後の取り組みについて
愛知、犬上医師連絡会, 2006 年 11 月

蔦本 慶裕, 龍田 隼, 花沢 一芳
当院における LADG の現状
第 14 回滋賀内視鏡手術研究会, 2006 年 11 月

望月 慶子, 蔦本 慶裕, 花沢 一芳
吻合部近傍巨大リンパ節再発胃癌の一例
第 91 回滋賀県外科医会, 2007 年 5 月

望月 慶子, 蔦本 慶裕, 花沢 一芳
吻合部近傍巨大リンパ節再発胃癌の一例
第 4 回琵琶湖消化器懇話会, 2007 年 6 月

望月 慶子, 蔦本 慶裕, 花沢 一芳
大網裂孔ヘルニアによる絞扼性イレウスの 1 例
第 92 回滋賀県外科医会, 2007 年 12 月

望月 慶子, 蔦本 慶裕, 花沢 一芳
全身麻酔術後悪性高熱の一例
第 5 回琵琶湖消化器懇話会, 2007 年 12 月

望月 慶子, 蔦本 慶裕, 花沢 一芳
当院におけるソケイヘルニアの手術
第 6 回滋賀ヘルニア研究会, 2008 年 3 月

望月 慶子, 若林 正人, 蔦本 慶裕
食道癌術後に発症した NOMI の一例
第 6 回琵琶湖消化器懇話会, 2008 年 6 月

望月 慶子, 若林 正人, 蔦本 慶裕
当院の外科手術について
愛知、犬上医師連絡会, 2008 年 9 月

若林 正人, 望月 慶子, 蔦本 慶裕
毒蛇咬傷
愛知、犬上医師連絡会, 2008 年 9 月

若林 正人, 望月 慶子, 蔦本 慶裕
食道癌術後に発症した NOMI (非閉塞性腸管虚血症) の一例
第 94 回滋賀県外科医会, 2008 年 12 月

長野県立こども病院 心臓血管外科

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

阿知和郁也, 原田順和, 打田俊司, 内藤祐次, 岡本祐樹, 里見元義, 安河内聰, 松井彦郎, 長谷山圭司
当院における Fontan 型手術症例の術後中長期遠隔成績の検討
第 42 回日本小児循環器学会総会, 2006 年 7 月, 名古屋

阿知和郁也, 原田順和, 打田俊司, 内藤祐次, 岡本祐樹, 里見元義, 安河内聰, 松井彦郎, 長谷山圭司
遠位大動脈弓低形成例に対する治療の検討
第 42 回日本小児循環器学会総会, 2006 年 7 月, 名古屋

阿知和郁也, 原田順和, 打田俊司, 内藤祐次, 岡本祐樹
IAA/CoA complex に対する一期的根治手術の検討
第 59 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2006 年 10 月, 東京

<地方会・研究会>

阿知和郁也, 原田順和, 打田俊司, 内藤祐次, 岡本祐樹
mBT shunt 吻合部に感染性仮性動脈瘤を形成した 1 例
第 138 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2006 年 6 月, 新潟

阿知和郁也, 原田順和, 打田俊司, 内藤祐次, 岡本祐樹
TAPVC を合併した dTGA (I) に対する 1 手術例
第 139 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2006 年 9 月, 横浜

阿知和郁也, 原田順和, 打田俊司, 内藤祐次, 加藤 香
乳児期早期に手術を必要とした TOF、PA valve absence
第 140 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2006 年 12 月, 東京

長浜赤十字病院 外科

【論文】

<和文論文>

藤野 光廣, 光藤 悠子, 中村 誠昌他
小開腹下胆嚢外瘻造設後に腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した壊疽性胆嚢炎の 1 例
日本臨床外科学会雑誌, 68 : 2072-2076, 2007

藤野 光廣, 光藤 悠子, 谷口 正展他
茎捻転から破裂し, 腹膜炎をきたした大網成熟嚢胞性奇形腫の 1 例
日本臨床外科学会雑誌, 69 : 1247-1251, 2008

【学会発表】

<全国学会>

下松谷 匠, 光藤悠子, 中村誠昌, 米沢 圭, 白石 享, 藤野光廣, 丸橋和弘
食道胃接合部癌手術症例の検討
第 61 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006 年 7 月, 横浜

藤野 光廣, 光藤 悠子, 中村 誠昌他
術後一次縫合創に対する術後在院日数短縮を目指した無消毒無被覆の試み
第 61 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2006 年 7 月, 横浜

藤野 光廣, 神谷 純広, 花澤 一芳他
腹部汚染手術を想定した新規癒着防止材の開発
第 107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

下松谷匠, 前田健一, 光藤悠子, 谷口正展, 中村誠昌, 米沢 圭, 白石 享, 藤野光廣, 丸橋和弘
上部胃癌切除範囲の検討—噴門部胃切除について
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

白石 享, 前田健一, 光藤悠子, 谷口正展, 中村誠昌, 米沢 圭, 藤野光廣, 下松谷匠, 丸橋和弘

Pagetoid spread を伴う直腸癌の 1 例及び肛門部 Paget 病の 1 例
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

中村誠昌, 前田健一, 光藤悠子, 谷口正展, 白石 享, 藤野光廣, 下松谷匠, 丸橋和弘
当院における消化管間葉系腫瘍 (GIST) の経験とその再発例
第 69 回日本臨床外科学会総会, 2007 年 11 月, 横浜

光藤悠子, 丸橋和弘, 下松谷匠, 藤野光廣, 白石 享, 中村誠昌, 谷口正展, 前田健一
早期胃癌術後の異時性脾転移の 1 切除例
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

<研究会・地方会>

下松谷 匠, 前田健一, 光藤悠子, 谷口正展, 中村誠昌, 米沢 圭, 白石 享, 藤野光廣, 丸橋和弘

当院における胃癌手術クリニカルパスの現況
第 89 回滋賀県外科医会, 2006 年 6 月, 大津

藤野 光廣, 光藤 悠子, 中村 誠昌他
当院における化学療法の実状
第 16 回滋賀癌化学療法研究会, 2006 年 3 月, 草津

光藤悠子, 前田健一, 谷口正展, 中村誠昌, 白石 享, 藤野光廣, 下松谷匠, 丸橋和弘
当院におけるステレオガイド下マンモトーム生検の実状
第 92 回滋賀県外科医会, 2007 年 12 月, 野洲

下松谷匠, 前田健一, 光藤悠子, 谷口正展, 中村誠昌, 白石 享, 藤野光廣, 丸橋和弘
胃・十二指腸潰瘍穿孔に対する治療戦略
滋賀消化器研究会第 60 回学術講演会, 2008 年 1 月, 大津

藤野 光廣, 前田 健一, 光藤 悠子他
当院における鼠径ヘルニア手術の実状
第 6 回滋賀ヘルニア研究会, 2008 年 3 月, 大津

鈴木 雅之, 前田 健一, 光藤 悠子, 北村 直美, 谷口 正展, 中村 誠昌, 白石 享, 下松谷 匠, 丸橋 和弘: 病的肥満に合併した腸間膜静脈血栓症の 1 例
滋賀消化器研究会 第 62 回学術講演会, 2009 年 2 月, 大津

【対外活動】

<インストラクター>

藤野 光廣
平成 18 年度第 1 回滋賀県 ALS 研修インストラクター, 2006 年 6 月, 大津

藤野 光廣
平成 18 年度第 2 回滋賀県 ALS 研修インストラクター, 2006 年 9 月, 大津

藤野 光廣
平成 18 年度第 3 回滋賀県 ALS 研修インストラクター, 2006 年 11 月, 大津

藤野 光廣
平成 18 年度第 5 回滋賀県 ALS 研修インストラクター, 2007 年 1 月, 大津

藤野 光廣
平成 19 年度第 1 回滋賀県 ALS 研修インストラクター, 2007 年 7 月, 大津

藤野 光廣
平成 19 年度第 2 回滋賀県 ALS 研修インストラクター, 2007 年 9 月, 大津

長浜赤十字病院 呼吸器外科

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

浅田佳邦, 寺本晃治, 鈴木雄治, 元石 充, 井上修平, 花岡 淳, 中野恭幸, 羽白 高, 長尾大志, 伊藤まさみ, 澤井 聡, 手塚則明, 尾崎良智, 藤野昇三
切除不能非小細胞肺癌に対する Docetaxel+Nedaplatin 併用化学療法の臨床第 II 相試験
第 47 回日本肺癌学会総会, 2006 年 12 月, 京都

橋本雅之

3D-CT をナビゲーションとした胸部交感神経切除術
第 60 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2007 年 10 月, 仙台

浅田佳邦, 橋本雅之

当院における肺癌術後再発症例の検討
第 48 回日本肺癌学会総会, 2007 年 11 月, 名古屋

橋本雅之, 浅田佳邦

当科における外来化学療法の現状
第 48 回日本肺癌学会総会, 2007 年 11 月, 名古屋

橋本雅之, 浅田佳邦

局所麻酔下胸腔鏡にて膿胸腔搔爬術を施行した PS 不良の一例
第 25 回日本呼吸器外科学会総会, 2008 年 5 月, 宇都宮

橋本雅之, 浅田佳邦

NSCLC に対する外来維持療法としての AMR の使用経験について
第 49 回日本肺癌学会総会, 2008 年 11 月, 北九州

<地方会・研究会>

浅田佳邦, 寺本晃治, 鈴木雄治, 元石 充, 井上修平, 花岡 淳, 中野恭幸, 羽白 高, 長尾大志, 伊藤まさみ, 澤井 聡, 手塚則明, 尾崎良智, 藤野昇三
切除不能非小細胞癌に対する Docetaxel+Nedaplatin 併用化学療法の臨床第 II 相試験
第 18 回京滋肺癌化学療法研究会, 2007 年 2 月, 京都

浅田佳邦, 井上修平, 中野恭幸, 藤野昇三

切除不能非小細胞癌に対する Docetaxel+Nedaplatin 併用化学療法の臨床第 II 相試験
第 17 回滋賀癌化学療法研究会, 2007 年 3 月, 草津

橋本雅之

LAM による反復性気胸に対して胸腔鏡下全胸膜被覆術を施行した一例
第 51 回関西胸部外科学会学術集会, 2008 年 6 月, 富山

西京都病院

【学会発表】

<全国学会>

吉岡豊一, 三宅 亨, 江口 豊, 五月女隆男, 谷 徹, 清水智治, 遠藤善裕, 中永士師明, 中 敏夫, 吉村規子, 八木克史, 來住優輝, 青野多聞, 梶並稔正, 奥田和美
血漿分離膜 (エバキュア-EC2A) による Plasma Dia-filtration (PDF) の多施設臨床研究
第 27 回日本アフェリシス学会学術大会, 2007 年 3 月, 横浜

三宅 亨, 吉岡 豊一, 江口 豊, 谷 徹

急速に進行を認めた肺腎症候群に対し、PDF (Plasma Dia-filtration) が著効した 1 例
第 22 回日本 Shock 学会総会, 2007 年 5 月, 大津

吉岡豊一, 江口 豊, 五月女隆男, 谷 徹, 清水智治, 遠藤善裕, 中永士師明, 中 敏夫, 吉村規子, 八木克史, 來住優輝, 青野多聞, 梶並稔正, 奥田和美

Plasma Dia-filtration (PDF)-Selective plasma filtration with dialysis-の多施設による有効

性の検討

第18回日本急性血液浄化学会学術集会総会, 2007年10月, 大分

はえうち診療所

【学会発表】

＜研究会・地方会＞

生内一夫

ジオン複数回投与症例の検討

第3回京滋ジオン研究会, 平成21年1月, 京都

生内一夫

脱出を伴う内痔核に対する硫酸アルミニウムカリウム・タンニン酸 (ALTA) 療法の検討

第95回滋賀県外科医会, 平成21年6月, 大津

【対外活動】

＜講演＞

生内一夫

実地臨床での工夫とコツ ～陥入爪、巻き爪の治療方針～

第4回滋賀医科大学消化器外科、乳腺一般外科病診連携フォーラム, 平成19年11月, 守山

生内一夫

痔の最新治療 ～切らずに治す注射療法を中心に～

セミナー「おしりの悩みと健康づくり」, 平成20年7月, 大津

東近江市立 能登川病院

【論文】

沼 謙司

食餌性イレウスの1例

診断と治療, Vol. 94 No. 11. :161~164. 2006

沼 謙司

肛門外へ脱出したS状結腸癌の1例

滋賀医学, Vol. 29:71~74. 2007

【学会発表】

＜全国学会＞

沼 謙司

肛門より脱出したS状結腸癌の1例

第68回日本臨床外科学会総会, 2006年11月, 広島

＜研究会・地方会＞

糸島崇博, 石橋治昭, 佐藤秀樹, 石川博己, 竹内孝幸, 中條 忍, 若林正人

腹腔内出血を来した腸間膜静脈瘤破裂の1例

滋賀消化器研究会第61回学術講演会, 2008年7月, 大津

彦根中央病院

【学会発表】

＜全国学会＞

都築 英之, 塩澤 孝之, 山田 恭造

術後急性肺障害に対して長時間PMX-DHPを施行した1例

第22回日本Shock学会総会, 2007年5月, 大津

日野記念病院

【論文】

<和文著書>

内藤弘之, 中川ひろみ, 谷 徹

早期離床とリハビリテーション ナースのための術前・術後管理マニュアル
照林社: 109~112, 2008

【学会発表】

<全国学会>

中村一郎, 籠 洋三, 柴田純祐, 遠藤善裕, 谷 徹

術前メシル酸イマチブで治療を行い肛門機能を温存し切除した直腸 GIST の 1 例
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007 年 7 月, 東京

<研究会・地方会>

内藤弘之

胃癌に対する治療戦略

2007 年度昇会フォーラム, 2007 年 11 月, 大津

長谷川均, 内藤弘之, 柴田純祐

診断に難渋した虚血性腸炎の 1 例

第 4 回琵琶湖消化器外科懇話会, 2007 年 6 月, 草津

長谷川均, 内藤弘之, 花澤一芳

消化管異物の症例

第 6 回琵琶湖消化器懇話会, 2008 年 6 月, 草津

内藤弘之, 長谷川均, 花澤一芳

横紋筋融解症を伴った胃癌の 1 例

第 7 回琵琶湖消化器外科懇話会, 2008 年 12 月

内藤弘之

進行胃癌に対する CD-DST 法に基づくオーダーメイド化学

療法の第 II 相臨床試験 (中間報告), 2009 年 1 月, 大津

内藤弘之, 長谷川均, 花澤一芳

セプラフィルムが有効であった二期大腸癌手術の 1 例

癒着制御研究会, 2009 年 2 月, 大津

びわこ学院大学・しんや医院

【論文】

<和文著書>

新屋久幸

卒後臨床研修ハンドブック

医療の社会性, 地域医療・保健 51-60, 569-578, 永井書店, 2007

新屋久幸

ガイドライン外来診療 2008

医療事故・過誤, 日経メディカル 521-526, 2008

【対外活動】

<講演>

新屋久幸

こころの病への対応

(社) 京都府情報産業協会総会, 2007 年 9 月, 京都

新屋久幸
滋賀文化短大, しんや医院
メタボリックシンドロームへの対応
第2回健康寺子屋, 2009年2月, 京都

<シンポジウム>

新屋久幸
滋賀文化短大, しんや医院
Dr. コトー診療所に見る、医療マンガのすべて
第5回健康塾, 2008年9月, 京都

ベルランド総合病院 外科

【論文】

<和文著書>

川崎誠康, 来見良誠, 内藤弘之, 山本寛, 遠藤善裕, 目片英治, 仲成幸, 塩見尚礼, 阿部元, 亀山雅男, 谷徹

小腸イレウスの診断と手術適応基準の検討

日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)68巻6号 :1369-1376, 2007

川崎誠康, 亀山雅男, 船井貞往, 林部章

肝転移を伴う十二指腸原発巨大GISTの1切除例

日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)68巻7号 :1718-1722, 2007

川崎誠康, 仲成幸, 塩見尚礼, 来見良誠, 亀山雅男, 谷徹

外科的治療によって猪瀬型肝性脳症、食道静脈瘤、耐糖能障害が改善した肝硬変症の1例
臨床外科(0386-9857)62巻7号 :983-986, 2007

川崎誠康

『「小腸イレウスの診断と手術適応基準の検討」について』に対する返答

日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)68巻8号 :2141, 2007

川崎誠康, 今川敦夫, 園尾広志, 出村公一, 林部章, 亀山雅男

手術手技 コンポジットメッシュを用いた腹壁癒痕ヘルニア修復術における工夫 術後の皮下
漿液腫貯留およびメッシュの膨隆への対策として

手術(0037-4423)62巻5号 :631-634, 2008

川崎誠康, 今川敦夫, 園尾広志, 出村公一, 林部章, 亀山雅男

早期にFDG-PETにて発見した隣頭後部 paraganglioma の1例

臨床外科(0386-9857)63巻6号 :857-860, 2008

【学会発表】

<国際学会>

Koichi Demura, Syuuji Takiguchi, Atsuo Imagawa, Makiko Tanaka, Hiroshi Sonoo, Masayasu
Kawasaki, Masao Kameyama

The portal vein ran anterior to the hepatoduodenal ligament and CHA branched from SMA in
LADG case.

第11回世界内視鏡外科学会, 2008年9月

<全国学会>

川崎誠康, 亀山雅男, 林部章, 酒井健一, 北野義徳, 石川真平, 来見良誠, 谷徹

小腸イレウスにおける手術適応基準の検討

第68回日本臨床外科学会, 2006年11月, 広島



川崎誠康, 今川敦夫, 船井貞往, 亀山雅男
早期発見に FDG-PET が有用であった膵頭後部 paraganglioma の 1 例
第 32 回日本外科系連合学会, 2007 年 6 月

川崎誠康, 来見良誠, 亀山雅男, 谷徹
絞扼性イレウスの早期診断法の検討
第 62 回日本消化器外科学会, 2007 年 7 月, 東京

川崎誠康, 今川敦夫, 出村公一, 林部章, 亀山雅男
肝転移を伴う十二指腸 GIST に対し、右半結腸合併膵頭十二指腸切除および肝ラジオ波焼灼術を施行した 1 例
第 69 回日本臨床外科学会, 2007 年 11 月, 横浜

川崎誠康, 今川敦夫, 田中麻紀子, 園尾広志, 出村公一, 林部章, 亀山雅男
腸閉塞の治療 イレウス管の適応と手術のタイミング イレウスの標準的治療指針の検討
第 33 回日本外科系連合学会, 2008 年 6 月, 東京

川崎誠康, 来見良誠, 今川敦夫, 田中麻紀子, 出村公一, 園尾広志, 林部章, 亀山雅男, 谷徹
イレウスの治療指針 治療 単純性イレウスの治療指針の検討および short tube と long tube の有用性の比較
第 63 回日本消化器外科学会, 2008 年 7 月, 札幌

出村 公一、瀧口 修司*、今川 敦夫、田中 麻紀子、園尾 広志、川崎 誠康、亀山 雅男
肝十二指腸間膜前面に門脈が存在し、CHA が SMA から分枝していた LADG 症例—右移動脈の処理—
第 21 回内視鏡外科学会, 2008 年 9 月

川崎誠康, 市川剛, 山崎圭一, 小川雅生, 亀山雅男
下行結腸癌術後の異時性脾転移の 1 切除例
第 43 日本癌治療学会, 2008 年 10 月, 名古屋

川崎誠康, 園尾広志, 出村公一, 亀山雅男
S 状結腸癌術後早期に髄膜炎および腸腰筋膿瘍を合併した 1 例
第 63 回日本大腸肛門病学会, 2008 年 10 月

川崎誠康, 安辰一, 金川美彦, 木下輝樹, 杉山浩平, 大倉康志, 廣瀬哲
十二指腸原発巨大 GIST 術後の多発肝再発に対し、ラジオ波焼灼術・肝動脈塞栓術の集学的治療が奏効した 1 例
第 16 回 日本消化器関連学会週間, 2008 年 10 月

川崎誠康, 今川敦夫, 田中麻紀子, 市川 剛、園尾広志、山崎圭一、出村公一、小川雅生、藤尾長久、亀山雅男
絞扼性イレウスの早期診断法の検討
第 70 回日本臨床外科学会, 2008 年 11 月, 東京

出村公一, 林部 章, 今川敦夫, 川崎誠康, 亀山雅男
難治性術後良性胆道狭窄に対する治療方針—症例提示を含めて—
第 69 回日本臨床外科学会総会, 2007 年 11 月, 横浜

出村公一, 今川敦夫, 田中麻紀子, 園尾広志, 川崎誠康, 林部 章, 亀山雅男
胃癌術後傍大動脈リンパ節再発に対し、化学療法が奏効し手術にて grade3 が得られた 1 症例
第 63 回日本消化器外科学会総会, 2008 年 7 月, 札幌

出村 公一, 今川 敦夫, 田中 麻紀子, 市川 剛, 園尾 広志, 小川 雅生, 山崎 圭一, 川崎 誠康, 藤尾 長久, 瀧口 修司, 亀山 雅男
当院における胃切除後 Roux Stasis syndrome の検討
第 81 回日本胃癌学会総会, 2009 年 3 月, 東京

<研究会・地方会>

出村公一, 酒井健一, 今川敦夫, 園尾広志, 川崎誠康, 林部 章, 亀山雅男
NSAIDs 起因性が疑われた小腸多発潰瘍穿孔の 1 例
第 182 回近畿外科学会, 2007 年 12 月, 大阪

出村 公一、酒井 健一、今川 敦夫、田中 麻紀子、園尾 広志、川崎 誠康、林部 章、亀山 雅男
薬剤性 (NSAIDs) が疑われた小腸多発穿孔の一例
第 41 回南大阪消化器外科臨床懇談会, 2007 年 10 月

出村 公一
当院における胃癌治療戦略—腹腔鏡手術から拡大手術まで—
第 2 回泉北地区消化器カンファレンス 講演, 2008 年 11 月

村 公一、今川敦夫、田中麻紀子、市川 剛、園尾広志、小川雅生、山崎圭一、川崎誠康、藤尾長久、亀山雅男
当院における進行再発胃癌に対する NAC 後拡大手術
第 567 回大阪外科集談会, 2009 年 1 月

マキノ病院

【対外活動】

＜講演＞

藤田益嗣
適切な栄養管理によって QOL の改善をみた肝硬変の 1 症例と当院の栄養管理体制について
高島市医師会学術講演会, 平成 18 年 11 月, ウエストレイクホテル

藤田益嗣
PTEG により良好な栄養管理をしえた 1 症例
高島市医師会学術講演会, 平成 19 年 12 月, ウエストレイクホテル

松下記念病院 麻酔科

【論文】

＜和文著書＞

ヨーロッパ救急蘇生 (ERC-ILS) テキスト
Immediate Life support, Second edition by Resuscitation Council (UK)
岡田 和夫 監修
第 6 章 電気ショック (電氣的徐細動) 訳
趙崇至, 東京: へるす出版; 2008

趙 崇至
2005 年ガイドライン (G2005) に基づく心肺蘇生法について—
G2000 と G2005 では何が変わったのか—
東洋医学とペインクリニック 2007 (37) : 44-48, 2007

趙 崇至、楠 大弘、田中 智大、賀陽 亮太郎
レミフェンタニル併用 VIMA による麻酔—筋弛緩薬なしの全身麻酔は可能か—
松仁会医学誌 2008 (48) : 39-45, 2008

【学会発表】

趙 崇至, 賀陽 亮太郎, 梶田 一郎, 村上 剛, 齊藤 八郎
輪状甲状膜部でカフが触知できることは気管チューブの位置が適当であることの指標となるか
Is Palpable cuff at cricothyroid membrane indicate the proper position of the tracheal tube.
日本麻酔科学会第 56 回学術集会, 2006 年 6 月, 神戸

今川 憲太郎, 楠 大弘, 田中 智大, 賀陽 亮太郎, 趙 崇至
麻酔導入直前に肺塞栓症を発症した 1 例

第 54 回日本麻酔科学会関西支部学術集会, 2008 年 9 月, 大阪

田中智大, 今川 憲太郎, 賀陽 亮太郎, 趙 崇至
術中異常高血圧で発見された傍神経節腫瘍の 1 症例
日本臨床麻酔学会第 28 回大会, 2008 年 11 月, 京都

【対外活動】

<講演>

趙 崇至

2005 年ガイドラインに基づく心肺蘇生法について
第 43 回東洋医学とペインクリニック研究会, 2007 年 5 月, 高槻

趙 崇至

当院における緩和医療の取り組み
第 4 回痛みの治療研究会, 2007 年 10 月, 高槻

趙 崇至

VIMA とレミフェンタニルとの組み合わせによる麻酔
北摂レミフェンタニル研究会, 2007 年 11 月, 大阪

趙 崇至

レミフェンタニルと VIMA
ヤンセンファーマ株式会社, 2008 年 3 月, 大阪

みずき皮フ科クリニック

【論文】

<英文論文>

Ava T. Shamban, Mikiko Enokibori, Vic Narurkar, Donna Wilson
Photopneumatic Technology for the Treatment of Acne Vulgaris
Journal of Drugs in Dermatology Volume7 Issue2, 2008

【学会発表】

<国際学会>

Mikiko Enokibori

Pilot Treatment of Vascular Lesions in Asian Skin Types with the Cynergy Pulse Dye (PDL)
/ Nd:YAG Multiplex Laser
American Society for Laser Medicine & Surgery, 27th Annual Conference, April 2007, Texas, USA

Mikiko Enokibori

Treatment of Photoaging in Asian Skin Using Cynergy Pulse Dye (PDL) / Nd:YAG with Multiplex
Feature
American Society for Laser Medicine & Surgery, 27th Annual Conference, April 2007, Texas, USA

Mikiko Enokibori

Photorejuvenation and Scar Treatment in Asian Skin Using Affirm Laser
American Society for Laser Medicine & Surgery, 28th Annual Conference, April 2008, Florida,
USA

<全国学会 シンポジウム>

榎堀みき子

にきび治療最前線

第 25 回日本美容皮膚科学会・学術大会, 2007 年 8 月, 横浜

榎堀みき子, 松岡宥子, 山口智子, 山本理奈

肝斑治療の戦略、レーザー治療の適応

第 3 回日本美容抗加齢医学会, 2008 年 11 月, 横浜

<全国学会 一般発表>

榎堀みき子, 松岡宥子
Cynergy Multiplex™ を用いた血管性病変に対する新しいレーザー治療の試み
日本皮膚科学会総会 第 33 回年次学術大会・総会, 2008 年 4 月, 京都

【対外活動】

<講演>

榎堀みき子
私の美容診療
第 7 回ジェイメック・アンチエイジングセミナー, 2006 年 9 月, 東京

安藤繁美, 他 8 名
メディカルエステ美朋 (みずき皮フ科クリニック)
インディバ C E T & R E T によるデトックス効果 : 毛髪ミネラル検査による検討
第 5 回インディバ大会, 2007 年 11 月, 東京

榎堀みき子
美容皮膚科を楽しむためのマネージメント
さくら会セミナー, 2007 年 2 月, 大阪

榎堀みき子, 松岡宥子, 近藤奈穂子
Cynergy Multiplex™ による Skin Rejuvenation
サイノシユア社ユーザーズ・ミーティング, 2007 年 3 月, 東京

榎堀みき子, 松岡宥子, 近藤奈穂子
Affirm と Fraxel : Adverse Effects
第 1 回サイノシユア社ユーザーズ・ミーティング, 2007 年 3 月, 東京

榎堀みき子
Photopneumatic Therapy を用いた新しいニキビ治療
第 106 回日本皮膚科学会総会 エステラ社セミナー, 2007 年 4 月, 横浜

堀井美佳, 他 9 名
メディカルエステ美朋 (みずき皮フ科クリニック)
インディバ C Ret System による肥満体質やメタボリックシンドロームの改善 : 血中アディポネクチン値の変動との関連
第 6 回インディバ大会, 2007 年 11 月, 東京

榎堀みき子, 松岡宥子
Cynergy Multiplex™ を用いた血管性病変に対する最新のレーザー治療と Facial Rejuvenation への応用
日本アレルギー接触皮膚炎学会 サイノシユア社セミナー, 2007 年 12 月, 名古屋

Mikiko Enokibori
Skin Rejuvenation with Cynergy Multiplex™ and Affirm Multiplex™
International Master Course on Aging Skin, July 2008, Singapore

榎堀みき子
皮膚科領域におけるレーザー治療の最前線
滋賀県皮膚科医会 皮膚の日フォーラム, 2008 年 11 月, 大津

杉田奈麻, 他 6 名
メディカルエステ美朋 (みずき皮フ科クリニック)
ドライアイに対するインディバ C Ret System の深部加温効果
第 7 回インディバ大会, 2008 年 11 月, 東京

榎堀みき子, 松岡宥子, 山口智子, 山本理奈
レーザーを用いた肝斑治療
第 3 回サイノシユア社ユーザーズ・ミーティング, 2009 年 1 月, 東京

榎堀みき子
Affirm Multiplex™ を用いた Skin Rejuvenation : 組織学的検証
第 3 回サイノシユア社ユーザーズ・ミーティング, 2009 年 1 月, 東京

榎堀みき子
美容皮膚科を楽しむ；クリニックのマネージメント
第4回比良湖会, 2009年2月, 京都

明和病院

【論文】

<英文学術論文>

Shin-ichi Ikuta, Tsukasa Aihara, Chiaki Yasui, Hiroya Iida, Hidenori Yanagi, Masao Mitsunobu, Naoki Yamanaka, Ayako Kakuno

Large mucinous cystic neoplasm of the pancreas associated with pregnancy

World Journal of Gastroenterology 2008 December 21: 2008. 14 (47) :p. 7252-7255. 2008

<和文学術論文>

安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 飯田 洋也, 河合 孝, 菊地 勝一, 柳 秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹, 大掛 馨太, 谷垣 勝文

通電制御下の肝腫瘍に対するオーダーメイド化したRFA

Journal of Microwave Surgery. 2007. 25:93-97, 2007

安井 智明, 坂東 俊宏, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 飯田 洋也, 河合 孝, 菊地 勝一, 山中 若樹, 岸 清彦, 片岡 保朗

内視鏡的乳頭バルーン拡張術による胆管結石除去後に発生した重症急性膵炎の1例

Gastroenterological Endoscopy (日本消化器内視鏡学会雑誌別刷). 2008. 50(1) : 46-51, 2008

山中 若樹, 相原 司, 飯田 洋也, 柳 秀憲, 安井 智明

肝切除後の脾臓の動態

肝胆膵 2008 年 3 月号: 2008. 56(3) :383-391, 2008

安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 飯田 洋也, 柳 秀憲, 山中 若樹

良性胆道狭窄に留置された胆管金属ステント閉塞症例に対する interlobar splitting approach を用いた拡大肝管空腸吻合術

手術 2008 年 8 月増大号: 2008. 62(9) :1329-1334, 2008

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 河合 孝, 山下 英孝, 柳 秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹, 加古 泰一, 末定 靖英, 覚野 綾子

アルコール性肝硬変を背景に発生した胆嚢静脈還流領域 (偽病変) を内包した大再生結節例

肝臓 第 49 巻 第 10 号: 2008. 49(10) :476-482, 2008

【学会発表】

<全国学会>

飯田 洋也, 丹後 泰久, 蔦本 慶裕, 張村 貴紀, 田中 研次, 高尾 貴史, 湯澤 浩之, 島袋 誠守, 立花 一幸, 草野 敏臣

膵カルチノイドの一切除例

第 18 回日本肝胆膵外科関連会議, 2006 年 5 月

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 河合 孝, 菊地 勝一, 光信 正夫,

山中 若樹

肝癌合併肝内結石症に対し胆道再建ならびに術中ラジオ波治療を行った一例

第 25 回 Microwave Surgery 研究会, 2006 年 9 月

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 河合 孝, 菊地 勝一, 光信 正夫, 山中 若樹

大腸癌の同時性多発肝転移に対して、Two-Stage-Hepatectomy を施工し長期生存が得られた 1 例

第 68 回日本臨床外科学会総会, 2006 年 11 月, 広島

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 河合 孝, 菊地 勝一, 光信 正夫, 山中 若樹

経皮ルートと腹腔鏡下ルートを同時に組み合わせて施行した Dual Route Thermal Ablation の検討

第 107 回日本外科学会定期学術集会, 2007 年 4 月, 大阪

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 河合 孝

胃癌ならびに大腸癌肝転移巣に対するラジオ波治療効果の比較検討

第 43 回日本肝臓学会総会, 2007 年 5 月, 東京

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 河合 孝, 菊地 勝一, 光信 正夫, 山中 若樹
胆道再建後にラジオ波治療を施行した5症例の検討
第19回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2007年6月, 横浜

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 河合 孝, 菊地 勝一, 光信 正夫, 山中 若樹
多発肝癌で長期生存が得られる条件
第62回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007年7月, 東京

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 河合 孝, 山下 英孝, 柳 秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹
大腸癌肝転移巣に対する切除とラジオ波治療の比較検討
第69回日本臨床外科学会総会, 2007年11月, 横浜

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 河合 孝, 山下 英孝, 柳 秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹
胆道再建後にラジオ波治療を施行した6症例の検討ーハイリスク群の特定ー
第37回日本肝臓学会西部会, 2007年12月, 長崎

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 河合 孝, 山下 英孝, 友松 宗史, 柳 秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹
多発肝細胞癌に対する切除を軸とした治療戦略ー長期生存が期待できる条件ー
第108回日本外科学会定期学術集会, 2008年5月, 長崎

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 河合 孝, 山下 英孝, 友松 宗史, 柳 秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹
広範囲門脈腫瘍栓合併(前区域~左枝全域)肝細胞癌に対する左3区域切除術
第20回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2008年5月, 山形

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 河合 孝, 山下 英孝, 友松 宗史, 柳 秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹
小型低分化型肝細胞癌に対する治療選択ーラジオ波か切除かー
第44回日本肝臓学会総会, 2008年6月, 愛媛

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 河合 孝, 山下 英孝, 友松 宗史, 柳 秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹
大腸癌両葉多発肝転移(H3)に対する肝切除を軸とした治療戦略上の工夫(二期的肝切除)
第63回日本消化器外科学会総会, 2008年7月, 札幌

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 名取 恵子, 花田 庄司, 前田 晃宏, 柳 秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹
肝腫瘍に対するLight-guided miniopen hepatectomy
第70回日本臨床外科学会総会, 2008年11月, 東京

<研究会・地方会>

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 河合 孝, 菊地 勝一, 光信 正夫, 山中 若樹, 加古 泰一, 末定 靖英, 片岡 保朗, 岸 清彦, 岡林 一夫, 杉原 綾子
長期経過中、腫瘍内の血行動態が変化した高分化型細胞癌の一切除例
第6回関西肝血流動態イメージ研究会, 2006年7月

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 河合 孝, 菊地 勝一, 光信 正夫, 山中 若樹
胆道再建後ならびに胆管ステント留置後のラジオ波治療による合併症の検討
第43回日本肝癌研究会, 2007年6月, 東京

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 河合 孝, 山下 英孝, 柳 秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹
術前診断が困難であった肝結節性病変の1切除例
第15回阪神腹部画像診断治療研究会, 2007年7月, 西宮

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 河合 孝, 山下 英孝, 柳 秀憲,
光信 正夫, 山中 若樹
経皮ルートと腹腔鏡下ルートを同時に組み合わせて施行した Dual Route Thermal Ablation の検討
第 20 回近畿内視鏡外科研究会, 2007 年 9 月, 大阪

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 河合 孝, 山下 英孝, 柳 秀憲, 光信
正夫, 山中 若樹
胆道再建後にラジオ波治療を施行した 6 症例の検討ーハイリスク群の特定ー
第 37 回日本肝臓学会西部会, 2007 年 12 月, 長崎

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 河合 孝, 山下 英孝, 友松 宗史, 柳
秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹
大腸がん両葉多発肝転移 (H3) 症例に対する肝切除を軸とした治療戦略上の工夫 (二期的肝切除)
第 44 回日本肝臓学会, 2008 年 5 月, 大阪

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 河合 孝, 山下 英孝, 友松 宗史, 柳
秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹
低分化型小型肝細胞癌に対する治療選択ーラジオ波か切除かー
第 44 回日本肝臓学会, 2008 年 5 月, 大阪

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 名取 恵子, 友松 宗史, 花
田 庄司, 前田 晃宏, 柳 秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹
広範囲門脈腫瘍栓合併 (前区域~左枝全域) 肝細胞癌に対する左 3 区域切除術
第 37 回近畿肝臓外科研究会, 2009 年 2 月, 尼崎

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 名取 恵子
ラジオ波焼灼術術中抵抗のモニタリングによる Popping 予測
第 11 回関西肝臓局所療法研究会, 2009 年 3 月, 大阪

飯田 洋也, 安井 智明, 相原 司, 生田 真一, 吉江 秀範, 名取 恵子, 友松 宗史, 花
田 庄司, 前田 晃宏, 柳 秀憲, 光信 正夫, 山中 若樹
Light-oriented miniopen hepatectomy
第 17 回クリニカル・ビデオフォーラム (CVF), 2009 年 3 月, 東京

【対外活動】

<講演>

飯田 洋也

明和病院における大腸癌肝転移の外科的治療戦略
第 5 回鳴尾消化器検討会学術講演会, 2008 年 9 月, 西宮

横浜総合病院 ハートセンター 心臓血管外科

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

大西恵美, 富谷美香, 梅田 研, 霜越理恵, 新井孝章, 菅原重忠, 中村光哉, 東田隆治, 大塚雅人
総腸骨動脈の複雑形態病変の診断に超音波検査が有用であった一例
第 33 回日本調音波検査学会, 2008 年 6 月, 前橋

官野高明, 小田川美伯, 大塚雅人, 梅田 研, 中村光哉, 竹中 創, 東田隆治, 直江史郎
血管内超音波カテーテル・ガイドワイヤーポート劣化に関する検討
第 73 回日本循環器学会総会・学術集会, 2009 年 3 月, 大阪

富谷美香, 新井孝章, 霜越理恵, 大西恵美, 桜井直子, 中村春美, 竹中 創, 中村光哉, 梅田 研,
東田隆治, 大塚雅人
血管エコー検査による下肢閉塞性動脈硬化症疾患の検出評価に関する検討ーCT 血管撮影との比較ー
第 73 回日本循環器学会総会・学術集会, 2009 年 3 月, 大阪

山本章世, 上村優香, 萩原亮子, 若木新子, 大塚雅人, 梅田 研, 東田隆治
心電図モニター装着用 “3ウェイポーチ” の快適性評価
第 73 回日本循環器学会総会・学術集会, 2009 年 3 月, 大阪

<地方会・研究会>

梅田 研, 中村光哉, 菅原重忠, 大塚雅人, 東田隆治
大動脈内に留置したガイドワイヤが有用であった RCA 入口部病変による ACS の一症例
第 65 回神奈川 PTCA 研究会, 2006 年 11 月, 横浜

東田隆治, 手取屋岳夫, 大井正也, 菅原重忠, 直江史郎, 後藤 真
47 歳の Werner 症候群に合併した大動脈弁狭窄症の 1 治験例
第 12 回青葉区医師会学術集談会, 2007 年 3 月, 横浜

東田隆治, 梅田 研, 大塚雅人, 中村光哉, 菅原重忠, 直江史郎
間歇性跛行を呈した外傷性大腿動脈解離の 1 例
第 206 回日本循環器学会関東甲信越地方会, 2007 年 12 月, 東京

中村光哉, 梅田 研, 大塚雅人, 菅原重忠, 東田隆治, 直江史郎, 大西恵美, 富谷美香, 新井孝章
限局性腹部大動脈狭窄の 1 例
第 206 回日本循環器学会関東甲信越地方会, 2007 年 12 月, 東京

大塚雅人, 菅原重忠, 中村光哉, 梅田 研, 東田隆治
約 20 年経過した静脈グラフト閉塞による急性心筋梗塞の一例
第 15 回関東甲信越 IVUS 研究会, 2008 年 2 月, 東京

竹中 創, 大塚雅人, 中村光哉, 梅田 研, 東田隆治
診断困難であった大動脈基部解離に伴う急性心筋梗塞の 1 例
第 6 回神奈川・県北部 ACS 研究会, 2008 年 6 月, 横浜

梅田 研, 大塚雅人, 中村光哉, 菅原重忠, 竹中 創, 東田隆治
運動負荷 ABI 検査および CT 検査が診断および治療に有効であった総腸骨動脈狭窄による間歇性跛行の一例
第 209 回日本循環器学会関東甲信越地方会, 2008 年 9 月, 東京

菊池恭太, 小宮宏一郎, 新田浩史, 林 淳也, 東田隆治
患肢を温存できた難治性足部壊疽の一例
第 14 回青葉区医師会学術集談会, 2009 年 3 月, 横浜

竹中 創, 中村光哉, 大塚雅人, 梅田 研, 東田隆治
臨床的に心電図が捕らえられなかった発作性上室性頻拍に対するカテーテルアブレーションの 2 例
第 14 回青葉区医師会学術集談会, 2009 年 3 月, 横浜

University of Alabama at Birmingham

Akabori Hiroya, MA Choudhry, KI Blaud, IH Cahudry
Does 17 β -estrogen protect the Brain inflammatory response following trauma-hemorrhage?
31th Annual Conference on Shock, June 2008, Köln Germany

Mayo Clinic and Mayo College of Medicine
Division of Gastroenterology and Hepatology, Oncology

【論文】

<英文学術論文>

Huang S, Okumura K, Sinicrope FA.
BH3 mimetic obatoclax enhances TRAIL-mediated apoptosis in human pancreatic cancer cells.
Clin Cancer Res, 15(1):150-9, 2009

Okumura K, Huang S, Sinicrope FA.

Induction of Noxa sensitizes human colorectal cancer cells expressing Mcl-1 to the small-molecule Bcl-2/Bcl-xL inhibitor, ABT-737

Clin Cancer Res, 14(24):8132-42, 2008

Sinicrope F, Rego R, Okumura K, Foster N, O'Connell M, Sargent D, Windschitl H

Prognostic Impact of BIM and PUMA in Human Colon Carcinomas.,

Clin Cancer Res, 14(18):5810-8, 2008

【学会発表】

<国際学会>

Kenji Okumura, Shengbing Huang, Frank A Sinicrope

BH3 mimetic ABT-737 and CPT-11 act synergistically to induce apoptosis in human colon carcinoma cells.

Digestive Disease Week, 2008年5月, USA, San Diego